

和歌山県観光振興実施行動計画

= 観光振興アクションプログラム 2020 =



和み、和らぐ。 
和歌山から 
はじまる旅。

和歌山県・(公社)和歌山県観光連盟

目 次

令和2年度方針	1
1 和歌山を売り出す	5
(1) 『水の国、わかやま。』で和歌山を売り出す	5
(2) 『サイクリング王国わかやま』で和歌山を売り出す	10
(3) 『わかやま歴史物語』で和歌山を売り出す	20
(4) 『世界遺産』で和歌山を売り出す	33
(5) 『日本遺産』で和歌山を売り出す	55
(6) 『温泉』で和歌山を売り出す	62
(7) 『自然の素晴らしさ』で和歌山を売り出す	67
(8) 『食の魅力』で和歌山を売り出す	71
(9) 『ほんまもん体験』で和歌山を売り出す	73
(10) 『ブランド』で和歌山を売り出す	77
(11) 『四季折々の魅力』で和歌山を売り出す	83
2 和歌山へ招く	88
(1) 『メディアを活用』して和歌山へ招く	88
(2) 『ターゲットごとのプロモーション』で和歌山へ招く	99
(3) 『近畿、東海、西日本等』から和歌山へ招く	119
(4) 『首都圏』から和歌山へ招く	135
3 和歌山でもてなす	145
4 『海外』から和歌山へ招く、『外国人観光客』を和歌山でもてなす	156
(1) 『新たなプロモーション』で和歌山へ招く	157
(2) 『ネットメディア展開』で和歌山へ招く	159
(3) 『海外26か国・地域』から和歌山へ招く	161
(4) 『テーマ別の取組』で和歌山へ招く	194
(5) 『医療観光』で和歌山へ招く	197
(6) 『外国人観光客』を和歌山でもてなす	199

本実行計画は、和歌山県観光立県推進条例第11条に定める観光振興実行行動計画として、同条例が定める基本理念並びに施策の基本方針、そして和歌山県長期総合計画が示す基本的な方向に沿って取り組む令和2年度の観光振興施策をまとめたものです。

【お問い合わせ】 商工観光労働部観光局

観光振興課 073-441-2777

観光交流課 073-441-2789

令和2年度方針

令和元年の観光客数（速報値）は総数：35,433千人、外国人宿泊客数：502千人泊と、ともに過去最高を記録した平成28年を上回りました。昨年の夏季は天候不順や台風の接近などで苦戦したものの、最終的に史上最高の入込客総数となったのは、これまで取り組んできた政策効果による「和歌山の魅力」の浸透と、関係機関と連携して展開した「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録15周年記念キャンペーン、ねんりんピック紀の国わかやま2019の開催などの相乗効果によるものと分析しています。また、県内周遊の活発化を目的とした「水の国、わかやま。」や「サイクリング王国わかやま」などの取組により主要観光地以外の地域の観光客も増加しています。

さらに、国内最大級の外国人向けサイト「ガイジンポット（Gaijin Pot）」の「2020年外国人が訪れるべき日本の観光地ランキング」で「熊野地方」が1位に選ばれたほか、温泉総選挙2019では、「南紀勝浦温泉」が「歴史・文化部門」第1位、「南紀白浜温泉」が「スポーツ・レジャー部門」第3位に選ばれるなど、和歌山の観光地は国内外から高い評価を受けています。

こうしたなか、令和2年度においても引き続き将来の和歌山県の観光を見据えた施策を展開します。和歌山に対する認知度や評価が年々上昇している今、キラーコンテンツである世界遺産「高野山、熊野」や「パンダ」「有名温泉」に加え、和歌山がもつ観光資源のポテンシャルを引き出し、分かりやすく提供することで県内周遊を促進し滞在時間の延長による消費の拡大に努めます。

そのためには、世界遺産ブランドと新たな魅力による満足度の高い旅を提供するとともに、サイクリングと旅を融合する「サイクリング王国わかやま」、自然をテーマにした「水の国、わかやま。」、歴史・文化をテーマにした「わかやま歴史物語」、地元の方々から知る四季折々の風景などの「熊野古道の新たな魅力100選」の発信、「日本遺産」などの取組を展開します。また、好評を得ている「世界遺産のCSR」、「教育旅行」、「年金旅行」、「インセンティブ旅行」などの団体ツアーにおいても和歌山ならではの旅を提案します。さらに、新たなターゲット層を獲得する一方策である「医療観光」については、モニターツアーの実施など更に具体的な取組を進めます。

また、来年は東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されることから、混雑が予想される首都圏からの誘客を図るため、ビジネスパーソンやその家族などに対し、本県が「ワーケーション」（ICTの活用等によりリゾート地や地方等、普段の職場とは異なる場所で働きながらも地域の魅力に触れることのできる取組）の最適地であることをアピールしてまいります。

「サイクリング王国わかやま」は、県内全域に整備された800kmを超えるサイクリング推奨ルートと絶景・食・温泉などをミックスした無限大のコースセレクトと楽しみ方を提供し、サイクリングの聖地としてのイメージ定着と誘客促進を図るものです。令和2年度は、これまで実施してきた世界的有名ロードレーサーとのタイアップによる情報発信や、自転車アニメとのタイアップによるスタンプラリー等に加え、大手サイクルショップとタイアップした情報発信やサイクリングツアーの開催に取り組めます。また、「旅とし

でのサイクリング」を快適に楽しんでいただくため、「サイクリストに優しい宿」の認定をさらに推進します。

自然の素晴らしさを「水」で表現した「水の国、わかやま。」については、多くのメディアで取り上げられ、本県の新たな魅力の一つとして認知度が高まっています。今後、より多くの方々に「水の国」にお越しいただくため、アウトドア専門の旅行エージェントを対象にファムツアーを実施するなど、旅行商品の造成を促進します。併せて、体験観光の開発支援をさらに進めるとともに、「水の国」の滝や絶景スポットを巡るスタンプラリーを実施し、地域を訪れる楽しみを提案していきます。

「わかやま歴史物語」は、神話の時代から近代に至る豊富な歴史ストーリー、文化遺産と食、温泉などを組み合わせた旅モデルを提案するものですが、令和2年は「日本書紀」が編纂されて1300年を迎えたことから、「わかやま記紀の旅」と題し、県内の「古事記」「日本書紀」ゆかりのスポットを巡るスタンプラリーを実施します。また首都圏等で「わかやま歴史物語リレー講座」を開催し、歴史好きのお客さまに対し本県の豊かな歴史や文化の魅力を訴求し誘客に繋がります。

外国人観光客については、26か国・地域の市場をターゲットとする中、13か国・地域を重点市場として位置付けるとともに、急速に個人旅行化する東アジア市場への対応や新興市場へのアプローチなどに取り組みます。

特に、外国人観光客が集中しているゴールデンルートから地方部への誘客を促進するため、京都・大阪、首都圏から紀伊半島へのプラスワントリップを目指した「広域周遊ルート」を構築し、「東京2020オリンピック・パラリンピック」「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催に向け、(一財)関西観光本部や(一社)田辺市熊野ツーリズムビューローをはじめ、エリア内のDMO(観光地域づくり法人)など関係機関と紀伊半島周遊ツアー商品を共同開発するとともに、海外の大規模海外旅行博覧会への共同出展や旅行エージェント・メディアの招へい、CNNやBBCなど大手海外メディア媒体を使ったグローバル・メディアキャンペーンを展開します。

あわせて、外国人観光客の旅行形態が個人旅行化する中、個人観光客がストレスなく県内を周遊できるよう、近隣県と連携した「紀伊半島外国人観光客受入推進協議会」を設立し、交通アクセスの改善や多言語案内表示など県域をまたぐ統一的な受入環境の整備を進めるとともに、外国人観光客の長期滞在・消費拡大に向け、「和歌山ほんまもん体験」など体験プログラムのインバウンド対応に向けた市町村やDMO等の取組を支援します。

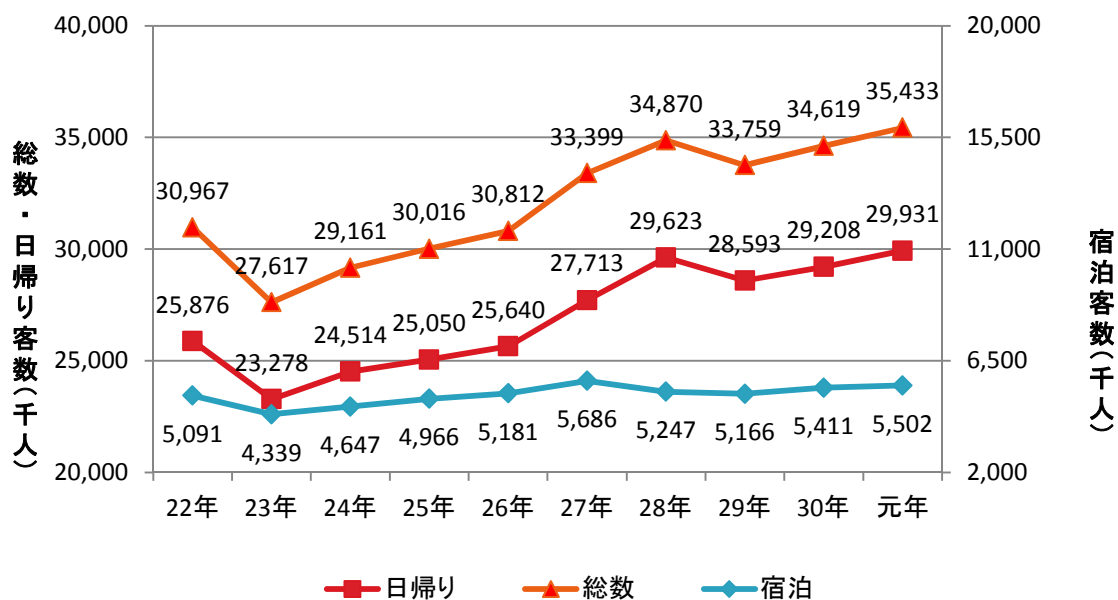
おもてなし事業については、研修制度を継続するとともに、「Nightlife in WAKAYAMA～和歌山の夜の楽しみ方～」のWEBサイトを拡充し、消費拡大に努めます。また、関西国際空港と高野山を結ぶリムジンバス、京都駅と高野山を結ぶアクセスバス、高野山と熊野を結ぶ路線バスの利用促進を図ります。

県及び観光連盟は、令和2年度も引き続き「和歌山ブランドの拡大」、「持続可能な観光地づくり」、「県内周遊」、「消費拡大」を基本コンセプトに、「和歌山の魅力」を国内外に発信し、和歌山への旅行動機の喚起を主軸に取組を進めてまいります。実行にあたっては、国内各地域や海外の国・地域のマーケットニーズやトレンドをオンタイムで収集、分析することで、観光資源や地域毎のターゲットを明確にし、継続的なメディアへの提案活動、旅

行会社への情報提供、企業とのタイアップなどにより戦略を効果的に具現化してまいります。また、受入体制については常にお客さまの視点に立ちハード、ソフト両面での充実に努めてまいります。

なお、本実施計画の実行にあたっては、新型コロナウイルス感染症の状況を含め、社会情勢を十分勘案し、誘客活動の重点地域、その手法、時期などについて情勢に応じた検討を加えることで臨機応変な対応に努めます。

【観光入込客数】 令和元年は速報値、平成23年：東日本大震災、紀伊半島大水害



【宿泊客発地別】

(単位：人泊)

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	対前年比	
											対前年比	シェア
和歌山	673,588	558,768	579,191	632,337	612,122	661,334	645,114	558,608	602,973	587,258	97.39%	10.67%
大阪	1,607,865	1,440,037	1,541,436	1,589,050	1,663,960	1,618,848	1,472,946	1,554,687	1,564,505	1,593,657	101.86%	28.96%
京都	270,851	237,075	249,966	255,304	268,801	258,719	209,365	245,647	236,105	229,887	97.37%	4.18%
兵庫	395,413	335,824	339,151	367,506	361,233	384,217	358,674	348,841	349,491	338,998	97.00%	6.16%
奈良	185,445	160,294	170,489	191,072	182,535	187,905	161,859	185,059	194,784	189,288	97.18%	3.44%
滋賀	96,547	84,347	96,528	116,217	105,275	109,241	84,354	103,761	106,084	106,719	100.60%	1.94%
三重	96,848	90,653	92,224	89,903	95,975	66,298	58,451	59,475	70,695	75,181	106.35%	1.37%
四国	110,862	86,419	90,514	96,685	88,870	103,524	82,449	84,770	97,249	90,738	93.30%	1.65%
中国	134,521	111,182	108,585	112,942	106,221	121,951	108,436	104,574	98,561	101,986	103.48%	1.85%
東海	435,452	417,782	389,714	398,712	424,559	500,464	453,720	423,650	424,371	440,228	103.74%	8.00%
北陸	69,179	53,677	54,430	58,632	59,921	69,888	54,597	54,370	56,077	57,696	102.89%	1.05%
関東	552,919	425,603	424,036	470,505	481,003	598,573	548,395	487,802	507,094	563,078	111.04%	10.23%
東北	34,182	20,663	30,974	38,031	36,949	51,953	34,738	38,131	39,647	37,714	95.12%	0.69%
北海道	24,534	20,603	18,618	31,543	25,109	35,036	26,130	29,647	29,016	31,271	107.77%	0.57%
九州・沖縄	80,364	59,238	70,489	79,812	86,344	106,650	87,072	85,669	90,235	87,110	96.54%	1.58%
外国人	134,802	80,338	117,359	211,754	303,574	427,594	500,191	475,628	479,163	501,828	104.73%	9.12%
不明	187,172	156,966	272,918	225,992	278,788	383,911	360,580	325,742	465,089	469,405	100.93%	8.53%
計	5,090,544	4,339,469	4,646,622	4,965,997	5,181,239	5,686,106	5,247,072	5,166,061	5,411,139	5,502,042	101.68%	100.00%

1 和歌山を売り出す

(1) 『水の国、わかやま。』で和歌山を売り出す

和歌山県は、「木の国」と言われていますが、森林を育むのは「水」であり、「水」を育むのは森林です。県内各地には、水や森林に関連する清流・滝・海・温泉などのスポットや醤油・酒・酢などの食、カヌーやラフティングなどの体験メニューといった多くの「水」に関連する観光資源が存在します。また、「水」の造形でもある南紀熊野ジオパークや水辺を楽しむサイクリングロードなども「水」にまつわる観光資源です。

これら観光資源を「水を見る」、「水が創る」、「水と遊ぶ」といった「水」を切り口とした意外性のあるテーマ設定で整理し発信することにより、これまで集客力が弱かった観光資源に焦点をあて注目度を高めます。また、世界遺産ブランドを取り込んだ観光資源のゾーニングを形成することにより、新たな「和歌山の魅力」を発信します。

さらに受入体制の一層の充実を図るため周遊案内板などの整備を拡充するとともに、観光資源の開発やブラッシュアップにより集客力を高め、将来に繋がる持続可能な観光地づくりを目指します。

I 受入対策

受入体制の整備

県内全域の「水」に関連する観光資源を洗い出し、お客様が楽しんで周遊できる具体的なモデルコースの設定を行い、新商品の開発に繋がります。

◇「水の国、わかやま。」観光素材集の更新

県内全域の「水」に関連する観光資源を随時更新し、WEBサイトに掲載します。

◇具体的なモデルコースの設定や周遊看板の拡充

「水」の絶景スポットを周遊するモデルコースの設定や看板整備を行います。

※次の滝（有田川町）、桑ノ木の滝（新宮市）などを予定

◇体験観光の開発

「水」に関連する体験型観光を実施（新規・ブラッシュアップ）する事業者に対する支援を行います。

◇「水の国、わかやま。」モバイルスタンプラリーの実施 =New=

県内の絶景や滝などを巡るスタンプラリーを実施します。

<時期> 秋頃

2019実績

◇「水の国、わかやま。」観光素材集の更新

県内全域の「水」に関連する観光資源を洗い出し、地域ごとに整理してWEBに掲載

◇具体的なモデルコースの設定や周遊看板の拡充

「水」の絶景スポットを周遊するモデルコースの設定・提案や看板整備を実施

真妻山（日高川町）、嶽の森山（古座川町）

◇体験観光の開発

水に関連する自然環境を活用した体験事業者のメニュー開発支援
カヌーやSUPなど 5事業者

II 誘客宣伝

情報発信

「水」に関連する観光資源を世界遺産などのブランド力や集客力の高い観光資源と絡めながら、効果的な情報発信を行います。

◇メディア展開

○雑誌・TVなどによる情報発信

<時期> 随時

<内容> 女性向け、自然志向の雑誌など

◇パンフレット、WEBサイト、PR動画による情報発信

○県観光情報誌「紀州浪漫」による情報発信

<時期等> 各号 シリーズ「水の国、わかやま。」10万部

<内容> 「水」をテーマとした観光資源や見どころ等を紹介

<展開> 全国のメディア、旅行会社、主要SA、書店（160店舗）等

○専用パンフレットによる情報発信（リニューアル）

<時期等> 6月～【日本語版】7万部、7月～【英語版】5千部

<内容> テーマごとに「水の国、わかやま。」を紹介するとともに、新たなゾーニングや具体的なモデルコースにより、和歌山の楽しみ方を提案

<展開> NEXCO西日本・中日本SA、県内レンタカー営業所
国内外の各種プロモーションで配布

○WEBサイト特集ページによる情報発信（リニューアル）

<時期> 6月～【日本語版】、7月～【英語版】

<内容> 県観光情報サイト内に特集サイトを開設

○PR動画による情報発信 =New=

<時期> 10月～

<内容> 絶景、温泉、食、体験など「水の国、わかやま。」の魅力を紹介するPR動画を制作し、情報発信

◇Facebookを活用した情報発信

○「水の国、わかやま。」公式ページによる発信

<時期> 随時

2019実績

◇メディア展開

○新聞、雑誌、WEB等

名 称	掲載テーマ	発行日等
紀州浪漫（夏号）	「水の国、わかやま。」フォト紀行	6月1日
TBS系列 「ウォーターカラーズ」	「水の国、わかやま。」の美しい水辺	6月9日、16日、23日
NHK-BS プレミアム 「ニッポンぶらり鉄道旅」	内山りゆう氏が紹介する「水の国、わかやま。」	6月20日
朝日生命保険相互会社 月刊「SANSAN」	「水の国、わかやま。」の見どころ	7月1日
NHK「関西ホットライン」	「水の国、わかやま。」	7月5日
紀州浪漫（秋号）	水の国を歩く	9月1日
日刊工業新聞社 「メトロガイド（10月号）」	「水の国、わかやま。」特集	9月5日
スターツ出版 「OZの女子旅 EXP02019」	「水の国、わかやま。」写真パネル展示	9月25日～29日
「山と溪谷（11月号）」	「水の国、わかやま。」特集とカレンダー付録	10月15日
紀州浪漫（冬号）	「水の国、わかやま。」フォト紀行	12月1日
スターツ出版 「OZ TRIP（1月号）」	「水の国、わかやま。」特集とカレンダー付録	12月7日
紀州浪漫（春号）	「水の国、わかやま。」ぶらり旅	3月1日

◇パンフレット、WEBサイト等による情報発信

○専用パンフレット

- <時期等> 10万部
（6月15日、日本語版リニューアル）
1万部
（7月13日、英語版リニューアル）



- <内 容> 水の絶景に出会う「水の国、ウォーク。」に”嶽の森山と古座川の滝めぐりコース”を追加（全6コースを紹介）
WEBマップへ誘導するQRコードの掲載
県内周遊を促すためのお得なクーポン付き
- <展 開> NEXCO 西日本・中日本主要SA、近畿道の駅、わかやま紀州館、名古屋観光センター、南海フェリー、各市町村観光協会、南紀白浜空港、県内各宿泊施設 など
※国内外での旅行博覧会や旅行会社との商談会などでも配布

○WEBサイト

<時期等> 6月25日～（日本語版リニューアル）
7月23日～（英語版リニューアル）
PV65, 600回以上（2年3月末現在）

<内 容> 専用パンフレットの内容のほか、厳選素材集や周遊コース、滝マップを紹介

○ポスター

<配架等> わかやま紀州館、名古屋観光センター、県内

◇内山りゅう氏とタイアップした情報発信

○「OZの女子旅 EXP02019」アート展での写真展示

<日 時> 9月25～29日

<会 場> 青山スパイラルホール

<参加者> 約7,800人

○「水の国、わかやま。」シンポジウム

<日 時> 10月11日

<会 場> 東京ガーデンテラス 紀尾井カンファレンス

<参加者> 約170人

○山と溪谷11月号（10月15日発行）

○OZ TRIP（12月7日発行）

◇公式 Facebook ページの開設

<時 期> 平成30年9月1日～

<内 容> 「水の国、わかやま。」 投稿数 30回（今年度18回）
いいね! 6,309人 フォロワー6,369人



◇都市圏プロモーションでの発信（夏プロモーション・春プロモーション）[詳細 123 頁](#)

旅行商品造成

県内全域の「水」に関連する観光資源やイベント、特別企画などを網羅した観光素材集を作成、併せて周遊モデルコースの提案を行い、本県への旅行商品造成と販売促進に繋がります。

◇「水の国、わかやま。」観光素材集の更新

県内全域の「水」に関連する観光資源を随時更新し、WEBサイトに掲載します。

◇旅行会社訪問 [詳細 120 頁](#)

都市圏プロモーションにおける旅行会社訪問時に、周遊モデルコースや観光素材などを網羅した観光素材集で「水の国、わかやま。」の提案を行います。

また、登山などネイチャーツアーを造成する旅行会社にも訪問し、「水の国、わかやま。」に特化した提案を行います。

2019 実績

◇厳選素材集の更新

川・海・山などの絶景、体験・食など、「水」に関する素材を厳選し、素材集とし

てまとめたものを、専用WEBサイトへ掲載

＜掲載数＞ 約400素材

◇旅行会社訪問 [詳細 121 頁](#)

大都市圏プロモーションにおけるメディア訪問時に、「水」に関する周遊モデルコースや観光素材をPR

また、登山などネイチャーツアーを造成する旅行会社へも訪問し、「水の国、わかやま。」に特化した提案を実施

◇JR西日本主催「観光素材説明会」への参加 [詳細 129 頁](#)

(2) 『サイクリング王国わかやま』で和歌山を売り出す

サイクリングは、爽快さ、楽しさを気軽に体感できるアクティビティであり、従来の交通手段だけでは訪れることのできないような地域を自転車でめぐっていただくことで、県内周遊の促進、さらに地域での消費拡大に繋がるものと考えています。

「サイクリング王国わかやま」は、ニックネームを「WAKAYAMA 800」とし、県内全域に800kmを超えるサイクリングの推奨ルートと絶景や温泉、食などを組み合わせることで、無限大のサイクリング旅が楽しめる、まさに「和歌山がサイクリングの最適地」というイメージ定着を図るものです。

また、サイクリストに優しい宿泊施設の認定やサイクルステーションの拡大、公式WEBサイトなどにより、お客様のニーズに応えたサイクリング環境を提供しています。

サイクリング愛好者だけでなく、初心者、女性、健康志向の高い方など、幅広いターゲットにリーチできるよう、サイクリングと旅の楽しみ方を国内外に発信します。



I 受入対策

受入体制の整備

◇モバイルスタンプラリーの拡充

サイクリングの楽しみ方のひとつとして、県内全域において、一昨年度から実施しているサイクリスト向けのモバイルスタンプラリーを拡充し、サイクリストの周遊を一層促進します。

<時期> 6月～3年3月末(予定)

<内容> 有名アニメとタイアップした特別企画の実施
スタンプラリーポイントの拡大

◇サイクリストに優しい宿泊施設の拡充

自転車を部屋に持ち込めたり、修理道具を貸し出すなど、サイクリストに優しい宿泊施設を拡大するため、各宿泊施設へ働きかけを行います。

<時期> 随時

◇サイクルトレイン・サイクルバスの推進

【主管：観光振興課、地域政策課、総合交通政策課】

自転車を鉄道車両やバス内に解体せずに持ち込めるサイクルトレイン等の導入を鉄道事業者等に働きかけ、サイクリストの利用環境の整備を推進します。

◇ランドオペレーターの利用促進

県内のランドオペレーターの利用促進を図り、サイクリングを活用した着地型観光を推進します。

◇サイクリングロード整備事業【主管：県道路局】

川・山・海の3つのサイクリングロードにおいて、専用化の推進や案内看板、路面表示の充実など、より安全で快適な利用環境の整備を推進します。

また、太平洋岸自転車道について、令和元年9月に創設された「ナショナルサイクルルート」の指定を目指し、太平洋岸自転車道として統一した整備やサイクリストの受入環境の整備、魅力づくりなど、国を中心に関係自治体と連携し、推進します。

※太平洋岸自転車道構想・・・千葉県銚子市を起点として神奈川、静岡、愛知、三重、和歌山県の各太平洋沿岸を走り、和歌山市に至る延長約1,400kmの自転車道。

◇サイクリングロード利用促進事業【主管：県地域政策課】

サイクリングコースや周遊ルートなどのマップの配布やWEBサイトでのサイクリングに必要な情報の提供、サイクルステーションの登録拡充など、サイクリストの利便性向上を図るほか、サイクリストへの和歌山県の認知度を高めるため、大規模イベントを継続して開催し、地域の魅力を発信します。

○マップやWEBサイトでの情報発信

＜内 容＞ ルート周辺のサイクルステーションや自転車店、観光情報などを掲載したマップや、必要な情報を検索できるスマートフォン対応WEBサイト情報の充実、メルマガなどにより情報を発信

○サイクルステーションの登録（拡充）

＜内 容＞ サービス：トイレ、スポーツバイク対応空気入れ等の貸し出し施設
登録：タペストリーの提供、WEBサイト等でのPR

○サイクリングイベントの開催

＜内 容＞ 初級者から上級者まで幅広いサイクリストが楽しめるコースなど

＜参 加＞ 1,000人規模

○サイクリングナビゲーションの活用

サイクリングコース・お薦め観光スポット等の紹介

2019実績

◇モバイルスタンプラリー“2nd season”の実施

＜時 期＞ 4月27日～2年3月22日

＜内 容＞ WEBサイトからユーザ登録を行い、各チェックポイント設置看板のQRコードを読み取り、電子スタンプを獲得

チェックポイント：県内55か所

＜賞 等＞ ・パーフェクト賞：1人（賞品：「TREK」ロードバイク）
パーフェクト達成者には「達成証」と「オリジナルサコッシュ」と「ステッカー」をプレゼント

・パーフェクト頑張った賞：10人（賞品「Bontrager」ライト）

・30ポイント賞：5人

（賞品：サイクリストに優しい宿ペア宿泊券 3万円程度）

・10ポイント賞：100人（賞品：「オリジナルサコッシュ」）

・エリアクリア賞：30人（賞品：地元特産品）

- ・山岳賞：3人（賞品：オリジナルジャージ）
山岳ポイント5か所（高野山観光情報センター、山の家 おいし、千葉山、道の駅 田辺市龍神ごまさんスカイタワー、那智の滝）をすべて達成
 - ・Wチャンス賞：200人（賞品：「ステッカー」）
 - ・リピーター賞：20人
（賞品QUOカード5,000円分）
 - ・インスタ賞：10人（賞品：地元特産品）
- ◇参加者＞ 2,917人（男性2,208人 女性704人）
10代以下：69人、20代：355人、
30代：674人、40代：1,022人、50代：624人、
60代以上：162人、
大阪867人、兵庫145人、奈良114人、東京66人、京都62人、愛知53人、三重51人、神奈川37人、滋賀25人、和歌山1,346人



◇人気自転車レースアニメ「弱虫ペダル」と「WAKAYAMA800」のタイアップ企画を実施

- ＜時期＞ 10月1日～12月31日
- ＜内容＞ ○スペシャルグラフィックを活用した発信
和歌山の観光地をキャラクターが走行しているシーン（2種類）を描き下ろしたスペシャルグラフィックを活用して、県内外に「弱虫ペダル」×「WAKAYAMA800」を発信



- 描き下ろしグラフィック【登場キャラクター】
那智の滝 <那智勝浦町>【小野田、巻島、東堂、真波】
十九島 <由良町>【手嶋、青八木】
- ＜展開等＞
- ①阪急・阪神ホールディングスグループとのタイアップによる発信（9～10月） [詳細 119 頁](#)
 - ②ポスターを制作し、県内外のサイクリングショップや観光施設、鉄道等に展開（9月～）
 - ③紀州浪漫、サイクリング雑誌、フリーペーパー、WEB（公式 Facebook 等）等
 - ④WAKAYAMA800 モバイルスタンプラリー（チラシ・ポスター・WEB）
- 弱虫ペダル特別版 “WAKAYAMA800 モバイルスタンプラリー” の開催
4月27日から実施中の WAKAYAMA800 モバイルスタンプラリー “2nd season” において、弱虫ペダル特別版スタンプラリーを10月1日から12月31日まで開催
- ・内容

①期間限定で設置された下記のチェックポイント（全5か所）を訪れ、現地に設置している看板のQRコードを読み取ると、和歌山の絶景ポイントで、キャラクターと記念撮影が可能

※専用のカメラアプリを起動させると、画面上にキャラクターが登場。

②期間中に下記のチェックポイントを巡り、全てのスタンプを獲得した方の中から抽選で、弱虫ペダル限定グッズを300人にプレゼント（ポスター、クリアファイル、ポストカード（2種）各100人）

・期間限定のチェックポイント【登場キャラクター】

- ① 不老橋（和歌山市）【巻島 裕介（まきしま ゆうすけ）（総北高校）】
- ② 高野山 中門（高野町）【東堂 尽八（とうどう じんぱち）（箱根学園）】
- ③ 白崎海岸（由良町）【真波 山岳（まなみ さんがく）（箱根学園）】
- ④ 円月島（白浜町）【小野田 坂道（おのだ さかみち）（総北高校）】
- ⑤ 滝の拝（古座川町）【手嶋 純太（てしま じゆんた） & 青八木一（あおやぎ はじめ）（総北高校）】

・参加方法等

- ①モバイルスタンプラリーのチラシやポスターからQRコードを読み取るなど、「WAKAYAMA800モバイルスタンプラリー」のWEBサイトにアクセスし、ユーザ登録をしてスタート
- ②期間限定で設置されたチェックポイントの看板のQRコードを読み取り、電子スタンプを獲得
- ③スタンプ獲得画面において、専用のカメラアプリを起動させると、弱虫ペダルキャラクターと記念撮影が可能
- ④5つ全てのスタンプを集めると、弱虫ペダル限定グッズを抽選で300人にプレゼント

・特別版WEBサイト

10月1日～運用開始

<http://mobilerally.wakayama800.jp/>

◇Instagram 投稿キャンペーンの実施

<時期> 4月27日～2年3月22日

<賞品等> 地元特産品 10人

<投稿数> 1,442件

◇「サイクリストに優しい宿」の認定

<認定数> 62件（2年3月31日現在）

<内容> 下記条件を満たす県内宿泊施設を「サイクリストに優しい宿」として、県・県観光連盟が認定し、認定プレートを交付

<条件> 【必須サービス】

- ①自転車の屋内保管（自転車を組み立てた状態で、客室への持ち込みが可能、一般客の立ち入らない施設可能な場所（バックヤードや車庫等）で保管が可能）



②「スポーツバイク対応空気入れ」及び「修理工具」の貸出

③手荷物一時預かり(チェックイン前/チェックアウト後)

④宅配便(自転車を含む)の受取・発送サービス

【あればより良いサービス(任意サービス)】

①洗濯機/脱水機の貸出、またはランドリーサービス(即日/翌日渡し)

②自転車の洗浄・作業用スペース

③周辺のサイクリングロードやサイクルステーションなどの案内

※認定施設は、和歌山県サイクリング総合サイトに掲載

◇サイクリングロード利用促進事業(観光関係/主管:県地域政策課)

○サイクルステーションの設置

<内 容> 民間の店舗や公共施設等で、「休憩(駐輪)スペースの提供」、「トイレの提供」、「スポーツバイク対応空気入れの貸し出し」を行う施設をサイクルステーションとして登録。施設によっては、バイクラックの設置や自転車修理用工具の貸し出しなども実施
県内268か所(2年3月18日時点)

○サイクリングコースマップ

<内 容> 県内のおすすめサイクリングコース、コース周辺の観光情報や注意箇所などを掲載

<展開先> 県内市町村、近畿圏内スポーツバイク販売店、近畿圏内各サイクリング協会等

○和歌山県サイクリング総合サイトによる発信

<内 容> 県内の周遊ルートやサイクルステーション、サイクリストに優しい宿など、最新のサイクリング情報を発信

○わかやまサイクリングフェスタ2020(新型コロナウイルス感染症対応により中止)

<時 期> 2年3月21日 前日イベント・開会セレモニー・前日祭

2年3月22日 大会申込者 約1,000人

<コース> ①空海 190km 獲得標高約2,100m

②幸村 160km 獲得標高約1,500m

③吉宗 100km 獲得標高約 800m

④孫市 60km 獲得標高約 500m

<主 催> わかやまサイクリングフェスタ実行委員会

◇川のサイクリングロード魅力発信事業(観光関係/主管:那賀振興局企画産業課)

○KINOKAWA ぐるりん♪ラリー

<時 期> 9月2日~12月13日

<内 容> 紀の川サイクリストおもてなしスポットを自転車で巡ってシールを集めると枚数に応じて賞品が当たるラリーイベント

<展 開> 那賀振興局、紀の川市、岩出市、県、JR和歌山線岩出駅、粉河駅、和歌山電鐵貴志川線貴志駅、紀の川サイクリストおもてなしスポット

※紀の川サイクリストおもてなしスポット 全57か所

- ・紀の川市・岩出市内にあるレストランや土産物店などの店舗にバイクラック、空気入れ及び工具を常備
- ・のぼりとステッカーが目印

<主催> 紀の川エリア観光サイクリング推進協議会

◇その他（PR協力）

○ORIDE ON SUSAMI2019 サイクルアドベンチャー南紀 ～古座川 ROUND～

<時期> 10月19日 前夜祭
10月20日 大会参加者 706名

<コース等> 大自然の懐を走り抜ける、ダイナミックなコースを楽しめる
約140kmと約74kmの2コースのファンライド
・チャレンジコース (約140km)
・アドベンチャーコース (約74km)

<主催> すさみ町サイクリング大会実行委員会

○紀南シーサイドヴェロフェスタ 2019 with KINAN Cycling Team

<時期> 11月24日

<コース等> 紀宝町、御浜町、熊野市、新宮市に配置された複数のチェックポイントを好きなルートで走ってポイントを巡る、ショートからロングまで楽しめるサイクリングイベント 参加約200人

<主催> NPO法人スポーツプロデュース熊野

○サイクルモードインターナショナル 2019 に出展

<時期等> 11月2～4日 幕張メッセ

<内容> 「サイクリング王国わかやま」をPR

<来場者> 3日間 計25,810人

II 誘客宣伝

情報発信

有名自転車メーカー、有名アニメ等とのタイアップにより、国内外に効果的な情報発信を行います。

◇メディア展開

○有名アニメとのタイアップ

- ・和歌山の観光地の書下ろし
- ・WAKAYAMA 800モバイルスタンプラリーとの連動
- ・阪急阪神グループタイアップキャンペーンとの連動

[詳細 119 頁](#)

○有名サイクルショップとのタイアップ **=New=**

- ・サイクリングツアーの開催、ショップへのWAKAYAMA 800 PRコーナーの設置
(パンフレット配布、ポスター掲出等)、ショップのWEBを活用した発信など

○有名メーカーとのタイアップ

- ・映像、雑誌等の情報発信におけるバイクの使用

・メディア展開に伴う協力

○雑誌、WEBによる情報発信

<時期> 随時

<内容> 健康関連雑誌・WEB、自転車専門誌、サイクリング関連WEB

◇パンフレット・特設WEBサイトによる情報発信

○県観光情報誌「紀州浪漫」による情報発信

<時期等> 未定 10万部

<内容> 「サイクリング王国わかやま」をテーマとした観光資源やモデルコース、特別企画等を紹介

<展開> 全国のメディア、旅行会社、書店（160店舗）等

○専用パンフレットによる情報発信

<時期> 随時

<内容> WAKAYAMA800のサイクリング情報を紹介

<展開> サイクルショップ、サイクリストに優しい宿等

○特設WEBサイト（県観光連盟）による発信

<時期> 随時

<内容> 県内の周遊ルートやサイクルステーション、サイクリストに優しい宿、ブランディング映像など、サイクリング情報を発信

◇Facebookを活用した情報発信

○「WAKAYAMA800 サイクリング王国わかやま」公式ページを更新します。

<時期> 随時

◇広域連携による情報発信

○近畿2府4県が連携した広域サイクルルートを形成し情報を発信します。

<時期> 随時

<内容> 広域サイクリングマップの作成、試走会等のイベントを実施

◇サイクリングイベントでの情報発信

○サイクルモードインターナショナル2020

<時期> 11月（予定）

<場所> 幕張メッセ（千葉市）

<内容> 「サイクリング王国わかやま」をテーマとした観光素材やモデルコースを来場者に紹介します。

2019実績

◇元有名ロードレーサー アルベルト・コンタドール氏の招へい

<時期等> 11月20～23日（4日間）

<主催> 県、（公社）県観光連盟、ジェトロ和歌山

<協力> トレック・ジャパン

<内容> アルベルト・コンタドール氏を招へいし、自身のSNSで県内のサイクリングロードや観光資源など和歌山県の魅力を世界に発信



・場 所：和歌山県の紀中エリア(煙樹ヶ浜(美浜町)～白崎海洋公園(由良町)でライドを実施

白崎海洋公園でメディアによる囲み取材を実施
高野町(壇上伽藍・金剛峯寺・奥之院)、湯浅町(湯浅醤油工場見学)、新宮市(熊野速玉大社・ゴトビキ岩)、那智勝浦町(熊野那智大社・那智の滝)等

- ・発 信：①Instagram：8回(フォロワー：73万人)
- ②Twitter：4回(フォロワー：148万人)
- ③Facebook(BLOG)：2回(フォロワー：2,400人)
- (個人)：1回(フォロワー：5,480人)

・記事掲載：バイシクルクラブ(WEB)、FRAME(WEB)、毎日新聞、日高新報社(記事・WEB)

◇スペイン国際旅行博におけるアルベルト・コンタドール氏のトークイベント開催

- <時 期> 2年1月23日
- <場 所> スペイン国際旅行博「FITUR2020」ジャパンパビリオン
- <内 容> コンタドール氏による来県時の動画上映・トークイベント
- <参加者> スペインのメディアや旅行会社、業界関係者など(200人以上)

◇メディア展開

○新聞、雑誌、WEB等

名 称	掲載テーマ	発行日等
NHK「関西ホットライン」	わかやまの休日スタンプラリー わかやま歴史物語スタンプラリー100 WAKAYAMA800モバイルスタンプラリー	4月12日
NHK「ギュギュっと和歌山」	紀の川サイクリング	4月26日
JTBパブリッシング「るるぶ和歌山'20」	サイクリング王国わかやま	5月1日
小学館「BE-PAL(6月号)」	サイクリング王国わかやま	5月10日
NHK「関西ホットライン」	サイクリング王国わかやま	5月24日
弱虫ペダル GLORY LINE 公式 Twitter	弱虫ペダル×WAKAYAMA800	8月27日
榎出版社「BiCYCLE CLUB(WE B)」	弱虫ペダル×WAKAYAMA800	8月30日
紀州浪漫(秋号)	弱虫ペダル×WAKAYAMA800	9月1日

文藝春秋 「CREA（8・9月号）」	サイクリング王国 ポタリングの旅	9月1日
日経BP社 「日経ヘルス（10月号）」	サイクリング王国 絶景サイクリング	9月2日
八重洲出版 「CYCLE SPORTS（WEB）」	弱虫ペダル×WAKAYAMA800	9月12日
榎出版社 「BiCYCLE CLUB（11月号）」	日本のベストバイシクルルート TOP10	9月20日
阪急電鉄沿線情報誌「TOKK（10月1日号）」	弱虫ペダル×WAKAYAMA800	9月25日
秋田書店 「週刊少年チャンピオン（10月10日号）」	弱虫ペダル×WAKAYAMA800	9月26日
自転車創業 「FLAME（WEB）」	著名サイクリスト来訪	10月3日
Piknik 「cycle（10月号）」	弱虫ペダル×WAKAYAMA800	10月4日
榎出版社 ムック本 「BiCYCLE CLUB SELECTION」	WAKAYAMA800 「温泉・梅、水の国、桃・桜ライド」	10月10日
ガイドワークス ムック本 「自転車と泊まる宿 2019～2020」	サイクリストに優しい宿	10月25日
榎出版社 「BiCYCLE CLUB（WEB）」	著名サイクリスト来訪	11月23日
自転車創業 「FLAME（WEB）」	著名サイクリスト来訪	11月23日
紀州浪漫（春号）	和歌山の絶景ロードを駆け抜ける	3月1日
榎出版社 「BiCYCLE CLUB（5月号・付録）」	WAKAYAMA800	3月20日

○公式 Facebook

<時期> 平成31年1月16日～

<内容> 「WAKAYAMA800 サイクリング王国わかやま」

県内のサイクリングコースやブランディング映像、サイクリストに優しい宿等を紹介

いいね！5, 269人 フォロワー5, 577人

投稿数 151回（今年度 41回）（2年3月31日現在）

◇専用パンフレットの作成

<時 期> 2年3月

<内 容> オススメのサイクリングルートや充実したサイクリング環境など、
WAKAYAMA 800の魅力を紹介 (BiCYCLE CLUB タイアップ企画)

◇サイクルモードインターナショナル 2019 に出展 [詳細 15 頁](#)

◇JR西日本主催「観光素材説明会」の提案資料へ掲載 [詳細 129 頁](#)

◇都市圏プロモーションでの発信 (夏・春プロモーション) [詳細 123 頁](#)

(3) 『わかやま歴史物語』（歴史・浪漫）で和歌山を売り出す

神話の時代から近代に至るまで、和歌山には興味深い歴史・文化が豊富にあります。

こうした歴史・文化のストーリーに秘話やSNS映えスポット、食、温泉、体験などの観光資源を組み合わせた100の旅モデルを「わかやま歴史物語」として纏め、地域に存在する観光素材のブラッシュアップを図り、歴史に興味のある方に和歌山の歴史・文化を幅広くPRするため、メディアや特設WEBサイトなどを活用し、本県のもつ歴史的な価値や魅力を発信します。

また、本県にも舞台となった場所が多く存在する『日本書紀』が、本年編纂1300年を迎えることから、「わかやま歴史物語」の特別版として、新たに、『日本書紀』『古事記』にゆかりの深い神社や神話の舞台となったスポットを巡るスタンプラリーを実施することで、県内各地への誘客、周遊につなげます。

I わかやま歴史物語

情報発信

◇わかやま歴史物語リレー講座（仮称）の開催 =New=

<時期> 東京、大阪で計6回開催予定（時期は未定）

<内容> 和歌山の「歴史」について独自性のあるテーマで深掘りし、多角的な視点から捉えることで、知っているようで知らなかった和歌山を再発見するものです。

◇WEBサイト、パンフレット等による情報発信

○特設WEBサイトによる情報発信

<内容> 特設WEBサイトで紹介しきれていない、新たな歴史スポットや最新の立ち寄り処等を追加掲載し、更なる誘客を促進します。

○パンフレットによる情報発信

<時期> 随時

<内容> わかやま歴史物語（概要版、スタンプラリー冊子）
わかやま記紀の旅（スタンプラリー冊子）

<展開> NEXCO西日本・中日本SA、近畿道の駅、鉄道（JR和歌山支社管内）、紀陽銀行、きのくに信金、県内宿泊施設、県内市町村・観光協会などに配置、各種プロモーションでの配布

○雑誌、フリーペーパー等による情報発信

<時期> 随時

<内容> 人気モデルコースを情報誌、旅行雑誌、カルチャー誌等へ掲載

○県観光情報誌「紀州浪漫」による情報発信

<時期等> 各号シリーズ「わかやま歴史物語」ぶらり旅 10万部

<内容> 歴史をテーマとした観光資源や見どころ等を紹介

<展開> 全国のメディア、旅行会社、書店（160店舗）等

2019実績

◇特設WEBサイト、パンフレットによる情報発信

○特設WEBサイトによる情報発信

<内 容> 歴史ストーリーとともに、関連スポット、食、温泉、体験など、お客様が楽しんで周遊いただける旅モデルを随時、特設サイトへ掲載
URL: <http://wakayama-rekishih100.jp>

○パンフレットによる情報発信

<時 期> 随時

<内 容> わかやま歴史物語（概要版、スタンプラリー冊子）

<展 開> NEXCO 西日本・中日本SA、近畿道の駅、鉄道（JR和歌山支社管内）、県内市町村・観光協会、紀陽銀行、きのくに信用金庫、県内宿泊施設、レンタカー事業者、和歌山県情報発信イベント、ねんりんピック紀の国わかやま 2019 会場、各種プロモーションでの配布

<配布数> 約10万部

◇ねんりんピック紀の国わかやま 2019 での情報発信

<時 期> 10月

<内 容> 県内開催地周辺の観光資源を組み合わせた旅行商品を掲載した大会プログラムを「わかやま歴史物語」のパンフレットともに参加者に送付

◇雑誌、新聞等による情報発信

名 称	掲載テーマ	発行日等
NHK「関西ホットライン」	わかやまの休日スタンプラリー わかやま歴史物語スタンプラリー100 WAKAYAMA 800モバイルスタンプラリー	4月12日
「読売新聞」大阪版	わかやま歴史物語スタンプラリー100	4月24日
読売 Life（5月号）	湯浅伝統的建造物群保存地区	5月1日
「毎日新聞」大阪版	わかやま歴史物語スタンプラリー100	5月29日
紀州浪漫（夏号）	友ヶ島	6月1日
紀州浪漫（秋号）	白崎海洋公園	9月1日
読売 Life（9月号）	興国寺	9月1日
JTBパブリッシング ノジュール（11月号）	神武東征	10月25日

南海電鉄PRボックス	スタンプラリー冊子の配架	11月～2月
NHK「関西ホットライン」	わかやま歴史物語	11月8日
紀州浪漫（冬号）	有間皇子、藤白坂	12月1日
紀州浪漫（春号）	根來寺、エルトゥール号、西国三十三所	3月1日

受入体制の整備

◇「わかやま記紀の旅」周遊スタンプラリーの実施 =New=

- <時期> 6月～3年3月末（予定）
- <内容> 2020年に日本書紀が、編纂1300年を迎えるにあたり、「わかやま歴史物語」の特別企画として、和歌山県ゆかりの『古事記』『日本書紀』関連スポットを巡るスタンプラリーを実施します。
- ※スタンプラリースポット 県内8か所
- <規格> A4サイズ、カラー36ページ、50,000部
- <賞等> 「プレミア和歌山」推奨品を抽選でプレゼント



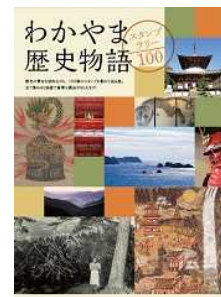
◇「わかやま歴史物語」スタンプラリー100の拡充実施

- <時期> 秋頃～
- <内容> 県外からの誘客及び周遊を促進するため、「わかやま歴史物語」で紹介されている「100の旅モデル」の関連施設等を巡るスタンプラリー冊子の掲載内容を更新して継続実施するとともに、新たな客層を獲得するため、モバイルスタンプラリーを併せて実施します。

2019実績

◇わかやま歴史物語スタンプラリー100の実施

- <時期> 第2期： 9月30日まで
第3期：2年3月20日まで
- <内容> 「わかやま歴史物語」で紹介されている「100の旅モデル」を巡るスタンプラリーを実施。
- <ルール> ①スタンプラリー冊子入手
②スタンプ設置箇所に行き、スタンプ押印帳（冊子に添付）に押しし、順次スタンプを収集
③抽選に応募 ※100個のスタンプを集めた方のみ応募可能
④各実施期間終了毎に、応募者の中から抽選で豪華賞品を贈呈
- <規格> A4サイズ カラー、66ページ、75,000部
- <賞等> 達成者全員に、記念盾を贈呈。また、抽選で旅行券や「プレミア和歌山」



	山」推奨品を贈呈。
<達成者>	第2期：267人 第3期：592人（2年3月30日現在）
◇パンフレットによる情報発信	
<時期>	随時
<内容>	わかやま歴史物語（スタンプラリー冊子）
<展開>	NEXCO 西日本・中日本SA、近畿道の駅、鉄道（JR和歌山支社管内）、県内市町村・観光協会、紀陽銀行、きのくに信用金庫、県内主要病院、カルチャーセンター、大阪府高齢者大学校、和歌山県情報発信イベント（名古屋県人会まつり、ツーリズムEXPO ジャパン2019など）、ねんりんピック紀の国わかやま2019会場等で配置、各種プロモーションで配布
<配布数>	約9万部

旅行商品造成

◇都市圏プロモーションでの提案 [詳細 120 頁]

都市圏の主要旅行会社を訪問時に、「わかやま歴史物語」の観光素材やモデルコースの提案を行い、旅行商品の造成や販売促進につなげます。

2019実績

◇JR西日本主催「観光素材説明会」の提案資料へ掲載 [詳細 129 頁]

◇四国プロモーションでの発信 [詳細 121 頁]

II 周年事業

今年、紀三井寺は開創1250年の記念の年であり、また一昨年、草創1300年を迎えた西国三十三所の記念事業については、12月31日まで開催されることから、地域で行われる記念行事やイベント等とあわせ情報発信をしていきます。

① 紀三井寺開創1250年 =New=

紀三井寺の開創は宝亀元年(770年)で、唐の僧侶・為光が日本各地を周っている際に、水が湧く名草山に登って金色の千手観音を感得したのが始まりとされています。本年は開創1250年の記念すべき年であることから様々な事業が執り行われます。これらを情報発信し、当エリアへの誘客につなげます。

記念事業

◇秘仏御本尊御開帳

<時期> 3月18日～6月28日、9月20日～12月20日

<内容> 秘仏本尊十一面観音像や秘龕仏千手観音像を50年に一度御開帳します。

◇和歌の浦急峻三杜寺巡り

<時期> 令和元年10月1日～

<内容> 日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」の構成文化財



の和歌浦天満宮・紀州東照宮・紀三井寺の各社寺に向かうそれぞれの急な石段を一日で上り、すべての社寺で御朱印を授与された方に記念品（特製手ぬぐいと絵葉書）を進呈します。

② 西国三十三所草創1300年

日本の観音及び巡礼文化のはじまりである西国三十三所の巡礼は、長谷寺の徳道上人が閻魔大王から巡礼によって人々を救うように託宣を受け、養老2年（718年）に始めたと伝わるもので、一昨年、草創1300年を迎えました。

また、令和元年5月20日に那智山青岸渡寺（那智勝浦町）や紀三井山金剛宝寺（和歌山市）、風猛山粉河寺（紀の川市）を構成文化財に含む「1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～」が日本遺産に認定されました。

記念事業については、西国三十三所礼所会（事務局：京都府京都市）が中心となり、記念の年を含め12月までの5年間、記念事業が実施され、県内に所在する三寺院においても特別な事業が継続されます。これらの記念事業にあわせ、県内周遊を促進するための取組、各種PRを継続して実施します。

- ◇和歌山県の札所
- 第一番札所 那智山青岸渡寺
 - 第二番札所 紀三井山金剛宝寺（紀三井寺）
 - 第三番札所 風猛山粉河寺



那智山青岸渡寺 紀三井山金剛宝寺 風猛山粉河寺

※西国三十三所とは

養老2年（718年）、観音菩薩が人々を救うために示したとされる観音霊場のルーツ。その後、「観音菩薩は33の姿に身を変えて人々を救う」という教えのもと「西国三十三所」と総称され、各寺院は「札所」となって順番に参拝する巡礼文化が生まれました。総距離は約1,000km、札所は、近畿2府4県、岐阜県にあります。

記念事業

◇スイーツ巡礼(西国三十三所礼所会)

- <時期> 平成28年2月～（事業終了まで）
- <内容> 各地の銘菓と一緒に楽しむ巡礼の旅を提案します。

◇限定御朱印「特別印」の授与(西国三十三所礼所会)

- <時期> 平成29年1月～（事業終了まで）
- <内容> 全ての寺院で限定御朱印「特別印」が授与されます。

◇特別拝観(西国三十三所礼所会) ※他の寺院も開催、日程は異なります

- <時期> 那智山青岸渡寺 未定

紀三井山金剛宝寺（紀三井寺）

3月18日～6月28日、9月20日～12月20日

風猛山粉河寺 3月23日～5月6日 9:00～16:00

<内 容> 那智山青岸渡寺 未定
紀三井山金剛宝寺（紀三井寺） 秘仏本尊十一面観音像、
秘龕仏千手観音像特別拝観
風猛山粉河寺 本堂北側千手観音特別拝観

◇草創1300年記念「お砂踏み*」

<時 期> 11月頃（予定）

<内 容> 坂東札所霊場会（坂東三十三所観音）と秩父札所連合会（秩父札所三十四ヶ所観音霊場）と連携し、東京で西国三十三所のPR事業を実施します。

<開催地> 東京都

<主催等> 西国三十三所札所会 特別協力：坂東札所霊場会、秩父札所連合会

※西国三十三所等の札所の砂を踏めば、実際に巡礼したのと同じ御利益があるとされる風習。

◇特別展の開催

<時 期> 調整中

<内 容> 「西国三十三所 草創1300年記念 特別展聖地をたずねて—西国三十三所の信仰と至宝—」観音信仰とともに守り伝えられてきた至宝の数々を展示します。

<開催地> 京都国立博物館 平成知新館

<主 催> 京都国立博物館、西国三十三所札所会、読売新聞社

2019実績

◇スイーツ巡礼（西国三十三所札所会）

<時 期> 平成28年2月～

<内 容> 菓子を食べ歩きながら、各札所を巡礼するユニークプラン

・那智山青岸渡寺

じゃばらタルト、じゃばら蜂蜜ジュレ、じゃばらピール、熊野詣餅、那智黒飴

・紀三井山金剛宝寺（紀三井寺）

三井水功德玉子せんべい、花蜜ロール

・風猛山粉河寺

はっさくプーロ、きのくにシュトーレン

鞆淵の黒豆大福、3番スイーツコーヒーセット

◇限定御朱印「特別印」の授与（西国三十三所札所会）

<時 期> 平成29年1月～（実施中）

<内 容> 全ての寺院で限定御朱印、「特別印」を授与



◇特別拝観(西国三十三所札所会) ※他の寺院も開催、日程は異なる

<時 期> 平成31年3月24日～5月7日

<内 容> 那智山青岸渡寺 那智山経塚出土仏像拝観
紀三井山金剛宝寺(紀三井寺) 本堂内陣特別拝観
風猛山粉河寺 薬師堂御本尊「薬師如来座像」御開帳

旅行商品造成

◇周遊促進ノベルティの配布

来訪者に西国三十三所を周遊する動機付けを行うためのノベルティを制作し、「西国三十三所草創1300年特別記念品」として提供(協賛)します。



<時 期> 平成29年8月1日～令和2年12月31日

<内 容> 条件を満たした団体ツアーに対する協賛として日本手ぬぐいを付与

◇都市圏プロモーションでの提案 [詳細120頁](#)

各都市圏の主要旅行会社を訪問して、観光素材やモデルコースの提案を行い、旅行商品の造成や販売促進につなげます。

2019実績

◇周遊促進ノベルティの配布

<期 間> 平成29年8月1日～

<内 容> 条件を満たした団体ツアーに対する協賛として日本手ぬぐいを付与
実績累計 14社 1,415枚

◇四国プロモーションでの発信 [詳細121頁](#)

◇JR西日本主催「観光素材説明会」の提案資料へ掲載 [詳細129頁](#)

受入対策

◇「西国三十三所草創1300年」記念 三寺巡拝スタンプラリー

<時 期> 平成31年1月1日～令和2年12月31日

<内 容> 3寺全て巡拝で、西国第1番から第3番札所の宝印等をデザインした日本手ぬぐいを進呈。

◇特別木札の販売(那智勝浦町観光協会)

<時 期> 平成29年1月から継続販売中

<内 容> 熊野那智大社や那智山青岸渡寺のほか、飲食店、土産店など全25か所のスポットで特典が受けられる特別木札を販売 300円



2019実績

◇特別木札の販売(那智勝浦町観光協会)

<時 期> 平成29年1月～

＜内 容＞ 熊野那智大社や那智山青岸渡寺のほか、飲食店、土産店など全25か所のスポットで特典が受けられる特別木札を販売 300円

◇周遊促進ノベルティの配布

＜時 期＞ 平成31年1月1日～令和2年12月31日（スタンプラリー）

＜内 容＞ 「西国三十三所草創1300年」記念 「熊野那智大社御創建1700年」記念 四社寺巡拝スタンプラリー



3寺全て巡拝で、西国第1番から第3番札所の宝印等をデザインした日本手ぬぐいを進呈。さらに、熊野那智大社を巡拝すると、抽選で特別記念硯を進呈

「三寺巡拝スタンプラリー」

3寺全て巡拝で、西国第1番から第3番札所の宝印等をデザインした日本手ぬぐいを進呈

＜備 考＞ 手ぬぐい 50, 505枚配布（2年3月30日時点）

誘客宣伝

◇情報発信

○雑誌、フリーペーパー等の情報発信

＜時 期＞ 随時

＜内 容＞ 歴史専門雑誌、旅行雑誌、女性誌等へ掲載

2019実績

◇雑誌、新聞等による情報発信

媒体名	テーマ	発行日等
紀州浪漫（春号）	根來寺、エルトウールル号、西国三十三所	3月1日

◇都市圏プロモーションでの発信（夏・春プロモーション）

[詳細121頁](#)

◇バナー掲載

＜内 容＞ 西国三十三所札所会のホームページ（トップページ）に、三寺巡拝スタンプラリーのバナーを掲載

Ⅲ 周遊促進と情報発信

歴史・浪漫を感じるスポットで誘客

◇歴史・文化のかおるまち・岩出市

○まちなか散策

＜内 容＞ 紅葉が色づき始めた根來寺周辺のまちなかを散策し、根來寺境内は語り部が案内します。（有料／岩出まちづくり協議会）

＜時 期＞ 11月

○旧県議会議事堂

＜内 容＞ 根來寺の施設として活用された県有形文化財「旧県議会議事堂（一

乗閣)」を明治31年創建当時の姿で復原整備。20人以上の団体入館者に対して、ノベルティグッズプレゼント企画を実施します。

<時期> 平成30年1月18日～

○根來寺遺跡展示施設（仮称）

<内容> 発掘調査により発見された根來寺遺跡について、高精細レプリカを用いて、中世根來寺の姿を伝える施設がオープンします。

<時期> 11月（予定）

◇真田のまち・九度山町

○まちなか散策

<内容> 真田幸村などの歴史を中心にまちなか散策を案内します。（有料／九度山町まちなか語り部の会）

○九度山・真田ミュージアム

<内容> 「火縄銃の魅力ー澤田平コレクションよりー」展
火縄銃等を展示する企画展を3期に分けて実施します。

<時期> 第1期：4月3日～7月26日

第2期：10月7日～12月27日

第3期：3年1月6日～3月28日

<内容> 「刀剣（仮称）」展を開催します。

<時期> 7月28日～10月5日

○くどやま芸術祭2020

<内容> 芸術をテーマとした地域の活性化を目的に、九度山町全体を大きな美術館に見立て、歴史遺産や現代アートに触れながら楽しんで周遊いただくイベントを開催します。

<時期> 9月20日～10月18日

◇重要伝統的建造物群保存地区・湯浅町

○まちなか散策

<内容> 語り部が熊野古道や醤油蔵などを中心にまちなか散策を案内します。（有料／湯浅町）

他にシラス井食べ歩き（マップあり）や駅前多目的広場でのレンタサイクルなども楽しめます。

◇稲むらの火の物語・広川町

○まちなか散策

<時期等> 通年、無料

<内容> 広村堤防や耐久社などの濱口梧陵ゆかりの史跡を地元の語り部が当時の逸話を交えながら案内します。

<実施主体> 稲むらの火の館

○濱口梧陵生誕200年記念イベント

<時期等> 7～8月

<内容> 県立博物館で濱口梧陵企画展、県立近代美術館で浜口陽三特集展示を開催します。

- <時期等> 9月
 <内 容> 旧和歌山県議会議事堂にて濱口梧陵生誕200年シンポジウムを開催します。
- <時期等> 11月
 <内 容> 県民文化会館大ホールで「世界津波の日」シンポジウムを開催します。
- <実施主体> 和歌山県
 ※他にも、広川町主催の記念式典、シンポジウム等を開催予定です。

◇寺内町・御坊市

○まちなか散策

- <内 容> 江戸時代の町屋と明治・大正・昭和と近代化していく時代の建物が残るまちなか(御坊寺内町会館を含む)を語り部が案内します。
 (有料/御坊市)

◇未来へつながる道・田辺市

○植芝盛平の顕彰施設

- <時 期> 9月(予定)
 <内 容> 田辺市出身の合気道開祖・植芝盛平の顕彰施設(田辺市扇ヶ浜)で、翁ゆかりの品々を展示します。

◇歴史と世界遺産のまち・新宮市

○ガイドと歩くまち歩き

- <時 期> 毎日9:30～、13:30～
 <内 容> 新宮市内のスポットを観光ガイドが案内します。(有料/新宮市観光協会)
 ・新宮の世界遺産、熊野速玉大社と神倉神社
 ・大逆事件と新宮の文学散歩
 ・国の史跡「新宮城跡」新宮藩の隆盛
 ・「秦の徐福」の伝承地を訪ねて
 ・国の天然記念物「浮島の森」散策

◇日本とトルコ 友好の原点・串本町

○語り部ガイドと巡る日本・トルコ友好の歴史ツアー(一社)南紀串本観光協会)

- <時 期> 通年
 <内 容> エルトゥールル号に始まる史実を語り部が案内します。

○日本トルコ友好130周年記念シンポジウム

- <時 期> 秋頃
 <内 容> 東京都内でエルトゥールル号にまつわる記念コンサート、基調講演、パネルディスカッションを実施します。
 <実施主体> 和歌山県

◇参詣曼荼羅を活用した情報発信 **=New=**

熊野への参詣者を集め寄進を促すために作成された絵図(曼荼羅)に描かれた事柄に焦点をあて、世界遺産周辺地域における新たな魅力を発信します。

<内 容> パンフレットの作成（那智参詣曼荼羅）
紀州浪漫での特集

◇熊野の原風景・古座街道 =New=

「古座街道」は、朝来（上富田町）から古座（串本町）を最短距離で結んでいた街道。西国三十三所巡りの参詣道として利用され、作家 司馬遼太郎の「街道をゆく」の中でも紹介されています。

また、令和元年10月には、文化庁の「歴史の道百選」に選ばれました。

○情報発信

<内 容> 関係市町と連携し、パンフレットやWEBサイト等による情報発信を行います。また、「水の国、わかやま。」や「わかやま歴史物語」などの事業と連携し、情報発信を行います。

◇北海道や万葉をテーマとした誘客促進

○民間団体との連携

「紀伊万葉ネットワーク」や「紀の川流域文化遺産活用地域活性化協議会」などの民間団体と連携し、これらの団体が主催するイベント等の情報発信に協力することで、誘客を図ります。

2019実績

◇歴史・文化のかおるまち・岩出市

○まちなか散策

<時 期> 11月30日

<内 容> 紅葉が色づき始めた根来寺周辺のまちなかを散策。根来寺境内は語り部が案内（無料／岩出まちづくり協議会）

<実 績> 44人

○旧県議会議事堂

<内 容> 根来寺の施設として活用された県有形文化財「旧県議会議事堂（一乗閣）」が明治31年創建当時の姿で復原整備

<実 績> 29,885人（4月～2年2月）

参考：旧県議会議事堂西隣「ねごろ歴史資料館」13,383人（同上）

※道の駅「ねごろ歴史の丘」を訪れる20人以上の企画旅行参加者を対象に、ノベルティグッズ（マイクロファイバータオル or 扇子）のプレゼント企画を実施中

◇真田のまち・九度山町

○まちなか散策

<内 容> 真田幸村などの歴史を中心にまちなか散策を案内（有料／九度山町まちなか語り部の会）

<実 績> 565人（20件）（まちなか語り部案内分）

◇重要伝統的建造物群保存地区・湯浅町

○まちなか散策

<内 容> 語り部が熊野古道や醤油蔵などを中心にまちなか散策を案内
(有料/湯浅町)
他にシラス井食べ歩き(マップあり)や駅前多目的広場でのレンタ
サイクルなども楽しめる

<参 加> 2, 678人(まちなか語り部案内分)

◇稲むらの火の物語・広川町

○まちなか散策

<時期等> 11月16、17日

<内 容> 語り部と街を散策して、歴史を学んだり、古民家でワークショップ
やカフェを開催

<実施主体> 広川町

<時期等> 通年、無料

<参 加> 388人

○稲むらの火の館

<内 容> 広村堤防や耐久社などの濱口梧陵ゆかりの史跡を地元の語り部が
当時の逸話を交えながら案内

<実施主体> 稲むらの火の館

◇寺内町・御坊市

○寺内町散策

<時期等> 通年

<内 容> 江戸時代の町屋と明治・大正・昭和と近代化していく時代の建物が
残るまちなかを語り部が案内(有料/御坊市)

<参 加> 230人

◇歴史と世界遺産のまち・新宮市

○ガイドと歩くまち歩き

<時 期> 通年

<内 容> 新宮市内のスポットを観光ガイドが案内(有料/市観光協会)

・新宮の世界遺産・熊野速玉大社と神倉神社

・大逆事件と新宮の文学散歩

・国の史跡「新宮城跡」新宮藩の隆盛

・「秦の徐福」の伝承地を訪ねて

・国の天然記念物「浮島の森」散策

<参 加> 4, 218人

◇日本とトルコ 友好の原点・串本町

○語り部ガイドと巡る日本・トルコ友好の歴史ツアー(一社)南紀串本観光協会)

<時 期> 通年

<内 容> エルトゥールル号に始まる史実を語り部が案内

◇熊野の原風景「古座街道」

<内 容> ・「水の国、わかやま。」キャンペーン

冊子、WEBサイトへ「古座街道ウォーク」を掲載

・わかやま歴史物語

「行きたい街道日本一！司馬遼太郎も旅した道・古座街道をゆく」と題し、旅モデルの一つとしてWEBサイトへ掲載

◇北海道等を活用したイベント・情報発信

○歴史街道ウォーク

<時期等> 9月23日 参加73人

<内容> 「背山を越える」

<時期等> 2年1月19日 参加81人

<内容> 「北海道を歩く～紀伊国分寺跡から名草駅家推定地まで～」

<実施主体> 紀の川流域文化遺産活用地域活性化協議会

○講演会・シンポジウム等

<時期等> 10月19日 参加101人

<会場> 和歌山県民文化会館 3階 特設会議室

<内容> 「古代の紀伊と天皇の行幸」

<時期等> 11月17日 参加18人

<会場> 和歌山市立青少年国際交流センター

<内容> 「道・歴史・文化トークとワークショップ 柿寿司（こけらずし）を作ってみよう」

<時期等> 2年2月16日 参加81人

<会場> 和歌山市南コミュニティセンター

<内容> 「葛城の峰々と道 ～葛城修験と和泉山脈の霊場・参詣道～」

<実施主体> 紀の川流域文化遺産活用地域活性化協議会

○WEBサイト「北海道を歩く」

<内容> 地域特有の歴史や文化が継承されてきた、いにしへの北海道を紹介

◇「古代歴史文化賞記念シンポジウム」へ出展

「古代歴史文化賞記念シンポジウム」に観光PRブースを出展するとともに、参加者及び首都圏マスメディア、旅行事業者等に対して情報発信

<時期等> 2年2月8日 よみうりホール（東京都）

参加約750人

<備考> 主催：奈良県

協力：和歌山県、三重県、島根県、宮崎県、読売新聞社

(4) 『世界遺産』で和歌山を売り出す

平成16年7月に聖地「高野山・熊野」、「熊野古道」を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」が、世界遺産に登録され、昨年、15周年を迎えました。世界遺産に登録されて以降、継続的な情報発信により、国内外から多くのお客さまに訪訪いただいています。昨年設立しました「高野山・熊野を愛する100人の会」によりさらなる情報発信を強化します。本県の「世界遺産」は、グローバルブランドとして認知されており、そのブランド力を最大限に活用し、今後ともあらゆるプロモーションにおいて世界遺産「高野山・熊野」の発信を強化するとともに、お客さまに県内を広く周遊する旅モデルを提案します。

また、「世界遺産」ブランドと「聖地」「道」「日本人の旅の始まり」などのキーワードとの組み合わせや「水の国、わかやま。」や「わかやま歴史物語」との連動により、引き続き強力かつ効果的に情報発信を行い、誘客に繋がります。

さらに、世界遺産に訪訪されるお客さまの周遊を拡大させるため、受入体制の整備や参詣道の四季、天候、時間（早朝・夕方）等により異なる魅力を持つ新たなスポットを、国内外のお客さまに情報発信します。

I 新たな魅力発信と周遊拡大

情報発信

◇世界遺産公式 Facebook を活用した情報発信

世界遺産「高野山」「熊野」の旬の情報を伝えるため、公式 Facebook による情報発信を行います。

◇熊野古道の新たな見どころを情報発信

地元の方しか知らない四季、天候により異なる世界遺産熊野古道の新たな魅力を発掘、収集し、情報を取りまとめ、WEBサイトにおいて、お客さまに広く情報発信できるように活用するとともに、新たな人気スポットとして拡充を図ります。

<内容> 作成したWEBサイトを来訪者に周知するため情報発信

- ・パンフレットなどでのQRコードの掲載
- ・FITを対象としたWEBサイトへのバナー掲載
- ・熊野古道を案内する語り部などへの周知

◇参詣曼荼羅を活用した情報発信 [詳細 29 頁](#)

2019 実績

◇世界遺産公式 Facebook による情報発信

<時 期> 6月～

<内 容> 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」～高野山、熊野、熊野古道～
高野山、熊野、熊野古道などの参詣道の旬の情報を発信
いいね! 11,843人 フォロワー 12,065人
投稿数 49回(2年3月31日現在)

◇熊野古道の新たな見どころを情報発信

地域の方がすすめる熊野古道の絶景や四季、文化などの見どころを発信

<内 容> WEBサイト(日本語版・英語版)での情報発信
熊野古道沿いの新たな見どころとなる場所、位置情報、出現時期、頻度などを情報収集しデータ化、パンフレットなどでのQRコードを活

用したWEBサイトへの誘導

◇新聞による情報発信

名 称	掲載テーマ	発行日等
紀伊民報	道湯川集落跡	10月10日

宿泊プラン「週末は聖地へ ～時忘れの旅。～」企画

◇「週末は聖地へ ～時忘れの旅。～」

県観光連盟では、気軽に高野山へお越しいただく「週末は聖地へ～時忘れの旅。～」をメディアを中心に展開しており、ターゲットとする女子旅も増加しています。

○「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」（主催：ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会／後援：内閣府）において「コト」部門入賞、「女子旅」部門受賞

○「第2回ジャパン・ツーリズム・アワード」（主催：ツーリズム EXPO ジャパン組織委員会）において「国内・訪日領域 プロモーション部門賞」受賞

大好評の宿泊プランを今年も引き続き実施し、高野山の情報発信と誘客を促進します。

<時 期> 通年

<内 容> 1泊2日でたっぷり高野山を満喫でき、土曜日のうちに帰れるプラン

金曜日／夜9時までにチェックイン、宿坊1泊・2食（朝食、昼食）

土曜日／勤行、阿字観・写経体験などで高野山を満喫

<備 考> 高野山宿坊協会と協働で企画・販売

◇WEBサイトによる情報発信

<時 期> 平成27年7月～継続

<内 容> 県観光情報サイト内に特集サイトを開設

2019実績

◇WEBサイトによる情報発信

<時 期> 平成27年7月～継続

<内 容> 県観光情報サイト内に特集サイトを開設

◇JR西日本主催「観光素材説明会」への提案資料へ掲載

[詳細129頁](#)

メディア等による情報発信

◇世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサート開催

世界遺産の地を舞台に著名なアーティストのコンサートを開催し、誘客を図るとともに、この内容とあわせて世界遺産の魅力について各種メディアを介して全国に幅広く情報発信します。

<時期等> 秋頃 高野山壇上伽藍特設会場

<出 演> 未定

<情報発信> 特別番組の制作

◇メディアを活用した情報発信

テレビ・雑誌・新聞等のメディアを活用し、「世界遺産」ブランドに「聖地」「道」「日本人の旅の始まり」「癒し」などのキーワードを組み合わせたテーマで、若い女

性層などさまざまなターゲットに対し、効果的な情報発信を行います。

◇**県観光情報サイトによる情報発信**

県観光情報サイト内の「わかやま三つ星旅」で「高野山・熊野」の魅力やスポットを巡るモデルコースを情報発信します。

また、「天空の聖地 高野山」「伊勢から熊野へ」「街道マップ」「日本の原郷に出会う旅（リンク集）」などの専用ページにおいてもきめ細かい情報発信を行います。

2019実績

◇世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサート開催

- <時期等> 7月6日 熊野速玉大社拝殿前
- <出演者> May J. (J-POP・R&Bシンガー)
- <参加者> 700人
- <内容> 世界遺産登録15周年を記念し、世界遺産関連地域（新宮市、那智勝浦町、田辺市本宮町）や登録15周年キャンペーン等を紹介する番組を放映

媒体名	テーマ	発行日等
マチコミ（テレビ神奈川）	熊野エリアの魅力	9月25日
マチコミ（テレビ埼玉）	熊野エリアの魅力	9月25日
マチコミ（千葉テレビ放送）	熊野エリアの魅力	9月25日
情報スタジアム 4時！キャッチ（サンテレビ）	熊野エリアの魅力	9月26日
Station！（岐阜放送）	熊野エリアの魅力	9月27日
とってまワクドキ！（三重テレビ放送）	熊野エリアの魅力	9月27日
キラりん滋賀（びわ湖放送）	熊野エリアの魅力	9月27日
わくわく編集部（テレビ和歌山）	熊野エリアの魅力	9月27日

◇消費者対策

- ・「世界遺産 高野山・熊野」パンフレットを作成
 - <時期等> 平成28年4月～継続 計36万部
 - <展開> NEXCO西・中日本
(三木SA、養老SA、恵那峡SAほか全55か所)
- ・「天空の聖地」高野山特別WEBサイトでの情報発信
 - <時期> 平成26年12月15日～
 - <内容> 高野山と弘法大師空海の紹介
高野山のみどころ（体験、宿坊、伝説スポット）と周遊モデルコース、高野山エリアのトピックス（真田幸村ゆかりの地）週末は聖地へ～時忘れの旅。～（1泊2食（朝・昼付）宿泊プラン）、県内のグルメ・おみやげ施設情報 など

◇日本サッカー協会の熊野三山来訪

- <時期> 5月17、18日
- <内容> FIFA女子ワールドカップフランス2019 必勝祈願
- <来訪者> 公益財団法人日本サッカー協会 岩上和道副会長、今井純子女子委員長

<時 期> 7月31日
<内 容> FIFA女子ワールドカップフランス2019 お礼参り
<来訪者> 公益財団法人日本サッカー協会 岩上和道副会長、今井純子女子委員長

[受入対策]

2019実績

◇トイレ整備実施箇所

<内 容> 熊野古道大辺路沿い（串本町有田）にトイレを整備

[魅力の向上]

2019実績

◇道の川集落跡の調査・整備

<内 容> 熊野古道中辺路の道の川集落跡を調査し、当時の集落の様子などを記載した説明板を設置し来訪者に情報発信

Ⅱ 「高野山・熊野を愛する100人の会」による情報発信

「高野山・熊野を愛する100人の会」によるPR

「紀伊山地の霊場と参詣道」は、紀伊山地の自然がなければ成立しなかった「霊場」と「参詣道」、それを取り巻く山、川、海、滝、温泉や人間の営みなどの「文化的景観」が大きく評価され、平成16年7月ユネスコ世界文化遺産に登録されました。

近年、世界的な評価が高まり国内外の人々に今もなお感動を与え続けています。

このような中、令和元年7月に世界遺産登録15周年を迎え、これを契機に「紀伊山地の霊場と参詣道」の『価値の継承』と『さらなる魅力を発信』するため、各界著名な方からなる「高野山・熊野を愛する100人の会」を設立しました。

「高野山」「熊野」の価値の継承とさらなる魅力の発信につながる取り組みを世界遺産エリア（高野山・熊野）および首都圏等で展開します。

◇「高野山・熊野を愛する100人の会」芸術コンサートの開催

100人の会メンバーによる書道パフォーマンスと演奏のコラボなど芸術コンサートを開催し、「高野山・熊野」の魅力を発信します。

<時 期> 秋

<エリア> 高野山

◇「高野山・熊野」の魅力展開催

100人の会メンバーによる「高野山」と「熊野」に関する写真や絵画、書といった芸術作品の展示会を開催し、「高野山・熊野」の魅力を発信します。

<時 期> 秋以降

<エリア> 首都圏

◇その他

「高野山・熊野」に関する、あるいは和歌山県内で開催される100人の会メンバーによる企画について、HPで情報発信します。

100人の会メンバー以外で「高野山・熊野」エリアで世界遺産にかかわる方を“匠”としてインタビューし、HPで紹介します。

<頻 度> 四半期毎 年4回（予定）

2019実績

◇「高野山・熊野を愛する100人の会」の発足 [詳細 49 頁](#)

◇「高野山・熊野を愛する100人の会」公式HP開設 [詳細 50 頁](#)

Ⅲ 保全と活用

保全と活用の実践

◇10万人の参詣道環境保全活動の実施

CSRや来訪者等による環境保全活動をはじめ、語り部と歩きながら、参詣道の保全活動を実践する環境保全トレッキングを開催し、県民の参加はもとより、県外からの誘客を積極的に図ります。

また、環境保全トレッキングを通じて「ロングトレイル」や「海を感じる熊野古道」などをテーマに、参詣道の新たな魅力を発信し、誘客を図ります。

<時期> 保全活動 通年

環境保全トレッキング 年3回(予定)

<場所> 高野参詣道・熊野古道中辺路・熊野古道大辺路(予定)



◇経済誌でのPR・CSR活動の誘致

参詣道の保全活動「道普請(※)」と世界遺産の魅力に関する記事を掲載するとともに、当該専門誌を定期購読している、あるいは、関連セミナーに参加した企業との接触・交流を積極的に行い、保全活動を通じた企業(団体)の来訪を促進します。

※文化財保護専門家の指導の下、土を運び、参詣道の損傷を修理する作業

◇世界遺産マスターの活用

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全・啓発活動に民間活力を活かすことを目的に設置している「和歌山県世界遺産マスター」の活動充実を図ります。

<内容> 世界遺産及び周辺地域のパトロール・情報提供

世界遺産の保存活用に関する普及・啓発

世界遺産マスター会議の開催

世界遺産マスターの相互連携活動

世界遺産マスター認定試験・更新研修

2019実績

◇参詣道環境保全トレッキングの開催

○熊野古道中辺路(田辺市本宮)／発心門王子～熊野本宮大社

<時期等> 7月6日～7日 参加130人(うち宿泊44名)

※世界遺産登録15周年・世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサートとのコラボ

○高野山参詣道町石道(高野町)／丹生都比売神社～ニツ鳥居～矢立茶屋～大門～壇
上伽藍～金剛峯寺

<時期等> 10月5日 参加120人

○熊野古道中辺路かけぬけ道（那智勝浦町）／妙法山阿弥陀寺～かけぬけ道～熊野那智大社・那智山青岸渡寺～那智の大滝

<時期等> 11月16日 参加139人

○熊野古道大辺路（すさみ町）／西浜入口～タオの峠～長井坂～見老津駅

<時期等> 2年2月29日 （新型コロナウイルス感染症対応のため中止）

◇10万人の参詣道環境保全活動実績

（今年度参加2,250人、事業開始から延べ参加33,511人）

活 動 日	企業・団体名	活動場所
4月13日	さわかみ一般財団法人	中辺路（伏拝、三越峠）
4月18日	キャリアールホテル旅行専門学校	中辺路（祓殿）
4月19日	(株)紀陽銀行	中辺路（式水）
4月20日	南海電気鉄道(株)	中辺路（伏拝）
5月14日	南海電気鉄道(株)新入社員研修	中辺路（伏拝、祓殿）
5月15日	富士古河E&C(株)	中辺路（式水、伏拝）
5月16日	富士古河E&C(株)	中辺路（祓殿）
5月18日	KDDI(株)	中辺路（祓殿）
5月24日	三菱電機(株)冷熱システム製作所	中辺路（伏拝）
5月25日	日本電通(株)	高野参詣道 （女人道お助け地蔵）
5月26日	J T熊野古道を歩く道普請の仲間たち	中辺路（女坂）
6月1日	(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ	中辺路（式水）
6月1日	(一社)日本旅行業協会関西支部	中辺路（祓殿）
6月5日	南山大学附属小学校	中辺路（三軒茶屋）
6月8日	サントリー労働組合	中辺路（祓殿）
6月22日	関西電力労働組合和歌山地区本部	高野参詣道 （女人道お助け地蔵）
6月25日	森トラストホテルズ&リゾーツ(株)	中辺路（伏拝）
8月12日	49-3即自有志	中辺路（式水）
9月3日	近畿大学学生部	中辺路（祓殿）
9月4日	近畿大学学生部	中辺路（伏拝）
9月7日	さわかみ一般財団法人	中辺路（三越）
9月16日	(株)阪急交通社	高野参詣道 （女人道お助け地蔵）
9月21日	さわかみ一般財団法人	中辺路（八木尾）

9月28日	県職員労働組合高野参詣道	高野参詣道 (町石道40町石)
10月20日	富士ソフト(株)	中辺路(伏拝)
10月26日	花王(株)和歌山事業場	中辺路(式水)
10月26日	県立田辺高等学校	中辺路(式水)
11月3日	市川国際奨学財団	中辺路(伏拝)
11月8日	菱洋エレクトロ(株)	中辺路(伏拝)
11月17日	和歌山警察少年課	高野参詣道 (町石道40町石)
11月20日	和歌山花王会	中辺路(祓殿)
11月20日	富士通(株)	中辺路(祓殿)
11月23日	(一社)和歌山県損害保険代理業協会	中辺路(伏拝)
11月23日	スターティア(株)	中辺路(伏拝)
11月29日	日本道路(株)	中辺路(伏拝)
11月30日	県職員労働組合	中辺路(伏拝)
12月1日	紀の川市立貴志川中学校	中辺路(祓殿)
12月6日	田辺市立本宮中学校	中辺路(三軒茶屋)
12月7日	さわかみ一般財団法人	中辺路(伏拝、祓殿)
12月8日	新明和工業(株)	高野参詣道 (町石道40町石)
12月12日	和歌山市立東山東小学校	高野参詣道 (町石道40町石)
12月14日	住友商事(株)	中辺路(伏拝)
12月14日	天神児童館	中辺路(三軒茶屋)
2月1日	阪和興業(株)	中辺路(伏拝)
2月10日	那智勝浦町立市野々小学校	中辺路(式水)
2月14日	和歌山ターミナルビル世界遺産クラブ 西日本鉄道OB会和歌山支部世界遺産クラブ	高野参詣道 (町石道笠木峠)
2月28日	新宮市立熊野川小学校	中辺路(式水、伏拝)
3月7日	和歌山県世界遺産マスター全体説明会	中辺路(祓殿)

3月17日	保全活動ファムツアー	中辺路（式水）
-------	------------	---------

◇メディアによる情報発信

名称	掲載テーマ	発行日等
サンケイリビング新聞社「シティリビング（大阪・神戸・名古屋版）」	参詣道環境保全トレッキング	5月31日
サンケイリビング新聞社「シティリビング（大阪・神戸・京都版）」	参詣道環境保全トレッキング	8月30日
サンケイリビング新聞社「シティリビング名古屋」	参詣道環境保全トレッキング	9月27日
毎日新聞社 「毎日メディアカフェ」	保全活動ファムツアー	1月14日

◇経済誌等での保全活動の紹介

○プレジデント（2020.3.6号）

<時期> 2年2月14日

<内容> KDDI株式会社の道普請の取組事例等を掲載



◇保全活動ファムツアーの開催

企業のCSRによる参詣道保全活動の誘致を促進するため、保全活動現地体験ツアーを開催

<時期> 2年3月17、18日

<内容> 現地学習、既実施事業の説明、意見交換、熊野古道トレッキング

<参加> 4社（4人）

◇世界遺産マスター制度

民間ボランティアによる世界遺産の保全と活用を推進するため、知事が認定する世界遺産マスターの更新研修及び全体説明会を実施

○更新講習会（第2・5・8期）及び全体説明会

<時期等> 2年3月7日 熊野地区

2年3月8日 高野地区

<参加者> 更新講習会（熊野地区）14人（高野地区）23人

全体説明会（熊野地区）21人（高野地区）20人

◇世界遺産管理調整員研修会の開催

世界遺産の毀損等に対して迅速に対応するため、県の各所属に設置している世界遺産管理調整員の研修会を開催

<時期等> 5月21日 和歌山県民文化会館（和歌山市） 参加108人

<内容> 管理調整の業務、世界遺産の基本情報・保護、県の景観施策

世界遺産登録地域の連携

◇世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会

世界遺産が所在する三県及び市町村関係者で構成される世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会により、保存管理計画を遂行するとともに、活用における指針の策定や、普及・啓発を図ります。

◇三県連携事業「吉野・高野・熊野の国」事業

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の所在する三県が連携し、世界遺産エリアの魅力について、情報発信やプロモーションを行い、認知度向上と誘客促進を図ります。

2019実績

◇世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会

○専門委員会

- <時期等> 11月18日 大阪府教育会館たかつガーデン（大阪市）
<内容> 遺産影響評価（HIA）、参詣道の保全活動にかかる記録、構成資産復旧工事の集成（平成23年度台風12号被害状況）

○世界遺産登録15周年記念シンポジウムの開催

- <時期等> 2年1月18日 世界遺産熊野本宮館多目的ホール
<参加者> 120人
<内容> ・基調講演
演題：世界遺産を巡る近年の動向
講演者：西村幸夫氏（日本イコモス国内委員会顧問）
・パネルディスカッション
テーマ：紀伊山地の霊場と参詣道 15年の歩み
コーディネーター：西村幸夫氏
パネリスト：多田稔子氏（田辺市熊野ツーリズムビューロー会長）
岡橋純子氏（聖心女子大学准教授）
辻林浩（県世界遺産センター顧問） 等

◇「吉野・高野・熊野の国」事業実行委員会

- 「吉野・高野・熊野スタンプラリー」の実施 [詳細48頁](#)
○聖地巡礼ツアーの実施 [詳細48頁](#)
○「世界遺産紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録15周年記念シンポジウム [詳細48頁](#)
○特設WEBサイトによる情報発信 [詳細48頁](#)

和歌山県世界遺産センター

◇和歌山県世界遺産センターへの誘客促進

展示施設と三面マルチ画面による迫力のある映像を広くPRすることにより誘客を促進し、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の魅力を広く発信します。

- ・和歌山県世界遺産センターのHPで世界遺産の魅力を情報発信
- ・モデルコースへの組み込みによる魅力アピール
- ・県が連携、協定しているスペイン、インドの世界遺産の資料を展示 等

◇世界遺産を次世代に継承するための取組

世界遺産を良好な状態で次世代に継承していくために、世界遺産への関心を高める様々な事業を実施します。

○世界遺産セミナー

広く一般の方を対象として、高野・熊野地方の歴史や文化・自然をテーマに年4回開催します（無料）。

○世界遺産入門

学校・団体を対象とした学習・啓発プログラムを実施します。

○世界遺産ゼミ・自由研究

- ・大学生を対象としたゼミの課外研修や卒業論文の研究等をサポート
- ・小・中・高校生を対象とした自由研究や総合学習等のサポート
- ・フィールドワークをしながら世界遺産の価値を学習

○講師派遣の実施

県内外のセミナーやシンポジウム、研修会等へ職員を講師として派遣します。

○次世代育成事業

小・中・高校生を対象として、世界遺産入門・現地ウォークなどを組み合わせた学習を実施します。

○保存活用団体連携促進研修事業

和歌山県、三重県、奈良県において活動している保存団体や語り部団体等を対象として、交流促進を目的に研修会と現地ウォークを実施します。

2019実績

◇世界遺産セミナー

- 第1回セミナー 「高野山麓の民俗－高野山への納骨習俗－」
＜時期等＞ 6月23日 橋本市教育文化会館 参加54人
＜講師＞ 藤井 弘章 氏（近畿大学文学部教授）
- 第2回セミナー 「映画・映像フィルムに見る熊野
－鉄道省『熊野路』（昭和12年）を中心に－」
＜時期等＞ 7月7日 世界遺産熊野本宮館 参加67人
＜講師＞ 松田 度 氏（大淀町教育委員会 主任技師）
- 第3回セミナー 「熊野の無社殿神社と自然信仰」
＜時期等＞ 9月1日 新宮市福祉センター 参加68人

<講師> 桐村 英一郎 氏 (三重県立熊野古道センター理事)
 ○第4回セミナー 「九度山町の世界遺産周辺の景観」
 <時期等> 12月15日 九度山町中央公民館 参加31人
 <講師> 山本 新平 氏 (九度山町教育委員会 社会教育指導員)

◇情報発信

名 称	掲載テーマ	発行日等
毎日新聞	世界遺産セミナー	6月29日
熊野新聞	世界遺産セミナー	9月3日

◇世界遺産入門

<参加> 32団体 計1,104人

活 動 日	団 体 名	場 所
4月22日	県立古佐田丘中学校	県立古佐田丘中学校
4月26日	県立古佐田丘中学校	町石道
5月10日	県立串本古座高等学校	県立串本古座高等学校
5月13日	燦々SUND会	熊野本宮館
5月14日	南海電気鉄道(株)新入社員研修	熊野本宮館
5月14日	富士古河E&C(株)	熊野本宮館
5月22日	田辺市立近野中学校	熊野本宮館
5月22日	田辺市立三里小学校	熊野本宮館
5月30日	奈良県立十津川高等学校1年1組	熊野本宮館
6月1日	(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ	熊野本宮館
6月3日	田辺市立本宮小学校	熊野本宮館
6月5日	南山大学附属小学校	熊野本宮館
6月6日	奈良県立十津川高等学校1年1組	熊野本宮館
6月8日	サントリー労働組合	熊野本宮館
6月22日	関西電力労働組合和歌山地区本部	高野山会館
6月27日	田辺警察署	田辺警察署道場
7月12日	田辺市立中辺路小学校	熊野本宮館
7月16日	田辺市立近野小学校	熊野本宮館
9月3日	近畿大学学生部	熊野本宮館
10月19日	富士ソフト(株)	熊野本宮館
10月28日	白浜町立日置小学校	白浜町立日置小学校
10月30日	県立新翔高等学校	熊野本宮館

10月31日	県立熊野高等学校	県立熊野高等学校
11月8日	菱洋エレクトロ(株)	熊野本宮館
11月19日	田辺市立三里小学校	田辺市立三里小学校
11月20日	和歌山花王会	熊野本宮館
11月20日	富士通(株)	熊野本宮館
11月29日	日本道路(株)	熊野本宮館
12月14日	住友商事(株)	熊野本宮館
12月14日	天神児童館	熊野本宮館
2月10日	那智勝浦町立市野々小学校	熊野本宮館
3月17日	保全活動ファミツアー	熊野本宮館

◇世界遺産ゼミ、自由研究等

<参加> 7回実施

活動日	参加者	場所
7月23日	東京都小学5年生	熊野本宮館
8月2日	岐阜県中学2年生	熊野本宮館
8月3日	名古屋大学学生	熊野本宮館
8月3日	和歌山市中学1年生	熊野本宮館
8月9日	兵庫県小学5年生	熊野本宮館
8月20日	すさみ町小学4年生	熊野本宮館
11月12日	和歌山大学学生	熊野本宮館

◇講師派遣

<参加> 17回実施

派遣日	派遣先名	場所
5月21日	世界遺産管理調整員研修会	県民文化会館
6月13日	近畿大学生物理工学部	近畿大学生物理工学部
6月14日	地域・観光を考えるゼミ	県立田辺高等学校
7月19日	地域・観光を考えるゼミ	県立田辺高等学校
8月30日	大分県教育庁若手職員勉強会	大分県庁別館
9月13日	地域・観光を考えるゼミ	県立田辺高等学校
9月18日	3年総学講演会	県立田辺高等学校
10月13、14日	特区通訳案内士養成研修	県民文化会館
10月25日	地域・観光を考えるゼミ	県立田辺高等学校

◇講師派遣

<参加> 17回実施

派遣日	派遣先名	場所
5月21日	世界遺産管理調整員研修会	県民文化会館
6月13日	近畿大学生物理工学部	近畿大学生物理工学部
6月14日	地域・観光を考えるゼミ	県立田辺高等学校
7月19日	地域・観光を考えるゼミ	県立田辺高等学校
8月30日	大分県教育庁若手職員勉強会	大分県庁別館
9月13日	地域・観光を考えるゼミ	県立田辺高等学校
9月18日	3年総学講演会	県立田辺高等学校
10月13、14日	特区通訳案内士養成研修	県民文化会館
10月25日	地域・観光を考えるゼミ	県立田辺高等学校
12月13日	地域・観光を考えるゼミ	県立田辺高等学校
12月14、15日	特区通訳案内士養成研修	和歌山県情報交流センターBig・U
1月6日	滋賀県立大学講義	滋賀県立大学
1月10日	地域・観光を考えるゼミ	県立田辺高等学校
1月28日	「四国八十八箇所霊場と遍路道」受入態勢の整備部会	高松サポート合同庁舎南館
1月30日	東洋大学講義	東洋大学

◇次世代育成事業

<参加> 30校 計 1,362人

活動日	学校名	場所
9月15日	県立海南高等学校大成校舎	高野町
9月20日	橋本市立城山小学校	高野町
9月27日	県立海南高等学校美里分校	高野町
9月30日	和歌山市立加太中学校	高野町
10月4日	橋本市立清水小学校	高野町
10月8日	慶風高等学校	高野町
10月11日	県立日高高等学校附属中学校	田辺市（本宮）
10月17日	印南町立印南中学校	高野町

10月21日	橋本市立恋野小学校	高野町
10月23日	由良町立由良中学校	田辺市（本宮）
10月24日	那智町立那智中学校	田辺市（本宮）
10月25日	県立桐蔭中学校	高野町
10月26日	県立田辺高等学校	田辺市（本宮）
11月1日	九度山町立九度山小学校	九度山町、高野町
11月7日	県立有田中央高等学校清水分校	高野町
11月14日	和歌山市立今福小学校	高野町
11月15日	和歌山市立楠見小学校	田辺市（本宮）
11月18日	海南市立日方小学校	田辺市（本宮）
11月21日	和歌山市立山口小学校	高野町
11月22日	田辺市立会津小学校	田辺市（本宮）
11月25日	新宮市立三輪崎小学校	田辺市（本宮）
11月26日	県立熊野高等学校	田辺市（中辺路町）
11月28日	橋本市立応其小学校	高野町
12月1日	紀の川市立貴志川中学校	田辺市（本宮）
12月5日	海南市立大野小学校	高野町
12月9日	新宮市立神倉小学校	田辺市（本宮）
12月10日	和歌山市立小倉小学校	高野町
12月11日	和歌山南陵高等学校	高野町
12月12日	和歌山市立東山東小学校	高野町
12月19日	有田市立箕島小学校	田辺市（本宮）

参詣道スタンプを活用した誘客促進

◇参詣道完全踏破のPRを通じた誘客促進

世界遺産追加登録に合わせ、新たに11か所のスタンプ台を設置するとともに、押印帳をリニューアルしました。

それに伴い、全てのスタンプを押印された方に和歌山四参詣道“^{スーパー}超”完全踏破証明書を発行し、リピーターを含め、更なる誘客を図ります。

また、「熊野古道押印帳の手引き（英語版）」を作成し、外国からのお客さまもスタンプラリーを楽しみながら参詣道を周遊できる取組を進めていきます。

○高野七口、熊野古道紀伊路、熊野古道大辺路押印帳の配布

各参詣道の魅力を盛り込んだ押印帳を観光案内所等で配布（配置）します。

○踏破証明書の発行

下記のスタンプ全てを押印した方に、それぞれ踏破証明書を発行します。

また、「熊野古道中辺路」及び「和歌山四参詣道」を踏破した方の中から、抽選でペア宿泊券を贈呈します。（年2回）

- ・「熊野古道中辺路踏破証明書」－熊野古道中辺路（36か所）
- ・「紀伊路踏破証明書（記念品付）」－熊野古道紀伊路（22か所）
- ・「高野七口踏破証明書（記念品付）」－高野七口（19か所）
- ・「大辺路踏破証明書（記念品付）」－熊野古道大辺路（15か所）
- ・「和歌山四参詣道完全踏破証明書」－熊野古道紀伊路・中辺路・大辺路・
高野七口（81か所）
- ・「和歌山四参詣道“^{スーパー}超”完全踏破証明書」－熊野古道紀伊路・中辺路・大辺路・
高野七口（92か所）

2019実績

◇参詣道完全踏破のPRを通じた誘客促進

○熊野古道中辺路（36か所押印）

<踏破者> 100人 累計 1,235人（平成20年10月～）

○熊野古道紀伊路（22か所押印）

<踏破者> 50人 累計 132人（平成29年3月～）

○熊野古道大辺路（15か所押印）

<踏破者> 42人 累計 106人（平成29年3月～）

○高野七口（19か所押印）

<踏破者> 49人 累計 124人（平成29年3月～）

○和歌山四参詣道（81か所押印）

<踏破者> 0人 累計 51人（平成25年9月～）

○超 完全踏破（92か所押印）

<踏破者> 18人 累計 61人（平成29年3月～）

「世界遺産 熊野古道ウォーキングナビ」の活用促進

各種観光パンフレットなどの印刷物にQRコードを掲載し、専用サイトへの誘導を図ります。

【世界遺産 熊野古道ウォーキングナビ】

熊野古道中辺路・大辺路・紀伊路、高野参詣道の標準的な54コースを難易度別に分類し、選択したコースにJR等の最寄り駅における出発日時を入力することで次の情報を得ることが可能

- ・最寄り駅からウォーク出発点までの交通手段（発着時刻）、所要時間、料金
- ・ウォーク途中の主な通過ポイントまでの時間、距離
- ・ウォーク到着点から最寄り駅までの交通手段（発着時刻）、所要時間、料金
- ・コースの見どころやルートマップ

2019実績

◇熊野古道ウォーキングナビ

<P V> 専用サイト 約4.1万回

IV 世界遺産登録15周年記念キャンペーン

2019実績

◇特別企画<三県連携>

○「吉野・高野・熊野スタンプラリー」の実施

<期 間> 7月27日～2年1月31日

<内 容> 和歌山県・奈良県・三重県内の世界遺産地域にスタンプ（各県5か所、計15か所）を設置

<賞 等> A賞：15周年オリジナル手ぬぐい（先着500人）

B賞：吉野・高野・熊野の特産品（約5,000円相当。抽選で5人）

○聖地巡礼ツアーの実施

<時 期> 9月18日～2年3月17日（計25本設定）

<内 容> 「吉野・高野・熊野」に「伊勢」を加えた4つの聖地を周遊、各県に1泊ずつする首都圏発着のツアー。参加者には15周年手ぬぐいに加え、3県にちなんだプチギフト等を進呈

○「世界遺産紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録15周年記念シンポジウム

<時 期> 10月23日

<場 所> 銀座フェニックスプラザ2F フェニックスホール

<参加者> 首都圏の旅行業者、メディア等 約180人

<内 容> ・基調講演「美しき日本を求めて」

東洋文化研究者 NPO法人簾庵トラスト理事

アレックス・カー氏

・展示連動企画記念トーク

「熊野古道を歩いています」

写真家 山本まりこ氏

・記念トークセッション

「世界が注目する紀伊半島のこれからの楽しみ方」

アレックス・カー氏、和歌山県知事、三重県知事、奈良県副知事



○特設WEBサイトによる情報発信

<期 間> 9月18日～2年3月31日

<内 容> 各県の見どころに加え、世界遺産社寺等での特別拝観、ライトアッ

ブ等の特別企画、記念イベントの紹介、モデルコース等の情報を掲載
載 <http://www.travel-kumanokodo.com/>

◇特別企画＜県単独＞

○紀伊山地の霊場と参詣道世界遺産登録15周年記念キャンペーンの実施

＜期 間＞ 10月1日～2年3月31日

○世界遺産社寺等での特別企画

＜内 容＞ ふだん見ることができない秘宝等の特別公開やライトアップ等を実施

高野山エリア

総本山金剛峯寺「奥殿」特別公開 など

熊野エリア

熊野本宮大社 「特別瑞垣内参拝」、大斎原ライトアップ

熊野速玉大社 記念特別展「熊野権現信仰の世界－熊野速玉大社の懸仏－」

熊野那智大社 宝物殿での特別展、那智の滝ライトアップ

○世界遺産以外の社寺での特別企画

日前神宮・国懸神宮、竈山神社、伊太祁曾神社、淡島神社、紀三井寺、紀州東照宮、和歌浦天満宮、玉津島神社、藤白神社、道成寺で実施

○15周年記念御朱印・特別御朱印

熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社、丹生官省符神社、丹生都比売神社、慈尊院で実施

○10万円プレゼントキャンペーンの実施

＜期 間＞ 10月1日～2年2月28日

＜内 容＞ 県内の宿泊施設で2泊以上した方の中から抽選で15名に10万円を贈呈。また、抽選に漏れた方の中から200名にプレミアム和歌山推奨品を贈呈

＜応募者＞ 635人

○「高野山・熊野を愛する100人の会」の発足

＜発足日＞ 9月3日

＜場 所＞ ホテルニューオータニ（東京）

＜内 容＞ 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録15周年にあたり、世界的評価が高まっている「高野山・熊野」の価値や魅力をさらに伝えるため、各界の著名な方にご賛同いただき「高野山・熊野を愛する100人の会」を発足

“和みわかやま”東京レセプション2019において、知事とメンバー7人が発足を発表

＜出演メンバー＞

荒俣 宏（博物学者、作家）、澤 和樹（東京藝術大学長）、辻本 好美（尺八奏者）、デューク更家（ウォーキングドク

ター)、濱口 道雄(ヤマサ醤油株式会社代表取締役会長)、
本谷 紗己(モデル)、夢枕 獏(作家)

<レセプション参加メンバー>

及川 眠子(作詞家)、石田ゆうすけ(旅行作家)、大森俊
之(作曲家)

<参加者> メディア関係・旅行会社等 348人

<賛同者数> 115人(2年3月末時点) 50音順・敬称略

氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
相川 七瀬	小野 直路	阪田 雅裕	田中 理恵	林 雅彦
遠北 光彦	甲斐 みのり	坂本 すが	谷口 維紹	早田 卓次
荒俣 宏	柏木 白光	坂本 冬美	谷口 博昭	半田 美永
有吉 玉青	片岡鶴太郎	澤 和樹	趙 海成	平野 啓子
安念 清邦	桂 小文枝	澤田 道隆	辻 省次	堀本 裕樹
石田ゆうすけ	金山 秋男	残間里江子	辻本 茂雄	本田 悦朗
泉 麻人	川井 郁子	塩地 隆三	辻本 好美	本谷 紗己
一柳 良雄	川島ケイジ	志賀 俊之	出口 光	松尾 泰伸
上島 達司	河田 恵昭	紫舟	デューク更家	松下 正幸
上野 顯	神崎 亮平	篠田 教夫	寺島 実郎	水森かおり
海老原 露巖	木村 陽子	島田 晴雄	土肥 芳郎	ミネハハ
袁 文英	金 周會	白洲 信哉	鳥井 信吾	宮崎 志郎
及川 眠子	九鬼 家隆	鈴木 理策	中上 紀	美山 良夫
王 紀言	クミコ	清家 篤	中島 由貴	山川 豊
大倉 正之助	久利 康暢	千賀 修一	中瀬ゆかり	山口 明夫
大森 俊之	コウケンテツ	添田 隆昭	中平 穂積	山口 春三
大家 一将	河野 俊行	高田 創	中辻 憲夫	山中 諄
岡野 玲子	古賀 絵里子	田川 寿美	丹生 晃市	山本 一力
岡本 玲	コシノジュンコ	高木 亮享	仁坂 吉伸	山本まりこ
萩野 アンナ	小嶋 淳司	武内 和彦	西村 幸夫	顔安
小黑 世茂	小西 博之	田嶋 幸三	西 陽子	夢枕 獏
男成 洋三	小宮山 宏	田中 和仁	濱口 道雄	A i k a (橋本恵子)
音無美紀子	坂井希久子	田中ひろみ	林 英哲	May J.

○「高野山・熊野を愛する100人の会」公式HP開設

<時期> 9月3日～

<内 容> メンバーの紹介をはじめ、メッセージ、サイン、匠インタビューなどを掲載 <https://koyasan-kumano100.jp/>

◇プロモーション<県単独>

○キャンペーンパンフレットによる情報発信

<時 期> 8月27日～2年3月31日

<内 容> 世界遺産社寺等での特別公開・ライトアップ等の特別企画、記念イベント等の情報を掲載

・規格等：本冊（40ページ）、キャンペーン小冊子（16ページ、ブックインブック形式）

・作成部数：12万部

<配布場所> サービスエリア（NEXCO 西日本・中日本）、わかやま紀州館、名古屋観光センター、JR、県内市町村、観光協会、観光施設等

○特設WEBサイトによる情報発信

<時 期> 8月27日～2年3月31日

<内 容> 世界遺産社寺等での特別拝観・ライトアップ等の特別企画、記念イベント等の情報を掲載

<https://15th.koyasan-kumano100.jp/>

○日本手ぬぐいを活用した協賛（団体旅行の造成促進）

<期 間> 10月1日～2年3月31日

<内 容> 「10名以上の団体、かつ、県内に宿泊」等の条件を満たした団体ツアーに、協賛として日本手ぬぐいを付与

<団体数> 3社（（株）読売旅行、（株）阪急交通社、アルファトラベル（株））

<配付数> 1,183枚（うち 熊野653枚、高野530枚）

◇JR西日本とのタイアップキャンペーン [詳細129頁](#)

◇阪神阪急グループタイアップキャンペーン [詳細119頁](#)

◇情報発信

○新聞、雑誌、WEB等

名 称	掲載テーマ	発行日等
トヨタファイナンス トヨタレクサス会員誌「moment（7・8月号）」	世界遺産15周年、熊野三山、かつらぎ、勝浦温泉	7月1日
サンケイ広告「my life（2019秋号）」	世界遺産登録15周年 高野山・熊野の旅	8月30日
ロカル運営委員会「ロカル和歌山」	世界遺産登録15周年 高野山・熊野の旅	8月31日 ～9月21日
朝日新聞社「朝日新聞（朝刊）」	東京レセプション（高野山、100人の会ほか）	9月6日
サンケイリビング新聞社「シティリビング大阪・神戸版」	世界遺産登録15周年 高野山・熊野の女子旅	9月13日
観光経済新聞社「観光経済新聞」	東京レセプション（高野山、100人の会ほか）	9月14日

中日新聞東京本社「東京新聞（朝刊）」	東京レセプション（高野山、100人の会ほか）	9月17日
旅行新聞社「旬刊旅行新聞」	東京レセプション（高野山、100人の会ほか）	9月21日
マチコミ（テレビ神奈川）	熊野エリアの魅力	9月25日
マチコミ（テレビ埼玉）	熊野エリアの魅力	9月25日
マチコミ（千葉テレビ放送）	熊野エリアの魅力	9月25日
阪急電鉄沿線情報誌「TOKK（10月1日号）」	世界遺産登録15周年	9月25日
情報スタジアム 4時！キャッチ（サンテレビ）	熊野エリアの魅力	9月26日
Station！（岐阜放送）	熊野エリアの魅力	9月27日
とってもワクドキ！（三重テレビ放送） とってもワクドキ！（三重テレビ放送）	熊野エリアの魅力	9月27日
NHK「関西ホットライン」	“紀伊山地の霊場と参詣道” 世界遺産登録15周年キャンペーン	9月27日
キラりん滋賀（びわ湖放送）	熊野エリアの魅力	9月27日
わくわく編集部（テレビ和歌山）	熊野エリアの魅力	9月27日
JTBパブリッシング ノジュール（10月号）	世界遺産登録15周年 高野山	9月30日
和歌山放送「ひるドキッ♪紀州路」	“紀伊山地の霊場と参詣道” 世界遺産登録15周年キャンペーン	10月3日
宝島社 「リンネル（11月号）」	世界遺産登録15周年 秋 の高野山と高野山麓	10月20日
旅行新聞新社 「旬刊旅行新聞」	三県連携15周年記念シン ポジウム	11月11日
マガジンハウス社 「Hanako.tokyo」	熊野古道トレッキングツア ー	11月20日～
「産経新聞」タブロイド紙	世界遺産登録15周年 高 野山・熊野の旅	11月30日

紀州浪漫（冬号）	高野山・熊野を愛する100人の会を発足	12月1日
人間会議（2019冬）	三県連携15周年記念シンポジウム	12月5日
ベストセラーズ「一個人（1月号）」	世界遺産15周年、熊野三山、熊野古道	12月9日

◇観光セミナーの開催

<時期> 2年2月3日、4日

<場所> 那智勝浦町体育文化会館、橋本市保健福祉センター

<参加者> 129人

<内容> 講演「美しき日本を求めて」

NPO法人麓庵トラスト理事長 アレックス・カー氏

V 二次交通

二次交通（路線バス）の利便性向上

◇リムジンバス・アクセスバスの運行 [詳細 146 頁]

主要駅や宿泊地から路線バスを利用して高野山や熊野に至るアクセスルートや周遊モデルプランを情報発信することで、海外を含む個人・グループ観光客の誘客を図ります。また、観光客の利便性を向上させるため関西国際空港から高野山を結ぶリムジンバス、京都駅から高野山を結ぶ高速バス、高野山から熊野エリアや高野山麓を周遊するアクセスバスの利用促進を図ります。

2019実績

◇リムジンバス・アクセスバス運行による情報発信 [詳細 148 頁]

VI 世界農業遺産

「みなべ・田辺の梅システム」が平成27年12月15日に世界農業遺産に認定されたことを契機に、観梅をはじめ、「梅」にちなんだ体験や工場見学（システム紹介）など、世界農業遺産の一つの象徴をうまく活用しながら、みなべ、田辺地域の梅の里への誘客を促進します。

受入対策

◇ガイド養成（みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会）

梅システムを紹介するジラス（世界農業遺産）マイスターを養成します。

また、「梅」に関連した観光素材に加え、世界農業遺産に認定された梅システムなどを紹介するための現地案内ガイドを養成します。

2019実績

◇ジラス（世界農業遺産）マイスターの養成（みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会）

<時 期> 12月7、16、14日、2年1月25日、2月1日
<内 容> 和歌山大学南紀熊野サテライト（令和元年後期学部 開放授業）
全4回の授業に必要数出席した者に修了証（仮）を交付し、協議会よ
り、「梅システムマイスター」に任命
<備 考> 参加者 和歌山大学生5人、一般社会人10人、高校生2人
うち修了証交付者 15人
うちマイスター登録者 9人

情報発信

◇県観光情報サイトによる情報発信

梅を使った料理などグルメ情報とも合わせて発信します。

2019実績

◇県観光情報サイト

<内 容> 「わかやまグルメ」コーナーの果物特集で梅と梅システムについて紹
介

(5) 『日本遺産』で和歌山を売り出す

文化庁が平成27年(2015年)に創設した「日本遺産」制度は、東京オリンピック・パラリンピックを契機に海外から訪れる観光客が地方を周遊するためのコンテンツとして、100件を目標に令和2年(2020年)まで認定が進められています。令和2年3月末日現在で83件が認定されている中、本県関係としては5件が認定されています。これらの日本遺産の認知度向上を図り、誘客に繋がります。

I 「鯨とともに生きる」(平成28年4月認定)

「鯨とともに生きる」については、“海の日本遺産”、“山の世界遺産”をキャッチフレーズに、熊野エリアへの誘客促進のための情報発信に努め、案内サインや情報発信拠点の整備、日本遺産ガイドの養成等受け入れ体制の充実を図るとともに、鯨料理や体験プログラムなどの観光商品の創出・販売支援を行ってきました。引き続き、エリア内への誘客や周遊の促進、滞在時間延長のため、観光商品の創出・販売支援を図るとともに、SNSやWEB等を活用し、同エリアの魅力を発信していきます。

情報発信

SNSやメディア等様々な媒体を活用し、国内外へ積極的に情報発信を行います。

◇SNS等による情報発信

<内容> Facebook等を活用した情報発信を行う

◇特設WEBサイトによる情報発信

<内容> 平成28年度に制作した特設WEBサイトを引き続き運営し、捕鯨文化と熊野エリアの魅力を総合的に情報発信

◇県観光情報誌「紀州浪漫」への掲載

<内容> 随時、新着情報を紹介

<展開> 全国のメディア、旅行会社、高速道路主要SA、書店(160店舗)等

2019実績

◇メディアの活用による情報発信

名称	掲載テーマ	発行日等
JTBパブリッシング 「るるぶ和歌山'20」	くじらキッチン	4月9日
月刊イザナギ(5月号)	熊野速玉大社・神倉神社	4月19日
アクティブな大人の休日向上マガジン Ferie	悠久の歴史をたどる旅 熊野	5月1日
月刊イザナギ(6月号)	熊野那智大社・那智山青岸渡寺	5月19日

紀州浪漫（夏号）	勢子舟の大型模型常時展示	6月1日
読売 Life（7月号）	鯨とともに生きる 熊野灘	7月1日
和歌山放送「ひるドキッ♪紀州路」	くじらに出会える海水浴場	7月18日
和歌山放送「ひるドキッ♪紀州路」	河内祭の御舟行事	7月25日
NHK「ギュギュっと和歌山」	紀南フィルム	8月30日
交通新聞社 「旅の手帖（11月号）」	日本遺産 鯨とともに生きる	10月10日
読売 Life（11月号）	神倉神社 ゴトビキ岩	11月1日

◇SNS等による情報発信

○フォトライタースキルアップ研修

<時期> 2年2月2日

現地研修（串本町古座）

2年2月6日～15日

写真展（72Gallery：東京都中央区）

2年3月21日～

写真展（田並劇場：串本町田並）

<内容> 著名な写真家（中川 正子氏）を講師として熊野灘エリアに招へいし、平成30年度のフォトライター養成事業を契機に結成し、日々地域の魅力や情報を発信している写真グループ「紀南フィルム」のメンバーをはじめとする地域の方々に、写真の技術やSNSによる発信技術の向上のための研修を行うとともに、参加者による写真展を首都圏とエリア内で開催。また、講師自らのSNSでも、同エリアの魅力を発信

○公式 Facebook による情報発信

<時期> 平成31年1月～

<内容> 発信回数 47回（うち今年度 13回）

フォロワー数 1,374人

◇ポスターの増刷

<部数> 200枚

<配置> 県庁、エリア内集客施設等

観光商品の造成・普及啓発

新たな観光商品の開発を支援するとともに、販売促進につなげます。

◇新たな観光商品開発支援

<内容> 『くじらキッチン』第2弾として、20～30才代の女性の観光客を

ターゲットに、鯨肉を活用した新たなランチを開発する事業者に対する支援を行います。

◇**ファミツアーの実施**

<内 容> 体験観光商品や食などを組み込んだメディアファミツアーを実施します。

2019実績

◇新たな観光商品の開発支援

○体験観光商品の情報発信支援

- ・体験メニュー紹介パンフレットを作成

<内 容> エリア内宿泊施設や集客施設等に配置

<部 数> 10,000部



◇ファミツアーの実施（新型コロナウイルス感染症対応により中止）

<時 期> 2年3月18、19日

<内 容> “海の日本遺産”と“山の世界遺産”をめぐる旅

<対 象> メディア

<行 程> サンドリア（昼食『くじらキッチン』）～神倉神社～道の駅たいじ～くじらの博物館（カヤックアドベンチャー等体験）～花いろどりの宿 花游（泊）
岩門～梶取崎～熊野古道大門坂～熊野那智大社・那智山青岸渡寺・那智の滝～道の駅なち（ミニわらざるり作り体験）～bodai（昼食『くじらキッチン』）～紀の松島めぐり遊覧船乗船～九龍島・鯛島（車窓）～、道の駅くしもと橋杭岩

◇日本遺産サミット in 高知への出展

<時期等> 10月12、13日 帯屋町アーケード

<内 容> 総合ガイドブック、くじらキッチンパンフレットによる観光PR

◇日本遺産PRイベント（日本遺産の日関連イベント）への出展

<時期等> 2年2月11～13日 有楽町駅前広場

<内 容> 総合ガイドブック、くじらキッチンパンフレットによる観光PR

II 「絶景の宝庫 和歌の浦」（平成29年4月認定）

平成29年度に日本遺産に認定された「絶景の宝庫 和歌の浦」については認定後、協議会を設立し、情報発信や受入体制の整備、地元の機運醸成に努めてきました。

今後は、観光遊覧船などの体験メニューや食事を組み合わせた楽しみ方を提案していくとともに、地域の皆さんが日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」のストーリーを理解していただき、この地域を訪れるお客さまにその魅力を語るができるよう機運を醸成していきます。

観光遊覧船などの体験メニューや食事、地域の人々のオススメの景色等、和歌の浦及び周辺地域での楽しみ方を紹介します。

◇ガイドブックの増刷

<内 容> 平成29年度に制作したガイドブックの掲載情報を更新・増刷

◇特設WEBサイトによる情報発信

<内 容> 平成29年度に制作した特設WEBサイトを引き続き運営し、和歌の浦エリアの魅力を総合的に情報発信

◇メディア対策

<内 容> 和歌の浦の楽しみ方を雑誌等で紹介

◇写真展の実施

<内 容> 地域の人々がおすすめする和歌の浦の景色等を募集し、写真展やWEBを通じて情報発信

2019実績

◇周遊促進ガイドブックの作成

<内 容> 日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」構成エリアのグルメや眺望ポイント、周辺地域の体験メニュー、マップ等を交えたガイドブックを作成し、県外SA等に配置

<部 数> 10,000部

◇メディア対策

・テレビ、雑誌等

名 称	掲載テーマ	発行日等
神戸新聞、南日本新聞、岐阜新聞、高知新聞 他	和歌浦、雑賀崎、黒江	4月5日
東京中日スポーツ	和歌山城、紀州東照宮	4月19日
日刊ゲンダイ	和歌の聖地 和歌の浦	4月24日
JTBパブリッシング ノジュール（7月号）	万葉集を旅する	6月30日
るるぶ&more.	日本遺産のまち和歌の浦でしたい7つのこと	8月28日
山陽新聞	日本遺産「和歌の浦」を訪ねて	12月27日
ウォーカープラス	和歌の聖地でのんびりと 和歌山市のみやびな日帰り旅	1月25日
Nasse 福岡	日本遺産 和歌の浦	1月25日
おでかけ大人旅	町並みの絶景 雑賀崎の町並み	1月31日

シティリビング大阪神戸版	フォトジェニックな風景に心洗われる旅	2月28日
--------------	--------------------	-------

○インフルエンサーによる情報発信

- <時 期> 8月30日
- <内 容> 絶景・体験に強いインフルエンサーを招へいし、和歌の浦の町歩きや体験、食事等を楽しむためのモデルコースを情報発信
インフルエンサー：ai ai 0311（フォロワー数：5.7万人）

◇シンポジウムの開催

- <時 期> 12月18日 ダイワロイネットホテル和歌山
- <参加者> 300人
- <内 容> ・基調講演

演 題：万葉の物語を旅する
講演者：里中満智子氏（マンガ家）

・地域芸能 「和歌祭 御船歌」

出 演：唐船御船歌連中

・パネルディスカッション

テーマ：いま伝えたい和歌の浦の魅力

コーディネーター：里中満智子氏

パネリスト：はな氏（モデル・タレント）

村瀬憲夫氏（近畿大学名誉教授）

坂口宗徳氏（和歌の浦観光協会会長）

吉村旭輝氏（和歌山大学特任准教授）



◇日本遺産サミット in 高知への出展 [詳細 57 頁](#)

◇日本遺産PRイベント（日本遺産の日関連イベント）への出展 [詳細 57 頁](#)

◇プレスツアーの実施

- <時 期> 12月17～18日
- <内 容> 和歌の浦の町歩きや観光遊覧船等の体験メニューを組み込んだプレスツアーを実施
- <参加者> 4社

◇わかやま偉人シンポジウムへの出展（新型コロナウイルス感染症対応により中止）

- <時 期> 2年2月22日
- <場 所> 明治大学

[活用のための整備]

2019実績

◇ビューポイント看板等製作設置

- <内容> 和歌の浦の景観を眺望出来るスポットにその景観にまつわるストーリー一等が解説されたビューポイント看板及び誘導板を整備。
- <場所> 玉津島神社、高津子山、雑賀崎、熊野古道藤白坂

Ⅲ 県内の日本遺産との連携

県内には、一町単独で申請し認定された日本遺産や県内自治体を構成メンバーとし他県の自治体が主体となって申請し認定された日本遺産もあります。

これらの日本遺産についても、様々なプロモーションの機会を捉えてPRを行います。

県内の日本遺産

「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅（平成29年4月認定・湯浅町）

「百世の安堵」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～

（平成30年5月認定・広川町）

1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～

（令和元年5月認定・

代表申請：滋賀県大津市、県内自治体：和歌山市、紀の川市、那智勝浦町）

Ⅳ 新たな日本遺産

本年1月に、本県から「きのくに 絵解きの聖地－旅人をもてなす絵解き文化が息づく地－」と「『葛城修験』－里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」の2つのストーリーを日本遺産に申請しました。

また、本県の市町が構成団体として参画する「日本最古の冒険物語『神武東遷』～The First emperor JINMU:Journey to the east～」(申請者：宮崎県宮崎市)、「女性とともに今に息づく女人高野～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～」(申請者：大阪府河内長野市)、「南氷洋に進路をとれ～近代捕鯨と鯨捕りの物語～」(申請者：山口県下関市)が申請を行っています。

これらのストーリーが認定された際には、関係市町及び団体と連携を図り、誘客を促進していきます。

協議会の設立

「日本遺産」ブランドの確立のため、行政・民間団体等で構成する事業主体を立ち上げ、それぞれの構成団体が協働して事業を推進します。

活用のための整備

◇案内板の設置

日本遺産の構成文化財に英語を併記した案内板を設置します。

人材育成・普及啓発

◇日本遺産ガイド(仮称)の養成

認定された日本遺産の魅力や構成文化財のストーリー中の位置づけをはじめ、周辺の観光資源を含め、訪れるお客さまに伝える人材を育成します。

◇観光事業者等に対する勉強会の開催

宿泊施設や飲食店を対象とした研修会等を開催し、受入体制の改善やおもてなし

の向上に努めます。

◇**シンポジウムの開催**

日本遺産を活用した観光振興等をテーマとしたシンポジウムを開催します。

情報発信

◇**特設WEBサイト及びガイドブックの作成**

多言語の特設サイト及びガイドブックを作成し、日本遺産を総合的に情報発信します。

(6) 『温泉』で和歌山を売り出す

本県の温泉は、源泉数が多く、豊富な湯量があり、また、県内の至るところに特徴ある温泉地が所在する「いで湯の国」です。その泉質も抜群で、年齢性別を問わず、本県への旅行目的の上位を占める観光素材です。

温泉の「泉質の良さ」や「かけながし」を前面に出し、世界遺産、食、自然など周辺の観光素材と組み合わせたプロモーションを行います。さらに、それぞれの温泉地が持つ特色や魅力を発信しつつ、各温泉地における観光関係団体と連携しながら「おもてなし」の向上などを図り、総合的な魅力アップにより誘客を促進します。

I 源泉かけながし

源泉かけながし

源泉数の多さや豊富な湯量、「山」、「海」、「川」と趣の異なる温泉に加え、抜群の泉質、源泉かけながしなど和歌山の温泉の魅力を発信します。

<内 容> 専用WEBサイトでの情報発信
「水の国、わかやま。」での情報発信 [詳細5頁](#)
県観光情報サイト「わかやま観光情報」での情報発信
各種パンフレットで紹介

2019実績

◇源泉かけながし温泉WEBサイト

<内 容> 県内の源泉かけながし温泉を掲載
(エリアや泉質による絞り込みなど検索機能を構築)
202, 879万PV(4月1日~2年3月末日)

◇「水の国、わかやま。」キャンペーンによる情報発信

<内 容> 「水の国、わかやま。」パンフレット、WEBサイトで温泉を紹介
[詳細7頁](#)

II おとなの白浜さんぽ

「日本三古湯」や「泉質の良さ」など、「温泉」を中心に白浜や椿、日置川エリアが元来持つ魅力をWEBサイトで紹介します。

情報発信

◇WEBサイトによる情報発信

○専用WEBサイトによる情報発信

<内 容> 白浜・田辺エリアの観光素材・周遊ルートを紹介します。

III 温泉地の誘客

温泉地の魅力アップ

◇南紀12湯推進協議会

県内各地にある泉質の良い温泉地への誘客・地域活性化に寄与するため、地域・旅行会社が連携して情報発信をします。

<内 容> 各地域ならではの旅行商品の企画・販売

◇和歌山市の温泉

- 「万葉」で誘客（加太、和歌浦、紀三井寺）

加太、和歌浦、紀三井寺は、歴史と景観に彩られた地です。万葉集には、これらの地域で詠まれた歌がいくつか収められており、万葉をテーマとした情報発信やイベントを行うことで、全国の万葉ファンの誘客を促進します。

- 「おさかなリゾート」で誘客（加太）

地元の美味しい鮮魚と海や島を活かした体験（伝統漁法見学、漁船クルーズ等）を組み合わせ、京阪神やインバウンドの観光客の誘客を行います。

◇南紀白浜温泉

- ワイキキビーチ姉妹浜提携20周年を契機とした誘客

白良浜とハワイ州ワイキキビーチの友好姉妹浜提携から20周年を迎えるにあたり、ハワイに関連したイベント等の実施により、白良浜の魅力向上、誘客につながります。

- 「しらはま和みコンシェルジュ」で周遊・滞在促進

白浜温泉旅館協同組合加盟施設の従業員が「コンシェルジュ」となり、自ら体験したおすすめの実験プログラムの紹介や手配、また、町内の隠れスポットなどの紹介を行います。

- アートによる白浜の新たな魅力付け

白浜温泉旅館協同組合と大阪芸術大学がコラボし、まちなかでのアート体験や白浜温泉の各ホテルでのコンサート、ライブペインティング等により白浜＝アートな町のイメージづくりにより白浜の新たな魅力付けを行います。

- 「ALL白浜」で周遊・滞在促進

ALL白浜“ここでしかできない旅”実行委員会（※）では、まちなかの周遊促進のための各種取組を実施します。

※構成 商工会、観光協会、旅館組合、町、県、商店街連合振興会、飲食業組合（平成22年に組織）

<主な取組>

- ・ランチプロジェクト「白浜 de ランチ」の実施
- ・おもてなしボランティア「ウェルカムサポーター」の運営 など

- 食の魅力「クエ」で誘客

観光協会、旅館組合、JR西日本、旅行会社等が連携し、安定供給が可能となった「クエ」を白浜の食として誘客に活用します。

- 多彩なイベントによる誘客

白浜の四季を彩るさまざまなイベント情報を発信し、誘客に繋がります。

◇龍神温泉

- 「日本三美人の湯」で誘客

龍神温泉は、弘法大師・空海が開き、紀州徳川家の湯治場となっていた由緒ある

温泉です。また、日本三美人の湯としても知られています。こうした魅力に併せて、世界遺産「高野山・熊野」への近接性などのメリットを主に女性層に発信し、誘客します。

◇熊野本宮温泉郷

世界遺産・熊野本宮大社の膝元に開けた熊野本宮温泉郷は、世界遺産「つぼ湯」が所在する古湯「湯の峰温泉」、毎年冬、河原を掘って作られる「仙人風呂」で有名な「川湯温泉」、アウトドアと大露天風呂が楽しめる「渡瀬温泉」と、それぞれ違った魅力を有しています。世界遺産にこれらの魅力を併せて発信することで誘客を促進します。

◇串本温泉

○豊かな自然で誘客

「ラムサール条約湿地」に登録されたサンゴの海、本州最南端の「潮岬・大島」、国名勝天然記念物の「橋杭岩」をはじめ、26年8月、日本ジオパークに認定された「南紀熊野ジオパーク」などの豊かな自然と新たに「カヤックフィッシング」や「SUP（スタンドアップパドル）」などのマリンアクティビティを加え、更に充実した体験プログラムと本州最南端の温泉で誘客と滞在を促進します。

○食の魅力「海の食材」で誘客

ブランド「しよらさん鯉」（プレミア和歌山）をはじめ、「まぐろ」「イセエビ」「トビウオ」など、海の食材には事欠かない串本の「食」を「本まぐろ養殖体験」などユニークな体験プログラムと組み合わせで発信します。

◇南紀勝浦温泉

○世界遺産を活用した誘客

世界遺産に近接するメリットを最大限に活用しつつ、温泉、グルメ、イベント、体験プログラムといった地域観光素材を組み合わせで魅力発信を行うことで、女性層をターゲットにした誘客を促進します。

○食の魅力「生まぐろ」で誘客

南紀勝浦の食を代表する「生まぐろ」を中心に情報発信することで「食」での誘客を促進します。まぐろをテーマとした各種イベント（まぐろ祭り、バル等）の実施や「生まぐろ食べ歩きマップ」による店舗紹介など、まぐろの町ならではのPRを展開します。

○海の魅力「ブルービーチ那智」で誘客

SUP（スタンドアップパドル）、海上遊具（ウォーターパーク）などの体験メニューやバーベキュースペースを開設するなど、海水浴場での楽しみ方を充実させ、世界遺産、温泉に次ぐ新たな魅力をPR展開します。

2019実績

◇南紀12湯推進協議会 発足式

<時期等> 2年2月5日 シティイン和歌山

<構成地> 1つの源泉を複数の施設が利用している温泉地。

わかやま、龍神、湯の峰、渡瀬、川湯、みなべ、白浜・椿、すさみ、串本、太地、南紀勝浦、湯川

◇和歌山市の温泉

○県観光情報誌「紀州浪漫」特集

<時 期> 冬号（12月1日）

<内 容> 世界遺産「高野山」の麓紀の川沿いの名湯を巡る

◇南紀白浜温泉

○しらはま和みコンシェルジュ（白浜温泉旅館協同組合）

<時 期> 26年4月～継続

<内 容> 体験プログラム案内担当（コンシェルジュ）を設け、体験プログラムの利用を促進

白浜周辺を含む体験事業者を募り、チラシ作成、施設各部屋に配置
コンシェルジュやフロントから予約

○白浜アートプロジェクト（白浜温泉旅館協同組合）

<時 期> 8月15～16日、11月2～3日、12月7日、1月18日、
2月22日

<内 容> 加盟施設でのコンサート等

<備 考> 大阪芸術大学と協働

○県観光情報誌「紀州浪漫」特集

<時 期> 冬号（12月1日）

<内 容> 大地が育んだ極上の湯を楽しむ

○シーサイドイルミネーション

<時 期> 12月7日～2年1月26日

<内 容> 白良浜遊歩道沿いに光のプロムナードを演出。ジャズやアカペラの
ライブコンサートを実施（大阪芸術大学と協働）

◇龍神温泉

○第3回高野山・龍神温泉ウルトラマラソン

<時 期> 6月9日

<内 容> 世界遺産・高野山と日本三美人の湯・龍神温泉の地を巡るマラソン
大会

<備 考> 参加者 100kmの部：379人、50kmの部：538人

○県観光情報誌「紀州浪漫」水の国、わかやま。フォト紀行

<時 期> 冬号（12月1日）

<内 容> 龍神温泉「上御殿の露天風呂」

◇湯の峰温泉

○県観光情報誌「紀州浪漫」特集

<時 期> 冬号（12月1日）

<内 容> 世界遺産「熊野」の湯 湯の峰編 日本最古の湯で蘇る

◇川湯温泉

○川湯温泉仙人風呂

<時期等> 12月1日～2年3月1日 来場者：約60,000人
<内容> 川を一部せきとめて作られる日本一大きな露天風呂
<備考> 新春！仙人風呂かるた大会
1月19日 参加者数：20組80人

◇串本温泉

○橋杭岩ライトアップ（串本町）

<時期等> 11月1～3日 来場者：約3,600人

○多彩なイベント展開（南紀串本観光協会ほか）

- ・橋杭海水浴場海開き（6月30日～8月31日）
- ・本州最南端の火祭り（2年2月1日） 2,000人

○イベント出展でのPR

- ・大阪フィッシングショー 2年2月8～9日

◇南紀勝浦温泉

○県観光情報誌「紀州浪漫」特集

<時期> 冬号（12月1日）

<内容> 世界遺産「熊野」の湯 南紀勝浦編 海景を望む名湯を訪ねて

○生まぐろを活用した誘客イベント

- ・第26回まぐろ祭り

<時期等> 2年1月25日 来場者：約13,000人

- ・生まぐろ出前解体ショー

- ・全国ご当地どんぶり選手権 in ツーリズム EXP02019 への参加

上記イベントにて紀州勝浦生鮪中とろカツ丼を販売するとともに、イベントに関連する印刷物やWEBメディアを通じ、那智勝浦町の生まぐろをPR

【参考】

◇温泉総選挙2019

<時期> 9月2日～12月20日

<主催者> 旅して日本プロジェクト実行委員会

<内容> 様々な部門賞を通じて温泉の効能や温泉地の魅力を広くPRし、国民へ温泉地の利用を促進することを目的として実施。

エントリー温泉地総数：128温泉地

<受賞> ①南紀勝浦温泉

- ・部門賞「歴史・文化部門」第1位（獲得票数4,578票）

②南紀白浜温泉

- ・部門賞「スポーツ・レジャー部門」第3位（獲得票数3,134票）

③やどり温泉いやしの湯

- ・部門賞「ファミリー部門」第3位（獲得票数2,871票）

<備考> 総投票数 199,766票

(7) 『自然の素晴らしさ』で和歌山を売り出す

本県は、海、山、川など、天与の観光資源である自然に恵まれ、心身のリフレッシュや景観を楽しむだけでなく、自然をフィールドにさまざまな体験を楽しむ観光客が増えています。

「水」をテーマにした「水の国、わかやま。」を通じて、新たな「和歌山の魅力」を発信するとともに、観光資源の開発やブラッシュアップを行います。

また、和歌山の自然を楽しみながら走るサイクリングルートの整備が進み、現在は、サイクリストに優しい宿や、サイクルステーションなど、受入環境の拡充に取り組んでいます。

水の造形でもある南紀熊野ジオパーク（県内の9市町村に所在）は、平成31年1月、日本ジオパークに再認定されました。これは、貴重な自然、そこから発生した自然崇拝や熊野信仰、人間の営み、豊かな温泉、食文化があり、それを地域の人々が保全し、活性化につなげる活動を継続して繰り広げてきたからこそ再認定されたもので、今後、世界ジオパーク認定に向けた取り組みを行います。

I 「水の国、わかやま。」 詳細 5 頁

滝や清流など水がもたらす本県の豊かな自然を盛り込んだパンフレット及び公式WEBサイト（日本語版、英語版）等により、国内外に「水の国、わかやま。」の魅力を広く情報発信します。

II 「サイクリング王国わかやま」 詳細 10 頁

県内全域を網羅するサイクリングロード、また、サイクリストに優しい宿やサイクルステーションの拡充を行い、豊かな自然の中、安全・安心かつ快適にサイクリングを楽しめる「サイクリング王国わかやま」として国内外に発信します。

III 南紀熊野ジオパーク

「ジオパーク」を活用した観光振興

◇南紀熊野ジオパークセンターの取り組み

- ・南紀熊野ジオパークセンターを南紀熊野ジオパークエリアの観光の情報発信拠点とし、地域への誘客を促進します。
- ・センター内に南紀熊野ジオパークガイドを常駐し、地域の様々な魅力を発信します。
- ・教育旅行の受け入れを推進します。

◇各種情報発信ツールやメディア展開

各種情報発信ツールやメディア展開において「南紀熊野ジオパーク」の魅力を発信し認知度向上・誘客促進に努めます。

◇「南紀熊野ジオパーク推進協議会」と連携した観光振興

平成26年8月に日本ジオパークに認定され、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組を進めている「南紀熊野ジオパーク」地域について、推進主体である南紀熊野

ジオパーク推進協議会と連携しながら、観光振興での活用を図ります。

○推進協議会の観光振興に係る主な事業

- ・協議会公式ホームページやSNSによる情報発信
- ・各種メディアを活用したPRを実施
- ・南紀熊野ジオパークガイド養成（エリア拡大講座・スキルアップ研修）
- ・南紀熊野ジオパークフォトコンテストの開催
- ・南紀熊野ジオパークフェスタの開催

【ジオパーク】

ヨーロッパで始まった地質や地形を見どころとする自然の公園。

貴重な地質や地形を含めた自然遺産を保全するとともに、ジオツーリズムを通して地球科学の普及や環境教育などを行い、さらに観光資源として活用することで地域の活性化を目指す。

世界ジオパークは、平成27年11月に世界遺産と同じユネスコの正式事業に承認された。

【南紀熊野ジオパーク推進協議会】

構成団体：県、新宮市、白浜町、上富田町、すさみ町、那智勝浦町、太地町、

古座川町、北山村、串本町の行政・教育委員会・経済団体及び奈良県十津川村

設立年月：平成25年2月

2019実績

◇南紀熊野ジオパークセンターの完成【主管：自然環境室】

＜時期＞ 7月27日正午オープン

＜場所＞ 串本町潮岬

◇「水の国、わかやま。」キャンペーンによる情報発信 [詳細6頁](#)

◇南紀熊野ジオパークガイド養成（エリア拡大）【主管：自然環境室】

＜内容＞ 「各エリアの主なジオサイト」（座学）

「ジオサイト現地実習」

「実技試験」

受講者10人 合格者10人

＜実施主体＞ 南紀熊野ジオパーク推進協議会

◇南紀熊野ジオパークフォトコンテスト【主管：自然環境室】

＜内容＞ 南紀熊野の地形や風景、自然の恵み、地元特有の動植物、歴史や文化、農業、漁業、地場産業やエリア内の人々の営みなど、南紀熊野の魅力を題材にした写真のコンテストを実施

＜応募数＞ 88人 延べ311作品

◇第7回南紀熊野ジオパークフェスタの開催【主管：自然環境室】

＜時期等＞ 2年2月15日 串本町文化センター・町立体育館 参加約600人

＜内容＞ 講演会、活動発表、展示、物産販売

＜実施主体＞ 南紀熊野ジオパーク推進協議会、近畿地方環境事務所

◇各種メディアでのPR

- ・旅行新聞社「旅行新聞」（発行日：2年1月21日）

- ・ JTBパブリッシング「ノジュール（3月号）」（発行日：2年2月27日）
- ・ サンケイリビング新聞社「シティリビング（大阪・神戸版）」
（発行日：2年2月28日）
- ・ 株式会社カカコム「icotto」（WEB）（掲載：2年3月13日～）

IV 自然を活用した誘客

自然とのふれあい

◇マリンスポーツ

地元市町村、観光関係団体・事業所等と連携した取組によりマリンスポーツに関する体験プログラムの利用者を増やし、滞在時間の延長と消費拡大につなげます。

◇アウトドアスポーツ

アウトドア関連の展示会等への出展を通して、本県にはアウトドアの素晴らしいフィールドが多くあることをPRし、誘客につなげます。

また、「ほんまもん体験プログラム」において人気の高いプログラムを積極的に情報発信することで、ファンを増やしリピーター化を図ります。

○アウトドア関連イベントへの出展

- ・ アウトドアフェス

<時期> 令和3年3月（予定）

<場所> 万博記念公園（吹田市）

2019実績

○アウトドアフェス（新型コロナウイルス感染症対応のため中止）

<時期> 2年3月7～8日

<場所> 万博記念公園（吹田市）

<主催> テレビ大阪株式会社

県立自然公園を活用した誘客

◇県立自然公園のイメージアップ【主管：自然環境室】 = New =

県立自然公園に対する関心を高めるため、情報発信を強化するとともに、誘客を促進します。

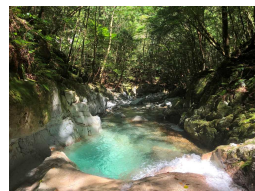
○県立自然公園ロゴの活用

県PRキャラクター“きいちゃん”を活用したロゴマークを制作し、パンフレットや看板等に広く使用し、公園の認知度向上を図ります。

○県立自然公園WEBサイトを活用した魅力発信

各県立自然公園のビューポイントや周遊コースの紹介等のページを制作し、「わかやま観光情報」WEBサイト等と連携し、広く県立自然公園の魅力を発信します。

○Instagram・Facebookを活用した情報発信



《大塔山県立自然公園》
（古座川源流域）

季節ごとのおすすめスポット、イベント案内やニッチな情報等を発信します。

◇**受入環境の整備**

○周遊コースの整備

幅広い世代に利用してもらえる登山コースに里程標等を設置します。また、安心して利用してもらえるよう歩道整備や防護柵設置等を行います。

○ビューポイントの整備

利用者が気軽に行ける景勝地に案内表示を設置します。

フォトライブラリーの活用

◇**フォトライブラリー**

WEBサイトを活用し、旅行会社等へ和歌山の魅力ある風景や観光スポットの写真を提供することにより、本県への誘客を促進します。

2019実績

◇情報発信力の強化

○写真ダウンロードサイト「和歌山県観光フォトライブラリー」の運用

<内 容> 申請 約926件（2年3月11日現在）

(8) 『食の魅力』で和歌山を売り出す

温暖な気候風土に恵まれた本県には黒潮で獲れる海の幸、梅やみかんをはじめとする山の幸があります。「食」は「温泉」などとともに旅行目的の重要な要素であり、地元の新鮮な食材を活かした特色あるメニューや郷土料理等を他の観光素材と組み合わせて情報発信することで誘客につなげます。

また、地域で人気のあるお店やカフェなど女性にうける店舗や、バルなどの地域等が新たに実施する「食」に関する取組について情報発信等を行います。

I 女性に人気のあるお店やカフェ

和歌山通がおすすめするグルメ情報

◇観光情報サイト内「わかやまグルメ」

随時、旬なグルメ記事を掲載。観光客が来店しやすいような店舗情報を掲載、更新することで誘客を図ります。

2019実績

◇和歌山通がおすすめするグルメ情報の発信

<時期> 4月1日～

<内容> 随時旬なグルメ記事や観光客が実際訪れられるよう店舗情報を掲載、更新

<実績> 計7テーマを更新

II 情報発信

「食」の情報発信

◇県観光情報サイトにおける情報発信

すべての情報発信の際に、旅の楽しみ方として最新グルメやご当地グルメなど「食」の情報や周辺観光スポットなどの情報をあわせて発信することで誘客を図ります。

◇地元グルメの情報発信

「地元ならではの食」や「地元の看板グルメ」を各種観光パンフレット等に掲載し、積極的に情報発信することで誘客に繋がります。

○和みわかやまっぷ with スタンプラリー（お得なクーポン付与）

県内のお食事処、お土産処、温泉・入浴施設をめぐるスタンプラリー。規定数のスタンプを集めて応募すると、宿泊券や県産品等を抽選で進呈。 詳細 116 頁

○県観光ガイド&マップ

○県観光情報誌「紀州浪漫」 など

2019実績

◇県観光情報サイトにおける情報発信

各地域、食材、季節毎に代表する「食材」を紹介

◇地元グルメの情報発信

○和みわかやまっぷ with スタンプラリー 詳細 117 頁

○県観光ガイド&マップ

県内主要路線・航路図・高速バスリニューアル

○県観光情報誌「紀州浪漫」

各号の特集などで旬の素材や地域グルメを紹介

(9) 『ほんまもん体験』で和歌山を売り出す

体験観光は、観光客が訪問先での滞在時間を延ばし、消費拡大につながる重要な観光素材です。自然、農林漁業や歴史文化、暮らしなどの地域資源を活かした体験型観光「ほんまもん体験」は約370のメニューがあり、これらを活用して和歌山を売り出します。

また、体験プログラムの中から、観光客のニーズと事業者受入体制が確立されているプログラムを選別し、これらを重点的に情報発信することで、利用者の増加を図ります。

「ほんまもん体験」を活用した修学・教育旅行は、県外の児童・生徒が「和歌山の魅力」に触れる絶好の機会であり、将来、和歌山を再訪する潜在的なお客さまを増加させるツールとして積極的な誘致活動を展開します。

I 「ほんまもん体験」を活用した修学・教育旅行の誘致 [詳細 109 頁]

「ほんまもん体験」を修学・教育旅行に組み込むことによる教育的効果が広く認められ、本県への修学・教育旅行が増加しています。この機を活かし、様々な学習・体験ができる修学・教育旅行を全国の学校に提案します。

また、訪日教育旅行は、学校交流や農山漁村生活体験を通じて、県内の児童・生徒や地域の方々が異文化を体験し、国際理解を深める機会にもなっています。今後も海外の旅行会社や学校に積極的にプロモーションを行い、さらなる誘致に努めます。

II 体験プログラムの魅力発信

体験プログラム情報発信等

◇「水の国、わかやま。」との連動 [詳細 5 頁]

「水の国、わかやま。」で水の体験アクティビティを紹介します。

◇「白浜ホテル」(しらはま和みコンシェルジュ)の拡大

体験者数の増加や周遊、滞在促進を図るため、白浜温泉旅館協同組合で行われている取組について、他の地域へも働きかけを行います。

※「しらはま和みコンシェルジュ」

白浜温泉旅館協同組合加盟のホテル・旅館の従業員が「コンシェルジュ」となり、自ら体験したおススメの体験プログラムの紹介や手配、また、町内の隠れスポットなどの紹介を行います。

また、専用チラシを作成し、加盟施設の旅館・ホテルの各部屋へ置くなど、体験プログラムの利用促進に努めています。

◇体験プログラムの情報発信

さまざまな媒体を活用して体験プログラムの情報発信を行います。

その際、利用状況や事業者からのヒアリング結果などから利用しやすい体験プログラムを選別し、それらをより強く情報発信します。

<内 容> 県観光情報サイトにおける専用ページでの紹介
パンフレットの作成・配布
イベント等における情報発信
プレスツアーへの組入れ

雑誌への特集記事掲載

◇**体験予約サイト会社を活用した情報発信** =New=

ほんまもん体験の利用促進につなげるため、予約サイト内特集コーナー等で県内体験事業をPRします。

◇**旅行会社へのセールス活動の強化**

団体での受入れが可能で、かつ、人気が高く利用しやすい体験プログラムを旅行会社に積極的に情報提供し、商品化に繋げます。

<内 容> 旅行会社訪問時の情報提供
旅行会社現地研修ツアーへの組入れ

◇**ワークショップを活用した取組の強化** [詳細 101 頁](#)

2019 実績

◇体験プログラムの情報発信

「わかやまほんまもん体験」パンフレットの更新 50,000部

◇Discover Japan 7月号 ナイトツーリズム特集への掲載

<時 期> 7月号〔発行日6月6日〕

<内 容> 高野山におけるナイトツーリズムについて、ナイトウォークを中心に紹介。

体験プログラムの魅力アップ・利便性向上

◇**地域観光関係団体による体験観光の利便性向上**

観光協会、旅館組合など地域観光関係団体を中心となって、周辺の体験プログラム等を積極的に情報発信することにより、地域への滞在と消費を促します。

◇**体験観光の開発** [詳細 5 頁](#)

◇**体験事業者及び紀州語り部のレベルアップ**

事業者研修会を開催し、旅行会社等の考え方や人気プログラムの背景を研修することにより、事業者自身が体験プログラムの充実や受入れ体制の強化に努めます。

また、紀州語り部のおもてなし力の向上を促す研修会等や相互連携を図る連絡会議を実施します。

○**県内体験事業者研修会の実施**

体験事業者やインストラクターを対象とした研修会を実施します。

<時期等> 3年1～3月頃 県内1か所

○**紀州語り部ガイドレベルアップ支援**

紀州語り部各団体等が独自で行うレベルアップ研修に対する助成を行います。

<対 象> 紀州語り部各団体等

○**紀州語り部連絡会議、研修会の実施**

紀州語り部登録団体・登録者間の交流、語り部の資質向上、相互連携を図るための研修会等を開催します。

<時期等> 3年1～3月頃 県内2か所（連絡会議）、県内外1か所から3か

所（研修会）

◇将来の地域人材確保に向けた取組

世界遺産の語り部などの将来的な人材不足を見据え、地域が求める次世代を担う人材の裾野を拡大します。

○紀州語り部 次世代担い手の育成

次世代を担う語り部を育成するために、各語り部団体・各市町村・市町村観光協会等と連携し、担い手となる各団体等への調整や周知を図ると共に、座学編、実践編、お見合い編と段階的な認知活動を進めてまいります。

<時期等> 9月～3年1月頃

<募集対象> 県内外の希望者

<募集方法> 紀州浪漫、県民の友 等

○世界遺産を次世代に継承するための取組 [詳細 42 頁](#)

○日本遺産ガイドの養成 [詳細 60 頁](#)

○和歌山県版通訳ガイド育成 [詳細 200 頁](#)

2019 実績

◇わかやま次世代語り部の育成

次世代を担う語り部を育成するために、各語り部団体・観光協会等にヒアリングを実施

<時期等> 2年2月20日

田辺市観光振興課（田辺市） 参加7人

<内容> 熊野古道の語り部団体である語り部の会熊野古道中辺路の会長と今後の事業案に基づく協議を実施

◇体験事業者及び紀州語り部のレベルアップ

○県内体験事業者研修会の実施

<時期等> 2年2月17日

和歌山県民文化会館（和歌山市）参加57人

<講師等> 講演「訪日インバウンドマーケット及び当機構によるKKdayへの支援について」

(株)海外需要開拓支援機構（クールジャパン機構）

投資戦略グループ アソシエイト 北本 諒 氏

講演「アジア圏からの訪日観光客における体験事業等のマーケットニーズについて」

kkday.com（ケイケイデー ドッド コム）

CEO 陳 明明（チン ミンミン）氏

CEO補佐兼通訳 王 子軒（オウ ジケン）氏

○紀州語り部ガイドレベルアップ支援事業

<支援内容> ガイドに要する知識・技術及びホスピタリティ向上等に要する研修会の費用の一部を支援

<支援団体> 4団体 古道語りべ熊野赤リュック、Mi-Kumano、
高野七口再生保存会、みなべ観光協会

○紀州語り部おもてなし研修会の実施

<時期等> 2年1月31日 和歌山県民文化会館 参加36人
西牟婁振興局 参加63人

<講師等> (有)自然倶楽部 代表兼フィールドアドバイザー 鎌鹿 隆美

<テーマ> 「ホスピタリティー（おもてなし）&リスクマネジメント（危機管理）を考える」

○紀州語り部覆面調査員派遣業務

<時期> 11～12月

<対象団体数> 3団体

<対象団体名> ①熊野古道紀伊路語り部の会、②古道語りべ熊野赤リュック
③熊野・那智ガイドの会

<内容> 語り部の電話予約時の対応から現地で語り部と共に歩き終わる
までの接客の状況やコミュニケーション能力を把握

○紀州語り部ガイド手引きの増刷

<規格> A5版、96頁

<部数> 500部

(10) 『ブランド』で和歌山を売り出す

近年、ロンリープラネットやAirbnbをはじめ、国内外から高評価を得ていることもあり、富裕層の訪日外国人観光客が急増している。本県にはグローバルブランドである「世界遺産」や「ミシュラン三つ星」に加え、「スピリチュアル」、「絶景」、「良質な温泉」など富裕層観光客の欲求を満たす観光資源が豊富にあるにもかかわらず、富裕層に対応できる宿泊施設が依然不足しています。富裕層向け宿泊施設の立地により、地域ブランドの向上や新しい顧客層の誘客が期待できることから、県では平成28年度に富裕層向け宿泊施設誘致のための奨励金制度を創設し、担当部局と協働して誘致に向けた取り組みを開始しました。さらに、昨年度には所有と運営が分離する開発スキームに対応した新奨励金制度に改定。富裕層向けの上質な宿泊施設の誘致に向けた活動をさらに強化します。

また、本県独自のブランドとして「高野山・熊野を愛する100人の会」や「和歌山県ふるさと大使」をはじめ、スーパースターなどを前面に出したPR活動を行います。県が委嘱している「和歌山県ふるさと大使」、「わかやまパンダ大使」、「和歌山県観光大使」、県観光連盟が委嘱している「わかやま応援団」や「和歌山ファンクラブ」の方々、また昨年世界遺産登録15周年を機に発足しました「高野山・熊野を愛する100人の会」の方々には、メディアや企業等、それぞれが関係するフィールドにおいて広く情報発信を行っていただくとともに、本県のスーパースターであるアドベンチャーワールドの「パンダファミリー」や和歌山電鐵貴志川線の「マネージャー駅長・ニタマ、スーパー駅長・よんたま」の世代を問わない人気や、安全で高品質な県産品として認定されたわかやまの逸品「プレミアム和歌山」など、ブランド力を活かしたプロモーションを実施します。

I 富裕層向け宿泊施設の誘致

そのエリアにストーリー性があり眺望や非日常感に優れる候補地を選定して、不動産投資事業者、宿泊施設運営事業者、その他関係事業者に対して提案活動を実施します。併せて、候補地における各種規制への対応や地元関係者との調整など、宿泊施設の誘致に向けた総合的な活動を実施します。

2019実績

◇県の誘致活動により開業が決定した宿泊施設

「(仮称)南紀白浜 和みの湯 花鳥風月」

立地場所：和歌山県西牟婁郡白浜町3729-32他

総客室数：全24室(全室半露天風呂付き)

雇用予定：20名(うち正社員従業員13名)

立地企業：株式会社京都プラザホテルズ(本社：京都府京都市南区)

開業予定：2年12月中旬(予定)

II ふるさと大使などによる情報発信

和歌山県ふるさと大使等によるPR

「和歌山県ふるさと大使（坂本冬美さん、小西博之さん）」や「わかやまパンダ大使（岡本玲さん）」、「和歌山県観光大使（袁文英さん）」には、さまざまな観光イベントなどに出演を依頼し、メディアを介して広く情報発信を行っていただきます。また、「わかやま応援団（現在33人）」「和歌山ファンクラブ（約900人）」の方々には、各人の持つ広い人脈を通して観光や県産品等の情報を発信していただきます。



2019実績

◇和歌山県ふるさと大使等によるPR活動

○ふるさと大使・坂本冬美さん

- ・「ねんりんピック紀の国わかやま 2019」総合開会式への出演
 <時期等> 11月 9日 紀三井寺公園陸上競技場

○ふるさと大使・小西博之さん

- ・「ねんりんピック紀の国わかやま 2019」ファッションショーへの出演
 <時期等> 11月10日 ビッグホエール

○わかやまパンダ大使・岡本 玲さん

- ・ふるさと祭り東京 2020
 <時期等> 2年1月12日
 <内容> 観光物産PRステージでのトークショー出演

Ⅲ パンダなどブランドを活用した情報発信

情報発信

◇日本一の飼育頭数を誇る「パンダ」を活用した誘客展開

アドベンチャーワールドにおいて、一昨年8月、2年ぶりにメスの赤ちゃんパンダ「彩浜（さいひん）」が誕生しました。引き続き、「パンダ＝和歌山」のイメージの拡大・定着を図るとともに、周辺の楽しみ方も含め情報発信に努めます。

○都市圏プロモーションにおける情報発信

- ・メディア、旅行会社訪問時にパンダ情報を紹介

○メディアを活用した情報発信

- ・テレビ、雑誌、新聞広告などによる情報発信

◇和歌山観光PRシンボルキャラクター「わかぼん」による情報発信

和歌山観光PRシンボルキャラクター「わかぼん」の露出機会を増やし、『パンダ＝和歌山』イメージの拡大・定着を図ります。

○「わかぱん」の全国的な露出拡大を図るため、大手企業とのタイアップを開拓・推進

○県内事業者等に、商品やパッケージへの「わかぱん」の使用を働きかけ

○各種プロモーション（メディア訪問等）実施時に「わかぱん」着ぐるみ登場

○「わかぱん」各種ノベルティ（シール、缶バッジ、絆創膏、ピンバッジ等）の活用

◇「パンダ」イメージプロモーション

○メディアを介した情報発信を期するため、「わかやまパンダ大使」の岡本 玲さんをイベントや観光情報等で起用

○県観光情報サイト、「わかぱん Twitter」等による旬のパンダ情報の発信

◇和歌山電鐵「たまⅡ世駅長・ニタマ」で誘客促進

全国的な知名度がある「マネージャー駅長・ニタマ、スーパー駅長・よんたま」や「いちご電車」「おもちゃ電車」「たま電車」「うめ星電車」といったユニークな電車が観光客を惹きつける和歌山電鐵とタイアップして貴志川線沿線の誘客を促進します。

○都市圏プロモーション [詳細 120 頁](#)

・メディア、旅行会社訪問時の紹介

○岡山市における情報発信

・同社が属する両備グループの岡山電気軌道(株)の路面電車「たま電車／わかやま応援館」を使用して岡山市において継続的な情報発信

2019 実績

◇旅行会社ファムツアーの実施 [詳細 115 頁](#)

◇プレスツアーの実施 [詳細 139 頁](#)

◇和歌山観光PRシンボルキャラクター「わかぱん」による情報発信

○企業とのタイアップ

県内外企業が発売する商品等に「わかぱん」を採用してもらい、露出を促進

・(株)近鉄百貨店和歌山店

<時期> 6月下旬～

<内容> 自社主催夏休みイベントデザインに使用

・東武トップツアーズ(株)

<時期> 6月下旬～

<内容> 旅行商品のパンフレットデザインに使用

・(株)JTBガイアレック

<時期> 7月下旬～

<内容> 旅行商品のパンフレットデザインに使用

・(株)近鉄百貨店和歌山店

<時期> 9月下旬～

<内容> 自社主催イベントの告知チラシデザインに使用

・(有)ジーエー

<時 期> 11月下旬～
<内 容> 自社商品「お菓子」パッケージデザインに使用

・大洋化学(株)

<時 期> 11月下旬～
<内 容> 自社製品のプラスチック食器デザインに使用

○露出拡大

「わかぱん」の誕生8周年を記念し、露出拡大のため下記取組を実施

・夏の白浜で観光客をおもてなし

「わかぱん」が夏休み期間中、白浜各地で観光客を歓迎

<時期等> 8月23日 白浜温泉旅館協同組合加盟宿泊施設
フィッシャーマンズワーフ白浜
白浜エネルギーランド

8月30日～9月1日

白浜温泉旅館協同組合加盟宿泊施設
アドベンチャーワールド

○着ぐるみによる露出

- ・ツーリズム EXPO ジャパン、関西ブロック広域観光振興事業実行委員会観光PR展等のイベント参加
- ・都市圏プロモーションの新聞社等への訪問に参加
- ・JR白浜駅長 など

IV アニメの活用

本県にゆかりのある「アニメ」の活用

本県にゆかりのある「アニメ」作品を集約し、本県出身の漫画家の協力を得ながら、ゆかりの地を巡る旅を提案・発信します。

◇イメージキャラクターの活用

本県出身の人気漫画家・助野嘉昭氏の協力により制作したアニメ系のイメージキャラクター「和歌みなみ」の等身大パネル等を各種プロモーションや媒体で活用します。

◇「わかやまアニメ旅」による発信

県観光情報サイト内「わかやまアニメ旅」において本県にゆかりのある「アニメ」作品や舞台となった地の情報を発信することで誘客（アニメ聖地巡礼）に繋がります。

2019実績

◇「わかやまアニメ旅」による発信

県観光情報サイト内「わかやまアニメ旅」において本県にゆかりのある「アニメ」作品や舞台となった地の情報を追加発信

○下を向いて歩こう

和歌山を舞台に繰り広げられる海辺の物語

V プレミア和歌山

プレミアム和歌山の活用

優良県産品（プレミアム和歌山）の販促活動と連携した観光プロモーションを実施することで、観光と物販の相乗効果を高めます。

また、各種キャンペーンにおける賞品等でプレミアム和歌山認定商品を積極的に活用し、認知度向上に努めるとともに、地域の特産品やお土産として観光的価値の高い商品について、積極的にPRを行います。

さらに、プレミアム和歌山の高品質な県産品をセレクトしたお土産PR冊子を宿泊施設に配置し、観光客の消費単価の向上、消費拡大につなげます。

◇厳選お土産パンフレット「premier SELECT－わかやまの逸品－」による情報発信

<時期> 随時

<内容> プレミア和歌山認定商品の中から高品質なものをセレクトするとともに、エリア毎におすすめのお土産や道の駅などの販売店舗をダイジェストで紹介。

<展開> 県内宿泊施設

◇特設WEBサイト「premier SELECT－わかやまの逸品－」による情報発信

<時期> 随時更新

<内容> お土産パンフレット「premier SELECT－わかやまの逸品－」の掲載内容をベースに内容を随時更新していきます。

<展開> 県観光情報サイト内に開設している特設WEBサイトに誘導
「和歌山の絶品グルメ」「和歌山のほんまもん体験」「和歌山の夜の楽しみ方」「premier SELECT－わかやまの逸品－」の各WEBサイトへ誘導するために纏めたリーフレットを県内宿泊施設（各部屋）に配置

2019実績

◇県観光情報誌「紀州浪漫」ミニ特集「紀州三昧」

夏号：黒沢牧場アイスクリーム、秋号：紀の川柿

冬号：幻のはたごんぼ、春号：熊野本宮・釜餅（よもぎ）

◇各種キャンペーンにおける賞品等の活用

水の国、わかやま。キャンペーン

和みわかやまっぷ with スタンプラリー

お国じまんカードラリー2019

都市圏プロモーション（メディア訪問）における読者プレゼント

Instagram 投稿キャンペーン 優秀作品プレゼント など

◇厳選お土産パンフレット「premier SELECT－わかやまの逸品－」の作成

<時期> 4月24日～

<内容> プレミア和歌山認定商品の中から高品質なものをセレクトするとともに、エリア毎におすすめのお土産や道の駅などの販売店舗をダイジェストで紹介。

<展開> 各市町村・観光協会、観光案内所、県内宿泊施設 など

◇特設WEBサイト「premier SELECT－わかやまの逸品－」の構築

<時 期> 4月24日～

<内 容> お土産パンフレット「premier SELECT－わかやまの逸品－」の掲載内容をベースに構築

(11) 『四季折々の魅力』で和歌山を売り出す

四季折々の表情を見せる和歌山の観光素材。その時期ならではの見どころや楽しみ方がたくさんあります。こうした情報に加え、特色ある祭りや地域イベントなど本県ならではの旬の情報をきめ細やかに発信します。

旬の情報発信

県観光情報誌やイベント情報チラシ、県観光情報サイト、ラジオ番組等で旬の情報をタイミングよく発信します。

◇県観光情報誌「紀州浪漫」 [詳細 92 頁](#)

<時期等> 年3回（9、12、3月）発行
各号10万部

<展開> 全国の旅行会社及びメディア、和歌山ファンクラブ会員、全国主要都市の主要書店約160店舗など

◇県観光情報サイト [詳細 93 頁](#)

旬のイベント情報、四季折々の見どころや楽しさを紹介します。

◇熊野古道の新たな見どころを情報発信 [詳細 33 頁](#)

地元の方しか知らない熊野古道の新たな魅力をWEBサイトで国内外に広く情報発信します。

◇ラジオ番組

○県内の主なイベントなどの観光情報をタイムリーに発信し、聴取エリアからの誘客を図ります。

<番組名> 和歌山放送
「つながるワイド」内の観光情報コーナー「ぐるっと紀州路」

<時期> 毎週木曜日 15時20分～約5分間

○関西の観光情報を発信

<番組名> NHK第1
「マイあさ！関西」内の「関西おでかけ情報」

近畿2府4県（6週に1回）毎週金曜日 7時46分～約5分間

2019実績

◇県観光情報誌「紀州浪漫」 [詳細 92 頁](#)

各号のミニ特集「紀州三昧」やイベントカレンダーで四季折々のお祭りやイベントなどを紹介

◇ラジオ番組

<放送日等> (※)はNHK第1、その他は和歌山放送

テーマ	放送日	場所	時期
菓子まつり	4月4日	海南市	4月6日

熊野本宮大社例大祭	4月11日	田辺市	4月13~15日	
わかやまの休日スタンプラリー わかやま歴史物語スタンプラリー 100 WAKAYAMA800モバイルスタンプ ラリー	4月12日	県内	4月27日~6月30日 ~3月20日 4月27日~3月22日	※
報恩高野市	4月18日	高野町	4月21日	
里山まつり	4月25日	岩出市	5月29日	
紀州九度山真田まつり	5月2日	九度山町	5月4・5日	
和歌祭	5月9日	和歌山市	5月12日	
心の癒し・お速夜ナイトウォーク	5月16日	高野町	5月20日	
第51回砂まつり大会	5月23日	白浜町	5月26日	
サイクリング王国わかやま	5月24日	県内	—	※
ゲンジボタル観賞	5月30日	有田川町	5月下旬~6月下旬	
高野山・龍神温泉ウルトラマラソン	6月6日	高野町 田辺市	6月9日	
紫陽花祭	6月13日	那智勝浦町	6月14日	
夏の味覚まつり	6月20日	すさみ町	6月15日 ~9月15日	
橋杭海水浴場海開き	6月27日	串本町	6月30日	
七夕・祇園祭	7月4日	和歌山市	7月7日	
水の国、わかやま	7月5日	県内	—	※
那智の扇祭り（那智の火祭り）	7月11日	那智勝浦町	7月14日	
くじらに会える海水浴場	7月18日	太地町	7月8日 ~8月19日	
河内祭の御舟行事	7月25日	串本町	7月27・28日	

御坊日高博覧会「御博」	8月1日	日高郡	7月7日 ～8月18日	※	
白浜花火大会	8月8日	白浜町	8月10日		
興国寺 火祭り	8月15日	由良町	8月15日		
ぶどう狩り	8月22日	かつらぎ町	8月22日 ～9月25日		
第27回富田川友遊フェスティバル	8月29日	上富田町	8月31日		
第43回湯浅まつり花火大会	9月5日	湯浅町	9月14日		
三輪崎八幡神社例大祭 渡御行列	9月12日	新宮市	9月15日		
加太サンセットライブ in 竹燈夜	9月19日	和歌山市	9月21日		
くどやまアートウィーク2019	9月26日	九度山町	9月29日 ～10月14日		
“紀伊山地の霊場と参詣道”世界遺産登録15周年キャンペーン	9月27日	県内	10月1日 ～3月31日		
“紀伊山地の霊場と参詣道”世界遺産登録15周年キャンペーン	10月3日	県内	10月1日 ～3月31日		
徳川家入国400年記念・特別展「徳川頼宣と紀伊徳川家の名宝」	10月10日	和歌山市	10月19日 ～11月24日		
第16回稲むらの火祭り	10月17日	広川町	10月19日		
ようおこしなして！青洲まつり2019	10月24日	紀の川市	10月27日		
いせえび味覚まつり	10月31日	すさみ町	10月15日 ～2月29日		
世界民族祭2019	11月7日	紀美野町	11月17日		
わかやま歴史物語	11月8日	県内	—		※
じゃばらの里の収穫祭	11月14日	北山村	11月17日		
第13回 田辺・弁慶映画祭	11月21日	田辺市	11月22～24日		
フェスタルーチェ in 和歌山マリナーシティ2019	11月28日	和歌山市	11月2日 ～3月1日		

白浜シーサイドイルミネーション	12月5日	白浜町	12月7日 ～1月26日	※
仙人風呂	12月12日	田辺市本宮町	12月1日 ～2月29日	
熊野那智大社	12月19日	那智勝浦町	年末年始	
和歌山県の名湯	12月20日	県内	—	
たいまつ押し	12月26日	かつらぎ町	12月31日	
湯の峰八日薬師祭	1月2日	田辺市	1月8日	
新春凧あげ大会	1月9日	有田市	1月11日	
すいせん祭	1月16日	由良町	1月19日	
まぐろ祭り	1月23日	那智勝浦町	1月25日	
加太の昼市	1月30日	和歌山市	2月1日	
御燈祭り	2月6日	新宮市	2月6日	※
南部梅林 紀州石神田辺梅林	2月7日	みなべ町 田辺市	2月1日～3月1日 2月8日～3月8日	
古座川の恵み発見フェス	2月13日	古座川町	2月15日	
南部梅林	2月20日	みなべ町	2月1日～3月1日	
紀州海南ひなめぐり	2月27日	海南市	2月15日 ～3月15日	
古座川桜フェア	3月5日	古座川町	3月3～31日	
紀三井寺開創1250年、秘仏御本尊 御開帳	3月12日	和歌山市	3月18日 ～6月28日	
桃源郷	3月19日	紀の川市	3月下旬～4月上旬	
和歌山県の桜の名所	3月20日	県内	—	
和歌山県植物公園緑花センター 臨時開園	3月26日	岩出市	3月31日	

◇「熊野古道の新たな見どころ100選」による情報発信 [詳細33頁](#)

祭り・イベント

伝統的な祭りのほか、奇祭、参加型イベントなどバラエティーに富んだ祭りの数々をタイミングよく情報発信し、誘客を図ります。

【紀州三大祭り】

- ・田辺祭（7月24～25日） 鬪雞神社（田辺市）
- ・粉河祭（7月25、26日） 粉河駅前通り（紀の川市） プレミア和歌山

【火祭り】

- ・那智の扇祭り（7月14日） 熊野那智大社（那智勝浦町） プレミア和歌山
- ・高野山万燈供養会（ろうそく祭り）（8月13日）
金剛峯寺／奥之院（高野町）
- ・本州最南端の火祭り（1月最終土曜） 潮岬望楼の芝焼き（串本町）
- ・御燈祭（3年2月6日） 神倉神社（新宮市） プレミア和歌山
- ・生石高原の山焼き（3年3月） 生石高原（紀美野町・有田川町）

【有名な祭り】

- ・湯登大祭（4月13～15日） 熊野本宮大社（田辺市本宮町）
プレミア和歌山
- ・花盛祭（4月第2日曜日） 丹生都比売神社（かつらぎ町）
プレミア和歌山
- ・齋刺祭（10月第1土曜日） 大宮神社（岩出市） プレミア和歌山
- ・みかん祭（10月第2日曜日） 橋本神社（海南市）
- ・笑い祭（10月第2日曜日） 丹生神社（日高川町）
- ・奉納花相撲（泣き相撲）（10月中旬）
山路王子神社（海南市）
- ・隅田八幡神社の秋祭（10月上旬） 隅田八幡神社（橋本市） プレミア和歌山
- ・御船祭（10月16日） 熊野速玉大社（新宮市） プレミア和歌山
- ・ひな流し（3年3月3日） 淡島神社（和歌山市）

【市民参加型イベント】

- ・砂まつり（秋頃） 白良浜（白浜町）
- ・弁慶映画祭（11月） 田辺市内
- ・南紀おやじバンドコンテスト（12月上旬）
上富田文化会館（上富田町）

2019実績

祭りやイベント等について、県観光情報サイト、県観光情報誌「紀州浪漫」、イベントカレンダー、マスコミ等を通じて広く情報発信

2 和歌山へ招く

(1) 『メディアを活用』して和歌山へ招く

「和歌山の魅力」の発信は、本県観光戦略の主軸であり、なかでもメディアの活用は、最も重要な施策です。近年、ロンリープラネットやAirbnb、ガイジンポットなどの国内外からの高評価を連続して得ているのは、明らかに各種メディアからの情報発信の成果であるといえます。引き続き、県観光情報誌「紀州浪漫」の全国展開に加え、「世界遺産」「女子旅」などのブランド力やマーケットの注目度の高いテーマと「まだまだ知られていない和歌山の魅力」をテレビ、ラジオ、雑誌、新聞、WEB及びSNS（Facebook、Twitter、Instagram）などとの組み合わせに加えインフルエンサーの活用などにより効果的かつ効率的に発信します。

また、有名自転車メーカーなどの企業とのタイアップやCSR活動の推進により企業のブランド力とパブリシティを活用するとともに、大都市圏等でのプロモーション活動においても、プロモーション実施地域のテレビ、新聞などのメディアから情報発信を行います。

さらに、映画やテレビ番組等のロケ地を誘致するフィルムコミッション活動を展開し、映像を通じた魅力発信を図ります。

番組制作、記事掲載の促進

◇企画提案活動の実施

テレビ、ラジオ、雑誌、WEBなどの各種メディアに対し、それぞれの媒体のコンセプトやターゲット層にマッチした観光素材やキャンペーンの提案活動を推進します。

◇企業とのタイアップ事業、企業のCSR活動による広報展開

トレッキングやマリンスポーツ、サイクリングなどを展開するメーカーなどの企業とのタイアップや企業がCSR活動を広報するため実施しているパブリシティを積極的に活用します。

◇SNSを活用した情報発信の実施

サイクリング、アウトドア、グルメなど各分野に影響のあるインフルエンサーを招致し、それぞれのSNSで魅力を発信していただきます。

<時期> 随時

◇阪急阪神グループタイアップキャンペーン 詳細 119 頁

◇都市圏などでのプロモーション活動における情報発信 詳細 120 頁

都市圏やターゲットとする地域において実施する複合プロモーション活動の一環として、地域のテレビ局や主要新聞社などを訪問し、ニュースや記事等で旬の情報を発信します。

◇各種イベント・事業での情報発信

○世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサートにおける情報発信 詳細 34 頁

○その他の事業

「10万人の参詣道環境保全トレッキング」、「世界遺産三県連携事業」、「ほんまもん体験」などの事業を展開するなかで、雑誌、フリーペーパーなどを活用し、本県の魅力を発信します。

◇広告展開

コンベンション、スポーツ合宿などのターゲットに確実に訴求できる専門誌や季刊誌への広告掲載や各種キャンペーン、旬の情報等の雑誌、新聞広告を実施します。

◇旬の情報発信

レジャー記者クラブの会員やメディアに対し観光情報を随時メールで発信します。

◇わかやま紀州館の取組 [詳細 135 頁](#)

わかやま紀州館が東京都心に位置することを活かし、情報発信効果の高い首都圏の各種メディアに積極的にアプローチすることにより情報発信を促進します。

2019 実績

◇企画提案活動

本県の露出拡大を目的に、メディアや企業等へのセールスを実施

<時 期> 5月

<訪問先> 東京の企業等 3社

(株) ゴールドウィン、トムス・エンタテインメント、日経BP

<内 容> 「サイクリング王国わかやま」を中心に県内の最新情報を紹介

<時 期> 6月

<訪問先> 東京のメディア 3社

(株) マガジンハウス、スターツ出版(株)、(株) 宝島社

<内 容> 世界遺産登録15周年「紀伊山地の霊場と参詣道」を中心に県内の最新情報を紹介

<時 期> 6月

<訪問先> 大阪のアウトドアメーカー 1社

(株) ゴールドウィン

<内 容> タイアップ企画「熊野古道トレッキングツアー」を中心に県内の最新情報を紹介

<時 期> 7月

<訪問先> 名古屋のメディア 2社

(株) 名古屋リビング新聞社、(株) ゲイン

<内 容> 高野山・熊野の世界遺産登録15周年を中心に県内の最新情報を紹介

<時 期> 9月

<訪問先> 東京のメディア 1社

(株) 世界文化社

<内 容> タイアップ企画「熊野古道トレッキングツアー」を中心に県内の最新情報を紹介

<時 期> 9月

- <訪問先> 関西圏のメディア等 15社
 (株)ベネフィットワン、(株)KADOKAWA、(株)昭文社、北陸放送(株)、日本経済新聞社、(株)ガイアックス など
- <内 容> 高野山・熊野の世界遺産登録15周年を中心に県内の最新情報を紹介
- <時 期> 9、10月
- <訪問先> 名古屋のメディア等 2社
 (株)ゲイン、(株)名古屋リビング新聞社
- <内 容> 高野山・熊野の世界遺産登録15周年を中心に県内の最新情報を紹介
- <時 期> 11月
- <訪問先> 首都圏のメディア 1社
 (株)世界文化社
- <内 容> 高野山・熊野の世界遺産登録15周年を中心に県内の最新情報を紹介
- テレビ、ラジオ (一部再掲)

媒体名	テーマ	発行日等
NHK 「ギュギュっと和歌山」	紀の川サイクリング	4月26日
TBS系列 「ウォーターカラーズ」	「水の国、わかやま。」の美しい水辺	6月9日、16日、23日
NHK-BS プレミアム 「ニッポンぶらり鉄道旅」	内山りゅう氏が紹介する「水の国、わかやま。」	6月20日

○新聞、フリーペーパー等

名 称	掲載テーマ	発行日等
JTBパブリッシング 「るるぶ和歌山'20」	サイクリング王国わかやま	4月9日
「読売新聞」大阪版	わかやま歴史物語100スタンプラリー	4月24日
小学館 「BE-PAL (6月号)」	サイクリング王国わかやま	5月10日
「毎日新聞」大阪版	わかやま歴史物語100スタンプラリー	5月29日
ハースト婦人画報社 「FORTUNA 夏号」	高野山の温泉と見どころ	6月
朝日生命保険総合会社 月刊「SANSAN」	「水の国、わかやま。」の見どころ	7月1日
サンケイ広告 「my life (2019 秋号)」	世界遺産登録15周年 高野山・熊野の旅	8月30日
スターツ出版 OZの女子旅 EXP02019	「水の国、わかやま。」写真パネル展示	9月25～29日

文芸春秋 「CREA（8・9月号）」	サイクリング王国 ポタリングの旅	9月1日
日経BP社 「日経ヘルス（10月号）」	サイクリング王国 絶景サイクリング	9月2日
ゲイン 「KELLY（11月号）」	那智山スカイランタンフェ スタ	9月23日
柊出版社 ムック本 「BiCYCLE CLUB SELECTION」	WAKAYAMA 800「温泉・梅、 水の国、桃・桜ライド」	10月10日
ガイドワークス ムック本「自転 車と泊まる宿 2019～2020」	サイクリストに優しい宿	10月25日
流行発信 「おでかけ大人旅①歴史巡り」	熊野三山	10月30日
流行発信 「Cheek（12月号）」	大門坂茶屋	11月23日
「産経新聞」タブロイド紙	世界遺産登録15周年 高 野山・熊野の旅	11月30日
中日新聞 夕刊	熊野古道と中上健次	11月15日
スターツ出版 「OZ TRIP（1月号）」	「水の国、わかやま。」特集 とカレンダー付録	12月7日
流行発信 「おでかけ大人旅 特別保存版」	古座川町、由良町、湯浅町、 田辺市、白浜町	1月20日
流行発信 「Cheek（2月号）」	寺社仏閣特集（金剛峯寺、青 岸渡寺）	1月23日
京阪神エルマガジン社 「SAVVY（4月号）」	紀北エリアの春旅	2月22日
中日新聞「伊勢志摩南紀特集」	伊勢・志摩・南紀の観光と産 業	2月25日
流行発信 「Cheek（5月号）」	春の和歌山で熊野女子旅	3月23日
流行発信 「おでかけドライブ」	春の和歌山で熊野旅	3月31日

OWEB等

媒体名	テーマ	発行日等
ロカル運営委員会 「ロカルわかやま」	世界遺産登録15周年 高野山・熊野の旅	8月31日 ～9月21日
マガジンハウス社 「Hanako. tokyo」	熊野古道トレッキングツア ー	11月20日～

◇企業のCSR活動による広報展開

[詳細 104 頁](#)

- ◇和歌山県×阪急阪神グループ「今が旬わかやまキャンペーン」 詳細 121 頁
- ◇大都市圏などでのプロモーションにおける情報発信 詳細 123 頁
- ◇各種イベント・事業での情報発信
 - 世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサートにおける情報発信 詳細 35 頁
 - 10万人の参詣道環境保全活動 詳細 37 頁
 - 世界遺産セミナー 詳細 43 頁
 - 熊野古道見どころ100選 詳細 33 頁
 - 「水の国、わかやま。」キャンペーン 詳細 6 頁
 - サイクリング王国わかやま 詳細 17 頁
 - わかやま歴史物語 詳細 21 頁
 - 日本遺産「鯨とともに生きる」 詳細 55 頁
 - 日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」 詳細 58 頁
 - リムジンバス・アクセスバス 詳細 148 頁
 - 和みわかやまキャンペーン事業 詳細 117 頁
 - 旬の情報ほか 詳細 83 頁
- ◇わかやま紀州館 詳細 135 頁

県観光情報誌による情報発信

◇県観光情報誌「紀州浪漫」

県観光情報誌「紀州浪漫」は発刊から18年が経過し、本県を代表する観光情報誌として定着しています。

引き続き、旬の観光情報とマーケットニーズに即応する誌面を制作し、主要書店を始め全国に情報発信します。

<時期等> 年3回（9、12、3月）発行
各号10万部

<配布> 全国の旅行会社及びメディア、和歌山ファンクラブ、全国主要都市の主要書店約160店舗 など

2019実績

◇観光情報誌「紀州浪漫」特集面

○夏号（6月）「聖地へ巡礼」

世界遺産登録15周年「紀伊山地の霊場と参詣道」を中心に紹介

○秋号（9月）「わかやま歩き旅」

歩くから見える景色に出合える和歌山の魅力を紹介

○冬号（12月）「心も体も癒す 極上の湯の旅」

「白浜温泉」「湯の峰温泉」「南紀勝浦温泉」をはじめ、県内の温泉とその周辺スポットを紹介

○春号（3月）「わかやま歴史物語 春色の和歌山へ」

「根来寺」「エルトゥールル号」「西国三十三所」の物語と関連するスポットを

「わかやま観光情報」「わかやま紀州館」サイトによる情報発信

◇県観光情報サイト「わかやま観光情報」からの情報発信

「水の国、わかやま。」、「サイクリング王国わかやま」、「わかやま歴史物語」、「高野山」「熊野古道」「グルメ」等、常時アクセス頻度の高いコンテンツバナーをトップページに配置し、和歌山の旅の魅力を発信します。

○和歌山県観光情報サイト「わかやま観光情報」リニューアル **=New=**

見やすく、親しみやすく、情報提供をしやすいホームページを目指しリニューアルを予定しています。

○和歌山のグルメ情報の提供

随時旬なグルメ記事を掲載します。

○写真ダウンロードサイト「和歌山県観光フォトライブラリー」の運営

法人・旅行会社の皆さまに使用いただけるよう、写真データを集めたダウンロードサイトを運営します。

<掲載数> 約1,000枚(随時更新)

○源泉かけ流し温泉

エリアや泉質による絞り込みなどの検索機能を付加し、バラエティに富んだ源泉かけ流し温泉の魅力を発信します。

○ほんまもん体験

約370の体験プログラムを紹介します。予約時期、ジャンル・エリア別等の検索機能により容易に体験したいプログラムが見つかります。

○旬の観光情報発信

旬のイベントやおすすめ情報、四季折々の見どころや楽しさを時期に応じて紹介します。

○イベント情報、観光スポット情報の検索

日付、エリア、キーワードなど、利用者の目的に合った検索が可能なわかりやすいサイトづくりを行います。

○利用者ごとの情報発信

旅行会社、学校など法人向けのページにより、教育旅行やコンベンションなどの情報を発信します。

◇県観光情報サイト「わかやま紀州館」からの情報発信

わかやま紀州館サイトの観光・物産・イベント・講座などの各種情報を随時更新し、首都圏向け情報発信の強化を図ります。

2019実績

◇情報発信力の強化

○和歌山通がおすすめするグルメ情報の運営

<時期> 4月1日～

<内 容>	随時旬なグルメ記事を掲載。観光客が実際に訪問できるよう店舗情報を掲載、更新
<実 績>	計7テーマを更新
○写真ダウンロードサイト「和歌山県観光フォトライブラリー」の運営	
<時 期>	平成29年1月10日～
<内 容>	観光連盟が使用権等を有する写真データを、インターネットを通じて法人・旅行会社の皆さまに使用いただけるよう、申請機能を付加したシステムを運営
<申請数>	約1,000件

SNSを活用した情報発信

◇Twitter・LINEの連動による和歌山観光情報の多角発信

県・県観光連盟主催のキャンペーンやイベント情報のみならず、各地域から情報を集約して発信します。

- わかばん Twitter (@wakayamakanko) 平成23年 8月開設
- わかやま紀州館 Twitter (@soon_wakayama) 平成22年10月開設
- わかやま紀州館 LINE (@wakayamakisyukan) 平成24年12月開設

◇Facebookを活用した情報発信

個人旅行者の旅行意欲やサイクリストの来県を喚起するため、日本・和歌山の四季の魅力、観光地やイベントなどの情報を随時発信します。

- WAKAYAMA 800 サイクリング王国わかやま Facebook ページ 平成30年1月開設
- 水の国、わかやま。Facebook ページ 平成30年9月開設
- 鯨とともに生きる Facebook ページ 平成31年1月開設
- 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」～高野山、熊野、熊野古道～Facebook ページ 令和 元年6月開設

◇Instagramを活用した情報発信

観光客誘客を目的に近年、急速にユーザー数を増やしている写真・動画共有ソフト「Instagram」を用い、県内各地の観光資源を世界に発信します。

- 観光振興課 Instagram (nagomi_wakayama_tourism) 平成27年5月開設
- Instagramを活用した投稿キャンペーンの実施

- <時 期> 随時
- <内 容> 和歌山県オフィシャル「@insta_wakayama」をフォローし、「#グッドトリップ和歌山」「#(撮影スポット名等)」を付けて投稿いただいた中から入選作品を選定し、「わかやま観光情報」サイト内の専用ページで紹介するとともに、同「フォトライブラリー」でも掲載・活用します。

2019実績

- ◇Twitter・LINEの連動による和歌山観光情報の多角発信

○わかばん Twitter (@wakayamakanko)

<実績> フォロワー 7,851人
ツイート 2,692件

○わかやま紀州館 Twitter (@soon_wakayama)

<実績> フォロワー 約 7,200人
ツイート 約 16,500件

○わかやま紀州館 LINE (@wakayamakisyukan)

<実績> 登録者 約 4,600人
配信頻度 月に2回程度

◇Facebook を活用した情報発信

○水の国、わかやま。

<実績> 発信回数 30回 (うち今年度18回)
フォロワー数 6,361人

○WAKAYAMA800 サイクリング王国わかやま

<実績> 発信回数 151回 (うち今年度41回)
フォロワー数 5,269人

○世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」～高野山、熊野、熊野古道～

<実績> 発信回数 49回 (うち今年度49回)
フォロワー数 12,065人

○鯨とともに生きる

<実績> 発信回数 47回 (うち今年度13回)
フォロワー数 1,374人

◇Instagram を活用した情報発信

○和みわかやま (nagomi_wakayama_tourism)

<実績> 投稿数 339回 (うち今年度11回)
フォロワー数 7,768人

<内容> 和歌山の絶景、温泉、食、体験アクティビティ、旬の観光情報などを紹介

◇Instagram 投稿キャンペーン

○「和みわかやまっぷ with スタンプラリー」 [詳細 117 頁](#)

○「WAKAYAMA800モバイルスタンプラリー」 [詳細 13 頁](#)

○「#グッドトリップ和歌山」

<時期> 4月1日～2年3月20日

<投稿数> 25,661件 (3月20日現在)

<内容> ・和歌山県内を訪れて写真を撮影
・和歌山県公式アカウント「@insta_wakayama」をフォロー
・ハッシュタグ「#グッドトリップ和歌山」「#(撮影スポット名等)」を付けて投稿
・毎月入選5作品を選びWEBサイトで紹介
・フォトライブラリーへ掲載

フィルムコミッション

ジャパン・フィルムコミッションのネットワークを積極的に活用し、業界関係者に強く働きかけ、映画やテレビ番組等のロケを誘致することで、映像を通じた魅力発信と認知度向上を図ります。

◇ジャパンフィルムコミッション全国ロケ地フェア 2021 への出展

<時期等> 3年1月頃 東京

<内容> 国内外の映像関係者との人脈作りやロケ地の魅力発信を実施

◇ロケ地情報等発信

わかやまフィルムコミッション専用サイトによるロケ適地等の情報を発信

◇ロケ実施支援

情報提供、ロケハン・ロケ協力、エキストラの動員、市町村等との連携

◇ロケ誘致活動

首都圏制作会社等への営業活動（年4回程度）

2019 実績

◇ロケ受入れ担当者研修会

<時期等> 5月14日 和歌山県自治会館 参加25人

<対象> 県内各市町村等フィルムコミッション担当者

<内容> 「FCの現状と課題／FC業務にかかる法令等について」

<講師> NPO法人ジャパンフィルムコミッション
事務局長 関根 留理子 氏

◇ジャパンフィルムコミッション全国ロケ地フェア 2020 への出展

<時期等> 2年1月23日

東劇ビル（東京都）

<内容> 国内外の映像関係者が一堂に会するイベントに近畿ブロックとして出展し、本県の魅力を発信

◇ロケ実施支援

ロケ実施支援 27件

種 別	放送局・番組等タイトル	ロケ等時期 公開時期
映画	「燃えよ剣」	4月16・19・20日 5月22日
〃	「ソワレ」	7月5～24日 2年8月頃（予定）
〃	「ひとつぼっち」	12月4～9日 2年4月頃（予定）
〃	「陽へむかう」（大阪芸術大学卒業制作）	1月18～27日 2年4月頃（予定）

〃	「KUMANO RISING」(オーストラリアドキュメンタリー映画)	1月31～2月6日 2年6月頃(予定)
テレビ	NHKワールド「Kintsugi Wellness」	4月6・7日 1月15日
〃	テレビ朝日「科捜研の女 第7話・8話」	4月15・16日 5月30日・6月7日
〃	フランスTV番組「M6 Turbo」	6月17・18日 1月8日
〃	朝日放送夏の全国高校野球ショートドラマ「青空ふたたび」	7月3～5日 8月6日～(全10話)
〃	関西テレビドラマ「猪又進と8人の喪女」	10月3・6日 10月24日～(全8話)
〃	AbemaTV「恋する♡週末ホームステイ」	6月17・18日 1月8日
〃	e○光チャンネル「御食国関西」	11月13日 3月頃(予定)
〃	ネットフリックスドラマ「今際の国のアリス」	11月23日～12月2日 2年12月頃(予定)
〃	NHK-BS「柳生一族の陰謀」	1月12・13日 2年4月11日
CM等	女性アイドルグループ「リリシク学園」プロモーションビデオ	4月1日 5月26日
〃	「MS&AD ホールディングスWEB CM」	4月17・18日 7月12日
〃	アイドルグループ「AMEZARI」プロモーションビデオ	5月5・6日 5月26日
〃	女性バンド「バウンダリー」プロモーションビデオ	5月12日 6月22日
〃	インディーズバンド「ロマネ」プロモーションビデオ	5月17・18日 6月10日
〃	通販CM番組「快適生活」	6月21日 8月17・24日
〃	海外向けTV販売番組「DEDICATED TO KUKAI」	7月25日 1月30日
〃	月刊誌婦人公論「江原啓之が行く！ペットとスピリチュアルに暮らす」	9月11・12日 12・1月号
〃	シンガーソングライター「みのべありさ」ミュージックビデオ	9月30日 調整中

〃	インディーズバンド「ジグザグ」ミュージックビデオ「Promise」	3月6日 3月30日
〃	電動バイク「glafit」WEB CM動画	3月15日 調整中
〃	車雑誌「VIP STYLE 6月号」	3月25日 2年4月26日（予定）
〃	インディーズバンド「ザム」ミュージックビデオ「Love Satisfaction」	3月27日 2年4月頃（予定）

◇ロケ誘致活動 28社

＜時期等＞	4月22～23日	都内映画・テレビ等制作会社	7社
	10月11日	〃	4社
	11月11～12日	〃	6社
	1月24日	〃	2社
	6月14日	在阪映画・テレビ等制作会社	4社
	8月28～29日	〃	5社

＜備考＞ 主な訪問先

OXYBOT（株）、（有）ウルフエイジ、ランプ（株）、（株）交通タイムス、（株）ブースタプロジェクト、（株）ダブ、（株）日本国際放送、（株）ザ・フール、（株）地域活性プランニング、（株）東北新社、（株）田園工房、（株）東京グラフィックデザイナーズ、（株）クールジャパン機構、（株）ロボット、（有）キリシマ1945など

(2) 『ターゲットごとのプロモーション』で和歌山へ招く

日本の旅をリードしているのは女性です。旅の決定権を握り、口コミ、SNSでの情報発信力も高く、雑誌などのメディアの露出量も圧倒的に多くなっています。本県には、「スピリチュアル」「聖地」「癒し」など女性が好む要素を多く持つ世界遺産や温泉、絶景などの観光地が多数存在することから、「女性層」をメインターゲットとした誘客により、和歌山のイメージアップと情報の拡散を促進します。

また、有名自転車メーカーなどの企業とのタイアップやCSR活動を推進することにより、企業のブランド力やパブリシティを活用した誘客を促進します。

さらに、年金旅行、コンベンション、教育旅行、スポーツ合宿など具体的なターゲットに対し誘致活動を実施するとともに、ワーケーション推進による本県での中長期的な滞在を促進します。

I 若い女性層をターゲットの中心とした誘客戦略

女性誌を中心に多くのメディアにおいて「和歌山の魅力」を発信することで、若い女性層はもちろんのこと、その家族や友達といった幅広い観光客層にまで拡大した誘客促進を行います。

◇メディア展開

東京、名古屋、大阪、福岡など大都市圏の女性層に高い支持のある雑誌を中心にメディアを活用した魅力発信を実施します。

◇女性集客企画への参画

女性への発信力が高いメディア等の企画に積極的に参画し、魅力的でかつ効果的なPRを展開します。

2019実績

◇メディア展開（女性向け）

○雑誌、新聞、フリーペーパー等

媒体名	テーマ	発行日等
文芸春秋 「CREA（8・9月号）」	サイクリング王国 ポタリングの旅	7月7日
日経BP社 「日経ヘルス（10月号）」	サイクリング王国 絶景サイクリング	9月2日
宝島社 「リンネル（11月号）」	世界遺産登録15周年 秋の高野山と高野山麓	10月20日
マガジンハウス社 「Hanako.tokyo」	熊野古道トレッキング ツアー	11月20日～
スターツ出版 「OZ TRIP（1月号）」	「水の国、わかやま。」 のカレンダー付録	12月7日

京阪神エルマガジン社 「SAVVY（4月号）」	紀北エリアの春旅	2月22日
----------------------------	----------	-------

Ⅱ 大手企業とのタイアップ推進

◇大手企業とのタイアップ施策の展開

和歌山県の観光戦略とマッチする有名自転車メーカーなど、大手企業とタイアップし、企業側のパブリシティを最大限に活用することで、本県への誘客につながる取組を実施します。

2019実績

◇世界有数のスポーツバイクメーカー「TREK」とのタイアップ

<時期> 通年

<内容> メディア露出の際に撮影用バイクを無償で借りるなど、そのブランド力を活かして発信。また、サイクリング系メディアを活用した情報発信を行い、ターゲットに向けダイレクトに発信



◇アウトドアブランド「HELLY HANSEN」とのタイアップツアー

<時期> 11月2～3日

<内容> 「世界遺産熊野三山・熊野古道中辺路をめぐる旅」
熊野本宮大社、熊野那智大社、那智山青岸渡寺、
熊野速玉大社、発心門王子、大門坂など
宿泊：那智勝浦町内



<参加> 28人

Ⅲ プレミアムフライデーを活用した誘客

プレミアムフライデーにより新たに生まれた時間を使って観光や宿泊を伴った旅行などで和歌山にお越しいただくため、宿泊施設等へ特別宿泊プランの造成について働きかけを行い、誘客促進に努めます。

◇プレミアムフライデー向け特別宿泊プラン造成の協力要請

遅い時間帯の夕食、割引クーポンなどのプレミアムフライデー向け特別宿泊プラン造成への協力を宿泊施設へ要請します。

◇情報発信

- 県観光情報誌「紀州浪漫」による情報発信
- 県観光情報サイトによる情報発信
- フリーペーパー等による情報発信

* プレミアムフライデーとは

平成29年2月24日から始まったプレミアムフライデーは、企業が従業員に毎月最終週金曜日午後3時終業を呼びかけ、以後は買い物や飲食、レジャーを楽しんでもらう取組で、経済産業省、経団



連、及び15の業界団体が個人消費への刺激を狙って企画したものです。

2019実績

◇プレミアムフライデー特別宿泊プラン

<内 容> 遅い時間帯の夕食、プレゼント付プラン、割引などお得な宿泊プランを特設WEBサイトで紹介

<掲載数> 3施設（2年3月27日現在）

◇ライトアップ企画

<内 容> 紀三井寺諸堂（和歌山市）、徐福公園ライトアップ（新宮市）
ポルトヨーロッパ「フェスタ・ルーチェ」開催（和歌山市）

※フェスタ・ルーチェ・冬季限定のイルミネーションイベント

◇体験アクティビティの活用

和歌山ならではのプレミアムな体験メニューを特設WEBサイトで紹介

<内 容> 高野山奥之院ナイトツアーや古座川でのカヌー体験など全22メニュー

◇情報発信

○特設WEBサイト「プレミアムフライデーわかやま」の更新

<内 容> 特別宿泊プラン、特別企画、イベント等

○県観光情報誌「紀州浪漫」

<時期等> 冬号（12月1日） イベント情報

<内 容> フェスタ・ルーチェの紹介

◇その他

<内 容> 「週末は聖地へ ～時忘れの旅～」（高野山）

[詳細 34 頁](#)

IV ワークেশョンの推進を通じた誘客

リモートワーク等の情報通信技術（ICT）を活用した新しい働き方の一つである「ワークেশョン」を加速し、和歌山県が「ワークেশョン」の適地であることを全国に先駆けて積極的にPRしていきます。

特に、首都圏では東京2020オリンピック・パラリンピック開催期間中の交通混雑回避に向けた取組として、テレワークの推進や計画的な休暇取得がうたわれており、この取組にあわせ、首都圏の企業等を中心に、ワークেশョンによる本県での中長期的な滞在を働きかけ、誘客を促進します。

※ワークেশョンとは

リゾート地等の環境の良い場所で、休暇や研修などを兼ねて短中期的に滞在し仕事を行う取組で、休暇の促進だけでなく、地域主体との協働や地域の資源を活用したイノベーションの創出や新しい生き方の発見等に繋がる働き方。

◇Wakayama Workation Project2020による誘客促進 =New=

東京2020オリンピック・パラリンピックを見据え、ワークেশョンによる誘客を促進するため、首都圏でのプロモーション活動を強化します。

<内 容> ・首都圏での取組との協働

国が進める「テレワーク・デイズ」や東京都の「スムーズビズ」などと協働することにより、効果的な誘客を促進

◇ワーケーション受入企業の拡大及び情報発信【主管：情報政策課】 =New=

ワーケーション向けにサービスを提供する事業者を「Wakayama Workation Networks」として紹介し、本県のワーケーション受入体制を構築します。

2019実績

◇ワーケーション体験プログラム「親子ワーケーション」提供 【主管：情報政策課】

<時期> 8月

<場所> 白浜町・串本町

<内容> 首都圏在住の親子を対象として、アウトドアをテーマに「親子ワーケーション」プログラムを提供。参加者のうち、ワーケーション体験モニター協力者から、レポートや意見をフィードバックしてもらい、県の施策立案やPR等に活用

<県が提供した環境・活動等>

- ・ワークスペース等テレワーク環境の手配（WORK×ation Site 南紀白浜（三菱地所）、ホテル&リゾート和歌山串本会議室、Wi-Fi モバイルルーターの貸出等）
- ・アドベンチャーワールドでパンダ見学、橋杭海水浴場での生き物観察、串本海中公園バックヤードツアー、南紀熊野ジオパークセンター見学、トルコランプ作りなど本県の自然、歴史・文化に触れる学びの機会及びアクティビティを提供

<参加者> 8家族（大人11人、子供12人）

◇関係人口創出・拡大事業の実施 【主管：情報政策課】

<時期> 7月～2年2月

<場所> 田辺市・白浜町

<内容> 主に首都圏の企業を対象として、和歌山県の田辺・白浜地域における若手事業者等の課題解決に係る地方創生研修を、ワーケーションを活用しながら東京都内（2回）及び和歌山県内（3回）で実施。首都圏企業の次世代リーダーと、県内若手事業者等との課題解決に向けた協働を通じて、双方の成長を同時に促進することにより、関係人口の創出を目指す。本事業は、総務省が募集する「関係人口創出・拡大事業」モデル事業に、県が提案し採択され、実施

<参加者> 首都圏企業14社15名、県内事業者3業種3名

◇ワーケーションモニターの募集 【主管：情報政策課】

<時期> 5～9月、11月～2年2月

<内容> 和歌山県外の在住者を対象にワーケーションモニター協力者を募集、本県でワーケーションを実施した後にレポートを作成・提出いただくことで、モニター協力費を支払う。当該レポートは県ホームページ等のコンテンツとして掲載するほか、県のワーケーション事業のPR、

	ワーケーション人口の拡大、リピーター創出等に活用
<協力者>	37人（企業等24人、フリーランス13人）（2年2月現在）
◇ワーケーション自治体協議会の設立	【主管：情報政策課】
○「ワーケーション・スタートアップ！」の開催	
<時期>	7月
<場所>	東京都
<内容>	和歌山県知事と長野県知事が、ワーケーション自治体協議会（ワーケーション・アライアンス・ジャパン）の設立に向けた宣言文に署名式を行うとともに、各協賛企業からのワーケーションに関連する講演を実施
<実施団体等>	主催：（一社）日本テレワーク協会、共催：和歌山県、長野県
<参加者>	約400人
○ワーケーション自治体協議会設立総会及びワーケーション・フェスタ in アキバ！の開催	
<時期>	11月
<場所>	東京都
<内容>	7月の宣言文を踏まえ、ワーケーション自治体協議会設立総会を行い、65団体（1道6県58市町村）を会員として協議会を正式に設立。設立記念イベントとして各協賛企業からのワーケーションに関連する講演及び各自治体のPRブースを設けたミニ EXPO を実施。
<実施団体等>	主催：（一社）日本テレワーク協会、共催：和歌山県、長野県
<参加者>	約280人
◇取組状況	【主管：情報政策課】
○本県でのワーケーション実施（4～12月）	38社 約270人（県把握分）
<内容>	地域交流、テレワーク、観光、CSRなどを実施
<参加>	主に首都圏の企業や個人 など

V CSRによる世界遺産保全活動の推進

◇世界遺産の保全活動をテーマとした誘客

「道」が世界遺産であり、誰でも世界遺産の保全活動に携わることができる特性を活かしたこの活動は、世界遺産の保全と活用という本来は相反する2つのテーマを同時に実践できることから、全国から注目されており、多くの企業に参加をいただいています。

今後も、CSR関連メディアや提案活動などにより、さらなる参加の拡大を目指すとともに、企業の広報と連携し、世界遺産のブランド力を高めます。

また、ワーケーションに取り組む企業に、世界遺産の保全活動をメニューの1つとして組み入れていただけるよう働きかけを行うなど、誘致の活動を広げていきます。

○誘致活動

企業・団体への提案活動を展開します。（目標100社）

<時期> 通年

<対象> ワークーションに積極的に取り組む企業、上場企業、CSR活動に熱心な企業・団体等

○保全活動体験ツアー

CSR担当者やメディア向けの保全活動体験ツアーを実施します。

<時期等> 12月頃 熊野

○情報発信

- ・CSR活動に関心の高い企業等が交流・情報交換を行う場である「毎日メディアカフェ」に参加し、イベントとクロスメディアを組み合わせた情報発信により、企業による保全活動を促進します。
- ・環境やCSRに特化した情報誌等への記事掲載による保全活動の認知度向上を図ります。

2019実績

◇誘致活動

○企業訪問等

関西圏や首都圏の企業等を対象に訪問や道普請の案内文書を送付し、保全事業への参加を依頼

<実績> 企業等 64社訪問、案内文書 400社に送付うち3社実施

○保全活動ファムツアー開催 [詳細 40 頁](#)

◇情報発信

○経済誌等での保全活動の紹介 [詳細 40 頁](#)

○企業のCSR活動による広報展開

名称	掲載テーマ	発行日等
読売新聞	世界遺産CSR	6月24日
紀伊民報	世界遺産CSR	6月29日

○企業のCSRレポート等

(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ、南海電気鉄道(株)、日本電通(株)、(株)阪急交通社、(株)紀陽銀行、日本道路(株)、阪和興業(株)、富士古河E&C(株)、富士ソフト(株)、菱洋エレクトロ(株)、(一社)日本旅行業協会関西支部、(公財)市川国際奨学財団

◇企業CSRの環境保全活動実績 [一部再掲 38 頁](#)

(合計：29団体 959人)

活動日	企業・団体名	活動場所
4月13日	さわかみ一般財団法人	中辺路(伏拝、三越峠)
4月19日	(株)紀陽銀行	中辺路(式水)
4月20日	南海電気鉄道(株)	中辺路(伏拝)
5月14日	南海電鉄(株)新入社員研修	中辺路(伏拝、祓殿)

5月15日	富士古河E & C(株)	中辺路(式水、伏拝)
5月16日	富士古河E & C(株)	中辺路(祓殿)
5月19日	KDDI(株)	中辺路(祓殿)
5月24日	三菱電機(株)冷熱システム製作所	中辺路(伏拝)
5月25日	日本電通(株)	高野参詣道 (女人道お助け地蔵)
6月1日	(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ	中辺路(式水)
6月1日	(一社)日本旅行業協会関西支部	中辺路(祓殿)
6月8日	サントリー労働組合	中辺路(祓殿)
6月22日	関西電力労働組合和歌山地区本部	高野参詣道 (女人道お助け地蔵)
6月25日	森トラストホテルズ&リゾーツ(株)	中辺路(伏拝)
9月7日	さわかみ一般財団法人	中辺路(三越)
9月16日	(株)阪急交通社	高野参詣道 (女人道お助け地蔵)
9月21日	さわかみ一般財団法人	中辺路(八木尾)
10月20日	富士ソフト(株)	中辺路(伏拝)
10月26日	花王(株)和歌山事業場	中辺路(式水)
11月3日	市川国際奨学財団	中辺路(伏拝)
11月8日	菱洋エレクトロ(株)	中辺路(伏拝)
11月20日	富士通(株)	中辺路(祓殿)
11月23日	(一社)和歌山県損害保険代理業協会	中辺路(伏拝)
11月23日	スターティア(株)	中辺路(伏拝)
11月29日	日本道路(株)	中辺路(伏拝)
12月7日	さわかみ一般財団法人	中辺路(伏拝、祓殿)
12月8日	新明和工業(株)	高野参詣道 (町石道40町石)
12月14日	住友商事(株)	中辺路(伏拝)
2月1日	阪和興業(株)	中辺路(伏拝)

VI 信用金庫等の年金旅行誘致

信用金庫が実施するいわゆる年金旅行等の誘致を促進するため、きのくに信用金庫、

新宮信用金庫、信金中央金庫と連携し、全国の信用金庫や旅行会社に積極的に提案活動を行います。（平成28年11月8日「観光・産業振興等に関する連携協定」締結）

◇**プロモーション活動の実施**

全国の信用金庫及び年金旅行を扱う旅行会社に対し具体的な提案を行います。

<時期> 通年

<対象> 日帰り旅行（近畿・東海エリア：バス利用）

1泊2日旅行（近畿・東海・中国・北陸エリア：バス利用）

2泊3日旅行（全国エリア：JR・航空機＋バス利用など）

◇**受入地域との連携強化**

年金旅行を受け入れる県内市町村や観光事業者等との連携を強化し、地域一体となったおもてなしの充実と誘客を図ります。

2019実績

◇誘致活動

○信用金庫訪問

活動日	訪問先等
4月26日	信金中金名古屋支店
5月24日	京都北都信用金庫、奈良信用金庫、但陽信用金庫、津山信用金庫、北おおさか信用金庫
6月11日	東京シティ信用金庫、多摩信用金庫
6月12日	埼玉縣信用金庫
11月29日	但陽信用金庫、京都中央信用金庫
12月3日	福井県信用金庫協会
12月9日	中兵庫信用金庫
2月12日	埼玉縣信用金庫

○ファミツアーの実施

<時期> 7月19～20日（1泊2日）

<対象> 参加10信用金庫

埼玉縣信用金庫（埼玉県）、八幡信用金庫（岐阜県）、滋賀中央信用金庫、長浜信用金庫（滋賀県）、北おおさか信用金庫、枚方信用金庫（大阪府）、神戸信用金庫（兵庫県）、奈良信用金庫、大和信用金庫、奈良中央信用金庫（奈良県）

<訪問先> 熊野速玉大社、熊野本宮大社、世界遺産センター、紀州梅干館、金剛峯寺、壇上伽藍など

<情報発信> 信金中金を通じ、全国の信用金庫に観光情報と案内配信

○2019“よい仕事おこし”フェアでの誘致活動

<時期等> 10月7～8日 東京国際フォーラム

<内 容> ブース出展、ステージイベント、きのくにフレンズ、わかぼんによる観光PR

○誘致実績（年金旅行受入） 13信用金庫、2,172人

信 金 名	時 期 等	参 加 数	訪 問 先
飯田信用金庫 （長野県）	4月9日～5月29日 （1泊×12班）	858人	道成寺、白浜（泊）、千畳敷、三段壁、黒潮市場、他
愛知信用金庫 （愛知県）	6月6～7日 （1泊×1班）	107人	湯浅、道成寺、紀州梅の里なきた、白浜（泊）、金剛峯寺、他
津山信用金庫 （岡山県）	7月10～12日 （2泊×1班）	45人	金剛峯寺、高野山（泊）、熊野本宮大社、勝浦（泊）、他
会津信用金庫 （福島県）	7月10～12日 （2泊×1班）	30人	金剛峯寺、奥之院、高野山（泊）
長野信用金庫 （長野県）	9月11～13日 （2泊×1班）	34人	熊野速玉大社、勝浦（泊）、熊野那智大社、他
水戸信用金庫 （茨城県）	10月15日 ～11月28日 （2泊×7班）	428人	道成寺、千畳敷、白浜（泊）、橋杭岩、大門坂、他
福井県信用金庫 協会（福井県）	10月17日 ～11月15日 （1泊×5班）	371人	道成寺、紀州梅干館、白浜（泊）、とれとれ市場、金剛峯寺、他
興能信用金庫 （石川県）	10月15～18日 （3泊×1班）	33人	奥之院、三段壁、白浜（泊）、橋杭岩、那智の滝、他
吉備信用金庫 （岡山県）	11月25～27日 （2泊×1班）	106人	勝浦（泊）、熊野那智大社、熊野本宮大社、本宮（泊）、他
大阪信用金庫 （大阪府）	11月27日 （日帰り）	160人	稲むらの火の館、円月島、とれとれ市場、道成寺、他

◇受入対応（地域と連携したおもてなし）

上記年金旅行催行時は、地元信用金庫・市町村・観光団体等と連携して、歓迎セレモニーを実施

<内 容> 歓迎挨拶、平安衣装・着ぐるみによるお出迎え、ノベルティ配布等

Ⅶ コンベンション誘致推進

コンベンション（国際・国内規模の各種会議や学会等）やスポーツ大会などの誘致を市町村や関係団体等とともにいき、交流人口の拡大を図ります。

また、世界遺産を活用したユニークベニュー（特別な会場）を提案することで和歌山での開催をアピールするとともに、ニーズに合わせたサポートを実施します。

◇開催支援

コンベンション開催助成金や、観光パンフレット等のツール提供により、主催者を支援します。

<時期> 随時（申請に基づく）

<内容> 助成金の交付、観光パンフレット等の提供

◇誘致活動

○地方都市コンベンション協議会合同セールスへの参画

首都圏において協議会構成メンバー（5地区）による合同セールスに参加し、本県でのコンベンション開催に向けた営業活動を展開します。

<時期等> 8月、3年1月 東京都

○地方都市コンベンション協議会への参画

協議会主催セミナー（対象：学会2回、旅行会社・企画会社各1回）及びイベントPRブースに参加します。

<時期等> 9、12月、3年3月 東京都

○下見の支援

コンベンションを計画している団体、学会関係者を対象に、施設やアフターコンベンション等の下見実施のための支援をします。

<時期> 随時

◇情報発信

○コンベンションガイドブック、ユニークベニューMICEガイド、専用サイトによる支援制度や施設情報の発信

2019実績

◇誘致活動

○地方都市コンベンション協議会合同セールスへの参加

<訪問先> 日本消化器病学会、日本地質学会等 他43団体

<時期等> (1回目) 6月18～19日

(2回目) 10月10～11日

(3回目) 2年1月23～24日

<内容> 大会主催者などに対する誘致活動

○地球惑星科学連合同大会への出展

<時期等> 5月28日 千葉県

<内容> 大会参加者に対する誘致活動

○地方都市コンベンション関連団体合同ワークショップへの出展

<時期等> 7月16日 東京都

<参加者> 日本金融学会、(一社)情報処理学会等 他27団体

<時期等> 11月27日 東京都

<参加者> (株)A2project、JAXA宇宙航空研究開発機構等 他29団体

◇開催支援

○コンベンション開催助成金による支援

- ・助成金交付件数 9件
- ・延べ宿泊者件数 8,357人

開催状況

(人)

開催日	コンベンション名	開催場所	参加者数	延宿泊者数
5月30日 ～6月1日	第22回日本臨床救急 医学会総会・学術総会	和歌山県民文化会 館、アバローム紀の 国、他	2,549	1,549
6月8～9日	第49回全国中学校バ スケットボールリハー サル大会	ビッグホエール・ビ ッグウェーブ	400	393
6月13 ～16日	WFDF2019 アジア・オセ アニアビーチアルティ メット選手権大会	白浜町白良浜	952	2,068
6月21 ～22日	2019年度全国中小企業 青年中央会通常総会 in 和歌山	ダイワロイネット ホテル和歌山	259	115
7月26 ～28日	平成31年度全国少年 少女レスリング選手権 大会	ビッグホエール	1,244	1,625
8月8～9日	第50回日本看護学会 ・看護教育・学術集会	和歌山県民文化会 館	1,717	399
10月5 ～6日	百人一首かるた交流大 会	紀三井寺ガーデン ホテルはやし	180	161
10月15 ～16日	第10回全国ねんりん バドミントン交流大会	ビッグホエール・ビ ッグウェーブ	458	882
10月25 ～27日	第18回全国ゴールデ ンシニアバスケットボ ール大会	ビッグホエール・ビ ッグウェーブ	1,037	1,165

VIII 修学・教育旅行の誘致活動

◇和歌山県教育旅行ガイドブック「わかやまだからこそできる学びの旅～わかやまで学べる9つのこと～」での提案

新学習指導要領に盛り込まれる「主体的・対話的で深い学び」の考え方を取り入れた、和歌山だからできる9つのプログラムを具体的に提案することにより、国内外からの修学・教育旅行の誘致を行います。

①マグロから学ぶ「将来を見据えた資源管理」

- ②災害に備えて何ができるのか（津波と土砂災害）
- ③和歌山とトルコの友好から国際社会における人間の「心」を学ぶ
- ④日本遺産「鯨とともに生きる」～多様な文化を理解することの大切さ～
- ⑤世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全活動「道普請」
- ⑥世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」
～一次産業の技術、生物の多様性を学ぶ～
- ⑦自然・生物との共存～サンゴの海を残す保全活動～
- ⑧南紀熊野ジオパーク～大地に触れ、生活への恵みを知る～
- ⑨作って、食べて、学ぶ「食文化学習」
～豊かな風土と人々に育まれた和歌山の食～

◇国内でのセールス活動の実施

- 和歌山県体験型教育旅行誘致協議会による誘致活動の展開

修学・教育旅行で来県される皆さまのサポートを目的に設立した9つの誘致団体と県、県観光連盟で構成している「和歌山県体験型教育旅行誘致協議会」がさらなる誘致活動を展開します。

＜時 期＞ 首都圏：対高校商戦時期の8～3年2月

その他：対中学商戦時期の6～7月

＜対 象＞ 首都圏、中京圏、近畿圏、中国圏の旅行会社及び学校

＜内 容＞ 旅行会社や学校を直接訪問するローラー作戦を展開

◇インバウンド教育旅行誘致の強化

海外からの教育旅行のニーズも増えてきていることから、学校交流に係る支援のための教育旅行コーディネーターを引き続き配置し、近隣府県と連携したVJ地方連携事業を実施するなど体験型観光や農家民泊を取り入れたインバウンド教育旅行誘致を強化します。

- 京都府・大阪府・兵庫県・奈良県と連携したVJ地方連携事業を実施

- 東アジア、オセアニア等での海外プロモーションの実施

- 多言語WEBサイト「Visit Wakayama」による情報発信

- 体験型観光プログラムを取り入れたファムツアーの実施



◇教育旅行実現に向けた総合的な支援

- 教育旅行プランづくりの支援

教育旅行のテーマ、目標に沿ったプランの作成を支援します。

- 事前学習の支援

学校を訪問し、児童・生徒の事前学習をサポートします。

- 教育旅行現地視察支援の実施

学校関係者及び旅行会社の下見のための現地視察を支援します。

◇和歌山県体験型教育旅行誘致協議会研修会の実施

本県の修学・教育旅行の受入体制の充実を図るため、地域の体験事業者や宿泊施設などの協議会会員を対象とする研修会を実施します。

2019実績

◇修学旅行来県校

135校（13,259人） ※うち海外50校（2,139人）

◇国内でのセールス活動の展開

○市場調査の実施

<時期> 7月3～5日

<訪問先> 愛知県内・岐阜県内公立中学校・高等学校 21校、旅行会社 5社

<時期> 8月21～23日

<訪問先> 広島県広島市内の公立・私立中学校 21校、旅行会社 4社

<時期> 9月18～20日

<訪問先> 千葉県内県立高等学校 6校

東京都内都立高等学校 7校

○和歌山県スポーツ合宿誘致説明会の開催

<時期等> 11月15日 全国町村会館（東京都）

<参加者> 旅行会社33社、スポーツ雑誌等メディア2社、その他1社

<内容> 県内の参加団体の情報について説明を行うとともに、各団体が個別ブースを設け、各スポーツ施設の紹介や相談会を実施

<主催> （公社）和歌山県観光連盟

○近畿日本ツーリスト主催商談会への参加

各支店の担当者に和歌山県教育旅行提案を行った。

・広島商談会

<時期> 12月16日

<参加者> 近畿日本ツーリスト中国四国福山支店2人、広島支店2人、岡山支店2人、団体旅行販売部1人

・名古屋商談会

<時期> 12月17日

<参加者> 近畿日本ツーリスト中部名古屋教育旅行支店2人、岐阜支店1人
KNT-CT ホールディングズ教育旅行部名古屋駐在1人

◇海外でのセールス活動の展開

<対象> 東アジア、東南アジア、オセアニア

<内容> 旅行博に出展した際、また旅行会社を訪問した際に、和歌山県の教育旅行について紹介を行った。

<時期等> 6月10～14日 台湾

7月21～26日 台湾

9月26～28日 香港

11月11～15日 オーストラリア

◇教育旅行現地視察支援事業の実施

<支援件数> 24件（累計）※うち海外4件

<支援団体名> 首都圏：神奈川県立城山高等学校、神奈川県立岸根高等学校、横浜

緑園高等学校、神奈川県立藤沢清流高等学校、JTB神奈川西支店、JTB相模原支店、JTB横浜支店、日本旅行神奈川教育旅行支店

東海圏：愛知県立豊田南高等学校、愛知県立横須賀高等学校、愛知県立鳴海高等学校、愛知県名古屋市立宮中学校、愛知県名古屋市立東陵中学校、名鉄観光サービス名古屋教育旅行支店、JTB教育旅行名古屋支店

近畿圏：名鉄観光奈良支店

中国圏：広島県福山市立駅屋中学校、広島県福山市立松永中学校、JTB福山支店、東武トップツアーズ福山支店

海外：潍坊市奎文区南湖小学校校長視察団、湖南省市長視察団、東部トップツアーズ福山支店、昆山市世紀国際旅行社、台湾教育旅行視察団

◇来県時受入対応

＜対応数＞	計	14校	2,402人
＜時期等＞	6月	私立小学校（東京都）	1校 142人
	9月	私立中学校（神奈川県）	1校 30人
	10月	公立中学校（広島県）	4校 601人
		公立高等学校（神奈川県）	2校 638人
		私立高等学校（兵庫県）	1校 91人
	11月	公立中学校（広島県）	3校 484人
		私立中学校（大阪府）	2校 416人

◇和歌山県体験型教育旅行誘致協議会による活動

○総会

＜時期等＞	4月25日	西牟婁振興局
＜内容＞	30年度事業実施・収支決算報告	
	31年度事業計画・予算案審議	

○スクールキャラバン

5月	福岡県	：公立・私立高等学校30校、旅行会社9社
7月	広島県	：公立・私立中学校32校、旅行会社4社
12月	神奈川県	：公立・私立中学校・高等学校32校、旅行会社6社
	東京都	：私立中学校1校
2年3月	埼玉県	：公立・私立高等学校、旅行会社

（新型コロナウイルス感染症対応により中止）

○和歌山県体験型教育旅行誘致協議会研修会

（新型コロナウイルス感染症対応により中止）

◇訪日教育旅行の受入 計50団体 2,139人

＜中国＞	29校・団体	1,263人
公立小学校	9校	308人
私立小学校	5校	250人

公立小学校・中学校	3校	118人
私立小学校・中学校	1校	28人
私立小学校・中学校・高等学校	1校	18人
国立中学校	1校	42人
公立中学校	4校	149人
私立中学校	2校	131人
私立高等学校	2校	185人
高校生団体	1団体	34人
<マレーシア>	11校	394人
公立中学校・高等学校	10校	353人
私立中学校・高等学校	1校	41人
<台湾>	6校	181人
公立小学校	4校	117人
公立高等学校	1校	41人
私立高等学校	1校	23人
<香港>	1校	40人
公立小学校	1校	40人
<韓国>	1校	200人
私立高等学校	1校	200人
<インドネシア>	1校	45人
私立高等学校	1校	45人
<ニュージーランド>	1校	16人
公立高等学校	1校	16人

※上記のほか中国、マレーシア等からの受入 6件

(新型コロナウイルス感染症対応により中止)

◇訪日教育旅行視察団体の受入 計4団体 37人

※上記のほか中国からの受入 1件(新型コロナウイルス感染症対応により中止)

IX スポーツ合宿誘致

本県の温暖な気候と国体を契機に整備された施設を活用して、県教育委員会やキャンプ誘致に積極的な市町村等と連携したより効果的なプロモーションを展開することにより、各種団体のスポーツ合宿を誘致します。

併せて、平成29年1月に改訂したパンフレットを活用し、スポーツ振興に取り組んでいる和歌山のPRにつなげます。

◇プロスポーツキャンプの誘致

キャンプ地としての知名度アップやブランド化を目指します。

<内 容> 激励品（特産品等）の提供
スポーツ施設、宿泊施設等の調整

<対 象> プロスポーツチーム

◇ターゲットを絞ったプロモーションの実施

<内 容> 競技力の高い社会人・大学のスポーツチームの合宿を取り扱う旅行会社へセールスし、キャンプ地としての知名度アップと誘致を図り、県内宿泊施設等の利用を促進

<対 象> 旅行会社

2019実績

◇キャンプ・合宿誘致

○INAC 神戸

<時期等> 8月13～16日 参加30人
上富田スポーツセンター球技場

<内 容> 激励品の提供

○カメルーン女子代表バレーボールナショナルチーム

<時期等> 9月8～12日 参加30人
田辺スポーツパーク

○ラグビーナミビア代表チーム

<時期等> 9月15～19日 参加50人
上富田スポーツセンター球技場

○横浜FC

<時期等> 2年1月15～25日 参加50人
上富田スポーツセンター球技場

X 南紀白浜空港を利用した誘客

本県が有する豊富な観光資源や白浜エリアを中心としたIT企業誘致の取組を背景に民間事業者による空港基本施設やターミナルビルの一体運営が実現しました。これにより、チャーター便など新たな航空ネットワークによるさらなる交流人口の拡大及び空港運営の効率化が期待されるため、航空事業者等への働きかけにより積極的に誘客を促進します。

◇旅行商品造成の働きかけ

南紀白浜空港が新たに高速バスのターミナルになることや南紀白浜空港発着のチャーター便を活用した旅行商品造成を図るため、旅行会社訪問やファミツアーを実施し旅行商品造成につなげます。

○旅行会社訪問

<時 期> 3年2月頃

<対 象> 東北エリア等の旅行会社

○旅行会社ファミツアーの実施

<時 期> 夏～秋

参加 旅行会社15社（予定）

<内 容> 首都圏旅行会社を対象に現地視察（場所未定）および地元事業者との商談会

◇**利用促進**【主管：港湾空港振興課】

○県外からの誘客活動

首都圏からの誘客のため、旅行商品造成による団体ツアーの誘致、わかやま紀州館等との連携による旅行会社への情報発信、また、国内チャーター便誘致により団体ツアーを取り込みます。その他、空港利用促進のためのキャンペーン等を実施します。

○地元の空港利用促進活動

企業・団体、中学校の修学旅行等、スポーツ合宿誘致、空の日フェスタ等イベント時のPR活動、各種メディア、団体会報での周知による利用促進活動を行います。

○その他

- ・航空乗継利用促進協議会事業への参画
- ・全国地域航空システム推進協議会への参画

2019実績

◇首都圏対策

○南紀白浜空港利用促進実行委員会による誘客（地方航空路線活性化プログラム）

- ・南紀白浜～羽田便の就航機材が大型化（10月27日～）
- ・団体旅行商品造成（首都圏旅行代理店に商品造成を働きかけ）

○旅行会社ファミツアーの実施

<時 期> 12月17～19日（2泊3日）

<内 容> 現地視察（白浜～熊野エリア～串本・古座川エリアなど）

○JALとタイアップした観光PR「和歌山特集」

<時 期> 2年2月1～29日

<内 容> JALプラザ有楽町店舗内及びウィンドへの梅花や観光ポスターの飾りつけ、観光パンフレット、来場者への県産品の提供（那智黒飴、梅干し）

XI クルーズ客船誘致による誘客推進

国内クルーズ船の寄港（和歌山下津港・日高港・新宮港）を誘致し、周辺観光地への誘客を図るため、船会社や関係旅行会社へ観光素材をはじめ、オプションツアーの提案活動を実施します。

<寄港予定>

ぱしふいっくびいなす

8月（新宮港）

2019実績

◇クルーズ船の寄港

時 期	寄 港 名	船 名	人 数
5月24日	新宮港	ぱしふいっくびいなす	152
7月6日	新宮港	ぱしふいっくびいなす	249
8月18日	新宮港	ぱしふいっくびいなす	345
8月21日	和歌山下津港	ぱしふいっくびいなす	508
10月1日	新宮港	にっぽん丸	246
10月7日	新宮港	にっぽん丸	402
10月20日	新宮港	飛鳥Ⅱ	663
11月10日	新宮港	飛鳥Ⅱ	843

XII 和みわかやまキャンペーン

平成27年5月に設立した、「わかやまDC推進協議会」の後継団体である、「和みわかやまキャンペーン推進協議会」において、わかやまDC期間中に実施した企画等で高い評価を得た取組を一層ブラッシュアップし、継続実施するとともに、県内観光地の周遊促進を促進するための新たな取組を実施します。

<構成団体> 県、県観光連盟、市町村・観光関係団体、西日本旅客鉄道(株)和歌山支社、南海電気鉄道(株)、和歌山電鐵(株)、紀州鉄道(株)など
81団体

<名 称> 和みわかやまキャンペーン推進協議会

<設 立> 平成27年5月27日

◇旅行会社に対する取組

○旅行会社とのタイアップ

旅行会社とタイアップし、旅行商品造成にむけ観光情報を発信します。

○旅行会社訪問 [詳細 120 頁](#)

都市圏プロモーションにおける旅行会社訪問の際、世界遺産「高野山・熊野」、「わかやま歴史物語」、「サイクリング王国わかやま」、「水の国、わかやま。」のほか、ブラッシュアップした企画等をアピールすることで誘客を働きかけます。

○観光素材の情報発信

県観光情報サイトに掲載している「観光素材」について、随時更新を行います。

◇情報発信

○メディアによる情報発信

<時 期> 随時

<内 容> 旅行雑誌、タウン情報誌等へ掲載

○WEBサイトによる情報発信

<内 容> オススメ観光素材を随時情報発信

○都市圏プロモーション [詳細 120 頁](#)

◇受入対策

○和みわかやまっぷ with スタンプラリー

県内観光地の周遊促進とおもてなしを目的に、県内のお食事処、お土産処、温泉・入浴施設を紹介した冊子を作成。規定数のスタンプを集めて応募すると、「プレミア和歌山」認定商品などを抽選で進呈。

<時 期> 9月～3年3月

○地域観光素材開発支援

地域で新たに実施する魅力ある素材を支援

<時 期> 7月～3年3月

2019 実績

◇「和みわかやまキャンペーン推進協議会」総会を開催

<時期等> 6月10日 ホテルグランヴィア和歌山

<内 容> 各種議案の提案・承認

(事業報告、収支決算、事業計画、収支予算など)

◇旅行会社に対する取組

○夏プロモーション [詳細 121 頁](#)

○観光素材の情報発信

「観光素材」について、専用サイトで随時更新

◇情報発信

○雑誌、新聞、フリーペーパー等

名 称	掲載テーマ	発行日等
日刊工業新聞社 「メトロガイド(10月号)」	「水の国、わかやま。」特集	9月5日
JTBパブリッシング 「ノジュール(10月号)」	世界遺産登録15周年 高野山	9月30日
Piknik 「cycle(No. 43)」	弱虫ペダル×WAKAYAMA 800	10月4日

◇受入対策

○和みわかやまっぷ with スタンプラリー

県内のお食事処、お土産処、温泉・入浴施設をめぐるスタンプラリー 規定数のスタンプを集めて応募すると、宿泊券や県産品を抽選で進呈

<時 期> 7月23日～2年3月31日

<部 数> 14万部

<内 容> 県内のお食事処、お土産処、温泉、入浴施設224店舗

全店舗で使えるお得なクーポン付き、県内ペア宿泊券や県産品(プ



	レミア和歌山) が当たるスタンプラリー バリアフリー・トイレ (オストメイト付) ・バイクラック・サイ クルステーション・禁煙店情報
<配 置>	県内市町村、観光協会、旅館組合、観光案内所、宿泊施設ほか
<備 考>	専用サイトで個店情報検索サービス 県内外イベント等で配布 県観光情報誌「紀州浪漫 (秋号)」のトピックスで紹介
<応募数>	3, 008通

XIII 大型記念行事等を契機としたキャンペーン =New=

<p>来年開催されるスポーツの祭典「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」や関西で開催される「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」という千載一遇のチャンスをとらえ、ターゲットに応じたプロモーションなどを行うことにより効果的な誘客や県内周遊を促進します。</p>	
<p>◇東京 2020 オリンピック・パラリンピックを見据えた取組</p>	
○誘客促進の取組	
・首都圏からのプラスワントリップ誘客促進	詳細 159 頁
<p>◇ワールドマスターズゲームズ 2021 関西を見据えた取組</p>	
○国内観光客向けの取組	
・各種イベントでの参加・誘客促進	
<p>全国的なイベントへの出展等によるプロモーションを展開し、マスターズへの参加・誘客を促進します。</p>	
○インバウンド向けの取組	詳細 159 頁

2019 実績

<p>◇新元号制定記念「わかやまの休日」スタンプラリーの実施</p>	
<時期等>	4月27日～6月30日
<内 容>	<p>新元号制定記念とゴールデンウィーク10連休を記念した県内各地を巡るスタンプラリー。抽選で県産品をプレゼント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・押印箇所 (6か所) 和歌山市観光土産品センター (和歌山市)、和歌山県世界遺産センター (田辺市本宮)、高野山観光情報センター (高野町)、まちなか総合案内所しらすな (白浜町)、道の駅あらぎの里 (有田川町)、道の駅一枚岩鹿鳴館 (古座川町) ・配布場所 スタンプラリースポット、県内各市町村・観光協会・観光案内所、県内SA・PA等
<応募数>	261人

(3) 『近畿、東海、西日本等』 から和歌山へ招く

近畿、東海、中国、四国、九州の都市部において、メディア、旅行会社を対象にプロモーションを行います。

世界遺産「高野山・熊野」、サイクリングと旅を融合した「サイクリング王国わかやま」、自然をテーマにした「水の国、わかやま。」、歴史・文化をテーマにした「わかやま歴史物語」、西国三十三所草創1300年など、旬の観光素材を情報発信するとともに、特に本県最大のマーケットである京阪神においては、「阪急阪神グループ」などとのタイアップによる大型観光キャンペーンを実施することで、誘客を加速します。

なお、各種プロモーションや企画の実施に際しては、核となる交通事業者と連携するとともに、市町村、地域団体・事業所に対して積極的な参画を働きかけます。

I 京阪神大型観光キャンペーン

阪急阪神グループタイアップキャンペーン

大手私鉄グループの豊富なメディア媒体を活用し、京阪神での効果的な情報発信により誘客を促進します。

<時期> 9～10月

<内容> 「サイクリング王国わかやま」、「わかやま記紀の旅」など

2019実績

◇阪急阪神グループタイアップキャンペーン

最大のマーケットである「京阪神エリア」での効果的な情報発信と誘客を加速させるため、阪急阪神グループが持つ多くの情報発信媒体を活用したタイアップによる「今が旬わかやまキャンペーン」を実施

<期間> 9月1日～10月31日

<内容> ①阪急・阪神電鉄交通媒体への広告掲出
B1ポスター500枚、B2ポスター500枚、B3ポスター8,500枚

②阪急電鉄沿線情報誌「TOKK」に掲載

・発行日：9月25日（10月1日号）

・部数：30万部

③和歌山の逸品「プレミア和歌山」推奨品等プレゼント

クイズに答えると抽選で148名様に和歌山県への旅行や和歌山の逸品「プレミア和歌山」推奨品をプレゼント

・応募数：18,129件

④WEB、SNSでの情報発信

・特設ページ：アクセス数33,265人

・メールマガジン：約9.3万人に5回配信



・Twitter・Facebook：約21万人に情報発信

⑤旅行会社会員向けDM

トラピックス（阪急交通社）会員へ配布されるパンフレットに、
キャンペーン告知及び和歌山への旅行商品の掲載

・掲載：バスの旅関西版11月号（9月26日発送）

・部数：40万部

II 都市圏プロモーション

各都市圏の主要旅行会社を訪問して、観光素材やモデルコースの提案を行い、旅行商品の造成や販売促進につなげます。また、テレビ局や新聞社など主要メディアをキャンペーンスタッフやご当地キャラクターなどで訪問し、記事等での露出を図ります。

◇夏プロモーション

「わかやま歴史物語」、「サイクリング王国わかやま」、「水の国、わかやま。」などについて、PR・提案を行います。

<時期> 6～7月

<対象等> 京阪神 大阪（全）、神戸（全）、京都（メ）
西日本 岡山（全）、広島（全）、福岡（全）
東海 名古屋（全）、岐阜（全）
北陸 金沢（全）

◇春プロモーション

「わかやま歴史物語」、「サイクリング王国わかやま」、「水の国、わかやま。」事業について、PR・提案を行います。

<時期> 3年2～3月

<対象等> 京阪神 大阪（全）、神戸（全）、京都（メ）
西日本 岡山（全）、広島（全）、福岡（全）
東海 名古屋（全）、岐阜（全）
北陸 金沢（全）

（全）＝旅行会社訪問、メディア訪問

（旅）＝旅行会社訪問、（メ）＝メディア訪問

◇わかやま発信イベント

○Cityliving Party 2020 in NAGOYA

<時期等> 8月3日 名古屋東急ホテル

○ふるさとフェア～全国センター合同物産観光展～

<時期等> （未定） 名古屋市内（予定）

○ふるさと全国県人会まつり2020

<時期等> 9月（予定）久屋大通公園 久屋広場・エンゼル広場（名古屋市）

○旅まつり名古屋2021

<時期等> 3年3月（予定）

久屋大通公園 久屋広場・エンゼル広場（名古屋市）

2019実績

◇夏プロモーション

「世界遺産登録15周年」、「西国三十三所草創1300年」、「わかやま歴史物語」、「サイクリング王国わかやま」、「水の国、わかやま。」をはじめ、旬の観光素材や特別企画について、各都市圏の旅行会社、メディアにアピールすることで誘客を促進

○旅行会社

<時期等> 6月 四国

7月 京阪神、西日本、東海

<訪問先> 計56店舗

・京阪神／大阪市・京都市・神戸市・姫路市〈19店舗〉

日本旅行、阪急交通社、南海国際旅行、産経新聞開発、朝日旅行、近畿日本ツーリスト、毎日新聞旅行、読売旅行、名鉄観光、山陽バス、農協観光、山陽バス、神戸新聞旅行社、神姫バスツアーズ、アルファトラベル、ヤサカ観光旅行センター、MKトラベル、関西フクシツーリスト、Cerca Travel の本店、支店、営業所など

・西日本／岡山市、広島市、福岡市〈15店舗〉

日本旅行、読売旅行、山陽新聞旅行社、両備バスカンパニー、下電観光バス、タビックスジャパン、JTBメディアリレーリング、読売旅行、クラブツーリズム、阪急交通社、西日本旅行新聞、第一観光、西鉄旅行、農協観光 の本店、支店、営業所など

・東海／名古屋市、岐阜市〈12店舗〉

岐阜乗合自動車、名鉄観光バス、阪急交通社、名阪近鉄旅行、JTN、ジェイアール東海バス、中日企業、農協観光、クラブツーリズム、トラベルドリーマー の本店、支店、営業所など

・四国／徳島市・高松市・松山市・西条市・喜多郡内子町・高知市〈10店舗〉

(株)読売旅行、(株)阪急交通社、(株)徳バス観光サービス、(株)伊予鉄トラベル、(株)ジェイジェイ旅行センター、(株)タビックスジャパン、ことでんバス(株)、愛媛バス(株) の本店、支店、営業所など

○メディア

・新聞など31社掲載

媒体名	テーマ	発行日等
京都リビング新聞社 Facebook	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	7月9日
読売新聞社（西部本社）	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	7月15日
毎日新聞社（福岡本部）	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	7月18日

スポーツ報知（西部本社）	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	7月20日
広島リビング新聞社 Twitter	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	7月25日
読売新聞社（広島総局）	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	7月26日
山陽新聞社	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	7月27日
朝日新聞社（広島総局）	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	7月30日
読売新聞社（岡山支局）	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月1日
中部経済新聞社	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月1日
中日新聞社	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月3日
中日スポーツ	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月4日
読売新聞社（中部支社）	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月10日
産経新聞社（神戸総局）	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月10日
朝日新聞社（神戸総局）	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月10日
神戸新聞社	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月10日
日刊スポーツ	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月12日
夕刊フジ	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月18日
読売新聞社（神戸総局）	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月19日
毎日新聞社（大阪本社）	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月20日
デイリースポーツ社（広島支社）	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月22日
毎日新聞社（神戸支局）	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月23日

Nasse（地元タウン誌）	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月25日
トラベルニュース（大阪本社）	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月26日
読売新聞社（大阪本社）	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月27日
四国新聞	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月27日
高知新聞	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月27日
徳島新聞	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月27日
読売新聞社（高知支局）	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	8月28日
旅行新聞新社（関西支社）	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	9月11日
サンケイリビング新聞社WEB	水の国、わかやま。、サイクリング王国わかやま、世界遺産登録15周年	10月1日

※以上、和歌山市観光課、田辺市観光課、田辺市熊野ツーリズムビューロー、熊野本宮観光協会、白浜町、白浜観光協会、南紀白浜観光局、那智勝浦町観光協会、名古屋観光センターと協働

◇春プロモーション

「わかやま歴史物語」、「サイクリング王国わかやま」、「水の国、わかやま。」をはじめ、旬の観光素材や特別企画について、各都市圏の旅行会社、メディアにアピールすることで誘客を促進

○旅行会社

<時期等> 2年2月 京阪神、西日本、東海、北陸

<訪問先> 計23店舗

・京阪神／大阪市〈5店舗〉

近畿日本ツーリスト、産経新聞開発、阪急交通社、毎日新聞旅行、農協観光 の本店、支店、営業所など

・西日本／岡山市、広島市〈12店舗〉

タビックスジャパン、JTBメディアリテリング、クラブツーリズム、農協観光、読売旅行、ひろでん中国新聞旅行、シモデンツーリスト、山陽新聞旅行社、両備バスカンパニー、阪急交通社 の本店、支店、営業所など

・北陸／金沢市〈6店舗〉

東部トップツアーズ、日本旅行、タビックスジャパン、阪急交通社、日本旅行、近畿日本ツーリスト の本店、支店、営業所など

○メディア

・新聞 10社

媒体名	テーマ	発行日等
読売新聞（北陸支社金沢支局）	和歌の浦、サイクリング王国わかやま、わかやま記紀の旅	2月8日
中部経済新聞社	和歌の浦、サイクリング王国わかやま、わかやま記紀の旅	2月15日
中日新聞社	和歌の浦、サイクリング王国わかやま、わかやま記紀の旅	2月15日
中日スポーツ	和歌の浦、サイクリング王国わかやま、わかやま記紀の旅	2月18日
毎日新聞社（大阪本社）	和歌の浦、サイクリング王国わかやま、わかやま記紀の旅	2月22日
日刊スポーツ	和歌の浦、サイクリング王国わかやま、わかやま記紀の旅	2月22日
山陽新聞社	和歌の浦、サイクリング王国わかやま、わかやま記紀の旅	2月29日
観光経済新聞（関西支社）	和歌の浦、サイクリング王国わかやま、わかやま記紀の旅	3月7日
トラベルニュース（大阪本社）	和歌の浦、サイクリング王国わかやま、わかやま記紀の旅	3月10日
旬刊旅行新聞	和歌の浦、サイクリング王国わかやま、わかやま記紀の旅	3月11日

※以上、和歌山市、橋本・伊都広域観光協議会、田辺市、白浜町、白浜観光協会、那智勝浦町、那智勝浦町観光協会と協働

◇旅行商品造成 計 50件

会社名	商品名
朝日旅行	紀三井寺の秘仏公開と紀伊のみほとけを訪ねて
朝日旅行	紀州の秘湯で寛ぐ 日本三大美人の湯・龍神温泉とやすらぎの湯の峰温泉
クラブツーリズム	語り部が3日間同行！高野山・熊野古道 世界遺産ハイキング 3日間
クラブツーリズム	世界遺産 高野山町石道 3日間
クラブツーリズム	観光列車「天空」で行く世界遺産・高野山と熊野三山 3日間
クラブツーリズム	1名様1室同旅行代金！1泊4食付き！個人では行きにくい秘境・絶景の地へ 紀伊半島秘境縦断8つのアンサンブル 2日間
クラブツーリズム	日本一長い藤棚ロードと太刀魚料理 日本の棚田百選の秘境・あ

ム	らぎ島
クラブツーリズム	往路はゆっくり出発！飛行機で行く熊野・高野山 紀伊半島世界遺産・聖地・絶景めぐり 3日間
クラブツーリズム	アドベンチャーワールドにたっぷり約5時間滞在 パンダに会える！南紀大冒険 3日間
クラブツーリズム	幻の高級魚「クエ」尽くしの昼食と和歌山3つの桜めぐり
クラブツーリズム	僧侶とめぐる伽藍ナイトツアーにご案内 パノラマ展望列車「天空」乗車と世界遺産・高野山 2日間
クラブツーリズム	3種のイチゴ狩り食べ放題と春採れ！しらす丼のご昼食 和歌山3つの桜めぐり
クラブツーリズム	今話題の明智光秀の家紋入り御朱印付き！桜咲く世界遺産・高野山めぐり 筍尽くしの昼食
クラブツーリズム	1名様1室受付も大歓迎！高野山内の宿坊に宿泊！世界遺産のすべてを公認ガイド同行でご案内～じっくりめぐる高野山 2日間
クラブツーリズム	旬を迎える幻の高級魚「クエ」尽くしの昼食とひと足早い春の訪れ ひとめ百万の南部梅林
クラブツーリズム	語り部とあるく熊野古道 大門坂から那智大社・那智の滝
サンケイトラベル	百間山溪谷トレッキング
サンケイトラベル	北山川筏下りとおくとろ温泉
サンケイトラベル	新型ケーブルカーで行く天空&高野山 宿坊で味わう精進料理と奥の院めぐり
サンケイトラベル	語り部と歩く世界遺産熊野古道ハイライト 発心門王子から熊野本宮大社へ
サンケイトラベル	語り部と歩く世界遺産熊野古道ハイライト 小雲取越
サンケイトラベル	友ヶ島一周ウォーク
山陽バス観光センター	昔なつかし串柿づくり体験 串柿の里を語り部と歩く
山陽バス観光センター	世界遺産 高野山と慈尊院 特別列車こうや花鉄道「天空」にご乗車
JTB	伊勢神宮両参りと世界遺産熊野古道・熊野三山・高野山 伊勢南紀ハイライト 3日間

J T B	温泉のある宿坊と白浜温泉に泊まる 吉野山・高野山と紀州の桜名所巡り 3日間
J T B	世界遺産登録15周年 語り部と歩く熊野古道と熊野三山・伊勢神宮・高野山参詣 3日間
J T B	温泉のある宿坊と白浜温泉に泊まる 吉野山・高野山と紀州の桜名所巡り 3日間
J T B	世界遺産高野山・世界遺産熊野三山と伊勢神宮両参り 3日間
神姫バスツアーズ	うれしいお土産もりだくさん！いちご狩り食べ放題と和歌山早咲き桜
農協観光	世界遺産「高野山」と南紀白浜温泉 3日間
農協観光	紀伊半島ハイライト 3日間
阪急交通社	絶景秘境の宝庫 紀伊半島大縦断 3日間
阪急交通社	紀伊半島7つの世界遺産構成資産 語り部と歩く3つの熊野古道・熊野三山・紀三井寺 3日間
阪急交通社	春の吉野千本桜と高野山・紀三井寺・伊勢神宮そして比叡山5つの聖地古都京都を旅する 4日間
阪急交通社	忘帰洞のホテル浦島 温泉とまぐろを楽しむ 3日間
阪急交通社	アドベンチャーワールドと海遊館 ウキウキ南紀 2日間
阪急交通社	はじめての南紀12景 7つの世界遺産めぐり 2日間
阪急交通社	天空の聖域世界遺産高野山と伝弘法大師作「薬師如来坐像」特別開帳
名阪近鉄旅行	にゃんにゃんねこ駅長&おもしろ電車 生マグロ食べ放題バイクキング&紀州・和歌山城
名阪近鉄旅行	3世界遺産 秋の高野山とねこ駅長
名阪近鉄旅行	世界遺産高野山 三大聖地めぐり
読売旅行	忘帰洞の「ホテル浦島」・川原の露天風呂「川湯みどりや」と伊勢神宮 3日間
読売旅行	新春 令和初詣の伊勢神宮と世界遺産・熊野古道・熊野三山（本宮大社・那智大社・速玉大社）制覇の初旅 2日間
読売旅行	伊勢神宮改元参りと世界遺産 熊野古道 白浜・伊勢志摩南紀半島大周遊 3日間
読売旅行	南紀2大名湯 白浜温泉と忘帰洞のホテル浦島 伊勢神宮・高野山・南紀秘境周遊 3日間
読売旅行	南紀白浜アドベンチャーワールドと海遊館 2日間

読売旅行	白浜アドベンチャーワールドと南紀の名湯 日本三古湯のひとつ白浜温泉 2日間
読売旅行	未知の体験と紀伊半島の秘境大縦断 3日間
両備バス	紀三井寺開創1250年秘仏御本尊御開帳と色とりどりの花が咲き誇る「ハーベストの丘」世界遺産を訪ねる白浜温泉1泊の旅

◇わかやま発信イベント

○Cityliving OL夏まつり2019

- <時期> 8月1日
- <来場者> 984人(完全招待制)
- <場所> 名古屋東急ホテル(名古屋市)
- <内容> 観光PR、梅酒の振る舞い、平安衣装体験
- <主催> シティリビング

○ふるさと全国県人会まつり2019

- <時期> 9月7～8日
- <来場者> 約85,000人
- <場所> 久屋大通公園 久屋広場・エンゼル広場(名古屋市)
- <内容> 物産および観光PR。
- <主催> ふるさと全国県人会まつり実行委員会

○ほんまにええとこ関西観光展(大阪)

- <時期> 9月27～29日
- <場所> JR大阪駅コンコース(大阪市)
- <内容> シルバーウィークやラクビーワールドカップ開催など関西を訪れる人に向け、関西圏の観光誘客を図るため観光展を開催
- <主催> 関西ブロック広域観光振興事業実行委員会

○ツーリズム EXPO ジャパン 2019 大阪・関西

- <時期> 10月24～27日
- <来場者> 151,099人
- <場所> インテックス大阪(大阪市)
- <内容> 世界100カ国の国と地域、日本全国から過去最高の1,475の企業・団体が出展。
- <主催> 日本観光振興協会、日本旅行業協会、日本政府観光局

○ふるさとフェア～全国センター合同物産観光展～

- <時期> 11月26～30日
- <場所> 金山総合駅連絡通路橋
- <内容> 物産および観光PR
- <主催> 全国物産観光センター連絡協議会

○アウトドアフェス(新型コロナウイルス感染症対応のため中止) 詳細 69 頁

○ほんまにええとこ関西観光展(横浜)(新型コロナウイルス感染症対応のため中止)

詳細 142 頁

○旅まつり名古屋 2020	(新型コロナウイルス感染症対応のため中止)
<時 期>	2年3月14～15日
<場 所>	久屋大通公園 (名古屋市)
<主 催>	旅まつり名古屋実行委員会

Ⅲ 鉄道事業者とのタイアップ

◇JRとのタイアッププロモーション

○都市圏プロモーション [詳細 120 頁](#)

「2 (3) Ⅱ近畿、東海、西日本等から和歌山へ招く／都市圏プロモーション」に記述

◇特急「くろしお」号に乗って和歌山・紀南へ行こう！キャンペーン

西日本旅客鉄道株式会社和歌山支社とタイアップで、特急「くろしお」利用促進のため、PRキャンペーンを実施します。

<時 期> 未定

<内 容> ・周遊促進企画

『世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス』の運行 等

・PR・情報発信

専用サイト、県観光情報サイト 等

◇JR大阪駅PRイベント

西日本旅客鉄道株式会社等とタイアップで和歌山の魅力を幅広く発信

<時期等> 未定 JR大阪駅「アトリウム広場」

<内 容> 「記紀の旅(わかやま歴史物語)」、「水の国、わかやま。」、「サイクリング王国わかやま」、「パンダ」を中心に県内の魅力をPR

◇JR西日本主催「観光素材説明会」への参加

「2021 年度観光素材説明会」において、和歌山の旬の素材について説明を行うとともに、主要旅行会社、JR関係者と情報交換を行います。

<時期等> ※開催時期等未定

10月22日 ホテルグランヴィア大阪

11月16日 名古屋マリオットアソシアホテル

11月18日 ホテルメトロポリタン

11月26日 グランドハイアット福岡

◇南海電鉄とのタイアッププロモーション

南海電鉄(高野線)は、大都市圏から高野山へアクセスする唯一の鉄道として独自の誘客宣伝事業を実施するため、引き続き、同社と情報交換・連携を密にし、真田ゆかりの地・九度山及び高野エリアを効果的にプロモーションします。

◇和歌山電鉄とのタイアッププロモーション

全国的な知名度がある「マネージャー駅長・ニタマ、スーパー駅長・よんたま」、また「いちご電車」「おもちゃ電車」「たま電車」「うめ星電車」といったユニークな電車が観光客を惹きつける和歌山電鉄とタイアップして貴志川線沿線の誘客を促

進めます。

○都市圏プロモーション [詳細 120 頁](#)

メディア、旅行会社訪問時の紹介

○岡山市における情報発信

同社が属する両備グループの岡山電気軌道(株)の路面電車「たま電車／わかやま応援館」を使用して岡山市において継続的な情報発信

2019 実績

◇特急「くろしお」号に乗って和歌山・紀南へ行こう！キャンペーン

西日本旅客鉄道株式会社和歌山支社とタイアップで、特急「くろしお」利用促進のため、PRキャンペーンを実施

○「好きなん、和歌山」キャンペーン

世界遺産登録15周年を迎えた「高野山」「熊野」に焦点をあて、特急「くろしお」と二次交通の利用による県内の周遊を促進

<期間> 10月1日～12月31日

<内容> キャンペーン企画

・県、(公社)和歌山県観光連盟が展開する企画と共同実施

・JR利用者への手ぬぐいプレゼント企画の実施

プロモーション

・特設サイトの開設

PRポスター等の制作

・B1ポスター 730枚 JR西日本エリア主要駅等

・B3車内吊り 3,860枚 JR西日本京阪神エリア

・西NAVI 10月号

・リーフレット作成

◇JR大阪駅「好きなん、和歌山マルシェ」

西日本旅客鉄道株式会社とタイアップで和歌山の特産品・観光地の魅力を幅広く発信

<時期等> 9月14～15日 JR大阪駅「アトリウム広場」

<内容> 世界遺産登録15周年等和歌山の観光PR
プレミアム和歌山推奨品等の販売

◇JR大阪駅「ココ・カラ。和歌山マルシェ」

西日本旅客鉄道株式会社、JAグループ和歌山とタイアップで和歌山の魅力を幅広く発信

<時期等> 12月7日 JR大阪駅「アトリウム広場」

<内容> 世界遺産登録15周年等和歌山の観光PR
県産農産物の販売、ワークショップの開催

◇JR西日本主催「観光素材説明会」への参加

「2020年度観光素材説明会」に出席し、「サイクリング王国わかやま」や「水の

国、わかやま。」キャンペーンなどの説明を行うとともに、主要旅行会社、JR関係者と情報交換

＜時期等＞	10月31日	ホテルグランヴィア大阪
	11月14日	ホテルメトロポリタン
	11月21日	名古屋マリオットアソシアホテル
	11月27日	グランドハイアット福岡

IV 高速道路会社とのタイアップ

高速道路会社（NEXCO 西日本、中日本）と連携したキャンペーン企画をはじめ、主要サービスエリアでの観光パンフレット設置により情報発信します。

◇NEXCO 西日本・広域観光連携キャンペーンへの参画

○「お国じまんカードラリー2020」

NEXCO 西日本が実施する西日本広域観光連携キャンペーン「お国じまんカードラリー2020」に参画し、誘客を図ります。

＜時期＞ 4月11日～3年1月11日（予定）

＜内容＞ 選定された場所・施設等に設置されたカードを収集し、応募により特産品等が当たるもの

紀三井寺（同左）、旧和歌山県議会議事堂（議事堂内事務所）、白崎海洋公園（同左）、稲むらの火の館（同左）、龍神温泉元湯（同左）、南紀熊野ジオパークセンター（同左）、熊野川川舟センター（同左）

※県内7か所のお国じまん、（ ）はカード設置箇所

＜広報＞ NEXCO 西日本管内主要SAにポスター、チラシ設置
NEXCO 西日本の広報媒体（サイト、フリーペーパー等）掲載
県観光情報サイトに掲載

◇NEXCO と連携した誘客促進

○西日本エリア主要SAへの観光パンフレット等の配置

＜時期＞ 4月1日～

＜内容＞ 「高野山・熊野」など

＜場所＞ 西日本主要SA 4か所

紀ノ川^①、岸和田^②、三木^③、大津^④

○東海エリア主要SAへの観光パンフレット等の配置

＜時期＞ 4月16日～

＜内容＞ 「高野・熊野」など

＜場所＞ 東海圏主要SA 7か所

土山（集約）、多賀^①、南条^②、恵那峡^③、賤ヶ岳^④、諏訪湖^⑤、安濃^⑥

2019 実績

◇NEXCO 西日本広域観光連携キャンペーンへの参画

○「お国じまんカードラリー2019」

NEXCO 西日本が実施する西日本広域観光連携キャンペーン「お国じまんカードラリー」に参画し、県内周遊を促進

<時期等> 4月13日～2年1月13日

<内容> 参画した24府県、全157か所に設置されたカードを収集し、応募により特産品などを抽選で進呈
紀州漆器伝統産業会館、道の駅くしがきの里、あらぎ島、道成寺、湯の峰温泉つぼ湯、救馬溪観音、一枚岩

<広報> 同社管内の主要SA、県内のカード設置箇所にパンフレットを設置
同社の各種広報媒体（サイト、フリーペーパー等）及び県観光情報サイトで告知

<備考> 県内カード配布計約26,000枚

◇NEXCO 西日本のSAへの観光パンフレット等の配置

○「わかやまの休日」 約4,600部

<時期等> 4月16日～6月30日

三木^上、宝塚北（集約）、岸和田^下、紀ノ川^下 計4か所

○「わかやま歴史物語スタンプラリー」 約1,500部

<時期等> 7月1日～8月31日

宝塚北（集約）

<時期等> 10月1日～2年1月31日 4,200部（無料枠）

黒丸^上^下、草津^上^下、赤松^上^下、淡河^上^下、大津^下、香芝^下、三木^上^下、西紀^上^下、宝塚北（集約） 計14か所

○「わかやま歴史物語」 約4,400部（無料枠）

<時期等> 2年2月1～29日

道口^下、福山^上、府中湖^下、豊浜^下、石鎚山^上、上坂^上^下、吉志^上、古賀^下、基山^下、山田^上^下、山川^上^下、玉名^上^下、金立^下、川登^下、宮原^上、えびの^上^下、桜島^下 計22か所

○「水の国、わかやま。」 約2,800部

<時期等> 7月1日～8月20日

三木^上、宝塚北（集約）、岸和田^下、紀ノ川^下 計4か所

<時期等> 6月25日～9月30日 5,000部（無料枠）

黒丸^上^下、草津^上^下、赤松^上^下、淡河^上^下、大津^下、香芝^下、三木^上^下、西紀^上^下、宝塚北（集約） 計14か所

○「和みわかやまっぷ」 約1,000部

<時期等> 7月23日～8月20日

紀ノ川^下 計1か所

○「世界遺産登録15周年記念冊子」 約17,500部

<時期等> 9月1日～2年3月2日

三木^上、宝塚北、岸和田^下、紀ノ川^下 計4か所

<時期等> 10月1日～1月31日 20,000部(無料枠)
黒丸^上_下、草津^上_下、赤松^上_下、淡河^上_下、大津_下、香芝_下、
三木^上_下、西紀^上_下、宝塚北(集約)他 計44か所

○「WAKAYAMA800スタンプラリー」 約1,100部

<時期等> 4月26日～
紀ノ川^上_下、岸和田^上_下、黒丸^上_下、三木^上_下

◇NEXCO 中日本のSAへの観光パンフレット等の配置

○「わかやま歴史物語スタンプラリー100」 約5,700部

<時期等> 4月16日～8月31日
多賀_下、南条^上、諏訪湖_下 計3か所

○「水の国、わかやま。」 約6,000部

<時期等> 4月16日～8月31日
安濃_下、南条_下、賤ヶ岳^上 計3か所

○「世界遺産登録15周年記念冊子」 約10,000部

<時期等> 9月1日～2年2月16日
多賀_下、南条^上、諏訪湖_下、安濃_下、刈谷(集約)、恵那峡_下、
関^上 計7か所

V 南海フェリーとのタイアップ

南海フェリー、県内市町村等、県が協働でフェリーの利用促進及び和歌山県への誘客、周遊促進に繋げるための各種事業を実施します。

◇誘客キャンペーン

○「フェリーで快適わかやま周遊 TRIP」(仮)

<時期> 9月～3年3月(予定)

<内容> パンフレット掲載施設における利用特典(クーポン)付与

<広報> キャンペーンパンフレットの製作・配布
県観光情報、市町村等のサイトで情報発信
四国高速道路サービスエリア、道の駅等にパンフレット配置 等

○旅行会社訪問

南海フェリーと共同で、四国4県の主要旅行会社を訪問し、観光素材やモデルコースの提案を行い、南海フェリーを利用した旅行商品の造成や販売促進につなげます。

○フェリー利用促進キャンペーン(仮)

<実施主体> 南海フェリー、県(総合交通政策課)

<内容> ファミリー層をターゲットにイベント実施

<広報> キャンペーンパンフレットの製作・配布
四国主要メディア訪問による露出

2019実績

◇南海フェリーとのタイアップキャンペーン

<時期> 9月1日～2年3月31日

<内容> フェリー乗船割引券、南海フェリーキャンペーン情報、和歌山県情報（WAKAYAMA 800モバイルスタンプラリー、和みわかやまっぷ with スタンプラリー、わかやま歴史物語スタンプラリー100、水の国わかやま）

<展開> チラシ作成 3万部（配置）四国エリア道の駅、イオンモール徳島、阿波銀行、徳島銀行 等
愛媛新聞（新聞折込み）



VI 旅行会社対策

◇旅行商品造成の働きかけ

○観光素材の情報発信 詳細 93 頁

旬の「イベント・観光素材」について、わかやま観光情報のサイトを通して、随時掲載情報の更新を行い、情報発信を行います。

<時期> 随時

○旅行会社訪問 詳細 120 頁

各都市圏の主要旅行会社を訪問して、観光素材やモデルコースの提案を行い、旅行商品の造成や販売促進に繋がります。

○情報ツールの提供

新たな観光素材等について、詳細資料をはじめ写真やビデオ等の素材情報をタイムリーに提供し、魅力的な商品案内カタログの作成を支援します。

○旅行商品造成支援

旅行会社ファムツアー以外に、随時、企画担当者の現地下見を受け入れ、観光素材の商品への組入れ・造成を働きかけます。また、下見に係る経費の支援やアテンド等を行い、商品造成を促進します。

○全国旅行業協会（ANTA）加盟の旅行会社対策

地域の団体旅行を牽引する第2種、第3種旅行者に対し、旅行商品造成のための提案活動を実施します。また、社員、従業員あるいは顧客向けの旅行商品を企画するいわゆるハウスエージェントに対しても提案活動を実施します。

<時期等> 通年 近畿、東海、首都圏、九州

○日本旅行業協会（JATA）とのタイアップによる商品造成促進

JATA とのタイアップ事業として、会員向けの観光素材説明会及び現地研修ツアーを実施し、商品造成を促進します。

2019実績

◇旅行商品造成の働きかけ

○旅行商品造成支援

旅行会社企画担当者の現地下見受入を随時行い、現地下見に係る案内や経費の支援を実施（全16社うち近畿、東海、西日本等は13社）

○旅行商品造成に係る下見支援制度の提案

本県向け旅行商品の造成促進を目的とした下見支援制度について、都市圏の全国旅行業協会（ANTA）支部や旅行会社に対してセールスを実施（18社のうち近畿、東海、西日本等は13社）

(4) 『首都圏』から和歌山へ招く

人や情報が集中する首都圏において、メディアや旅行会社と連携し世界遺産「高野山・熊野」や「わかやま歴史物語」、「サイクリング王国わかやま」、「水の国、わかやま。」などの観光素材を継続的に情報発信し、首都圏からの観光客誘致につなげます。

“和みわかやま”東京レセプションの開催を通じた情報発信をはじめ、訴求力のある媒体への提案活動を実施するとともに、知的好奇心旺盛な方に向けた「わかやま講座」等を開催し、和歌山への興味と旅行動機を喚起します。

I メディア展開

◇メディア開拓、連携強化、企画提案の実施

県内の地域や企業等との連携のもと、誘客に効果的なメディアの新規開拓や有力媒体に対する企画提案活動・取材誘致を行い、訴求力のある情報発信を実現します。

○「“和みわかやま”東京レセプション 2020」において、テレビ番組制作、新聞、雑誌等首都圏メディアを招集し、観光素材のプロモーション説明会を実施します。

○記者取材会の実施

企画提案活動を通じ、より効果的な媒体露出を図るため、首都圏メディアを対象に記者取材会を実施します。

◇メディア等情報交換会の開催

近畿6府県が連携し、首都圏の各記者クラブ等メディア関係者、旅行エージェント企画造成担当者を対象に、県内地域参加のもと対面型による観光素材の説明を実施し、媒体露出と旅行商品造成による送客促進の流れを築きます。

<時期> 10月、3年2月

2019実績

◇メディア各社への情報提供及び企画提案の実施

○テレビ、ラジオ

媒体名	テーマ	発行日等
TOKYO - FM 「ピートのふしぎなガレージ」	みなべ町・田辺市・梅	5月18日
TBSラジオ 「森本毅郎・スタンバイ！」	梅干しの効能	7月8日

○雑誌、新聞、フリーペーパー等

媒体名	テーマ	発行日等
交通新聞社 「旅の手帖（5月号）」	白浜温泉	4月10日
水中造形センター 「マリンダイビング（5月号）」	串本町	4月10日

中日新聞東京本社 「東京中日スポーツ」	高野山、和歌山市、南海電鉄ケーブルカー	4月19日
日刊現代 「日刊ゲンダイ」	和歌山市、高野山、かつらぎ町、ケーブルカー	4月23日
旅行読売出版社 「読売旅行（5月号）」	世界遺産、熊野古道	4月28日
サンケイリビング新聞社 「首都圏リビング」	高野山、天空、パンダ、サイクリング、食	5月17日
宝島社 「全国御朱印大事典」	神社仏閣御朱印	5月23日
JALブランドコミュニケーション 「SKYWARD（6月号）」	白浜町	6月1日
日刊工業新聞社 「メトロガイド（6月号）」	南海電鉄天空、高野山	6月5日
スターツ出版 「OZmagazineTRIP（2019夏号）」	南海電鉄天空、高野山	6月7日
マガジンハウス 「クロワッサンNo. 999」	紀州南高梅	6月10日
旅行読売出版社 「旅行読売（7月号）」	南海電鉄加太さかな線	6月28日
トヨタファイナンス トヨタレクサス会員誌「moment（7・8月号）」	世界遺産15周年、熊野三山、かつらぎ町、勝浦温泉	7月1日
JALブランドコミュニケーション 「SKYWARD（7月号）」	白浜町	7月1日
スポーツニッポン新聞社 「スポーツニッポン」	有田市	7月10日
交通新聞社 「旅の手帖（8月号）」	南紀熊野ジオパークセンター	7月10日
スポーツニッポン新聞社 「スポーツニッポン」	白浜町、パンダ	7月22日
三栄書房 「男の隠れ家（9月号）」	和歌山市、花山温泉	7月26日
休暇村協会 会員向け情報誌「倶楽部Q77号」	世界遺産、熊野三山	8月1日
ワールドフォトプレス 「モノ・マガジン（8月2日号）」	有田市、湯浅町、広川町、有田川町	8月2日

水中造形センター 「マリンダイビング（９月号）」	串本町	８月１０日
三栄書房「男の隠れ家別冊 男の気ま まなひとり旅」	白浜温泉、龍神温泉、 南紀勝浦	８月１５日
日刊現代 「日刊ゲンダイ」	熊野牛	８月１５日
観光経済新聞社 「観光経済新聞」	和歌山県の観光誘致戦 略	８月２４日
三栄書房 「男の隠れ家（１０月号）」	那智勝浦町、串本町	８月２７日
光文社 「女性自身」	パンダ	９月３日
朝日新聞社「朝日新聞（朝刊）」	東京レセプション（高 野山、１００人の会）	９月６日
観光経済新聞社「観光経済新聞」	東京レセプション（高 野山、１００人の会）	９月１４日
中日新聞東京本社「東京新聞（朝刊）」	東京レセプション（高 野山、１００人の会）	９月１７日
農協協会 「農業協同組合新聞」	海南市	９月２０日
旅行新聞新社「旬刊旅行新聞」	東京レセプション（高 野山、１００人の会）	９月２１日
スポーツニッポン新聞社 「スポーツニッポン」	水の国シンポジウム	９月２５日
日刊現代「日刊ゲンダイ」	水の国シンポジウム	９月２５日
講談社 「週刊現代（１０月５日号）」	世界遺産熊野	１０月５日
交通新聞社 「旅の手帖（１１月号）」	日本遺産「鯨」	１０月１０日
水中造形センター 「マリンダイビング（１１月号）」	串本、みなべ、田辺	１０月１０日
日刊現代 「日刊ゲンダイ」	有田川町	１０月１６日
日刊スポーツ新聞社 「日刊スポーツ」	世界遺産高野山	１１月７日
旅行新聞新社「旬刊旅行新聞」	水の国シンポジウム	１１月１１日
交通新聞社 「女子旅日和」	白浜町、パンダ	１１月１３日

日刊スポーツ新聞社 「日刊スポーツ」	高野山、龍神温泉、秋津野ガルテン	11月21日
三栄書房 「男の隠れ家（1月号）」	白浜椿温泉	11月27日
ベストセラーズ 「歴史人（1月号）」	紀州徳川家	12月6日
ベストセラーズ 「一個人（1月号）」	世界遺産15周年、熊野三山、熊野古道	12月9日
日刊現代 「日刊ゲンダイ」	高野山、龍神温泉、秋津野ガルテン	12月17日
デイリースポーツ新聞社 「デイリースポーツ」	高野山、九度山町、龍神温泉	12月26日
日刊現代 「日刊ゲンダイ」	紀州の本くえ	1月1日
中日新聞東京本社 「東京中日スポーツ」	日高町、湯浅町、有田川町、田辺市	1月17日
旅行読売出版社 「旅行読売（3月号）」	白浜町、温泉バス	1月28日
日刊スポーツ新聞社 「日刊スポーツ」	歌舞伎座ギャラリー 「道成寺deナイト」	2月23日
交通新聞社 「旅の手帖（4月号）」	南紀熊野ジオパーク	3月10日
山と溪谷社 「乗って楽しい！大人の電車旅」	天空、めでたい電車、学文路駅、学門駅	3月11日
三栄書房 「「時空旅人」高野山」	高野山	3月26日
サンケイリビング新聞社 「シティリビング」	パンダ、サイクリング、温泉、熊野詣、秋津野ガルテン	3月27日

〇WEB等

媒体名	テーマ	発行日等
プレジデント社 「PRESIDENT ウーマンオンライン」	和歌の浦、万葉集	4月29日
サンケイリビング新聞社 「リビングWeb おでかけコレクション」	パンダ、白浜温泉、高野山、サイクリング	5月17日
Forbes Japan「Forbes Japan（フォーブス ジャパン）」	高野山、空海	5月26日

楽天 「楽天トラベル マイ トリップ」	熊野古道、熊野三山	6月19日
朝日新聞 「朝日新聞デジタル」	紀州南高梅	7月4日
プレジデント社 「PRESIDENT ウーマンオンライン」	高野山	8月26日
JALデジタルエクスペリエンス 「JALデジタルエクスペリエンス」	白浜町	9月
日本食文化推進機構 「食文化を旅する」	日高町	11月19日
徳間書店 「食楽WEB」	日高町	11月28日

◇プレスツアーの実施

- <時期等> 2年2月27～28日
白浜町～田辺市 参加7社7人
南紀白浜・田辺魅力発信プロジェクトチームと共同開催
- <内容> パンダや世界遺産を1泊2日で楽しむ 南紀白浜&田辺 満喫旅

◇記者取材会の実施

- <時期等> 10月17～18日
九度山町～高野町～田辺市 参加3社3人
- <内容> 一わかやまde秋旅ー
空海を感じる聖地高野山と心に彩を感じて

◇観光素材説明会の開催

- ・近畿6府県首都圏観光連絡協議会
情報交換会（参加：旅行会社・メディア）
- <時期等> 6月5日 参加49人
- <内容> 和歌山市、那智勝浦町が観光素材をプレゼンテーション
- <時期等> 10月2日 参加52人
- <内容> 串本町が観光素材をプレゼンテーション
- <時期等> 2年2月5日 参加46人
- <内容> 和歌山市、九度山町が観光素材をプレゼンテーション

◇JALとタイアップした観光PR「和歌山特集」

- 南紀白浜＝羽田線の「首都圏での認知度向上」対策として観光PRを実施。
- <時期> 2年2月1～29日
- <内容> JALプラザ有楽町店舗内及びウィンドウへの梅花や観光ポスター飾りつけ、観光パンフレット、来場者への県産品の提供（那智黒飴、梅干し）

II 旅行会社対策

◇旅行会社ファミツアーの実施

首都圏の旅行商品造成を目的とし、旅行会社を招いた現地研修会等を実施します。

<時期等> 夏～秋

参加旅行会社 15社（予定）

<内 容> 首都圏旅行会社を対象に現地視察（場所未定）及び地元事業者との商談会

◇旅行会社担当者（企画担当・販売担当）との関係強化

○企画担当者との意見交換会の開催

「“和みわかやま”東京レセプション 2020」において、県内地域団体との商談会形式による情報交換会を実施します。

○旅行会社各店舗等への出前研修実施（観光素材や交通アクセス等のレクチャー）

◇旅行商品造成支援

○旅行会社企画担当者への有力観光素材や各種キャンペーン情報の提供

○旅行会社企画担当者による現地下見実現のための人的・財政的支援

◇販売促進支援

○旅行商品パンフレットの「わかやま紀州館」への配置・配布

○旅行商品販売促進のためのタイアップ事業の実施

◇情報ツールの提供

より魅力的な旅行商品パンフレットの作成を支援するため、観光素材の詳細資料や写真等の提供を迅速に行います。

2019 実績

◇旅行会社ファミツアーの実施

<時期等> 12月17～19日（観光振興課とわかやま紀州館共同開催）

参加11社11人

<内 容> 紀南地方を中心に現地視察、那智勝浦町と白浜町で参加旅行業者と地元事業者の商談会を実施

◇観光素材説明会の開催 [詳細 129 頁](#)

◇旅行商品造成 新規 16 件

○商品内容

会 社 名	商 品 名
エヌオーシー	世界遺産熊野古道中辺路を歩く5日間
クラブツーリズム	高野山の麓に佇む全6室の「山荘 天の里」と源泉かけ流し露天風呂付温泉宿「湯乃谷 千慶」3日間
ジャルパック	高野山で日本のオーベルジュ「宿坊」に泊まり精進料理を堪能！アドベンチャーワールド&高野山満喫3日間

J T B	令和元年秋の旅「南海こうや花鉄道「天空」と近鉄観光特急「しまかぜ」に乗る！高野山・伊勢志摩」3日間
J T B	令和元年秋の旅「往復新幹線グリーン車・復路「しまかぜ」に乗る！「志摩観光ホテル ザ クラシック」での海の幸フランス料理と世界遺産 熊野・高野山 ゆとりの聖地巡礼と伊勢神宮両参り」4日間
J T B	温泉のある宿坊と高野山と奈良大和路、紀州の紅葉名所巡り3日間
南海国際旅行	非日常を体感する旅 尼僧と巡る聖地高野山2日間
南海国際旅行	添乗員同行世界遺産紀伊山地の霊場と参詣道 高野山・熊野古道を巡る旅3日間
J T B	伊勢神宮両参りと世界遺産 熊野古道・熊野三山・高野山 伊勢南紀ハイライト3日間
J T B	世界遺産登録15周年 語り部と歩く熊野古道と熊野三山・伊勢神宮・高野山参詣3日間
三越伊勢丹ニッ コウトラベル	世界遺産・熊野三山と熊野古道ハイキング パンダで人気のアドベンチャーワールド3日間
阪急交通社	当社基準Sランクホテルの露天風呂付客室・オーシャンビューのバスルーム付き客室で寛ぐ海辺のデラックスホテルで泊まるミステリーツアー4日間
阪急交通社	紀伊半島の秘境名湯大周遊3日間
J T B	吉野山・高野山と紀州の桜名所巡り3日間
J T B	語り部と歩く熊野古道と熊野三山・伊勢神宮・高野山参詣3日間
ジャンボツアーズ	パンダに会いに！熊野古道を歩いて温泉で湯ったり 紀州の旅2日間

○旅行商品造成支援

旅行会社企画担当者の現地下見受入を随時行い、現地下見に係る案内や経費の支援を実施（全16社のうち首都圏3社）

○旅行商品造成に係る下見支援制度の提案

本県向け旅行商品の造成促進を目的とした下見支援制度について、大都市圏の旅行会社に対してセールスを実施（全18社のうち首都圏5社）

Ⅲ わかやま講座

◇「わかやま講座」の開催

首都圏で、メディア、大学公開講座、カルチャーセンター、民間企業等と連携し、地元講師や有識者による講座の開催等を通じて「和歌山の魅力」を伝え、深い知識を得ることで和歌山県への旅行動機を喚起し、誘客を図ります。

＜時期等＞ 随時

2019実績

◇「わかやま講座」の開催

○ほんまにええとこ関西観光展（横浜）（新型コロナウイルス感染症対応のため中止）

＜時期＞ 2年2月21～23日

＜場所＞ 新都市プラザ（横浜市）

＜主催＞ 関西ブロック広域観光振興事業実行委員会

○メディア連携セミナー（新型コロナウイルス感染症対応のため中止）

・「道成寺deナイト 歌舞伎の名作を生みだした悲恋 ～わかやま歴史物語～」

＜時期等＞ 2年3月10日 受講110名 プレス20名

＜場所＞ 歌舞伎座タワー5F 歌舞伎座ギャラリー木挽町ホール

＜内容＞ 道成寺住職 小野俊成氏による「道成寺縁起」の絵解き
道成寺・小野住職×歌舞伎俳優・尾上菊之助トークショー
メディア向けフォトセッション

IV 首都圏観光物産PRイベント等の実施

◇“和みわかやま”東京レセプション2020

「世界遺産」や「わかやま歴史物語」、「サイクリング王国わかやま」、「水の国、わかやま。」など話題性のあるテーマを活かしたPRイベントを実施します。

＜時期＞ 10月14日（予定） ホテルニューオータニ東京（東京都）

＜内容＞ メディア・旅行会社関係者約300名を招いてのPR

【第1部】旅行会社情報交換会

観光プロモーション説明会

【第2部】レセプション（交流会）

◇東京から和歌山県への時刻表（アクセスガイド）の改訂発行

＜時期＞ 3年3月

◇わかやま発信イベント

地域と協働した観光イベントを通して和歌山の魅力を発信します。

○ほんまにええとこ関西観光展

＜時期等＞ 3年2月（予定） 横浜新都市プラザ（横浜市）

2019実績

◇「“和みわかやま”東京レセプション2019」

首都圏からの誘客促進を目的として、メディア関係・旅行会社等を対象とする「旅

行会社情報交換会」や「観光プロモーション説明会」、「レセプション（交流会）」を実施。世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」が登録15周年を迎えたことから、聖地高野山に関する講演や阿字観体験などのほか、特別企画として「高野山・熊野を愛する100人の会」の設立イベントを併せて実施

<時期等> 9月3日 ホテルニューオータニ東京

<内 容> 旅行会社情報交換会

・旅行会社18社と県内27地域団体との商談会

観光プロモーション説明会

・和歌山県の観光施策について

（中島寛和 和歌山県観光連盟専務理事、県観光局長）

・高野山真言宗宗務総長公室長 山口文章氏による講演

「究極の聖地高野山—いま聖地が求められているもの—」

・高野山阿字観体験

レセプション（交流会）

・高野山僧侶による声明ライブ

・「高野山・熊野を愛する100人の会」設立発表

・県産食材を活かした料理や本格梅酒等をお楽しみいただきながら
のメディア・旅行会社等348名との交流会

・「プレミアム和歌山」の紹介や県内市町村・観光団体によるPRブースを設置

○キャンペーン広報

・テレビ放映（レセプションを取材放映）

千葉テレビ「シャキット」 9月 4日

テレビ神奈川「猫ひたプラス」 9月 9日

テレビ埼玉「マチコミ」 9月12日

◇東京から和歌山県への時刻表（アクセスガイド）の改訂発行

首都圏から本県への最適で最新の交通アクセス・時刻を紹介

V わかやま紀州館等県産品PR活動

◇出前紀州館

首都圏の商業施設やイベント会場等で、和歌山県産品の展示販売と観光PRを並行して行なうことにより、首都圏での和歌山県の認知度アップを図ります。

○和歌山関連物産展への出展

<時期等> 随時（年間8回以上）

○その他物産PRイベントへの出展

<時期等> 随時

2019実績

◇和歌山関連物産展・イベントへの出展

日 程	イベント名	場 所
6月1～2日	わかやま観光物産展	丸の内「KITTE」
6月6日	木の国 和歌山 紀州材展	自民党本部
6月28～30日	第64回日本透析医学会学術集会・総会	パシフィコ横浜
8月7～8日	平成30年災害・東日本大震災被災地 応援企画「復興支援マルシェ」	農林水産省
9月4～8日	HYDE PARK2019	Zepp TOKYO
9月14～15日	赤坂氷川祭	赤坂氷川神社
10月30日	三井住友海上 地方創生フェスタ	三井住友海上本社ビル
11月2～3日	東京女子栄養大学 駒込祭	東京女子栄養大学
12月6日	東京海上日動わかやま物産フェア	東京海上日動本社ビル

◇わかやま紀州館周年祭

<時期等> 2年2月1～29日 わかやま紀州館

<内 容> 県内各地のお菓子の限定販売及び抽選会を実施し、わかぱんグッズ等
景品の贈呈

VI 大型観光展への出展

◇わかやま発信イベント

○ツーリズム EXPO ジャパン 2020

<時期等> 9月10～12日 青海展示場

<内 容>

- ・各種メディアや日本旅行業協会加盟の国内大手旅行会社との商談会に地域団体とともに参加
- ・一般向けの展示会に地域団体とともに出展し観光PRを実施

3 和歌山でもてなす

県民みんなで来訪者を歓迎し、気持ちよく過ごしていただくことで、再訪につなげていくため、平成25年度からおもてなし県民運動「わかやまおもてなし宣言」に取り組んでいます。県民のおもてなし意識の向上を柱として、ソフト、ハードの両面で「おもてなし」を推進していきます。

ソフト面では、総合的な受入対策として、第一線で観光客に接する関係者の接遇能力の向上を図るための研修会を実施し、従業員満足度（ES）の向上を図ることで従業員のやる気を引き出し、更には、顧客満足度（CS）の向上を図ります。

ハード面では引き続き、公衆トイレの快適性向上や美化促進を図るために、大便器の洋式化、温水洗浄便座の設置、小便器の自動洗浄化などに市町村等と連携して取り組みます。

(1) 夜の楽しみ方の提案

◇「Nightlife in WAKAYAMA ～和歌山の夜の楽しみ方～」の拡充

夜の娯楽としての県内飲食店や星空観察会をはじめとする体験プログラム、イベント情報などを総合的に発信するとともに、県内飲食店の外国人観光客受入環境（メニュー多言語化、WEB予約システム等）の整備を進め、県内の消費拡大を目指します。

<内 容> 飲食店や体験プログラムなどをまとめた「特設サイト」を更新
「特設サイト」に夜景スポットなどを紹介する新たなコーナーを拡充

<時 期> 随時

<展 開> 特設サイトへの誘導

・専用リーフレット

QRコードを付したリーフレットを観光案内所、宿泊施設（フロント・客室）、観光関係施設等に配置

・多言語WEBサイト「Visit Wakayama」、県観光情報サイト「わかやま観光情報」にリンク設定

・各種パンフレット、SNSの活用

2019実績

◇Nightlife in WAKAYAMA 特設サイトへのイベントや飲食店の掲載

<時 期> 随時掲載

<内 容> 飲食店や体験プログラムをエリア別に掲載
外国人観光客向けには、多言語版観光情報サイト「Visit Wakayama」内に「WAKAYAMA WHEN THE SUN GOES DOWN」ページを追加

<展 開> 各種HPでのバナー設置、印刷物のQRコード掲載

◇リビング和歌山への掲載

<時 期> 1917号（12月14日）

<内 容> 和歌山県内における冬の夜のお出かけスポットを紹介

(2) 快適観光空間の創造

トイレの整備

◇観光地内公衆トイレ整備補助

公衆トイレの快適性向上や美化促進を図るため、平成25年度から実施してきた「和歌山おもてなしトイレ大作戦」を引き継ぎ、観光地の公衆トイレ整備に取り組むとともに、適切な管理に努めます。

<内 容> 市町村等が行うトイレ整備（大便器の洋式化、温水洗浄便座の設置、小便器の自動洗浄化など）に対して補助

2019実績

◇和歌山おもてなしトイレ大作戦（観光施設整備補助等）の実施

「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」などを契機として、観光地の公衆トイレ整備を実施

○改修・整備

<箇所数> 6か所

<備考> 累 計 690か所

平成25～28年度 661か所

平成29年度 16か所

平成30年度 7か所

(3) 二次交通（路線バス）

二次交通（路線バス）の利便性向上

主要駅や宿泊地から路線バスを利用して高野山や熊野に至るアクセスルートや周遊モデルプランを情報発信することで、海外を含む個人・グループ観光客の誘客を図ります。また、観光客の利便性を向上させるため関西国際空港や京都駅から高野山、高野山から熊野エリア、高野山麓を周遊するアクセスバスの利用促進を図ります。

◇リムジンバス・アクセスバスの運行

公共交通を利用して世界遺産を巡る観光客の利便性を向上するため、リムジンバス（関西国際空港～高野山）、高速バス（京都駅～高野山）、アクセスバス（高野山～熊野エリア、高野山麓）を組み込んだ旅行商品の造成と販売促進を旅行会社に働きかけます。また、当該バスの利用促進を図るため、積極的に情報発信を行います。

<内 容> バスPRチラシ・ポスター

雑誌・新聞・フリーペーパー・WEB・SNS等への情報掲載

車内吊りポスター掲出など

【参考：運行内容】

○高速バス（京都駅～高野山）

京都観光を楽しむ主にFIT（海外からの個人観光客）をターゲットに、高野山への誘客を図るため、京都駅と高野山をダイレクトで結ぶ高速バスを運行します。

また、旅行会社に対しては、高速バスを組み込んだ旅行商品の造成・販売促進を依

頼みます。

<時期> 今秋(予定)

<コース> 京都駅～高野山(1日2往復)

<運行会社> 京阪バス(株)、南海りんかんバス(株)



○リムジンバス(関西国際空港～高野山)

関西国際空港を利用する主にFIT(海外からの個人観光客)の利便性向上を図るため、関西国際空港から高野山をダイレクトで結ぶリムジンバスを運行します。

また、旅行会社に対しては、リムジンバスを組み込んだ旅行商品の造成・販売促進を依頼します。

<時期> 9月1日～11月30日 合計91日間

<コース> 関西国際空港～高野山(1日1往復)

<運行会社> 関西空港交通(株)

○世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス

公共交通を利用して世界遺産を巡る個人・グループ観光客の利便性向上を図るため、高野山と熊野エリアを結ぶアクセスバスを運行します。

また、旅行会社に対しては、アクセスバスを組み込んだ旅行商品の造成・販売促進を依頼します。

<時期> 4月1日～11月30日
(予定)

平日 1往復、土日祝 2往復運行

<コース> 高野山発

午前便：高野山駅前(9:45)→護摩壇山(乗換)→
本宮大社前(14:22)

午後便：高野山駅前(14:15)→護摩壇山(乗換)→
本宮大社前(18:12)

熊野本宮大社発

午前便：本宮大社前(8:05)→なかへち美術館前(乗換)
→護摩壇山(乗換)→高野山駅前(12:10)

午後便：本宮大社前(12:40)→なかへち美術館前(乗換)
→護摩壇山(乗換)→高野山駅前(16:40)

※午後便は土日祝のみ運行

<運行会社> 南海りんかんバス(株)、龍神自動車(株)

<備考> 旅行商品(JTB、日本旅行、近畿日本ツーリストなど)のオプションプランとして紹介



○高野山麓世界遺産アクセスバス

高野山とその麓に点在する世界遺産の社寺などの観光地を巡る観光客(主に個人)の利便性向上を図るため、橋本駅から高野山を結ぶアクセスバスを運行します。

また、旅行会社に対しては、アクセスバスを組み込んだ旅行商品の造成・販売促進を依頼します。

<時期> 9月12日～11月29日の土日祝日(28日間)

- <コース> ・橋本駅前～丹生都比売神社前（1日4往復）
 ※九度山町内・高野口経由
 ・丹生都比売神社前～奥之院前（1日3往復）

<運行会社> 南海りんかんバス（株）

◇「世界遺産 熊野古道ウォーキングナビ」 詳細 47 頁

2019実績

◇リムジンバス・アクセスバス運行に関する情報発信

名 称	掲載テーマ	発行日等
観光連盟 WEBサイト	高速バス（京都駅～高野山）	8月上旬 ～11月下旬
Visit Wakayama WEBサイト（9言語）	高速バス（京都駅～高野山）	8月上旬 ～11月下旬
Google バナー広告	高速バス（京都駅～高野山）	8月上旬 ～11月下旬
紀州浪漫（秋号）	高速バス（京都駅～高野山）	9月1日
高野町広報誌	高速バス（京都駅～高野山）	9月1日
金剛峯寺教報	高速バス（京都駅～高野山）	9月15日
LEAF	高速バス（京都駅～高野山）	9月25日
阪急電鉄沿線情報誌 「TOKK（10月1日号）」	高速バス（京都駅～高野山）	9月25日
JAPAN TRAVEL WEBサイト	高速バス（京都駅～高野山）	9月上旬 ～下旬
lonely planet WEBサイト	高速バス（京都駅～高野山）	9月上旬 ～11月下旬
lonely planet メールマガジン	高速バス（京都駅～高野山）	9月中旬 ～10月下旬
KYOTO CITY OFFICIAL TRAVEL GUIDE WEBサイト	高速バス（京都駅～高野山）	10月上旬 ～11月下旬
チラシ A4/70,000部	高速バス（京都駅～高野山）	
ポスター B3/1,100枚	高速バス（京都駅～高野山）	
観光連盟 WEBサイト	リムジンバス（関西空港～高野山）	8月上旬 ～11月下旬

Visit Wakayama WEBサイト（9言語）	リムジンバス（関西空港～高野山）	8月上旬 ～11月下旬
Google バナー広告	リムジンバス（関西空港～高野山）	8月上旬 ～11月下旬
紀州浪漫（秋号）	リムジンバス（関西空港～高野山）	9月1日
エアポートリムジン時刻表	リムジンバス（関西空港～高野山）	9月1日
JAPAN TRAVEL WEBサイト	リムジンバス（関西空港～高野山）	9月上旬 ～下旬
lonely planet WEBサイト	リムジンバス（関西空港～高野山）	9月上旬 ～11月下旬
lonely planet メールマガジン	リムジンバス（関西空港～高野山）	9月中旬 ～10月下旬
KYOTO CITY OFFICIAL TRAVEL GUIDE WEBサイト	リムジンバス（関西空港～高野山）	10月上旬 ～11月下旬
チラシ A4/30,000部	リムジンバス（関西空港～高野山）	
ポスター B3/100枚	リムジンバス（関西空港～高野山）	
Google バナー広告	世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス	4月上旬 11月下旬
lonely planet WEBサイト	世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス	4月下旬 ～7月中旬 9月上旬 11月下旬
Natts（7月号）22万部	世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス	7月1日
婦人公論（7月号）9万部	世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス	7月23日
Natts（8月号）22万部	世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス	8月1日
Wind（9月号）9万部	世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス	9月1日
lonely planet メールマガジン	世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス	9月中旬 ～10月下旬
JAPAN TRAVEL WEBサイト	世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス	9月上旬 ～下旬

KYOTO CITY OFFICIAL TRAVEL GUIDE WEBサイト	世界遺産「高野山・熊野」聖 地巡礼バス	10月上旬 ～11月下旬
Visit Wakayama WEBサイト（9言 語）	世界遺産「高野山・熊野」聖 地巡礼バス	10月上旬 ～11月下旬
紀州浪漫（秋号）	世界遺産「高野山・熊野」聖 地巡礼バス	9月1日
紀州浪漫（春号）	世界遺産「高野山・熊野」聖 地巡礼バス	3月1日
チラシ（日本語）A4／4. 2万部	世界遺産「高野山・熊野」聖 地巡礼バス	
チラシ（英語）A4／2. 8万部	世界遺産「高野山・熊野」聖 地巡礼バス	
観光連盟ホームページ	世界遺産「高野山・熊野」聖 地巡礼バス	
パンフレット（日本語）4万部	高野山麓世界遺産アクセス バス	7月
パンフレット（英語）2万部	高野山麓世界遺産アクセス バス	7月
ポスター300部	高野山麓世界遺産アクセス バス	7月
さかにゅーマガジン（8月号）	高野山麓世界遺産アクセス バス	7月19日
さかにゅーマガジン（9月号）	高野山麓世界遺産アクセス バス	8月16日
紀州浪漫（秋号）	高野山麓世界遺産アクセス バス	9月1日
さかにゅーマガジン（10月号）	高野山麓世界遺産アクセス バス	9月20日
Pretty（10月号）	高野山麓世界遺産アクセス バス	9月24日
産経新聞泉北版	高野山麓世界遺産アクセス バス	9月29日
月刊誌「関西 中国・四国じゃらん」	高野山麓世界遺産アクセス バス	10月1日
◇世界遺産熊野古道ウォーキングナビ 詳細 48 頁		

(4)わかやまおもてなし県民運動

「わかやまおもてなし宣言」

県民一人ひとりが来訪者をおもてなしの心で歓迎する機運を高めるため、「わかやまおもてなし宣言」の取組を継続、拡大し、県民の主体的なおもてなしを質、量ともに高めます。

◇「わかやまおもてなし宣言」の実施

県民総参加による観光振興を推進し、将来にわたり持続可能な観光力の強化につなげるため、県民一人ひとりが来訪者に対して行う具体的なおもてなしの内容を「わかやまおもてなし宣言」に登録し、実践していただきます。

＜時 期＞ 25年8月28日～

＜対 象＞ 県内在住、通勤通学、県内を拠点に活動している個人・団体等

＜内 容＞ 自分ができる「おもてなし」を具体的に宣言して実践

登録者に登録証、登録ステッカー、おもてなしハンドブックを進呈

＜広 報＞ 交通関係、商工関係、教育関係、各種団体等と連携して、広報活動を継続して展開

◇おもてなし研修会の実施

「わかやまおもてなし宣言」の登録者に対して、県内各地域でおもてなし向上のための研修会を開催します。

2019実績

◇おもてなし県民運動「わかやまおもてなし宣言」の実施

＜時 期＞ 25年8月28日～

＜登録者＞ 1,707件 70,586人（2年2月末現在）

＜対 象＞ 県内在住、通勤通学、県内を拠点に活動している個人・団体等

＜内 容＞ 自分ができる「おもてなし」を具体的に宣言して実践

登録者に登録証、ステッカー、おもてなしハンドブックを進呈

登録した「宣言内容」を県観光情報サイト内で紹介

＜広 報＞ チラシ・ポスター設置・掲出、県内事業所などへの働きかけ

◇おもてなし宣言スキルアップ研修会の開催

おもてなし宣言登録者等にスキルアップを図っていただくための研修会を実施

＜時期等＞ 第1回 8月18日 プラザホープ 参加 31人

第2回 8月19日 和歌山県民文化会館 参加 40人

第3回 8月22日 紀南文化会館 参加 15人

計 86人

(5)観光週間

観光週間事業の実施

「和歌山県観光立県推進条例」に定める観光週間を中心に、観光週間が属する月に諸事業を実施し、観光振興に取り組む意識を高め、二度、三度と来ていただけるような取組を推進します。

2019実績

◇「観光週間事業の実施」

観光週間事業として、世界遺産登録15周年キャンペーン開始に合わせ、誘客につながるよう情報発信を強化

世界遺産登録15周年 [詳細 48 頁](#)

(6) 接遇の向上・人材の育成

交通事業者のおもてなし向上

◇タクシードライバーのおもてなし力向上

県内全てのタクシードライバーが最高の接客・接遇と優良なサービスを提供できるよう、県企画部と連携しておもてなし力の向上に取り組みます。

○事業者が行う接客・接遇講習会等研修への支援（県総合交通政策課）

○わかやまおもてなし宣言との連携

車内用の登録証や名刺に「わかやまおもてなし宣言」の内容を記載

2019実績

◇事業者が行う接客・接遇講習会等研修への支援

○接客・接遇講習会

<時期等> 10月～2年2月 計7回 計455人受講

○タクシー関係者の「わかやまおもてなし宣言」

<登録> 8社・団体 1,316人（2年2月末現在）

ホスピタリティ向上

おもてなしの精神や作法など、特に第一線で観光客に接する観光関係者が必要とするおもてなし力の向上や、施設・料理など宿泊施設の商品力強化を支援します。

◇おもてなし力向上研修会（おもてなし初級編）

県内観光関連施設のおもてなし力の向上を目的に、研修会を開催します。

<対象> 観光協会、旅館組合、公共交通機関、企業など

<内容> 県内各地で、接遇スキルの向上を目指した研修会を開催

◇課題対応研修会（おもてなし中級編）

県内観光関連施設が抱える課題解決を目的に、研修会を開催します。

<対象> 観光協会、旅館組合、公共交通機関、企業など

<内容> 県内各地で、設定した課題に特化した研修会を開催

◇おもてなしの宿づくりセミナー（おもてなし上級編）

宿泊施設の経営者や支配人、基幹的職員を対象としたセミナーを開催するとともに、情報交換の場を設け、県全体のおもてなし向上を図ります。

<対象> 県内の宿泊施設

<内容> 講義・講演

◇おもてなし研修会 [詳細 151 頁](#)

2019実績

◇おもてなし力向上研修会

- <時期等> 第1回 6月24日 和歌山県民文化会館 参加13人
第2回 6月25日 紀南文化会館 参加30人

<内 容> おもてなしの意味、必要性を理解し、お客様に対し、その心を体現できるようにする

◇課題対応研修会

○クレーム対応研修会

- <時期等> 第1回 7月1日 紀南文化会館 参加24人
第2回 7月2日 和歌山県民文化会館 参加16人

<内 容> クレームの初期対応の実践習得

○リーダー研修会

- <時期等> 第1回 7月8日 紀南文化会館 参加24人
第2回 7月9日 和歌山県民文化会館 参加12人

<内 容> 人材育成のポイント、組織の活性化に受けた指導スキルの習得

◇おもてなしの宿づくりセミナー

<時期等> 10月1日 三楽荘

- <内 容> 第1部 三楽荘バックヤード見学 参加21人
第2部 講演会 参加27人

「よい謝罪～その前に重要なリスクマネジメントを学ぶ～」

◇「和みわかやま」おもてなしの宿アワード2019

<対 象> 県内の宿泊施設

<部 門> 旅館部門／ホテル部門／小さなお宿部門

<評 価> 覆面調査員（専門業者に委託）が宿泊し、接遇や料理、施設環境等総合的なおもてなし力を数値で評価

<応 募> 18施設

<受 賞> 旅館部門：碧き島の宿 熊野別邸 中の島（那智勝浦町）
ホテル部門：INFINITO HOTEL&SPA 南紀白浜（白浜町）
小さなお宿部門：南紀月の瀬温泉 ぼたん荘（古座川町）
2年2月5日授賞式

記念プレート贈呈、紀州浪漫春号へ掲載

◇おもてなしの宿づくり支援アドバイザー派遣

<時期等> 花山温泉（経営改善） 10月

人材の育成

和歌山大学、県、県観光連盟の三者で締結した相互連携協定に基づき、本県の基幹産業である観光産業の振興を図るため、大学、行政及び観光関係団体が有する知識や情報を有効に活用した協働事業を実施します。

◇公開講座「観光・地域づくり（仮称）」の共同開催

観光に寄与する人材の育成に向け、先進観光地のキーパーソンから先進事例を学ぶ公開講座「観光・地域づくり（仮称）」を和歌山大学観光学部と連携して共同開催します。

- <時期等> 10月～11月 5講座
<対象> 観光学部学生、観光事業者、一般県民
<内容> 先進観光地キーパーソンの講演

◇インターンシップ受入

観光局、わかやま紀州館等においてインターンシップを受け入れます。

2019実績

◇「観光カリスマ講座」 受講者数 計359人

○第1回

- <時期等> 10月17日 参加77人
<内容> わが国の観光施策と地域づくりについて
<講師> 観光庁観光地域振興部観光資源課長 河野敦弥 氏

○第2回

- <時期等> 11月7日 参加70人
<内容> 「笑」あるところに人は集まる！
<講師> ゆのこう美春閣・鷺羽山下電ホテル 女将 永山泉水 氏

○第3回

- <時期等> 11月21日 参加68人
<内容> “宙ツーリズム”新しい観光による地域活性化の取組
<講師> (一社)宙ツーリズム推進協議会 理事
(株)電通 宇宙ラボ主任研究員 荒井誠 氏

○第4回

- <時期等> 12月5日 参加68人
<内容> 西国三十三所草創1300年によせて
—日本遺産西国巡礼認定ストーリーから寺院観光を考える—
<講師> 西国16番札所清水寺執行補、京都観光おもてなし大使ほか
森清顕 氏

○第5回

- <時期等> 12月19日 参加76人
<内容> 持続可能な観光地域づくりへの思考法
<講師> (株)インアウトバウンド仙台・松島
代表取締役 西谷雷佐 氏

◇インターンシップの受入（和歌山大学観光学部学生）

○観光局

- <時期等> 7月16日、8月22・23日・9月6日（うち1日）、10月2

7日（3人、各3日間）

- <内 容>
- ・和歌山フィルムコミッション事業同行
 - ・インバウンド誘致にかかる県内視察同行
 - ・ツーリズム EXPO ジャパン 2019 観光ブース運営業務同行

4 『海外』から和歌山へ招く、『外国人観光客』をもてなす

〔訪日外国人の状況〕

2019年の訪日外国人数は、対前年比2.2%増の3,188万2千人で過去最多となり、韓国を除く19市場で過去最高値を記録しました。

東アジア市場については、韓国市場について8月以降はおよそ半減する状況が続いているものの、韓国市場を除く3市場は前年を上回りました。東南アジア市場については主要市場について年の後半にかけて高い伸びとなり、また、欧米豪市場についてはラグビーワールドカップ2019日本大会開催を契機とした訪日需要の高まりもあり年間を通じて好調な伸びを示しました。

〔訪和歌山外国人の状況〕

2019年の本県における外国人宿泊客数については、501,844人泊を記録し、過去最高の宿泊客数となりました。

中国市場については、白浜町などで好調に宿泊客数を伸ばすなど対前年比31.5%増で過去最高を記録し、シェアを約3割まで拡大しました。欧米豪市場についても引き続き好調を示し、高野山・熊野の世界遺産エリアを中心に対前年比16.6%増と堅調に推移し、初めて3分の1以上までシェアを拡大しました。一方で、韓国市場においては、日韓関係の悪化の影響を受け対前年比43.7%減と宿泊客数が大幅に減少しました。

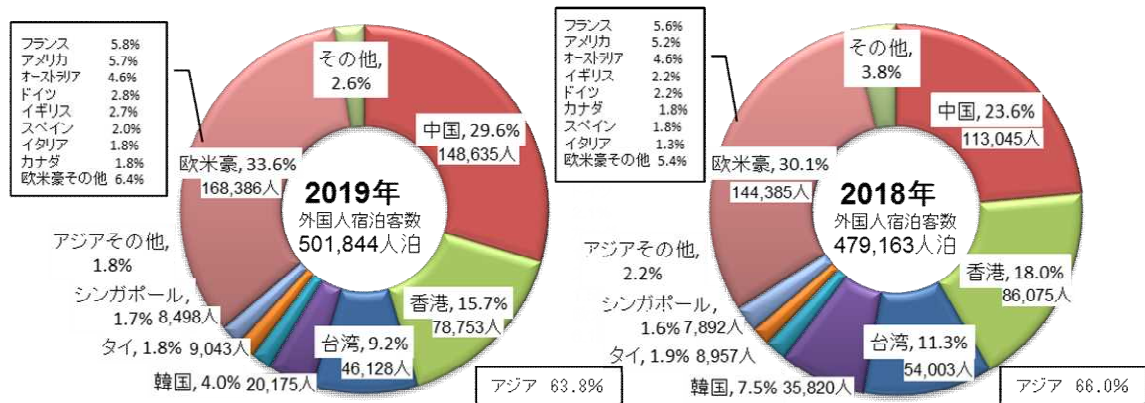
地域別では、世界遺産エリアの高野町や田辺市、新宮市、そして白浜町などで過去最高を記録する一方で、耐震工事の影響や団体ツアーの減少により、那智勝浦町などで宿泊客数が減少しました。

〇県内外国人宿泊客数の推移（国・地域別）

（人泊）

	2003	2014	2015	2016	2017	2018	2019		
	(平成15年)	(平成26年)	(平成27年)	(平成28年)	(平成29年)	(平成30年)	(令和元年)	対前年比	シェア
アジア	45,737	220,247	323,381	373,808	331,203	316,477	320,323	101.2%	63.8%
中国	1,829	37,373	98,280	140,403	97,658	113,045	148,635	131.5%	29.6%
香港	5,858	77,621	97,313	103,609	105,802	86,075	78,753	91.5%	15.7%
台湾	28,327	69,262	80,478	70,315	64,485	54,003	46,128	85.4%	9.2%
韓国	8,046	9,692	15,874	25,095	34,568	35,820	20,175	56.3%	4.0%
タイ	-	5,028	8,839	11,919	10,226	8,957	9,043	101.0%	1.8%
シンガポール	-	4,814	7,824	10,737	8,515	7,892	8,498	107.7%	1.7%
アジアその他	1,677	16,457	14,773	11,730	9,949	10,685	9,091	85.1%	1.8%
欧米豪	12,671	69,555	79,764	107,782	126,694	144,385	168,386	116.6%	33.6%
フランス	1,139	13,534	14,343	18,356	18,301	26,806	29,200	108.9%	5.8%
アメリカ	4,909	11,695	14,307	19,654	23,505	24,730	28,770	116.3%	5.7%
オーストラリア	601	10,558	13,033	14,205	18,537	22,016	22,881	103.9%	4.6%
ドイツ	2,283	4,119	4,592	8,013	9,645	10,645	13,989	131.4%	2.8%
イギリス	739	5,317	6,025	9,294	11,603	10,707	13,526	126.3%	2.7%
スペイン	-	4,584	5,902	6,975	8,077	8,589	9,858	114.8%	2.0%
イタリア	-	-	-	6,031	5,094	6,007	9,005	149.9%	1.8%
カナダ	547	3,241	3,711	4,348	7,684	8,766	8,879	101.3%	1.8%
欧米豪その他	2,453	16,507	17,851	20,906	24,248	26,119	32,278	123.6%	6.4%
その他	2,875	13,772	24,449	18,601	17,731	18,301	13,135	71.8%	2.6%
合計	61,283	303,574	427,594	500,191	475,628	479,163	501,844	104.7%	100.0%

○県内外国人宿泊客数のシェア（国・地域別）



○主要市町村別の宿泊客数（国・地域別）

（人泊）

	2019年 (令和元年)	2018年 (平成30年)	対前年比 (R1/H30)	2019年(令和元年) 国・地域別内訳										
				アジア	(中国)	(香港)	(台湾)	(韓国)	(タイ)	欧米豪	(フランス)	(アメリカ)	(オーストラリア)	その他
高野町	108,993	93,874	116.1%	12,762	6,975	1,698	583	594	334	94,578	22,834	12,174	6,191	1,653
和歌山市	105,899	117,034	90.5%	90,197	48,699	22,355	7,152	3,491	3,595	10,557	1,150	2,927	1,315	5,145
白浜町	105,348	95,760	110.0%	98,984	40,555	37,391	11,034	6,085	1,451	5,846	443	1,845	591	518
田辺市	50,926	43,939	115.9%	11,808	3,033	2,990	1,990	543	476	35,015	2,705	7,138	9,717	4,103
那智勝浦町	37,022	52,724	70.2%	23,795	3,532	3,255	9,815	4,092	1,481	12,858	1,039	2,832	2,911	369
みなべ町	29,768	34,866	85.4%	29,664	5,734	8,054	10,080	3,688	808	91	14	36	8	13
新宮市	12,504	9,112	137.2%	4,855	1,743	786	1,137	213	239	6,840	781	1,394	1,783	809
その他	51,384	31,854	161.3%	48,258	38,364	2,224	4,337	1,469	659	2,601	234	424	365	525
合計	501,844	479,163	104.7%	320,323	148,635	78,753	46,128	20,175	9,043	168,386	29,200	28,770	22,881	13,135

県においては、世界的メディア(CNN、BBC、ロンリープラネット等)との共同キャンペーンや海外プロモーション、海外旅行会社の視察支援、海外メディアの取材支援等の継続的な誘客対策に加え、東京 2020 オリンピック・パラリンピックやワールドマスターズゲームズ 2021 関西など多くの外国人観光客の訪日が見込まれる機会を捉え、引き続き海外からの観光客の誘客を進めます。

(1) 『新たなプロモーション』で和歌山へ招く

国内最大級の外国人向け情報サイトである「Gaijin Pot (ガイジンポット)」が昨年12月に発表した「2020年外国人が訪れるべき日本の観光地ランキング」で、熊野地方(和歌山県)が第1位に選出されました。熊野地方を含む和歌山県や紀伊半島が、世界の権威ある機関から訪れるべき地域として日本一となるのは、2018年の「ロンリープラネット」、2019年のAirbnbに次ぎ、ここ3年連続となります。

このように本県への注目度が世界的に高まる中、県では、この機を捉え、26か国・地域をターゲットに戦略的なプロモーションを展開します。

2020年はターゲット市場の26か国・地域中、13か国・地域を重点市場として位置付けるとともに、新規市場(ロシア・中南米・中国内陸部)に取り組みます。

	東アジア	その他アジア	欧米豪
重点市場	中国 香港 台湾 韓国	タイ シンガポール インドネシア	フランス 米国 オーストラリア ドイツ 英国 スペイン
戦略市場		マレーシア ベトナム フィリピン インドネシア トルコ ドバイ	イタリア ロシア ニュージーランド カナダ メキシコ ブラジル アルゼンチン

◇京都・大阪、首都圏からのプラスワントリップの推進

外国人観光客が集中している京都・大阪から紀伊半島へのプラスワントリップを目指した「広域周遊ルート」を構築し、関西観光本部や田辺市熊野ツーリズムビューローをはじめ、エリア内のDMOなど関係機関と紀伊半島周遊ツアー商品を共同開発するとともに、海外の大規模旅行博覧会への共同出展や海外旅行会社、メディアの招聘など、「ワールドマスタースゲームズ 2021 関西」の開催も視野に、集中的にプロモーションを実施します。

また、南紀白浜空港やJR、高速バスなど多様な移動手段を活用した首都圏から熊野古道エリアを周遊する観光モデルルートを策定し、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」を契機とした大手海外メディアによるグローバル・メディアキャンペーンを展開するほか、関西国際空港から和歌山県内への周遊を促進するための海外エアラインや関係機関と連携した誘客プロモーションに取り組みます。

◇県域をまたぐ統一的な受入環境の整備・観光地の磨き上げ

外国人観光客の旅行形態が個人旅行化する中、個人観光客がストレスなく世界遺産エリアを周遊できるよう、近隣県と連携した「紀伊半島外国人観光客受入推進協議会」を設立し、交通アクセスの改善や多言語案内表示など県域をまたぐ統一的な受入環境の整備を目指します。

また、高野山から熊野へのアクセスバスや熊野三山周遊バスをはじめ、二次交通アクセスの多言語による一元的情報発信や予約サイトの統合的運用を図ることにより、京都から高野山・熊野エリアへのバスによる周遊を促進するとともに、体験プログラムのインバウンド対応に向けた市町村やDMO等の取組を支援します。

(2) 『ネットメディア展開』で和歌山へ招く

◇多言語観光WEBサイト・SNS等による情報発信

美しい写真や映像を多用した多言語観光WEBサイト「Visit Wakayama」（9言語対応）に加え、Facebook 及び Instagram の「Visit Wakayama」（英語）を活用して情報発信します。

また、アジア主要6市場（中国、香港、台湾、韓国、タイ、インドネシア）に設置している観光プロモーターを通じて各市場における主要SNSでの現地語による情報発信を行うことにより、外国人観光客の多様なニーズと市場毎の特殊事情にタイムリーかつ柔軟に対応します。

なお、海外プロモーション実施時には、WEBサイト「Visit Wakayama」と連動した多言語観光パンフレット（11言語対応）を活用し、効果的な情報発信を行います。

※各市場をターゲットにしたSNS

市場	SNS名
欧米豪 (英語)	Facebook「Visit Wakayama」
	Instagram「Visit Wakayama」
中国	Weibo（中国版 Twitter）
	WeChat（中国版 Facebook）
香港	Facebook「All about Wakayama・日本和歌山」
台湾	Facebook「遊日盟族」
韓国	Facebook「여행의 시작, 세계문화유산 순례길, 와카야마」
タイ	Facebook「Wakayama IKORA」
インドネシア	Facebook「Wakayama Tourism Indonesia」

◇「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」に向けたグローバル・メディアキャンペーン

グローバルニュースネットワークであるCNNやBBC、世界的旅行ガイドブックであるロンリープラネットとの共同キャンペーンを展開します。

海外メディア（テレビ番組、旅行雑誌、ガイドブックなど）やインフルエンサー（ブログ、SNSなど）の積極的な招へいと取材支援を通じ、ストーリー性をもった情報発信や個人観光客の多様なニーズに対応したプロモーションを展開します。

なお、本県の宿泊者数シェア6割を占める東アジア4市場（中国、香港、台湾、韓国）を中心に訪日旅行の急速な個人旅行化が進展していることから、東アジア市場をターゲットとしたメディア対策をより強化します。

2019実績

◇観光プロモーターの活用

中国、香港、台湾、韓国、タイ、ベトナム及びインドネシアに設置している観光プロ

モーターが、現地語によりSNSにて情報発信

◇海外メディアとの共同キャンペーン

○CNN

<時期> 4月23日～6月30日

<内容> 北米・豪市場を主なターゲットに世界遺産やサイクリングに代表される本県の魅力を記事広告とPR動画で発信

○BBC

<時期> 4月23日～6月30日

2年2月10日～3月31日

<内容> 日本の歴史や精神文化に関心の高い欧州の観光客をターゲットに高野山・熊野の魅力を記事広告とPR動画で発信

○ロンリープラネット

<時期> 4月23日～6月30日

10月15日～2年1月14日

<内容> 「Best in Travel2018」において世界の訪れるべき地域のベスト5に紀伊半島が選出されたことを受け、和歌山ならではの魅力を特集記事で発信

○Japan Travel.com

<時期> 9月2～30日

<内容> 日本最大級の訪日外国人メディアにおいて、バスによる高野山と熊野へのプラスワントリップに焦点をあてた魅力を記事広告とPR動画で発信

○中国SNS「馬蜂窩（マーフェンウォー）」「微博（ウェイボー）」「Ctrip」

<時期> 11月～

<内容> 春節に向けた誘客キャンペーンとして、中国市場に大きな発信力を持つキーオピニオンリーダーを招へいし、中国で訪日客に最も影響力を持つ口コミ観光情報サイト「馬蜂窩（マーフェンウォー）」、ソーシャルメディア「微博（ウェイボー）」、旅行手配サイト「C-trip」を活用した情報発信を行った。

○GaijinPot（ガイジンポット）

<時期> 2年3月～

<内容> 国内最大級の外国人向け情報サイト「GaijinPot（ガイジンポット）」のランキング「2020年外国人が訪れるべき日本の観光地トップ10」で「熊野地方（和歌山県）」が第1位に選出されたことを受けて、更なる情報発信を図るために同サイトと共同キャンペーンを実施。同サイトにより詳しい観光情報を掲載するとともに、同サイトが運営するブログとSNSを活用して情報発信を行った。

◇海外メディアへの取材支援

※次項（3）「海外26か国・地域から和歌山へ招く」に各国・地域別に記載

(3) 『海外26か国・地域』から和歌山へ招く

I 東アジア

本県の外国人宿泊者数の約6割は、東アジア4市場（中国、香港、台湾、韓国）からの観光客であり、県ではこれまで東アジアを重点市場として外国人観光客誘致を進めてきました。東アジア4市場のシェアは、欧米豪市場からの観光客が年々増加することにより減少傾向にありますが、依然として58.5%のシェアを誇り和歌山県にとっては重要な市場です。

昨年は日韓関係の悪化を受けて韓国市場が大幅に減少したものの（対前年比56.3%）、中国市場については近年取り組んできた内陸部を含む地方部へのプロモーション展開が奏功し、対前年比131.5%と好調に推移しました。

東アジア市場では、リピーター化・個人旅行化が更に進展していることを踏まえ、急増する個人旅行者をメインターゲットとしたメディア対策の強化、公共交通機関やレンタカーを使った個人・小グループ旅行誘致の取組に加え、インセンティブツアー、体験型観光、教育旅行、スポーツツーリズムなどテーマ別観光による誘客促進にも取り組めます。

【県内宿泊者数の推移】

(人泊)

	2015	2016	2017	2018	2019	対前年比	シェア
中国	98,280	140,403	97,658	113,045	148,635	131.5%	29.6%
香港	97,313	103,609	105,802	86,075	78,753	91.5%	15.7%
台湾	80,478	70,315	64,485	54,003	46,128	85.4%	9.2%
韓国	15,874	25,095	34,568	35,820	20,175	56.3%	4.0%
計	291,945	339,422	302,513	288,943	293,691	101.6%	58.5%

中国

2019年は、全国的に中国市場からの訪日旅行が好調に推移し（対前年比114.5%）、本県においても和歌山市（対前年比89%）や那智勝浦町（対前年比70%）など一部地域を除いて全国を上回る伸びを示しました（対前年比131.5%）。しかしながら、新型コロナウイルスの影響により海外への団体旅行が禁止されるなどしたことで、2020年1月下旬からは団体旅行のキャンセルが相次ぎました。2020年前半は大幅な訪日客の減少が予想されますが、事態の収束を待って大規模なプロモーションを展開します。

なお、広大な国土に13億人以上の人口を有する中国では、例えば和歌山県の友好省である山東省が9,500万人以上の人口を有するなど各省・都市に一国相当の規模があり、各省・都市毎に訪日旅行の動向も異なることからそれぞれを別の市場として捉え、異なった対応を行う必要があると考えています。

【県内宿泊者数の推移】

(人泊)

	2015	2016	2017	2018	2019	対前年比	シェア
中国	98,280	140,403	97,658	113,045	148,635	131.5%	29.6%

◇訪日旅行の動向（観光目的） ※観光庁「2018年訪日外国人消費動向調査」

○初めて日本を訪問する旅行者が多いものの、リピーター率は年々増加（1回目59.1%、2～3回目25.4%）

○都市部を中心に個人旅行化が進展（個人旅行63.8%、団体旅行35.2%）

- 滞在日数 平均6.0日 4～6日55.2%、7～13日41.0%
- 同行者 家族・親族40.6%、友人25.8%
- 期待内容 ①ショッピング、②日本食、③自然・景勝地観光、④温泉
- 旅行前の情報源 ①SNS、②親族・友人、③旅行会社HP、④口コミサイト
- 滞在中の1人あたりの支出額 22.5万円（買物11.2万円）
- 旅行シーズン 夏休み（7月～8月）、春節（旧正月～1週間程度）、国慶節（10月1日～1週間程度）、桜の時期（4月）

◇取組方針

- 団体旅行については、新型コロナウイルス問題の沈静化を見計らい、現地旅行会社及び在日ランドオペレーターに対して団体旅行の受け皿となる宿泊施設が多い紀北エリアを中心に誘客を図ります。
- 「深度遊（個性重視の旅スタイル）」が広く浸透している広東省、上海市を中心に現地旅行会社に対してツアー造成の働きかけを継続します。
- 個人旅行については、知名度が順調に向上している白浜に加え、熊野古道及び高野山の世界遺産エリアについても、SNSを活用した情報発信を行います。

◇プロモーション計画

- 9月 旅行博出展及びセールスコール（成都、重慶ほか）
- 11月 旅行会社・メディアへのセールスコール（上海ほか）
- 1月 旅行会社・メディアへのセールスコール（北京ほか）
- 3月 旅行会社・メディアへのセールスコール（上海、南京ほか）

2019実績

◇現地プロモーション

- 大連アカシア祭り及びセールスコール（大連）
 - <時期> 5月24～27日
 - <内容> 大連アカシア祭りに参加、現地旅行会社を訪問し、観光情報を提供
- 国際旅行博覧会「BITE」（北京）
 - <時期> 6月16～22日
 - <内容> 北京国際旅行博覧会「BITE」に出展し、観光情報を提供
- セールスコール（重慶、成都）
 - <時期> 7月22～27日
 - <内容> 旅行会社及びメディア等を訪問し、観光情報を提供
- セールスコール（広州、上海）
 - <時期> 8月6～12日
 - <内容> 旅行会社及びメディア等を訪問し、観光情報を提供
- セールスコール（成都、済南）
 - <時期> 9月1～10日
 - <内容> 旅行会社等を訪問し、観光情報を提供
- 知事によるトッププロモーション（済南、成都）

<時 期> 10月16～18日

<内 容> 済南市にて山東省主催の文化観光セミナー・商談会に参加、成都市で和歌山観光セミナー・商談会を開催。現地の旅行会社を訪問し、観光情報を提供

○セールスコール（広州、深圳）

<時 期> 12月17～21日

<内 容> 広州・深圳の旅行会社及びメディアを訪問し、観光情報を提供

※上記のほか1件（新型コロナウイルス感染症対応のため中止）

◇旅行会社ファムツアー

○JNTO 訪日旅行商品造成支援事業

<時 期> 6月6～8日

<視察先> 那智勝浦町、田辺市、白浜町、和歌山市

<内 容> JNTOが訪日旅行商品造成を目的に招聘した旅行社30社の下見を支援

○中国「昆山市世紀国際旅行社」

<時 期> 8月21日

<視察先> 白浜町、御坊市

<内 容> 旅行商品造成を目的とした県内視察を支援

○山東省旅行会社等10社による視察

<時 期> 12月23～27日

<視察先> 和歌山市、湯浅町、那智勝浦町、串本町、白浜町、みなべ町

<内 容> 山東省との友好提携35周年記念事業の一環で、相互にファムトリップを実施、山東省の旅行会社6社、雑誌社3社、行政関係者1名による視察を支援

○中国在阪ランドオペレーター J Cプラン

<時 期> 2年3月16～19日

<視察先> 和歌山市、紀の川市、岩出市、かつらぎ町、白浜町、湯浅町、海南市

<内 容> 在阪の大手中国系ランドオペレーターによるホテルや観光地の視察を支援

○中国在阪大手旅行オンラインサービス「途牛」、ランドオペレーター和正堂

<時 期> 2年3月20～23日

<視察先> 和歌山市、紀の川市、岩出市、海南市、御坊市、白浜町、海南市

<内 容> 在阪の大手中国系旅行オンラインサービス及びランドオペレーターによるホテルや観光地の視察を支援

※上記のほか1件（新型コロナウイルス感染症対応のため中止）

◇メディア取材支援

○雑誌「華商報」

<時 期> 2年3月6～8日

<取材先> 県内全域

<内 容> 日本の旅行記事に係る取材を支援

○中国WEBメディア「悠游老爺」

<時 期> 6月26～30日

<取材先> 県内全域

<内 容> 人気Weiboサイトを運営するプロカメラマンによる取材を支援

○中国キーオピニオンリーダーによる情報発信

<時期等> 11月24～27日

<取材先> 白浜町、古座川町、那智勝浦町、串本町、田辺市、和歌山市、紀の川市

<内 容> 中国の著名キーオピニオンリーダーを招へいし、県の観光情報を発信

○上海吉祥航空によるPRビデオ撮影

<時 期> 2年1月17日

<取材先> 和歌山市、紀の川市

<内 容> 関西観光本部事業の一環として、上海吉祥航空によるSNS及び機内向け観光PRビデオ撮影を支援

◇その他実施事業

○中国市場向け「ビジット・ジャパン近畿観光商談会」参加

<時 期> 6月4日

<内 容> JNTO主催商談会に参加し、中国側旅行会社に対して観光情報を提供

○山東省郷村リーダー日本交流視察団

<時 期> 11月11～12日

<視察先> 和歌山市、白浜町

<内 容> 友好関係にある山東省から観光行政に関する視察を受け入れ

○日中観光代表者フォーラム

<時 期> 12月4～5日

<場 所> 山梨県北杜市

<内 容> 日中双方の観光交流の現状や交流拡大と新たな需要の開発等について日中観光関係者により意見交換を実施。会場内にブースを出展し、中国側参加者（有力旅行会社、メディア、政府関係者等）に対して観光情報を提供

香 港

2019年7月から激化したデモの影響が心配されましたが、香港市場からの訪日客は対前年比103.8%と順調に推移しました。本県においては、香港市場の個人旅行化や旅行目的地の分散による影響が顕著にみられ、従来から団体旅行を得意としてきた地域を中心に全県で対前年比91.5%と減少しました。

2020年度は、メディアを活用した個人旅行対策により注力するとともに、引き続き安定した送客が期待できる訪日最大手の香港EGLツアーズ（社長の袁文英氏に県観光大使を委嘱）との関係強化を図ります。

【県内宿泊者数の推移】

(人泊)

	2015	2016	2017	2018	2019	対前年比	シェア
香港	97,313	103,609	105,802	86,075	78,753	91.5%	15.7%

◇訪日旅行の動向（観光目的） ※観光庁「2018年訪日外国人消費動向調査」

- リピーター率が高い 4～9回目36.3%、10回目以上25.8%
- 個人旅行が大半を占め、レンタカーの利用も多い（個人旅行91.4%）
- 滞在日数 平均4.4日 4～6日53.6%、7～13日44.2%
- 同行者 家族・親族46.4%、夫婦・パートナー22.7%、友人21.0%
- 期待内容 ①日本食、②ショッピング、③温泉、④自然・景勝地観光
- 旅行前の情報源 ①個人ブログ、②日本政府観光局HP、③旅行専門誌
- 滞在中の1人あたりの支出額 15.5万円
- 旅行シーズン 夏休み（7月～8月）、クリスマス休暇（12月下旬）、イースター休暇（3月～4月）、春節（旧正月～1週間程度）

◇取組方針

- 個人旅行対策として、観光プロモーターの活用によりメディア（テレビ番組、旅行雑誌など）やインフルエンサーの招へいを行うとともに、SNSなど多様な媒体により、継続して情報発信を行います。
- 団体旅行については、引き続き香港EGLツアーズとの関係強化に努めます。

◇プロモーション計画

12月 旅行会社・メディアへのセールスコール

2019実績

◇現地プロモーション

- 知事によるトップセールス
 - <時期> 5月28～31日
 - <内容> 知事トップセールスの一環として香港EGLツアーズの創立33周年祝賀会に参加するとともに、同社の本社を訪問し、観光情報を提供
- 香港ブックフェア出展及びセールスコール
 - <時期> 7月16～23日
 - <内容> 香港ブックフェアへブース出展するとともに、併せて現地旅行会社及びメディア等を訪問し、観光情報を提供
- セールスコール
 - <時期等> 8月4～6日
 - <内容> 現地旅行会社等を訪問し、観光情報を提供
 - ※上記のほか1件（新型コロナウイルス感染症対応のため中止）

◇旅行会社ファムツアー

- 旅行社「Ready to Go」
 - <時期> 6月15～18日

<視察先> 田辺市、那智勝浦町、新宮市、白浜町、高野町

<内 容> 旅行商品造成を目的とした県内視察を支援

◇メディア取材支援

○旅行雑誌「香港ウォーカー」他3社

<時 期> 7月10～12日

<取材先> 和歌山市、紀の川市、かつらぎ町、白浜町

<内 容> JR西日本及びUSJとの連携により香港メディアを招へいし、JR沿線の魅力と関西ワイドエリアパスの情報を発信

○旅行雑誌「U-Magazine」

<時 期> 9月14日

<取材先> 和歌山市、有田市

<内 容> 香港の旅行雑誌による和歌山県特集の取材を支援

○旅行雑誌「U-Magazine」

<時 期> 10月20～24日

<取材先> 和歌山市、紀美野町、紀の川市、有田川町、田辺市、白浜町、すさみ町、串本町、那智勝浦町

<内 容> 香港の旅行雑誌による和歌山県特集の取材を支援

○新聞社「Apple Daily」

<時 期> 11月12～16日

<取材先> 紀の川市、高野町、新宮市、串本町、みなべ町、田辺市、和歌山市

<内 容> 香港大手新聞社による「備長炭」をテーマにした取材を支援

○旅行雑誌「Weekend Weekly」

<時 期> 2年1月9～12日

<取材先> 那智勝浦町、串本町、白浜町、かつらぎ町、和歌山市

<内 容> 三重県等との連携によりレンタカーを使った紀伊半島周遊コースの取材を支援

○香港テレビ局奇妙電子有限公司

<時 期> 2年2月29日～3月4日

<取材先> 高野町、九度山町、紀の川市、和歌山市、白浜町、すさみ町、串本町

<内 容> 旅番組「美少女民宿（ゲストハウスや民宿を紹介する特集番組）」の取材を支援

台 湾

2019年の台湾市場からの訪日客数は対前年比102.8%と順調に推移した一方で、急速な個人旅行化により団体旅行については全国的に苦戦しています。

本県においても、白浜町(対前年比105.5%)など個人旅行者が増加しつつある地域では好調を維持した一方、洞窟温泉として台湾で人気のある大型宿泊施設の改修工事の影響を受けて那智勝浦町(対前年比57.4%)をはじめ団体旅行が多い地域での減少が顕著

にみられ、全県では減少しました。

2020年度は、個人旅行化対策として更にメディア活用に注力するとともに、台湾企業が実施するインセンティブツアーの誘致を図ります。また、これまで台北市で開催してきた和歌山県単独商談会を、今後さらに伸びが見込める高雄市でも開催します。

【県内宿泊者数の推移】

(人泊)

	2015	2016	2017	2018	2019	対前年比	シェア
台湾	80,478	70,315	64,485	54,003	46,128	85.4%	9.2%

◇訪日旅行の動向(観光目的) ※観光庁「2018年訪日外国人消費動向調査」

- リピーター率が高い (4～9回目34.1%、2～3回目29.9%)
- 個人旅行が過半数を占める(個人旅行67.5%)
- 滞在日数 平均3.7日 4～6日73.1%、7～13日22.0%
- 同行者 家族・親族49.9%、友人21.6%
- 期待内容 ①日本食、②温泉、③自然・景勝地観光、④ショッピング
- 旅行前の情報源 ①個人ブログ、②旅行会社HP、③日本政府観光局HP
- 滞在中の1人あたりの支出額 12.8万円
- 旅行シーズン 桜の時期(4月)、初夏(6月～7月)、双十節(10月)、春節(旧正月～1週間程度)

◇2020年度の取組方針

- 個人旅行化への対応としてメディア対策に注力し、特に熊野古道エリアの魅力的な情報発信に努めるとともに、リピーターの誘客やレンタカーによる周遊を促進するためにカフェや穴場スポットの情報発信を強化します。
- 台湾企業が実施するインセンティブツアーの誘致を進めます。
- 和歌山県単独商談会を、従来の台北市に加え、更に伸びが見込める台湾第2の都市である高雄市においても開催します。

◇プロモーション計画

- 9月 関西観光本部主催「オール関西大商談会」出展(台北、台中、高雄)
- 11月 和歌山県単独商談会及び旅行会社へのセールスコール(台北、台南、高雄)
- 3月 旅行会社・メディアへセールスコール(台北、高雄市)

2019実績

◇現地プロモーション

- セールスコール(台北)
 - <時期> 6月24～28日
 - <内容> 旅行会社及びメディア等を訪問し、観光情報を提供
- 台湾国際旅行展「TITE」(台北)
 - <時期> 8月22～27日
 - <内容> 国際旅遊展に出展するとともに、旅行会社を訪問し、観光情報を提供
- 第6回オール関西台湾大商談会(高雄、台中、台北)

<時 期> 9月3～7日

<内 容> 関西観光本部主催の商談会に参加し、現地旅行会社との商談を実施
○台湾和歌山県単独大商談会（台北）

<時 期> 9月24～27日

<内 容> 県内観光事業者の参加を募り、台湾の旅行会社との商談会を開催するとともに、現地の旅行会社を訪問し、観光情報を提供

○セールスコール（台北）

<時 期> 12月2～4日

<内 容> 旅行会社及びメディアを訪問し、観光情報を提供

※上記のほか1件（新型コロナウイルス感染症対応のため中止）

◇旅行会社ファムツアー

○旅行会社「五福旅行社」

<時 期> 8月3～6日

<視察先> 海南省、白浜町、田辺市、那智勝浦町、新宮市、串本町、みなべ町、湯浅町、和歌山市

<内 容> 旅行商品造成を目的とした県内視察を支援

○旅行会社「名生旅行社」「JVS日本周遊（東京）」

<時 期> 11月7日

<視察先> 和歌山市、紀の川市

<内 容> ガソリンスタンドとタイアップした旅行商品造成のための視察を支援

○旅行会社「喜鴻旅行社」

<時 期> 12月20～21日

<視察先> 海南省、田辺市、白浜町、串本町、太地町、那智勝浦町

<内 容> 旅行商品造成を目的とした県内視察を支援

○台湾 KKday

<時 期> 2月18日

<視察先> 白浜町、田辺市、和歌山市

<内 容> 体験型観光を得意とする台湾の大手OTAに対して県内の体験型観光を提案

※上記のほか1件（新型コロナウイルス感染症対応のため中止）

◇メディア取材支援

○テレビ局「民視」

<時 期> 10月21～22日（ロケハン）、10月28～31日（撮影）

<取材先> 田辺市、白浜町、古座川町、串本町

<内 容> 台湾のテレビ局による旅行番組制作を支援

○新聞社「自由時報」他2社

<時 期> 11月4～7日

<取材先> 高野町、九度山町、白浜町、和歌山市

<内 容> 台湾の大手メディア3社による取材を支援

○テレビ局「中天電視」

<時期> 11月18～22日

<取材先> 高野町、那智勝浦町、新宮市、白浜町、みなべ町、和歌山市

<内容> 台湾のテレビ局による旅行番組制作を支援

○インフルエンサー「白癡公主」

<時期> 12月14～16日

<取材先> 和歌山市

<内容> 関西空港利用促進協議会が主体となり、南海電鉄、阪南市、岬町、和歌山県が連携し、チャイナエアラインの協力を得てインフルエンサーを招請

韓国

2019年7月から日韓関係が特に悪化したことにより、航空路線の相次ぐ廃止の影響もあって全国的に訪日客が大幅に減少しました（対前年比74.1%）。和歌山県内においてもほぼ全市町村で減少するなど大きな影響を受け、特にこれまで団体旅行商品に組み込まれていた那智勝浦町（対前年比50.1%）やみなべ町（対前年比50.2%）、白浜町（対前年比58.5%）などで顕著な減少が見られました。

ソウルを中心に訪日客の大半は個人旅行客が占める一方で、釜山や光州など地方都市では団体旅行も引き続き期待できるため、それぞれの都市の動向に応じたプロモーションを実施します。

2020年前半は、新型コロナウイルスによる影響も見込まれますが、これまでの韓国の旅行会社等との関係を維持しつつ、情勢の回復を待ってプロモーションを強化します。

【県内宿泊者数の推移】

(人泊)

	2015	2016	2017	2018	2019	対前年比	シェア
韓国	15,874	25,095	34,568	35,820	20,175	56.3%	4.0%

◇訪日旅行の動向（観光目的） ※観光庁「2018年訪日外国人消費動向調査」

○訪日回数 2～3回目34.6%、1回目32.7%、4～9回目22.6%

○大都市圏からの訪日客を中心に個人旅行が大半を占める（個人旅行87.7%）

○滞在日数は比較的短く、週末を利用した旅行形態も多い 平均2.8日 4～6日64.6%、3日以内29.9%

○同行者 友人33.2%、家族・親族32.0%

○期待内容 ①温泉、②日本食、③ショッピング、④自然・景勝地観光、⑤日本旅館

○旅行前の情報源 ①個人ブログ、②SNS、③旅行ガイド、④宿泊予約サイト

○滞在期間が短いこともあって滞在中の1人あたりの支出額は少ない 7.8万円

○旅行シーズン 冬期休暇～旧正月（12月下旬～2月）、夏季休暇（7～8月）

◇取組方針

○年度前半は、メディア露出についてはまだ時期尚早であり、十分な効果が得られないと考えられるため、韓国旅会社への情報提供や下見支援を中心としたプロモーションを行います。年度後半以降は、情勢を踏まえメディア対策を実施します。

○旅行会社に対しては、ゴルフやサイクリング、熊野古道トレッキング、温泉などテ

ーマに特化した観光情報の提供を行うとともに、熊野古道については、ヒーリングのためのトレッキングルートとして提案していきます。

○南紀白浜空港へのチャーター便誘致については旧正月時期を目途に、これまで興味を示した旅行会社を中心に働きかけを行います。

◇プロモーション計画

9月 セールスコール（釜山、光州ほか）

12月 旅行会社・メディアへのセールスコール（ソウル、光州ほか）

2019実績

◇現地プロモーション

○JNTO 商談会及びセールスコール（ソウル、光州、釜山）

<時期> 6月4～14日

<内容> JNTO主催「VISIT JAPAN 韓国市場説明会・商談会」へ参加、ソウル他にて旅行会社を訪問し、観光情報を提供

○セールスコール（釜山）

<時期> 6月20～21日

<内容> パンスターフェリーの協力により現地高校や教職員団体を訪問し、修学旅行誘致活動を実施

○セールスコール（ソウル、大邱、釜山）

<時期> 8月8～13日

<内容> ソウルにて自治体国際化協会ソウル事務所との連携により観光イベント開催、ソウル他にて旅行会社を訪問し、情報収集及び観光情報を提供

※上記のほか1件（新型コロナウイルス感染症対応のため中止）

◇旅行会社ファムツアー

○旅行会社「GLONET」及び新聞社「中央日報」

<時期> 5月10～12日

<視察先> 白浜町、田辺市、那智勝浦町、新宮市、串本町

<内容> 県内宿泊を含む日本周遊ツアーの造成に向けた視察を支援

○パンスターフェリー及び釜山私立高校校長会による県内視察

<時期> 7月29～31日

<視察先> 和歌山市、湯浅町、串本町、那智勝浦町、太地町、白浜町

<内容> パンスターフェリー社及び私立高校校長5名による修学旅行を目的とした視察を支援

※上記のほか1件（新型コロナウイルス感染症対応のため中止）

◇メディア取材支援

○新聞社「中央日報」

<時期> 6月6日

<取材先> 和歌山市

＜内 容＞	大手新聞社の特派員による沙也可顕彰碑と関係者の取材を支援
○アウトドア雑誌「GO OUT」	
＜時 期＞	7月8～11日
＜取材先＞	和歌山市、白浜町、田辺市
＜内 容＞	キャンプ地及びアウトドアアクティビティの取材を支援
○ケーブルテレビ番組「チャンネルJ」	
＜時 期＞	9月18～20日
＜取材先＞	和歌山市、湯浅町
＜内 容＞	自治体国際化協会ソウル事務所による自治体訪問番組の撮影を支援
◇その他実施事業	
○韓国畜産団体による視察	
＜時 期＞	7月2～3日、7月8～9日
＜視察先＞	和歌山市、白浜町
＜内 容＞	畜産団体の県内関係施設の視察を受け入れ

II その他アジア

東南アジア・インド・中東市場については、タイ（対前年比101.0%）、シンガポール（対前年比107.7%）、マレーシア（対前年比105.3%）、インドネシア（対前年比118.8%）で増加しましたが、全体としては対前年比96.7%と少し減少しました。

特に東南アジア市場向けとして、個人旅行化が顕著であることから、四季折々の自然景観やフルーツ狩り、多彩な食などをメディアを通じて紹介するとともに、インセンティブツアーの誘致にも取り組みます。

【県内宿泊者数の推移】

(人泊)

	2015	2016	2017	2018	2019	対前年比	シェア
タイ	8,839	11,919	10,226	8,957	9,043	101.0%	1.8%
シンガポール	7,824	10,737	8,515	7,892	8,498	107.7%	1.7%
マレーシア	1,718	2,039	2,136	2,336	2,460	105.3%	0.5%
イスラエル	-	-	-	-	1,532	-	0.3%
インドネシア	732	1,545	1,147	1,259	1,496	118.8%	0.3%
ベトナム	0	706	472	1,176	961	81.7%	0.2%
フィリピン	0	501	515	1,316	584	44.4%	0.1%
インド	278	879	66	775	500	64.5%	0.1%
トルコ	-	206	120	480	166	34.6%	0.0%
その他	12,045	5,836	4,898	3,343	1,392	41.6%	0.3%
計	31,436	34,368	28,095	27,534	26,632	96.7%	5.3%

タイ

タイ市場からの訪日旅行は、日本各地への直行便が相次いでいることもあり、近年の訪日ブームに乗って顕著に伸びています（対前年比116.5%）。一方で、和歌山県においても東南アジア最大の市場であるものの、団体旅行の低価格化を伴う価格競争への対応や個人旅行者への認知度不足などの課題があります。

個人旅行者をターゲットにしたメディア露出を更に強化するとともに、2018年11月に

「観光交流促進に係る趣意書」を提携したタイ政府観光庁との協力関係を有効に活用しながらプロモーションを実施します。

【県内宿泊者数の推移】

(人泊)

	2015	2016	2017	2018	2019	対前年比	シェア
タイ	8,839	11,919	10,226	8,957	9,043	101.0%	1.8%

◇訪日旅行の動向（観光目的） ※観光庁「2018年訪日外国人消費動向調査」

- 訪日回数 1回目33.7%、2～3回目29.7%、4～9回目27.9%
- 個人旅行が大半を占め、レンタカーの利用も多い（個人旅行73.9%）
- 滞在日数 平均4.8日 4～6日54.1%、7～13日39.1%
- 同行者 家族・親族44.6%、友人26.5%
- 期待内容 ①日本食、②ショッピング、③自然・景勝地観光、④温泉、⑤日本旅館
- 旅行前の情報源 ①日本政府観光局HP、②口コミサイト、③旅行会社HP
- 滞在中の1人あたりの支出額 12.4万円
- 旅行シーズン タイ正月（4月）、紅葉の時期（10月）、降雪の時期（12月）

◇取組方針

- 和歌山観光セミナー・商談会の実施により、旅行会社やメディアへの情報発信を行い、更なる認知度向上を図ります。
- タイ国政府観光局（TAT）との「観光交流促進に係る趣意書」に基づく連携事業や、タイ国際航空、タイ国総領事館、JNTO等と連携したインフルエンサー招へいやメディア露出事業を実施します。
- インセンティブツアーを取り扱う旅行会社に対するセールスや下見支援を実施します。
- 旅行博「FITフェア」等への出展機会を捉え、個人旅行者への情報提供に注力します。

◇プロモーション計画

- 10月 観光セミナー・商談会開催及び旅行会社へのセールスコール（バンコク）
- 11月 旅行博「FITフェア」出展（バンコク）
- 2月 和歌山県観光セミナー

2019実績

◇現地プロモーション

- セールスコール（バンコク）
 - <時期> 4月21～24日
 - <内容> 現地旅行社やメディア等を訪問し、観光情報を提供
- 知事によるトッププロモーション（バンコク）
 - <時期> 5月25～28日
 - <内容> 知事トップセールスの一環として和歌山プロモーション（観光セミナー、商談会）を実施
- セールスコール（バンコク）

- <時 期> 10月21～22日
 <内 容> 現地の旅行会社及びメディア等を訪問し、観光情報を提供
 ○旅行博「Visit Japan FIT Fair 2019」及び商談会「第13回FIT Fair」（バンコク）
- <時 期> 11月6～10日
 <内 容> 日本旅行博及びFIT旅行商談会に出展し、県の観光情報を発信
 ○旅行博「JAPAN EXPO THAILAND 2020」及び和歌山県観光セミナー（バンコク）
- <時 期> 2年1月31日～2月8日
 <内 容> 日本旅行博に出展するとともに、現地メディアや旅行会社等を対象に和歌山県の観光情報を紹介するセミナー及び現地旅行会社との商談会を開催
- ◇旅行会社ファムツアー
- タイ旅行会社「Smile Family Travel」他4社
 <時 期> 6月24～26日
 <視察先> 那智勝浦町、串本町、白浜町、和歌山市、海南市
 <内 容> 旅行商品造成を目的とした視察を支援
- ◇メディア取材支援
- タイWEBメディア「Go! Graph」
 <時 期> 6月27日～7月1日
 <取材先> 紀美野町、有田川町、田辺市、みなべ町、白浜町、高野町、和歌山市
 <内 容> レンタカーを使った旅行記事に係る取材を支援
- 新聞折込紙「TRAVELZONE」及び旅行雑誌「VACATIONIST」
 <時 期> 9月3～6日
 <取材先> 和歌山市、白浜町、串本町、那智勝浦町、有田川町、紀美野町
 <内 容> タイメディアによる県内観光地の取材を支援
- インフルエンサー Rui Saporuj 氏
 <時 期> 11月27～30日
 <取材先> 紀美野町、田辺市、那智勝浦町、串本町、白浜町、湯浅町、和歌山市
 <内 容> 著名な歌手・カメラマンであるインフルエンサーによる県内観光地の取材を支援
- インフルエンサー Taksaorn Paksukcharer 氏他3名
 <時 期> 12月5～8日
 <取材先> 白浜町、串本町、那智勝浦町、田辺市、紀の川市、和歌山市
 <内 容> タイ国際航空とのタイアップで有名女優 Taksaorn Paksukcharer 他著名ユーチューバーなどインフルエンサー4組を招聘し、県内観光地の情報を発信
- タイ旅行番組「FOLLOW ME」
 <時 期> 2年2月10～11日
 <取材先> 串本町、那智勝浦町、和歌山市、紀の川市

＜内 容＞ タイの人気女優を起用した旅番組の取材を支援

◇その他実施事業

○タイ政府観光庁(TAT)による講演会

＜時 期＞ 7月8日

＜場 所＞ 和歌山大学観光学部

＜内 容＞ 2018年11月に相互協力に係る趣意書(LOI)を締結したタイ政府観光庁(大阪事務所)による講演会と学生代表との懇談会を実施

シンガポール

2019年のシンガポール市場からの訪日客は対前年比112.6%と堅調に増加しており、本県においてもシンガポール客に人気の温泉や海鮮料理を楽しめる白浜町(対前年比168.1%)や熊野古道人気を背景とした田辺市(対前年比148.2%)などで大幅な伸びを見せ、全県でも対前年比107.7%と堅調に推移しました。

個人旅行が9割以上を占める市場であることから、メディアやインフルエンサーによる取材の支援に一層の力を入れ、知名度向上を図りつつ、和歌山ならではの「自然」や「歴史」、そして「食」を中心にプロモーションを行っていきます。

【県内宿泊者数の推移】

(人泊)

	2015	2016	2017	2018	2019	対前年比	シェア
シンガポール	7,824	10,737	8,515	7,892	8,498	107.7%	1.7%

◇訪日旅行の動向(観光目的) ※観光庁「2018年訪日外国人消費動向調査」

○訪日回数 2～3回目32.7%、1回目29.7%、4～9回目27.0%

○個人旅行が大半を占める(個人旅行93.6%)

○滞在日数 平均6.8日 7～13日71.7%、4～6日20.0%

○同行者 家族・親族42.9%、夫婦・パートナー24.6%、友人19.8%

○期待内容 ①日本食、②温泉、③自然・景勝地観光、④ショッピング、⑤日本旅館

○旅行前の情報源 ①口コミサイト、②個人ブログ、③宿泊施設HP、④親族・知人

○滞在中の1人あたりの支出額 17.3万円

○旅行シーズン 学年末休暇(11月中旬～12月末)、2学期後休暇(5月下旬～6月下旬)

◇取組方針

○個人旅行化に対応すべくメディア対策を中心に取り組みます。

○過去に招へいし効果が見られたメディアの再招へいや新しい観光素材を求めるインフルエンサーの招へいに注力します。

◇プロモーション計画

2月 旅行博「NATAS Travel」出展

2019実績

◇現地プロモーション

○セールスコール

- <時 期> 5月8～9日
- <内 容> 現地旅行会社等を訪問し、観光情報を提供
- 知事によるトッププロモーション
- <時 期> 5月24～27日
- <内 容> 知事のトップセールスの一環として現地旅行会社や航空会社等を対象に和歌山プロモーションを実施するとともに、旅行会社を訪問し、観光情報を提供
- 旅行博「NATAS Holidays 2019」
- <時 期> 8月2～5日
- <内 容> 旅行博に出展するとともに、現地旅行会社・メディアを訪問し、観光情報を提供
- ◇メディア取材支援
- 旅行雑誌「Asian Geographic」
- <時 期> 7月10～17日
- <取材先> すさみ町、串本町、湯浅町、白浜町、那智勝浦町、田辺市、北山村、高野町
- <内 容> スキューバダイビング及び世界遺産の旅行記事に係る取材を支援
- フードブロガー Leslie Tay 氏
- <時 期> 10月27～30日
- <取材先> 和歌山市、那智勝浦町、みなべ町、紀の川市、高野町
- <内 容> 著名フードブロガーによる県内特産品、レストラン等の取材を支援

インドネシア

インドネシア市場からの訪日客は約40万人とまだまだ少ないものの、日本の大都市との間で航空路線が増加したこともあり、訪日客数は順調に伸びています。

本県では、2017年度から観光プロモーターを設置し、地道にプロモーション活動を継続、更に2018年の日本インドネシア国交樹立60周年を契機に大規模なプロモーションを実施しました。これまでの継続したプロモーションの成果に加え、2019年は大型のインセンティブツアーの誘致に成功したこともあり、一定の成果を出すことができました。

なお、同国民の大半はムスリムが占めますが、訪日客の大部分は中華系もしくはポークフリー程度で対応可能なムスリムが占めると考えられます。

【県内宿泊者数の推移】

(人泊)

	2015	2016	2017	2018	2019	対前年比	シェア
インドネシア	732	1,545	1,147	1,259	1,496	118.8%	0.3%

◇訪日旅行の動向(観光目的) ※観光庁「2018年訪日外国人消費動向調査」

- 訪日回数 1回目59.6%、2～3回目25.8%、4～9回目27.9%
- 個人旅行が大半を占める(個人旅行87.7%)
- 滞在日数 平均7.3日 7～13日62.2%、4～6日31.4%
- 同行者 家族・親族44.4%、友人23.9%
- 期待内容 ①日本食、②自然・景勝地観光、③四季の体感、④ショッピング

- 旅行前の情報源 ①親族・知人、②口コミサイト、③動画サイト、④SNS
- 滞在中の1人あたりの支出額 14.1万円
- 旅行シーズン 年度替わり休暇（6月中旬～7月初旬）、年末年始休暇（12月下旬～1月上旬）、断食明け大祭休暇（毎年11日ずつ前に移動）

◇**取組方針**

- インセンティブツアーに強い旅行会社を中心にプロモーションを行うなど引き続き誘致に注力します。
- 個人旅行対策として、観光プロモーターと活用して有望なインフルエンサーを招へいし、本県の観光情報の発信に努めます。

◇**プロモーション計画**

- 2月 旅行博「ASTINDO Travel Fair (ATF)」出展、旅行会社へのセールスコール（ジャカルタ）

2019実績

◇**現地プロモーション**

- 旅行博「Japan Travel Fair 2019」（ジャカルタ）
 - <時期> 8月30日～9月3日
 - <内容> 日本旅行博に出展するとともに、現地旅行会社・メディアを訪問し、観光情報を提供
- JNTO主催3都市セミナー・商談会（ジャカルタ、スラバヤ、メダン）
 - <時期> 9月24～27日
 - <内容> JNTOが3都市で開催したセミナー・商談会に参加し、観光情報を提供

◇**旅行会社ファムツアー**

- インドネシア「BENSTOUR JAPAN」
 - <時期> 10月13日
 - <視察先> 和歌山市、有田川町、湯浅町、白浜町、田辺市
 - <内容> 主にインドネシアの旅行会社と取引があるランドオペレーターの視察を支援

◇**その他実施事業**

- インドネシア人サイクリングサークルOGTによる県内ツアー
 - <時期> 8月2日
 - <場所> 有田市～湯浅町～由良町（走行距離70.6km）
 - <内容> 関西在住のインドネシア人らで構成するサイクリングサークルのツアーを誘致
- 尼日友好協会による県内視察
 - <時期> 12月4～5日
 - <訪問先> 和歌山市、湯浅町、白浜町、海南市
 - <内容> 尼日友好協会（パナソニック・ゴーベル社）による県内視察を受け

その他東南アジア・インド中東

近年訪日客が増加しているその他東南アジア市場（マレーシア、ベトナム、フィリピン）やインド、中東市場（ドバイ、トルコ等）など近年訪日客が増加している市場に対して、JNTO等の関係機関と連携しながら旅行博・商談会への出展やメディアの取材支援など通じて和歌山の観光情報を発信します。

◇**プロモーション計画**

- 9月 マレーシア 旅行博「MATTA Fair」出展
- 10月 ベトナム（ハノイ）JNTO 主催商談会参加
- 12月 ベトナム（ホーチミン）旅行博「Japan Travel Fair」出展
- 1月 マレーシア 観光プロモーション
- 2月 フィリピン 旅行博「Travel Tour Expo（TTE）」出展
- 3月 マレーシア 旅行博「MATTA Fair」出展

2019実績

◇**現地プロモーション**

- ベトナム（ホーチミン）セールスコール
 - <時期> 5月29～30日
 - <内容> ホーチミンの旅行会社を訪問し、観光情報を提供
- フィリピン（マニラ）旅行博「Travel Madness Expo 2019」
 - <時期> 7月3～7日
 - <内容> 旅行博及び商談会への参加し、観光情報を提供
- マレーシア（クアラルンプール）旅行博「MATTA Fair Kuala Lumpur 2019」
 - <時期> 9月6～8日
 - <内容> 旅行博に出展し、観光情報を発信
- ベトナム（ホーチミン）旅行博「Japan Travel Fair 2019」
 - <時期> 12月18～23日
 - <内容> 日本旅行博に出展するとともに、ホーチミン及びダナンの旅行会社を訪問し、観光情報を発信
- インド（デリー、ムンバイ）関西観光本部主催観光セミナー商談会
 - <時期> 12月2～4日
 - <内容> 関西観光本部主催で開催した観光セミナー・商談会に参加し、現地旅行会社に対して観光情報を提供
- ベトナム（ダナン）和歌山県・日高町観光セミナー・商談会、日本ベトナム文化経済観光交流団
 - <時期> 2年1月10～14日
 - <内容> 日高町との共催により観光セミナー・商談会を開催するとともに、日本ベトナム文化経済観光交流団に参加し、観光情報を発信

○フィリピン（マニラ）旅行博「Travel Tour Expo 2020」

<時 期> 2年2月7～11日

<内 容> B to C旅行博に出展するとともに、現地旅行会社やメディアを訪問し、観光情報を提供

※上記のほか、ベトナム、マレーシア（新型コロナウイルス感染症対応のため中止）

◇旅行会社ファムツアー

○UAE旅行会社「エミレーツ・ホリデイズ」

<時 期> 12月9～12日

<視察先> 和歌山市、白浜町、那智勝浦町、田辺市

<内 容> 関西空港利用促進協議会及びエミレーツ航空との連携により、エミレーツ航空傘下の旅行会社の各支店のセールス担当を招へいし、県内視察を実施

◇メディア取材支援

○ベトナム・インフルエンサーKha Ngan（カーガン）氏

<時 期> 7月15～18日

<場 所> みなべ町、白浜町、古座川町、那智勝浦町、日高町、和歌山市

<内 容> ベトナムの著名モデル・女優を招へいし、観光情報を発信

◇その他実施事業

○東南アジアランドオペレーター商談会

<時 期> 10月3日

<場 所> 京都市

<内 容> 東南アジアの旅行会社と取引のある在京ランドオペレーターとの商談会（関西観光本部主催）に参加し、観光情報を提供

○日本 ASEAN センター主催ガストロノミーツーリズム研修

<時 期> 11月18～23日

<場 所> 和歌山市、かつらぎ町、高野町、湯浅町、田辺市、那智勝浦町

<内 容> 日本 ASEAN センター主催による ASEAN 10か国の観光行政関係者12名を対象にした日本の観光マーケット及びガストロノミーツーリズムに関する研修を受け入れ

○OVISIT JAPAN トラベルマート ASEAN・INDIA

<時 期> 11月27～28日

<場 所> 愛知県常滑市

<内 容> 東南アジア及びインドの旅行会社との商談会に参加し、観光情報を提供

Ⅲ 欧米豪

欧米豪市場については、アクセスバスの運行をはじめ高野山から紀南エリアへの周遊観光が進んだこともあり、高野町で対前年比118.4%の94,578人泊、田辺市で対前年比121.9%の35,015人泊、那智勝浦町で対前年比120.2%の12,858人泊と主に世界遺産地域において大幅に増加し、全県でも対前年比116.6%の1

68, 386人泊と初めて全体の3分の1以上のシェアを占めるに至りました。

2020年度においてもロングトレイルなどより長期滞在を目指したツアー商品造成のため
の下見支援や個人旅行客をターゲットに、高野山・熊野の魅力を発信するためのテレビ番
組やガイドブックなどメディア取材の支援、CNNやBBCなどの世界的メディアに加え、
世界的旅行ガイドブックであるロンリープラネットとの共同キャンペーンやSNSを使っ
た情報発信を行います。

また、2021年5月に開催するワールドマスターズゲームズ2021 関西には、欧米豪諸国
を中心に約2万人（実行委員会による目標値）の参加選手が訪れることが見込まれ、開会
式から閉会式までの期間も約1か月間と長いことから多くの参加選手や関係者が関西地方
を中心に周遊することが期待できます。県では参加申込み期間中からキャンペーンを展開
することで一層の誘客を図ります。

【県内宿泊者数の推移】

(人泊)

	2015	2016	2017	2018	2019	対前年比	シェア
フランス	14,343	18,356	18,301	26,806	29,200	108.9%	5.8%
米国	14,307	19,654	23,505	24,730	28,770	116.3%	5.7%
オーストラリア	13,033	14,205	18,537	22,016	22,881	103.9%	4.6%
ドイツ	4,592	8,013	9,645	10,645	13,989	131.4%	2.8%
英国	6,025	9,294	11,603	10,707	13,526	126.3%	2.7%
スペイン	5,902	6,975	8,077	8,589	9,858	114.8%	2.0%
イタリア	-	6,031	5,094	6,007	9,005	149.9%	1.8%
カナダ	3,711	4,348	7,684	8,766	8,879	101.3%	1.8%
ニュージーランド	-	722	1,190	1,665	2,258	135.6%	0.4%
ブラジル	-	-	-	-	1,779	-	0.4%
アルゼンチン	-	-	-	-	1,077	-	0.2%
ロシア	-	-	-	-	944	-	0.2%
その他	17,851	20,184	23,058	24,454	26,220	-	5.2%
計	79,764	107,782	126,694	144,385	168,386	116.6%	33.6%

フランス

フランス市場からの観光客は本県にとって欧米豪市場では最も多く、2019年も対前年比
108.9%と好調に推移しました。特に高野山はフランス市場では早くから認知されて
いることもあり、シェアでは5.8%と全国平均1.3%を大幅に上回るフランス人客が本
県を訪れています。

日本の伝統文化や精神文化、日本食に関心の高いフランスの個人旅行客に対して、現地
旅行博への出展などを通じ、引き続き高野山や熊野古道を中心としたプロモーションを展
開します。

【県内宿泊者数の推移】

(人泊)

	2015	2016	2017	2018	2019	対前年比	シェア
フランス	14,343	18,356	18,301	26,806	29,200	108.9%	5.8%

◇訪日旅行の動向（観光目的） ※観光庁「2018年訪日外国人消費動向調査」

○訪日回数 1回目70.9%、2～3回目18.8%

○個人旅行が大半を占める（個人旅行91.6%）

○滞在日数 平均10.8日 7～13日40.9%、14日～20日39.6%

○同行者 夫婦・パートナー33.4%、家族・親族24.1%、自分ひとり21.

7%

○期待内容 ①日本食、②自然・景勝地観光、③温泉、④歴史・文化体験

○旅行前の情報源 ①口コミサイト、②旅行ガイドブック、③親族・知人

○滞在中の1人あたりの支出額 21.6万円

○旅行シーズン イースター休暇（3月下旬～4月中旬）、夏休み（7月～8月）、紅葉の季節（10月）

◇取組方針

○日本の伝統文化や精神文化、日本食に関心の高いフランスの旅行者に対して、現地旅行博への出展などを通じ、引き続き高野山や熊野古道を中心とした世界遺産地域に加え、湯浅町の伝統的建造物群保存地区や農家民泊などを紹介します。

○旅行博や商談会への出展、JNTOなどを通じ、旅行会社やメディア招請による現地での露出を図ることにより、個人旅行者の誘致を進めます。

○「フランス人がまだ訪れていない新しい観光地」を求める傾向があり、高野山の町石道や女人道、僧侶との修行体験、湯浅の伝統的建造物群保存地区、日本の生活体験ができる農家民泊など新しいコンテンツの情報発信を行います。

◇プロモーション計画

10月 旅行博「International & French Travel Market (IFTM)」出展（パリ）

11月 旅行博「Salon International du Tourisme et des Voyages (SITV)」出展（コルマール）

3月 旅行博「Salon Mondial du Tourisme (SMT)」出展（パリ）

2019実績

◇現地プロモーション

○関西広域連合トッププロモーション（パリ・ロンドン）

<時期> 10月13～16日

<内容> 関西広域連合によるトッププロモーションに参加し、関西の観光情報を発信

○国際旅行博「International Luxury Travel Market (ILTM) Cannes 2019」（カンヌ）

<時期> 12月2～5日

<内容> BtoB 富裕旅行商談会に参加し、県の観光情報を発信

※上記のほか、1件（新型コロナウイルス感染症対応のため中止）

◇旅行会社ファムツアー

○旅行会社「CFA VOYAGES」

<時期> 5月27～30日

<視察先> 新宮市、那智勝浦町、田辺市、高野町

<内容> レンタカーを利用した新たな旅行商品の造成に向けた視察を支援

○旅行会社「Buddha Spirit」

<時期> 10月23日

<視察先> 和歌山市

<p><内 容> VJTMに参加するフランス旅行会社による商品造成を目的とした視察</p> <p>◇メディア取材支援</p> <p>○ブログ「JAPAN KUDASAI」</p> <p><時 期> 4月13～17日</p> <p><取材先> 和歌山市、海南市、高野町、有田川町、湯浅町、田辺市、新宮市、那智勝浦町</p> <p><内 容> 日本の旅行記事や日本酒に関するブログ記事に係る取材を支援</p> <p>○和食研究家（ユーチューバー）Damien Aillot 氏</p> <p><時 期> 4月18～20日</p> <p><取材先> 和歌山市、海南市、湯浅町、田辺市、高野町、かつらぎ町、紀の川市</p> <p><内 容> 和歌山の食文化に関する動画取材を支援</p>

米国

米国市場からの訪日客は、欧米豪市場の中ではフランス市場に次いで多く、2019年も従来から紹介してきた高野山に加え、田辺市（対前年比126.7%）や新宮市（対前年比172.5%）など熊野地域で大幅に増加し、全県で過去最高の28,770人泊（対前年比116.3%）を記録しました。

日本の伝統文化や日本食に加え、ウェルネス、アドベンチャー、エコ、美食、癒しなどがキーワードとなる体験型コンテンツへの関心が高いことを踏まえ、高野山での宿坊体験や熊野古道ウォーキングなどを紹介し、特に日本への直行便が多い西海岸をターゲットに誘客を図ります。

なお、米国市場及びカナダ市場からは、2021年5月に開催するワールドマスターズゲームズ2021 関西への多くの参加者が期待でき、参加申込み期間中からキャンペーンを展開することで誘客を図ります（実行委員会による北米からの誘客目標5,000人）。

【県内宿泊者数の推移】

（人泊）

	2015	2016	2017	2018	2019	対前年比	シェア
米国	14,307	19,654	23,505	24,730	28,770	116.3%	5.7%

◇訪日旅行の動向（観光目的） ※観光庁「2018年訪日外国人消費動向調査」

- 訪日回数 1回目66.6%、2～3回目21.5%
- 個人旅行が大半を占める（個人旅行91.6%）
- 滞在日数 平均7.4日 7～13日52.6%
- 同行者 夫婦・パートナー28.8%、自分ひとり28.4%
- 期待内容 ①日本食、②自然・景勝地観光、③歴史・文化体験、④温泉
- 旅行前の情報源 ①口コミサイト、②親族・知人、③動画サイト、④個人ブログ
- 滞在中の1人あたりの支出額 19.2万円
- 旅行シーズン イースター休暇（3月下旬～4月中旬）、夏休み（6～8月）

◇取組方針

- JNTO主催商談会、BtoC旅行博への参加を通じ、高野山での宿坊体験や熊野古道ウォーキングなどを中心に和歌山県の魅力を紹介します。

○特に日本への直行便が多く、物理的・心理的な距離が近い西海岸の主要都市を主なターゲットに誘客を図ります。

○ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の参加申込み期間に合わせ誘客キャンペーンを展開します。

◇プロモーション計画

2月 旅行博「Los Angeles Travel & Adventure Show (LATAS)」出展（ロサンゼルス）

2019実績

◇現地プロモーション

○旅行博「Los Angeles Travel & Adventure Show 2020」（ロサンゼルス）

<時期> 2年2月14～16日

<内容> BtoC 旅行博に出展し、観光情報を提供

○JNTO 主催訪日旅行セミナー「Japan Showcase」（ニューヨーク、シカゴ、マイアミ）

<時期> 2年3月2～6日

<内容> JNTO 主催訪日旅行セミナーに参加し、観光情報を発信

※上記のほか1件（新型コロナウイルス感染症対応のため中止）

◇旅行会社ファムツアー

○旅行会社「Japan Quest Journeys」

<時期> 10月21～22日

<視察先> 高野町

<内容> 富裕層を対象としたFIT商品造成を目的とした視察を支援

◇メディア取材支援

○キーオピニオンリーダーMarcy Yu氏

<時期> 2年2月20～23日

<取材先> 高野町、田辺市、新宮市、那智勝浦町

<内容> 関西観光本部が招へいしたキーオピニオンリーダーによる取材を支援

オーストラリア

アウトドア活動やスポーツが盛んなオーストラリア市場では、特に熊野古道ウォーキングとの親和性が高く、高野山の人気もあって欧米豪市場ではフランス、米国に次いで多くのオーストラリア人客が和歌山県を訪れます。

また、南半球に位置するオーストラリアでは、夏休みが12月中旬から2月上旬と和歌山県の観光地にとっては比較的閑散期に当たるため、この時期をターゲットにすることで、年間を通じた誘客につなげることができます。

なお、2021年5月に開催するワールドマスターズゲームズ2021関西には、オーストラリアから多くの参加が期待でき、参加申込み期間中からキャンペーンを展開することで誘客に努めます（実行委員会によるオセアニアからの誘客目標7,000人）。

【県内宿泊者数の推移】

(人泊)

	2015	2016	2017	2018	2019	対前年比	シェア
オーストラリア	13,033	14,205	18,537	22,016	22,881	103.9%	4.6%

◇訪日旅行の動向（観光目的） ※観光庁「2018年訪日外国人消費動向調査」

- 訪日回数 1回目66.4%、2～3回目23.6%
- 個人旅行が大半を占める（個人旅行92.6%）
- 滞在日数 平均9.8日 7～13日43.5%、14日～20日36.6%
- 同行者 夫婦・パートナー35.8%、家族・親族28.1%、自分ひとり19.0%
- 期待内容 ①日本食、②温泉、③自然・景勝地観光、④歴史・文化体験
- 旅行前の情報源 ①口コミサイト、②宿泊施設HP、③親族・知人、④動画サイト
- 滞在中の1人あたりの支出額 24.2万円
- 旅行シーズン 夏休み（12月中旬～2月上旬）、イースター休暇（4月頃）

◇2020年度の取組方針

- アウトドア活動、スポーツ、自然体験などに関心が高いことから、JNTO主催 BtoB 商談会などへの参加を通じ、熊野古道や高野山への誘客を図ります。
- 夏休みが12月中旬から2月上旬と県内の観光地にとっては比較的閑散期に当たるため、この時期をターゲットに年間を通じた誘客を図ります。
- ワールドマスターズゲームズ2021 関西には、オーストラリアから多くの参加が期待できるため、参加申込み期間中からキャンペーンを展開します。

◇プロモーション計画

- 12月 JNTO主催商談会参加（シドニー、ブリスベン）
- 1月 旅行博「World Travel Expo」出展（シドニー）

2019実績

◇現地プロモーション

- JNTO主催商談会「Japan Roadshow 2019」（ブリスベン、シドニー）、Matsuri Japan Festival 2019」（シドニー）
 - <時期> 12月5～9日
 - <内容> ブリスベンとシドニーで開催された JNTO 主催商談会に参加するとともに、現地日本祭りに出展し、県の観光情報を発信
- 旅行博「World Travel Expo」（シドニー）、関西観光本部主催セミナー（シドニー、ブリスベン）
 - <時期> 2年2月1～5日
 - <内容> 旅行博及び関西観光本部主催セミナーに出展し、観光情報を提供

◇旅行会社ファムツアー

- 旅行会社「Japan Holidays」
 - <時期> 4月6～9日
 - <視察先> 和歌山市、高野町、白浜町

＜内 容＞	県内宿泊を含む熊野古道ツアー商品造成のための視察を支援
○旅行会社「LIFESTYLE JOURNEYS」	
＜時 期＞	5月20～21日
＜視察先＞	海南市、湯浅町、みなべ町、田辺市
＜内 容＞	県内宿泊を含む日本周遊ツアーの造成に向けた視察を支援
◇メディア取材支援	
○ドキュメンタリー映画「KUMANO RISING」	
＜時 期＞	2年1月31日～2月7日
＜取材先＞	高野町、田辺市、新宮市
＜内 容＞	神倉神社の御燈祭りを中心に熊野古道を題材にしたドキュメンタリー映画の撮影を支援

ドイツ

「外国旅行大国」として知られるドイツは、外国旅行者数が中国に次ぐ世界第2位で、近年のドイツ市場からの訪日客数は毎年堅調に推移しています。

県内では、世界遺産エリアである高野町（対前年比140.7%）や田辺市（対前年比143.2%）、新宮市（対前年比148.8%）などで好調に推移しました。

訪日客には、日本ならではの歴史・伝統・精神・文化を体験できる観光地に人気があり、桜や紅葉が綺麗な景勝地を求めて春と秋が訪日シーズンのピークとなります。また、健康への意識が高いドイツ人には健康食である日本食や精進料理が好まれ、ホテルよりも異文化を体験できる日本旅館や宿坊での宿泊を選好する傾向もあります。

【県内宿泊者数の推移】 (人泊)

	2015	2016	2017	2018	2019	対前年比	シェア
ドイツ	4,592	8,013	9,645	10,645	13,989	131.4%	2.8%

◇訪日旅行の動向（観光目的） ※観光庁「2018年訪日外国人消費動向調査」

- 訪日回数 1回目68.0%、2～3回目21.8%
- 個人旅行が大半を占める（個人旅行93.0%）
- 滞在日数 平均9.9日 7～13日41.4%、14日～20日34.9%
- 同行者 自分ひとり31.8%、夫婦・パートナー25.3%、友人25.3%
- 期待内容 ①日本食、②自然・景勝地観光、③温泉、④歴史・文化体験
- 旅行前の情報源 ①旅行ガイド、②口コミサイト、③動画サイト、④個人ブログ
- 滞在中の1人あたりの支出額 19.2万円
- 旅行シーズン イースター休暇・桜シーズン（3月～5月）、紅葉シーズン（10月～11月）

◇取組方針

- 個人旅行者をターゲットに和歌山県の認知度向上を目的としたメディアの取材を支援します。
- 欧州最大級の国際旅行博「ITB Berlin2021」等に出展し、ドイツ及びオーストリアやスイスなどのドイツ語圏の旅行会社、メディア等をターゲットに情報発信します。

◇プロモーション計画

- 2月 旅行博「F.Re.e」出展（ミュンヘン）
- 3月 旅行博「ITB Berlin」出展（ベルリン）

2019実績

◇現地プロモーション

※1件（新型コロナウイルス感染症対応のため中止）

◇旅行会社ファムツアー

○ゴルフ旅行コーディネーター Yoshimoto Miwako 氏

<時期> 11月14日

<視察先> 和歌山市、紀の川市、橋本市

<内容> ドイツ語圏向けのゴルフ紹介サイト運営、ゴルフ名鑑発行、ゴルフ旅行手配を行う現地コーディネーターによる視察を支援

◇メディア取材支援

○出版社「Gestlten」

<時期> 6月17日

<取材先> 橋本市

<内容> 写真家 Irwin Wong 氏による職人の写真集出版に係る取材を支援

○ブログ「My Berlin Fashion」

<時期> 12月27～29日

<取材先> 和歌山市、由良町、田辺市、白浜町

<内容> 著名ブログの旅行記事執筆のための取材を支援

◇その他実施事業

○独日フォーラム・エルベ

<時期> 11月7日

<視察先> 和歌山市

<内容> 新宮水野家入部400周年記念事業に参加するために来県したドイツ（ハンブルク）在住の新宮水野家の末裔らによる県内視察を受け入れ

◇現地プロモーション（新型コロナウイルス感染症対応のため中止）

英国

英国市場からの訪日客は、ヨーロッパ諸国の中では最も多く、2019年の訪日客数は424,200人(対前年比127.0%)と過去最高を記録しました。

県内宿泊者数ではヨーロッパ諸国の中でフランス市場及びドイツ市場に次ぐ第3位のシェアを占める重要な市場で、2019年はラグビーワールドカップ日本大会の開催による訪日客の増加もあり、過去最高の13,526人泊(対前年比126.3%)と好調に推移しました。

英国では、「体験」や「経験」、特に自然環境・文化体験・リラクゼーションを重要視する傾向にあること、また、身体によい食材や運動法を主要新聞紙等が紹介するなど健康

ブームにあることが特徴として挙げられます。訪日旅行者のうち、個人旅行者が9割を占める市場ですが、旅行手配や情報収集の際には旅行会社を利用する傾向もみられます。

現地旅行博や商談会への出展を通じ、旅行会社やメディアに対し、高野山での仏教体験、熊野古道のトレッキング体験を提案するとともに、健康に良いとされる日本食に関心の高い層に対して湯浅町の醤油造りなどを紹介することで更なる誘客を図ります。

【県内宿泊者数の推移】

(人泊)

	2015	2016	2017	2018	2019	対前年比	シェア
英国	6,025	9,294	11,603	10,707	13,526	126.3%	2.7%

◇訪日旅行の動向(観光目的) ※観光庁「2018年訪日外国人消費動向調査」

- 訪日回数 1回目73.7%、2～3回目13.1%
- 個人旅行が大半を占める(個人旅行92.5%)
- 滞在日数 平均8.4日 7～13日43.4%、14日～20日35.9%
- 同行者 夫婦・パートナー35.5%、自分ひとり31.5%
- 期待内容 ①日本食、②自然・景勝地観光、③歴史・文化体験、④温泉
- 旅行前の情報源 ①口コミサイト、②旅行ガイド、③親族・知人、④動画サイト
- 滞在中の1人あたりの支出額 22.1万円
- 旅行シーズン イースター休暇・桜シーズン(3月～5月)、紅葉シーズン(10月～11月)

◇取組方針

- 「自然体験」「文化体験」「リラクゼーション」を求める英国人客をターゲットに、現地旅行博や商談会への出展を通じ、引き続き高野山での仏教体験、熊野古道ウォーキングなどを提案します。併せて日本食に関心の高い層に対して湯浅の醤油作りなどを紹介します。
- JNTOや現地商談会への参加などを通じ、現地旅行会社やメディア招請による現地での露出により誘客を図ります。
- BBCなど世界的メディアとの共同キャンペーンを通じ、和歌山県の認知度の向上と個人旅行客の誘客を図ります。

◇プロモーション計画

11月 旅行博「World Travel Market(WTM)」出展(ロンドン)

2019実績

◇現地プロモーション

- 関西広域連合トッププロモーション(ロンドン)
 - <時期> 10月17～19日
 - <内容> 関西広域連合によるトッププロモーションに参加し、関西の観光情報を発信
- 国際旅行博「World Travel Market(WTM)2019」(ロンドン)
 - <時期等> 11月4～6日 ロンドン
 - <内容> 欧州最大級の旅行博に参加し、県の観光情報を発信

◇旅行会社ファムツアー

○旅行会社「BBC Travel」

- <時 期> 5月12～13日
- <視察先> 和歌山市、高野町
- <内 容> 旅行商品造成を目的とした視察

○旅行会社「Abercrombie & Kent Travel」

- <時 期> 5月19～22日
- <視察先> 田辺市、新宮市、那智勝浦町
- <内 容> 富裕層を対象にした旅行商品の造成に向けた視察を支援

○旅行会社「Inside Japan/Asia Tours」

- <時 期> 7月6～9日
- <視察先> 白浜町、串本町、古座川町、田辺市
- <内 容> 旅行商品造成を目的とした視察を支援

○旅行会社「Transindus」

- <時 期> 10月14～16日
- <視察先> 田辺市、新宮市、那智勝浦町
- <内 容> アジア専門旅行会社による商品造成を目的とした視察を支援

◇メディア取材支援

○旅行メディア「The Sun」他4社

- <時 期> 4月11～13日
- <取材先> 田辺市、新宮市、那智勝浦町
- <内 容> 日本の旅行記事に係る取材を支援

○旅行記者 Adam Jacot 氏

- <時 期> 12月27～30日
- <取材先> 高野町、田辺市、新宮市、那智勝浦町、串本町、白浜町
- <内 容> 著名旅行記者による取材を支援

○キーオピニオンリーダー Robert Michael Poole 氏

- <時 期> 2年2月20～23日
- <取材先> 田辺市、新宮市、那智勝浦町
- <内 容> 関西観光本部が招へいしたキーオピニオンリーダーによる取材を支援

スペイン

2019年のスペイン市場からの訪日客数は対前年比114.9%増と順調に推移し、本県においては熊野古道の人気から田辺市(対前年比142.8%)や新宮市(対前年比159.6%)では全国平均を大幅に上回る伸びを見せ、全県でも好調な推移を示しました(対前年比114.8%)。

1998年10月、本県はガリシア州との間で「熊野古道」と「サンティアゴ巡礼道」の姉妹道提携を締結、2008年には提携10周年を記念して世界4都市で国際観光共同キャンペーンを展開して以降、観光の分野でも相互協力を行ってきました。

以降、田辺市熊野ツーリズムビューローとガリシア州の州都サンティアゴ・デ・コンポステーラ市の観光局が共通巡礼手帳の取組を始め、また、2019年1月にはマドリードで開催された国際旅行博「FITUR2019」において本県知事とガリシア州首相とで共同PRを行うなど情報発信に努めてきたことから、スペイン国内での都道府県別メディア露出数（JNTO マドリード事務所調べ）で和歌山県は、東京、京都に次ぐ第3位に挙げられるなど認知度が向上しています。

なお、サンティアゴ巡礼道の最終目的地であるサンティアゴ大聖堂はカトリックの3大聖地とされ、世界各国から多くの巡礼者が訪れます。共通巡礼手帳の両道巡礼達成者も3,000名を超えるまでに至り、その多くはサンティアゴ巡礼によって熊野古道に関心を持ったと考えられます。今後ともガリシア州との協力関係を強化するとともに、両巡礼道の友好関係を活かしてスペイン以外のカトリック国においても熊野古道への巡礼を提案していきます。

【県内宿泊者数の推移】

(人泊)

	2015	2016	2017	2018	2019	対前年比	シェア
スペイン	5,902	6,975	8,077	8,589	9,858	114.8%	2.0%

◇訪日旅行の動向（観光目的） ※観光庁「2018年訪日外国人消費動向調査」

- 訪日回数 1回目86.6%
- 個人旅行が大半を占める（個人旅行93.6%）
- 滞在日数 平均10.5日 7～13日50.8%、14～20日37.7%
- 同行者 夫婦・パートナー36.2%、友人24.4%
- 期待内容 ①日本食、②自然・景勝地観光、③温泉、④日本旅館
- 行前の情報源 ①個人ブログ、②動画サイト、③旅行ガイド、④親族・知人
- 滞在中の1人あたりの支出額 23.7万円（宿泊9.3万円、飲食6.2万円）
- 旅行シーズン 夏休み（7月～8月）、桜の季節（4月）、紅葉の季節（10月）

◇取組方針

- 熊野古道商品を造成する旅行会社の下見支援やメディアの取材を支援します。
- 国際旅行博「FITUR」などの出展機会を捉え、熊野古道への誘客を中心にプロモーションを展開します。
- 和歌山に過去2回来県し、国際旅行博「FITUR2020」においても本県の観光PRを行ってくれた伝説のスペイン人サイクリストAlberto Contador氏との協力関係を深め、更なる情報発信を図ります。
- 2021年の「聖ヤコブの年」には世界各国から数百万人もの巡礼者が聖地サンティアゴ・デ・コンポステーラを訪れることが見込まれ、ガリシア州政府も大規模な誘客キャンペーンを実施することから、同州政府との連携により姉妹道関係を活かしたプロモーションを各国で展開していきます。

◇プロモーション計画

- 1月 旅行博「FITUR」出展（マドリード）

2019実績

◇現地プロモーション

○旅行博「FITUR 2020」（マドリード）

<時 期> 2年1月22～26日

<内 容> 国際旅行博に出展し、著名サイクリスト Alberto Contador 氏の協力を得て、県の観光情報を発信

◇旅行会社ファムツアー

○旅行会社「Viajes Viloria」、サンティアゴ巡礼道公認ガイド Diego Fernandez 氏

<時 期> 10月25～28日

<視察先> 九度山町、高野町、那智勝浦町、田辺市

<内 容> ガリシア州の旅行会社及びサンティアゴ巡礼道のトップガイドによる熊野古道の視察を支援

◇メディア取材支援

○トラベルイラストレーター Catalina Rodriguez 氏、写真家 Caloline White 氏

<時 期> 11月12～15日

<取材先> 白浜町、田辺市、新宮市、那智勝浦町

<内 容> トラベルイラストレーター及び写真家による熊野古道の取材を支援

○フードブロガー Amber and Eric Hoffman 氏（ブログ名「With Husband」）

<時 期> 11月20～22日

<取材先> 高野町、紀の川市、田辺市、白浜町、湯浅町、海南市、和歌山市

<内 容> 和歌山の食文化を紹介する取材を支援

○サイクリスト Alberto Contador 氏

<時 期> 11月20～23日

<取材先> 高野町～かつらぎ町、湯浅町～由良町～御坊市、新宮市～太地町、白浜町

<内 容> 著名サイクリストを招へいし、和歌山県のサイクリング情報を発信

○ドキュメンタリーフィルム「The Great Way by METEORICA CINE」

<時 期> 11月24～30日

<取材先> 田辺市、新宮市、那智勝浦町

<内 容> 熊野古道のドキュメンタリー映画製作を目的とした取材を支援

その他欧米豪

引き続き、日本の歴史・文化に高い関心を有しつつもまだ十分に取り込めていない欧米豪市場からの訪日需要を確実に取り込むべく、これまでのプロモーションで築いた現地旅行会社やメディアとの関係を活用し、宿坊体験や熊野古道トレッキングなど和歌山ならではの体験型観光に加え、サイクリングなどスポーツツーリズムをテーマとした誘客促進に取り組むとともに、引き続きロシア、イタリア、中南米といった新規市場をターゲットとしたプロモーションを展開していきます。

ロシア市場については、日本への航空路線が増えており、温暖なリゾート地を求めて旅行する傾向があることから、例年5月上旬から海水浴場がオープンする本県白浜町での長

期滞在プランなどの提案を行っていきます。

カナダ・ニュージーランド市場については、2021年5月に開催するワールドマスターズゲームズ2021関西への多くの参加者が期待でき、参加申込み期間中からキャンペーンを展開することで誘客に努めます。

中南米市場については現地の和歌山県人会の協力を得つつ、日系人のネットワークやイベント開催の機会を活用した誘客を図ります。特にメキシコについては、2020年後半以降にJNTOが新事務所を開設し、今後、訪日観光客の増加が期待できることから、機会を捉えてプロモーションを実施します。

◇プロモーション計画

- | | | |
|-----|-------|--|
| 9月 | ロシア | JNTO 主催商談会参加（モスクワ、サンクトペテルブルク） |
| | ロシア | JNTO 主催商談会参加（ウラジオストク） |
| 10月 | イタリア | 旅行博「TTG INCONTRI（TTG）」出展（リミニ） |
| | カナダ | 旅行博「Salon International Tourisme Voyages」出展（モントリオール） |
| 11月 | イタリア | JNTO 主催商談会参加（開催都市未定） |
| 1月 | トルコ | 旅行博「East Mediterranean International Tourism & Travel Exhibition (EMITT)」出展（イスタンブール） |
| 2月 | カナダ | 旅行博「Outdoor Adventure Show Vancouver (OASV)」出展（バンクーバー） |
| | イスラエル | 旅行博「International Mediterranean Tourism Market (IMTM)」出展（テルアビブ） |

2019実績

◇現地プロモーション

- ロシア旅行博「Travel Fair」（ウラジオストク）、JNTO 主催訪日旅行促進セミナー・商談会（ウラジオストク、ハバロフスク）
 - <時期> 9月29日～10月1日
 - <内容> 極東ロシア2都市におけるJNTO主催商談会に参加し、県の観光情報を発信
- イタリア（リミニ）国際旅行博「TTG INCONTRI 2019」
 - <時期> 10月9～11日 リミニ
 - <内容> BtoB旅行博に参加し、県の観光情報を発信
- ニュージーランド（オークランド）JNTO主催商談会「Japan Roadshow 2019」
 - <時期> 12月3日
 - <内容> JNTO主催商談会に参加し、県の観光情報を発信
- カナダ見本市「Outdoor Adventure Show Vancouver」（バンクーバー）
 - <時期> 2年2月29日～3月1日
 - <内容> アウトドア見本市に参加し、アウトドアを中心に観光情報を提供

◇旅行会社ファムツアー

○ロシア旅行会社「SOLEANS TRAVEL」他8社

<時期> 5月18～22日

<視察先> 白浜町、田辺市、新宮市、那智勝浦町、串本町

<内容> 南紀白浜空港を利用し、紀伊半島南部を巡る旅行商品の造成に向けた視察を支援

○ベルギー旅行会社「Travel Expert」

<時期> 7月22～25日

<視察先> 田辺市、那智勝浦町、新宮市

<内容> 富裕層をターゲットにした旅行商品造成を目的とした視察を支援

○クルーズ船会社「ロイヤル・カリビアン・インターナショナル」

<時期> 9月19～20日

<視察先> 和歌山市、白浜町、串本町、那智勝浦町、新宮市、高野町

<内容> JNTOが招請したクルーズ会社による県内視察を支援

○ロシア旅行会社「Travel Club Alladin」

<時期> 10月30日～11月1日

<視察先> 白浜町、串本町、那智勝浦町、新宮市

<内容> ウラジオストックを拠点にする旅行会社による商品造成を目的とした視察を支援

○オーストリア・スロバキア旅行会社「Ruefa」他3社

<時期> 11月8～13日

<視察先> 和歌山市、高野町、田辺市、新宮市、那智勝浦町、串本町、白浜町

<内容> エバー航空ウィーン支店との連携による旅行商品造成を目的とした視察を支援

○ゴルフ専門旅行会社 Par Excellence 他3社

<時期> 11月15～18日

<視察先> 那智勝浦町、新宮市、田辺市、白浜町

<内容> 中部運輸局及び三重県との連携により欧米富裕層向けのゴルフ旅行商品を取り扱う旅行会社4社の視察を支援

○ロシア旅行会社「Magic Tour LLCo」他3社、旅行メディア「Prim Travel」

<時期> 2年3月1～2日

<視察先> 田辺市、白浜町

<内容> 日本航空のウラジオストック～成田空港直行便の開設に合わせて関西観光本部が招へいしたウラジオストックの旅行会社と旅行メディアによる視察を支援

◇メディア取材支援

○アルゼンチンテレビ局「Telefe」

<時期> 4月24～26日

<取材先> かつらぎ町、九度山町、高野町

<内容> 旅行番組「Por el Mundo」による取材を支援

- 日本紹介動画サイト「Tokyo Street View」
 - <時 期> 5月15～18日
 - <取材先> 由良町、すさみ町、串本町、古座川町、那智勝浦町、北山村
 - <内 容> 在日のフランス人が運営する日本紹介動画サイト（英語）の取材を支援
- 「聖地巡礼バス」プロモーションビデオ
 - <時 期> 6月13～15日（ロケハン）、7月17～20日（撮影）
 - <取材先> 高野町、田辺市、新宮市、那智勝浦町
 - <内 容> 聖地巡礼バスのプロモーションビデオ撮影を支援
- 「アマンリゾート」熊野古道プロモーションビデオ
 - <時 期> 7月3～5日（ロケハン）、7月9～12日（撮影）
 - <取材先> 那智勝浦町、田辺市、新宮市
 - <内 容> トップラグジュアリーホテルブランド「アマンリゾート」による熊野古道のプロモーションビデオ撮影を支援
- アマンリゾートプロモーションビデオ
 - <時期等> 9月23～27日
 - <取材先> 那智勝浦町、田辺市
 - <内 容> アマンリゾートホテルグループと奥ジャパンが企画する周遊型ツアー商品造成のためのプロモーションビデオ撮影を支援
- カナダ雑誌「DINE」「Chatelaine」
 - <時 期> 10月19～21日
 - <取材先> 和歌山市、湯浅町、高野町
 - <内 容> グルメ・ライフスタイル誌による和歌山県のグルメを紹介する取材を支援
- 日本紹介動画サイト「Tokyo Street View」
 - <時 期> 2年2月5～9日
 - <取材先> 新宮市、高野町、和歌山市
 - <内 容> 在日のフランス人が運営する日本紹介動画サイト（英語）の取材を支援
- ロンリープラネット創業者 Tony Wheeler 氏
 - <時 期> 2年2月17日、19～21日
 - <視察先> 高野町、串本町、那智勝浦町、新宮市、田辺市、湯浅町
 - <内 容> 国際観光学会の開催に合わせて来県した世界的旅行ガイドブック「ロンリープラネット」創業者による視察を受入
- 外国人向け情報サイト「Gaijin Pot」
 - <時 期> 2年2月25～28日
 - <取材先> 白浜町、古座川町、串本町、那智勝浦町、新宮市、田辺市、高野町
 - <内 容> 国内最大級の外国人向け情報サイトの記者を招へいし、県内観光地の情報を発信
- クルーズ船動画 株式会社フィルニーズ

- <時 期> 2年2月29日～3月1日
- <取材先> 和歌山市、紀の川市、田辺市、新宮市、那智勝浦町
- <内 容> クルーズ船会社向けの動画撮影を支援

○学術雑誌「ナショナル・ジオグラフィック」

- <時 期> 2年3月14～20日
- <視察先> 九度山町、かつらぎ町、高野町、田辺市、新宮市、那智勝浦町、串本町、白浜町
- <内 容> 世界各国で読まれている学術雑誌ナショナル・ジオグラフィックによる取材を支援

○Tiny Better 社によるドローン空撮

- <時 期> 2年3月24～25日
- <取材先> 白浜町、串本町、古座川町、新宮市、すさみ町
- <内 容> 国内の観光名所をアピールするためのドローン空撮を支援

◇その他実施事業

○関空旅博 2019

- <時 期> 5月18～19日
- <場 所> 関西国際空港
- <内 容> アジア太平洋観光交流センターの出展ブースにパンフレット類を提供し、観光情報を発信

○OVISIT JAPAN トラベルマート& MICE マート

- <時 期> 10月24～26日
- <場 所> 大阪市
- <内 容> JNTO 主催旅行博覧会に出展し、各国の海外旅行会社等に対して観光情報を提供

○国際観光学会「Critical Tourism Studies Asia Pacific 2020」

- <時 期> 2年2月17～21日
- <内 容> 和歌山大学で開催された国際観光学会にエクスカーションへの同行や資料提供など協力

○国連世界観光機関 (UNWTO) シンポジウム及びフィールドワーク

- <時 期> 2年2月26～28日
- <内 容> 国際世界観光機関（共催：和歌山大学）が開催したシンポジウムを後援するとともに、フィールドワークへの同行など協力

(4) 『テーマ別の取組』で和歌山へ招く

◇インバウンド向け体験型観光の推進

フルーツ狩りやサイクリング、カヌー、スキューバダイビングなど和歌山ならではの体験型観光の魅力を提案するとともに、夜の娯楽としての飲食店や体験プログラムを紹介することにより、外国人観光客の長期滞在・消費拡大を図ります。

◇スポーツツーリズムの推進

海外の旅行会社等にゴルフ等のレクリエーション活動を提案するとともに、東京五輪やワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に合わせて訪日する外国人観光客をターゲットに、観光情報の発信を行うことで誘客を図ります。

なお、ワールドマスターズゲームズ2021関西については、関西地方各地で開催される全種目に計20,000名の外国人選手の参加を目標に掲げています。開会式から閉会式までの期間が約1か月と比較的長く、参加選手による観光を目的とした周遊も期待できることから、県内の主要観光地との連携でキャンペーンを展開し、誘客につなげます。

◇レンタカー観光の推進

レンタカー利用者向けの多言語ドライブマップ（英語、繁体字、韓国語）を活用し、公共交通機関の利用だけではアクセスが難しい地域を含めた周遊型の観光を海外旅行会社やメディア露出を通じて提案していきます。

主なターゲット国：香港、台湾（左ハンドル）、韓国（左ハンドル）、タイ、シンガポール

◇インバウンド教育旅行誘致の強化 詳細 109 頁

◇外国クルーズ客船誘致による誘客促進

港湾行政を担当する県港湾空港局との連携により、国内外で開催される商談会に参加し和歌山県内の港湾への寄港を働きかけるほか、訪日クルーズの客船運航会社等へのセールスの実施、クルーズ観光情報のWEBサイトによる情報発信などを行い、誘致を図ります。

◇国際チャーター便による誘客促進

2021年に予定する南紀白浜空港の国際線ターミナル開設を控え、空港路線誘致及び空港振興行政を担当する県港湾空港局や南紀白浜空港を運営する株式会社南紀白浜エアポートとの連携により、南紀白浜空港への国際チャーター便を利用した外国人観光客の誘客に取り組みます。

<取組内容>

空港路線誘致の主要なターゲットである東アジア3市場（中国、韓国、台湾）及びロシア極東部の旅行会社に対してツアー商品の造成を働きかける際に、和歌山県南部へのアクセス手段として南紀白浜空港へのチャーター便の利用を提案します。

2019実績

◇インバウンド体験型観光の推進

○サイクリスト Alberto Contador 氏

<時期> 11月20～23日

<取材先> 高野町～かつらぎ町、湯浅町～由良町～御坊市、新宮市～太地町、白浜町

<内容> 著名サイクリストを招へいし、和歌山県のサイクリング情報を発信

○台湾 KKday

<時期> 2年2月18日

<視察先> 白浜町、田辺市、和歌山市

<内容> 体験型観光を得意とする台湾の大手OTAに対して県内の体験型観光を提案

※その他にも海外プロモーション時に体験型プログラムを提案するとともに、海外旅行会社による視察時や海外メディアによる取材時にも体験型プログラムを紹介

◇スポーツツーリズムの推進

○ゴルフ旅行コーディネーター Yoshimoto Miwako 氏

<時期> 11月14日

<視察先> 和歌山市、紀の川市、橋本市

<内容> ドイツ語圏向けのゴルフ紹介サイト運営、ゴルフ名鑑発行、ゴルフ旅行手配を行う現地コーディネーターによる視察を支援

○ゴルフ専門旅行会社 Par Excellence 他3社

<時期> 11月15～18日

<視察先> 那智勝浦町、新宮市、田辺市、白浜町

<内容> 中部運輸局及び三重県との連携により欧米富裕層向けのゴルフ旅行商品を取り扱う旅行会社4社の視察を支援

◇レンタカー観光の推進

○タイWEBメディア「Go! Graph」

<時期> 6月27日～7月1日

<取材先> 紀美野町、有田川町、田辺市、みなべ町、白浜町、高野町、和歌山市

<内容> レンタカーを使った旅行記事に係る取材を支援

○旅行雑誌「Weekend Weekly」

<時期> 2年1月9～12日

<取材先> 那智勝浦町、串本町、白浜町、かつらぎ町、和歌山市

<内容> 三重県等との連携によりレンタカーを使った紀伊半島周遊コースの取材を支援

○多言語ドライブマップの制作

<言語> 英語、繁体字、韓国語

<内容> 増加するレンタカー利用客の誘客に取り組むため、公共交通ではアクセスできない新しい観光スポットを加えたドライブマップを制作

◇外国クルーズ客船誘致による誘客促進

○クルーズ船会社「ロイヤル・カリビアン・インターナショナル」

<時 期> 9月19～20日

<視察先> 和歌山市、白浜町、串本町、那智勝浦町、新宮市、高野町

<内 容> JNTO が招へいたクルーズ会社による県内視察を支援

○クルーズ船動画 株式会社フィルニーズ

<時 期> 2年2月29日～3月1日

<取材先> 和歌山市、紀の川市、田辺市、新宮市、那智勝浦町

<内 容> クルーズ船会社向けの動画撮影を支援

○クルーズ船寄港実績

4月14日 新宮港 スター・レジェンド 乗客193人

4月18日 新宮港 スター・レジェンド 乗客208人

5月 4日 新宮港 スター・レジェンド 乗客196人

8月17日 和歌山下津港 ダイヤモンド・プリンセス
乗客2,710人

◇国際チャーター便による誘客促進

※東アジア3市場（中国、韓国、台湾）及びロシア極東部の旅行会社に対して、海外プロモーション時や県内視察時に南紀白浜空港への国際チャーター便を利用したツアー商品造成の働きかけを実施

(5) 『医療観光』で和歌山へ招く

「地域医療に影響を及ぼさないこと」を前提に、医療機関、旅行者、医療通訳等養成機関と行政からなる「医療観光協議会」において、人間ドックと和歌山が誇る観光資源を組み合わせた独自のウェルネスツーリズム構築に向けた取組を推進します。

◇医療観光協議会の開催

関係者間の連携を深めるとともに、医療観光の具体的取組を推進します。

＜構 成 員＞ 医療機関、旅行者、医療通訳等養成機関、行政

◇ファミツアーの実施

旅行造成等を目的に、国内外の医療コーディネーター、旅行事業者等を対象としたファミツアーを実施します。

＜対 象 者＞ 国内外の医療コーディネーター、旅行事業者、医療関係者 等

2019実績

◇医療観光協議会の開催

「地域医療に影響を及ぼさないこと」を前提に、和歌山県の医療と世界遺産、自然、温泉、食など和歌山県の誇る観光資源を組み合わせたモデル事業の実施・検証を行うため、当協議会を開催

○ターゲット国等取組方針

中国をターゲット国とし、人間ドックと和歌山県の観光資源とを組み合わせたウェルネスツーリズムのモデル構築に向けた取組を実施

○構成団体

分 類	構成団体名
医療機関	財団法人白浜医療福祉財団 白浜はまゆう病院
旅行者	中紀バス株式会社
医療通訳等養成機関	学校法人東海学園 和歌山外国語専門学校
旅行者	ユタカ交通株式会社
医療機関	社会医療法人黎明会 北出病院
行 政	和歌山県 福祉保健部 健康局 医務課
行 政	和歌山県 商工観光労働部 観光局 観光交流課
行 政	和歌山県 商工観光労働部 観光局 観光振興課

○第1回

＜時 期＞ 11月20日

＜内 容＞ ①「医療観光協議会について」

②講演

国際医療福祉大学大学院 白川 忍 氏

③医療機関で提供するサービスや対象等について

④「人間ドック」と組み合わせる観光コンテンツ等について

○第2回

＜時 期＞ 12月16日

<内 容> ①「人間ドック」と組み合わせる観光コンテンツ等について

②プロモーション内容等について

○第3回及び第4回 (新型コロナウイルス感染症対応のため中止)

◇ファムツアーの実施 (新型コロナウイルス感染症対応のため中止)

◇モニターツアーの実施【国事業】

<時 期> 2年1月7～12日

<人 数> 4人

(6) 『外国人観光客』を和歌山でもてなす

増加が著しい外国人観光客の受入れ対策として、ソフト面では公共交通を活用した移動環境の改善と情報発信や多言語観光WEBサイトの充実、観光案内板等の多言語表示を進めていきます。また、外国人観光客が県内でお得にショッピングを楽しむことができるよう消費税免税店の拡充やキャッシュレス決済の対応を推進します。さらに、多言語電話通訳・簡易翻訳サービスを提供するとともに、Wi-Fi アクセスポイントの拡充に引き続き取り組みます。

ハード面では引き続き、公衆トイレの快適性向上や美化促進を図るために、大便器の洋式化、温水洗浄便座の設置、小便器の自動洗浄化などに市町村等と連携して取り組みます。

I 外国人観光客の受入

外国人観光客の皆様安心して快適に周遊していただき、より深く魅力を味わっていただくため、言語や文化、習慣の違いが原因で起こる様々な「困ったこと」を着実かつ効果的に解決する必要があります。

令和元年9月～12月、観光庁が主要5空港で実施した「訪日外国人旅行者の受入環境整備に関するアンケート」の結果を見ると、旅行中全体を通して「困ったことはなかった」の割合が過去最高を記録し、各項目別でも全体的に「困った」割合が減少する一方、都市部と地方部の比較では、「公共交通の利用」や「無料公衆無線LAN環境」、「キャッシュレス対応」などについて「便利」と回答した割合が地方部で著しく低い結果となり、地方部における受入環境整備には改善の余地が大きいことが明らかになりました。

県では、こうした課題を解決するため、市町村や観光関係事業者等の皆様とともに受入環境の整備を進めています。

外国人観光客の移動環境づくり

◇県域をまたぐ統一的な交通アクセスの整備

増加する外国人個人観光客がストレスなくバス・レンタカーを利用して移動できるよう、交通事業者の連携により交通アクセスの改善や多言語案内表示など、世界遺産エリアを中心に県域をまたぐ統一的な受入環境整備を推進するとともに、紀伊半島周遊ルート等の情報を発信します。

<内容> 近隣県と連携した「紀伊半島外国人観光客受入推進協議会（仮称）」の設立や紀伊半島を周遊する交通アクセスの実証実験・広域周遊マップの作成、公共交通を活用した観光ルート情報とレンタカーを活用した周遊情報を発信

2019実績

◇公共交通の利用環境向上

熊野地域の交通事業者が連携して策定し、「共通整備ガイド」に基づき、乗換のポイントとなる交通拠点など案内板の多言語化、バス停情報の充実、車内の音声ガイド・掲示物

の多言語化を行うとともに、「GoogleMaps」でのスマホ検索への対応などを実施

<対象地域> 田辺市、新宮市、那智勝浦町、白浜町

<協議会> 「熊野外国人観光客交通対策推進協議会」

(平成29年5月19日設立)

明光バス(株)、熊野交通(株)、龍神自動車(株)、奈良交通(株)、
西日本旅客鉄道(株)和歌山支社、近畿運輸局和歌山運輸支局、
県

4月12日 総会開催

4月26日 第1回幹事会開催

2年3月18日 第2回幹事会開催

外国人観光客受入環境整備

◇和歌山県版通訳ガイド育成研修、情報発信などの実施

「高野山・熊野」の世界遺産エリアを外国人観光客に外国語（英語・中国語・フランス語・スペイン語）でガイドができる本県独自の有償観光ガイド（和歌山県版通訳ガイド）認定制度を活用し、受入体制の強化を図ります。

<内容> 和歌山県版通訳ガイド育成研修・口述試験の実施。登録済みの上記地域通訳ガイドの情報を発信するとともに、就業促進のためのマッチング会の実施。スキルアップ研修の実施

◇Wi-Fi環境の整備と活用

「和歌山フリーWi-Fi」の拡充をはじめ、「関西Wi-Fi」アプリを活用した情報を発信するとともに、Wi-Fiを活用した観光施策等を実施します。

<内容> 多言語観光ウェブサイト「Visit Wakayama」へアクセスポイント情報を掲載

◇多言語案内表示の整備・充実

観光地における案内表示の多言語化を実施するとともに、観光地英語名称の統一を図ります。

<内容> 英語による案内表示に関するガイドラインを作成し、整備費用に対して補助

◇和歌山ほんまもん体験インバウンド対応支援 **=New=**

外国人観光客の更なる誘客と長期滞在化と消費拡大を図るため、「和歌山ほんまもん体験」を磨き上げるとともに外国人目線でのコンテンツ開発等への支援を実施し、インバウンド向け体験型観光を推進するとともに、情報発信を強化します。

◇多言語電話通訳・簡易翻訳サービスの導入

外国人観光客が県内を円滑・快適に周遊できるよう、受入環境整備の一環として、多言語電話通訳・簡易翻訳サービスを提供するとともに、翻訳機器の積極的な活用を推進します。

<内容> 外国人観光客を受け入れる観光関係施設や医療機関に対して、多言語で原則24時間体制の電話通訳サービスを提供。さらに飲食店のメ

ニューの翻訳 等に使える簡易翻訳サービスを提供
翻訳機器の積極的な活用を推進するため、チラシ等を活用しセミナー
等の機会を捉えて周知

◇観光案内所の整備促進

外国人観光客の受け入れ体制の整った、JNTO 認定の観光案内所の整備を促進します。

◇外国人観光客向け消費環境の整備

県内で外国人観光客がショッピングをより楽しめるよう、消費税免税店の拡大やキャッシュレス決済の対応を推進するとともに、情報発信に取り組みます。

<内 容> FIT向けガイドブックや多言語観光WEBサイト「Visit Wakayama」
へ消費税免税店情報を掲載

◇外国人観光客に対する救急医療の対応検討

外国人観光客への救急医療の提供とわかりやすい情報の発信を推進します。

2019 実績

◇和歌山県版通訳ガイドの養成

「高野山・熊野」の世界遺産エリアを外国人観光客に有償でガイドができる本県独自の観光ガイド（和歌山県版通訳ガイド）を育成・認定・登録

<登録者数> 206人（2年3月現在）

英語 193人・中国語 9人・フランス語 1人・スペイン語
3人

<資格取得に係る研修及び試験>

- ・募集 8月1～31日
- ・申込（応募）87人
- ・研修 9月28日～2年2月9日
- ・試験 2年3月22日 口述試験

<登録交付式及びビジネスマッチング開催>

- ・紀北 5月25日（土）和歌山県民文化会館
- ・紀南 5月26日（日）田辺スポーツパーク

◇Wi-Fi 環境の整備（AP＝アクセスポイント）

28年3月末：約800か所・1,200AP

和歌山フリーWi-Fiポータルサイト 運用開始

28年9月末：約1,140か所・1,500AP

28年10月1日：「KANSAI Free Wi-Fi (Official)」アプリの運用開始（関西広
域連合）

29年12月末：1,220か所・1,685AP

31年3月末：1,257か所・1,749AP

◇多言語案内表示の整備

外国人観光客が円滑・快適に本県を移動・滞在できるようにあらゆる場面で必要となる多言語案内表示の整備

<箇所数> 38か所 (令和2年3月末時点)

<備考> 27年度 309か所、28年度 37か所、29年度 42か所

◇多言語電話通訳・簡易翻訳サービス

<登録者数> 134施設

<電話通訳実績> 111件 (2年3月末)

<消防実績> 37件 (2年3月末)

<簡易翻訳実績> 826件 (2年3月末)

◇外国語話せます！関西おもてなしバッジ

<時期> 29年7月～2年3月末

<登録者> 819人 (2年2月末現在)

◇観光案内所の状況

・JNT0 認定の観光案内所 26か所 (2年3月末現在)

※ 30年3月末現在 10か所

◇県内免税店の状況

・説明会や相談対応を中心に周知を促進

・県内免税店の情報をWEBサイトや多言語ガイドブックに掲載し情報発信

<店舗数> 205店舗 (10月1日現在／観光庁発表資料)

◇セミナーの開催

<時期等> 10月23日 ダイワロイネットホテル 75人

<内容> 第1部 地域で取り組むデータ活用について

山田桂一郎氏 (JTIC, SWISS 代表)

永山卓也氏

(Google 社公認 GMB・GoogleMap ゴールドエキスパート)

第2部 観光産業の担い手の確保・育成

小熊弘明氏 (観光庁参事官 (観光人材政策))

外国人人材の活用・事例紹介

木林真俊氏 ((株)YOLO JAPAN セールスマネージャー)

II 夜の楽しみ方の提案 詳細 145 頁

III 快適観光空間の創造 詳細 146 頁

IV 二次交通 (路線バス) 詳細 146 頁